中高地区
人権に係る住民意識調査
報告書

令和８年３月

中　野　市
山ノ内町
木島平村
野沢温泉村

目次

■調査概要 1

Ａ　人権や差別についての考え方・知識について
問１　差別をなくすための諸意見への考え 4
問２　一般的な「差別」というものに対する考え※ 10
問３　人権に関する法令や宣言の認知度※ 26
問４　差別に関する相対する意見への近さ※ 42
Ｂ　人権問題に対する様々な課題について
問５　子どもの結婚相手への同意※ 45
問６　子どもの人権問題※ 54
問７　女性の人権問題※ 60
問８　高齢者の人権問題※ 67
問９　障がい者の人権問題※ 73
問10　外国人の人権問※ 80
問11　ハンセン病や感染症患者等に関する人権問題※ 86
問12　ＬＧＢＴＱ等の性的少数者の人権問題 92
問13　犯罪被害者やその家族の人権問題 99
問14　インターネット上の人権問題 105
Ｃ　人権問題や差別への対応について
問15　人権が侵害されるようなことがあったときの対応※ 112
問15-１　相談する相手※ 113
問16　知り合いで差別問題解消や人権擁護の取組を行っている人の有無※ 115
問16-１　取組を行っている人の属性※ 116
Ｄ　同和問題（部落問題）に関する学習経験について
問17　学校での同和問題についての学習経験※ 118
問17-１　学習を受けたことへの感想※ 119
問18　地域や職場での同和問題についての学習や研修への参加※ 120
問18-１　最も印象に残っている研修会の内容※ 123
問18-２　どのような研修会であれば参加できるか 124
Ｅ　同和問題（部落問題）の認知や意識について
問19　差別を受けている地区や住民があることの認知度※ 126
問19-１　初めて知ったきっかけ※ 127
問20　「被差別部落」という言葉の感じ・イメージ※ 128
問21　「同和地区」の人に対する差別的な発言があったときの対応※ 136
問22　部落差別（同和問題）に関する人権侵害や問題 138
問23　部落差別は将来なくすことができるか 146
問24　「同和地区はこわい」という話を聞いたことの有無※ 148
問24-１　こわいという話は誰から聞いたか※ 149
問24-２　話を聞いたときの感想※ 150
問24-３　内容（自由記載）　（項目別） 152
問25　同和地区の人との結婚でもめたり、反対されたこと※ 152
問26　同和地区居住者との付き合いの有無※ 153
問26-1　付き合いの具体的内容※ 154
Ｆ　あなた自身のことについて
問27　回答者の属性※ 157
Ｇ　自由意見
問28　人権問題や差別に関する自由意見　（項目別） 163

■2025年「中高地区人権に係る住民意識調査」の考察（奥田均） 169
■調査票 201

※は前回調査（2015 年８月）との比較を記載

中高地区人権に係る住民意識調査の概要

1　調査の目的

「中高地区人権に係る住民意識調査」（以下、「本調査」）は、長野県中高地区４市町村（中野市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村）において、今後の人権教育・啓発施策を推進するうえでの基礎資料として活用するため、住民の人権問題や人権についての考え方及び中高地区としての地区特性を把握することを目的とする。

2　実施主体

長野県中高地区４市町村（中野市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村）

3　調査対象

令和７年８月１日現在、長野県中高地区４市町村に在住する 18 歳以上の男女各 1,500 人、合計 3,000 人

4　抽出方法

住民基本台帳から男女別・年齢別に無作為抽出

年齢＼性別		抽出数 男（人）	抽出数 女（人）	抽出数 合　計
18歳～19歳	中野市	28	28	56
	山ノ内町	8	8	16
	木島平村	5	5	10
	野沢温泉村	3	3	6
20歳代	中野市	142	142	284
	山ノ内町	40	40	80
	木島平村	16	16	32
	野沢温泉村	10	10	20
30歳代	中野市	142	142	284
	山ノ内町	40	40	80
	木島平村	16	16	32
	野沢温泉村	10	10	20
40歳代	中野市	142	142	284
	山ノ内町	40	40	80
	木島平村	16	16	32
	野沢温泉村	10	10	20
50歳代	中野市	142	142	284
	山ノ内町	40	40	80
	木島平村	16	16	32
	野沢温泉村	10	10	20
60歳代	中野市	142	142	284
	山ノ内町	40	40	80
	木島平村	16	16	32
	野沢温泉村	10	10	20
70歳代	中野市	142	142	284
	山ノ内町	40	40	80
	木島平村	16	16	32
	野沢温泉村	10	10	20
80歳以上	中野市	142	142	284
	山ノ内町	40	40	80
	木島平村	16	16	32
	野沢温泉村	10	10	20
市町村計	中野市	1,022	1,022	2,044
	山ノ内町	288	288	576
	木島平村	117	117	234
	野沢温泉村	73	73	146
中高地区合計		1,500	1,500	3,000

5　調査方法

郵送配布・郵送またはｗｅｂ回答

6　調査期間

令和７年８月 22 日～９月 22 日

7　調査項目

⑴　人権や差別についての考え方・イメージ・知識について

⑵　人権問題に対する様々な課題について

⑶　人権問題や差別への対応について

⑷　同和問題（部落問題）に関する学習経験について

⑸　同和問題（部落問題）の認知や意識について

⑹　回答者の属性

⑺　自由意見

8　調査票の集計

電子計算機による集計

9　調査結果の見方

⑴　比率はすべて百分率で表し、小数点以下第２位を四捨五入して算出しているため、比率の合計が 100％にならないことがある。

⑵　複数回答が可能な設問については、比率の合計が 100％を超えることがある。

⑶　「前回調査」とは、2015（平成 27）年に実施した「中高地区人権に係る住民意識調査」をさす。

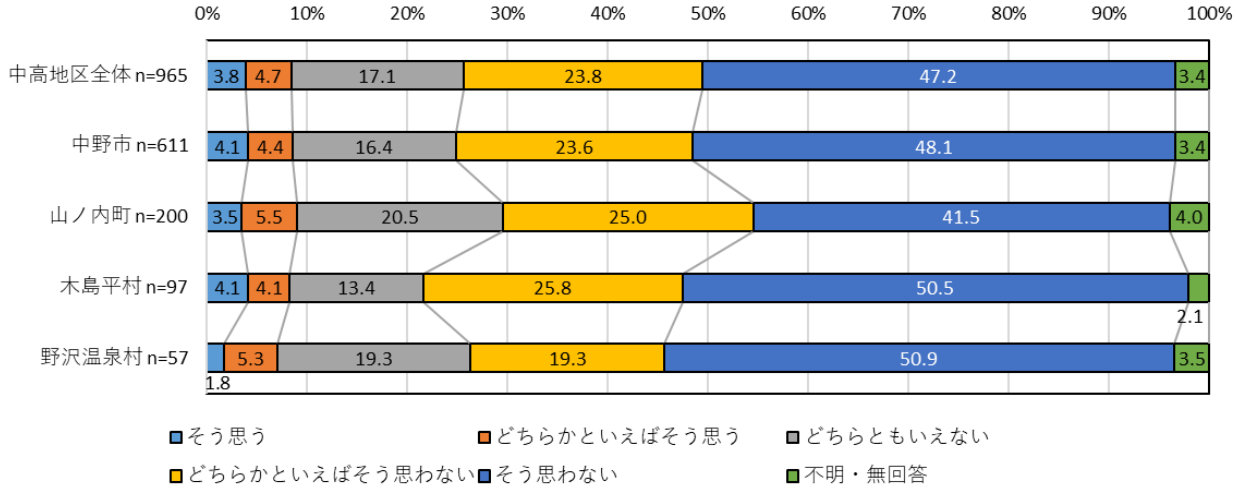
調 査 結 果

Ａ　人権や差別についての考え方・知識について

問１　次のような意見があります。あなたはどう思いますか。次の（１）～（４）のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に、例にならって○をしてください。（それぞれに○は１つ）

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 そう思わない
例：法律で禁止すれば、自然に差別はなくなる	1	2	③	4	5
（1）外国人差別は、そっとしておけば自然になくなる	1	2	3	4	5
（2）障がい者差別は、そっとしておけば自然になくなる	1	2	3	4	5
（3）HIV陽性者やハンセン病回復者（及びその家族）に対する差別は、そっとしておけば自然になくなる	1	2	3	4	5
（4）部落差別は、そっとしておけば自然になくなる	1	2	3	4	5

（１）外国人差別は、そっとしておけば自然になくなる



【中高地区全体】

・外国人差別は、そっとしておけば自然になくなるについてみると、「そう思わない」が 47.2%（455 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 23.8%（230 人）、「どちらともいえない」が 17.1%（165 人）の順となっている。

・“思わない”（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）が 71.0%（685 人）、“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 8.5%（82 人）と“思わない”が７割以上となっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思わない」が 48.1%（294 人）で最も高く、次いで「どちらかと

いえばそう思わない」が 23.6%（144 人）、「どちらともいえない」が 16.4%（100 人）の順となっている。

・“思う”が 8.5%（52 人）、“思わない”が 71.7%（438 人）と思わない”が“思う”の約 8.4 倍で、その差は 63.2 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思わない」が 41.5%（83 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 25.0%（50 人）、「どちらともいえない」が 20.5%（41 人）の順となっている。

・“思う”が 9.0%（18 人）、“思わない”が 66.5%（133 人）と思わない”が“思う”の約 7.4 倍で、その差は 57.5 ポイントとなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思わない」が 50.5%（49 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 25.8%（25 人）、「どちらともいえない」が 13.4%（13 人）の順となっている。

・“思う”が 8.2%（８人）、“思わない”が 76.3%（74 人）と思わない”が“思う”の約 9.3 倍で、その差は 68.1 ポイントとなっている。

【野沢温泉村】

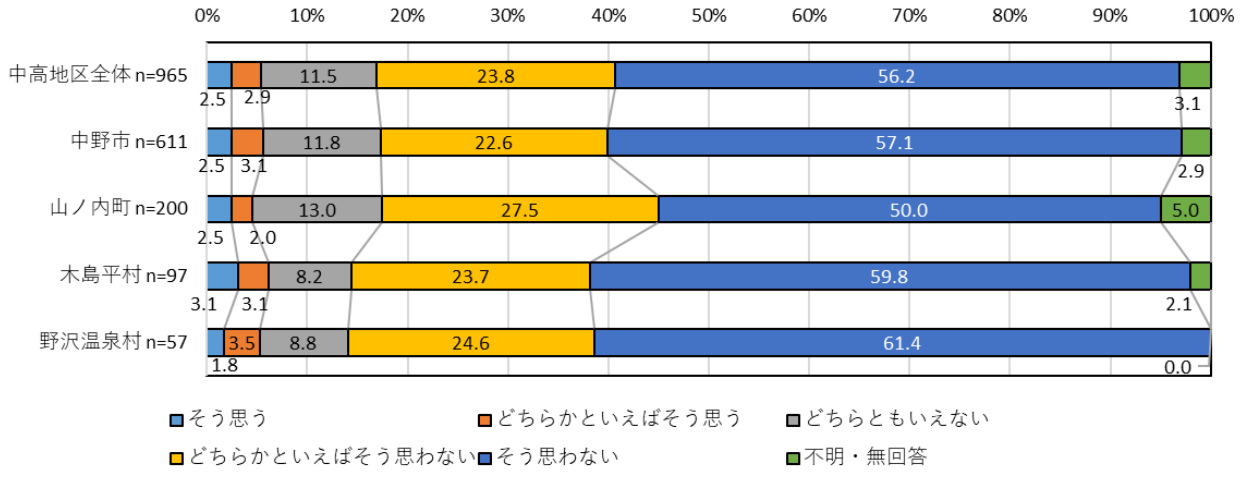
・野沢温泉村においては、「そう思わない」が 50.9%（29 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」「どちらともいえない」が同率で 19.3%（11 人）となっている。

・“思う”が 7.1%（４人）、“思わない”が 70.2%（40 人）と思わない”が“思う”の 10 倍で、その差は 63.2 ポイントとなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 76.3%（74 人）、次いで『中野市』で 71.7%（438 人）、『野沢温泉村』で 70.2%（40 人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で 9.0%（18 人）、次いで『中野市』で 8.5%（52 人）、『木島平村』で 8.2%（８人）の順となっている。

（２）障がい者差別は、そっとしておけば自然になくなる



【中高地区全体】

・障がい者差別は、そっとしておけば自然になくなるについてみると、「そう思わない」が 56.2%（542 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 23.8%（230 人）、「どちらともいえない」が 11.5%（111 人）の順となっている。

・“思わない”（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）が 80.0%（772 人）、“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 5.4%（52 人）と“思わない”が８割以上となっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思わない」が 57.1%（349 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 22.6%（138 人）、「どちらともいえない」が 11.8%（72 人）の順となっている。

・“思う”が 5.6%（34 人）、“思わない”が 79.7%（487 人）と“思わない”が“思う”の約 14.3 倍で、その差は 74.1 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思わない」が 50.0%（100 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 27.5%（55 人）、「どちらともいえない」が 13.0%（26 人）の順となっている。

・“思う”が 4.5%（９人）、“思わない”が 77.5%（155 人）と“思わない”が“思う”の約 17.2 倍で、その差は 73.0 ポイントとなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思わない」が 59.8%（58 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 23.7%（23 人）、「どちらともいえない」が 8.2%（８人）の順となっている。

・“思う”が 6.2%（６人）、“思わない”が 83.5%（81 人）と“思わない”が“思う”の約 13.5 倍で、その差は 77.3 ポイントとなっている。

【野沢温泉村】

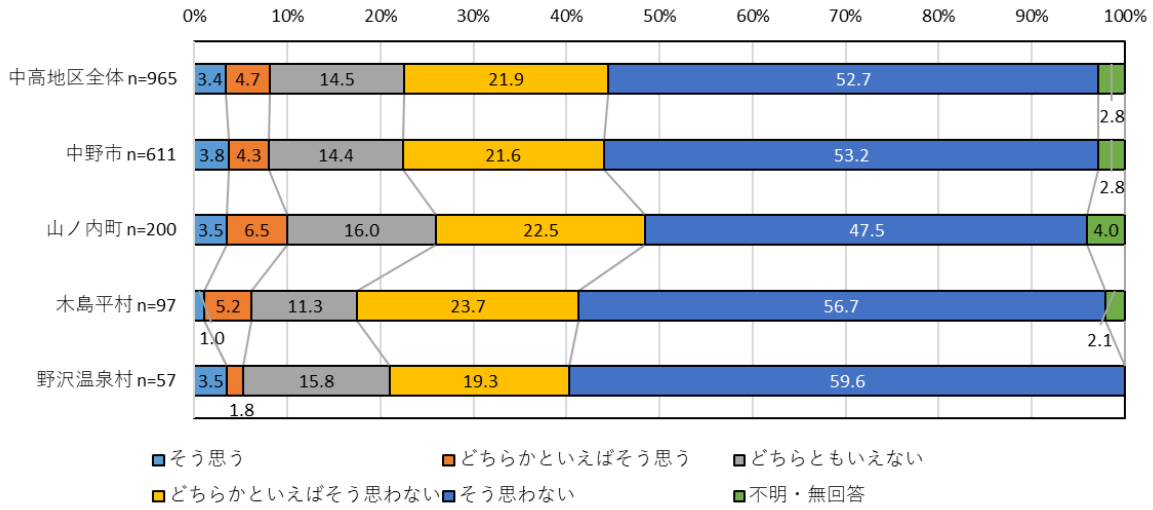
・野沢温泉村においては「そう思わない」が 61.4%（35 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 24.6%（14 人）、「どちらともいえない」が 8.8%（５人）の順となっている。

・“思う”が 5.3%（３人）、“思わない”が 86.0%（49 人）と“思わない”が“思う”の約 16.3 倍で、その差は 80.7 ポイントとなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 86.0%（49 人）、次いで『木島平村』で 83.5%（81 人）、『中野市』で 79.7%（487 人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『木島平村』で 6.2%（６人）、次いで『中野市』で 5.6%（34 人）、『野沢温泉村』で 5.3%（３人）の順となっている。

（３）ＨＩＶ陽性者やハンセン病回復者（及びその家族）に対する差別は、そっとしておけば自然になくなる



【中高地区全体】

・ＨＩＶ陽性者やハンセン病回復者（及びその家族）に対する差別は、そっとしておけば自然になくなるについてみると、「そう思わない」が 52.7%（509 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 21.9%（211 人）、「どちらともいえない」が 14.5%（140 人）の順となっている。

・“思わない”（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）が 74.6%（720 人）、“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 8.1%（78 人）と“思わない”が７割以上となっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思わない」が 53.2%（325 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 21.6%（132 人）、「どちらともいえない」が 14.4%（88 人）の順となっている。

・“思う”が 8.0%（49 人）、“思わない”が 74.8%（457 人）と思わない”が“思う”の約 9.3 倍で、その差は 66.8 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「思わない」が 47.5%（95 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 22.5%（45 人）、「どちらともいえない」が 16.0%（32 人）の順となっている。

・“思う”が 10.0%（20 人）、“思わない”が 70.0%（140 人）と思わない”が“思う”の７倍で、その差は 60.0 ポイントとなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「思わない」が 56.7%（55 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 23.7%（23 人）、「どちらともいえない」が 11.3%（11 人）の順となっている。

・“思う”が 6.2%（６人）、“思わない”が 80.4%（78 人）と思わない”が“思う”の 13 倍で、その差は 74.2 ポイントとなっている。

【野沢温泉村】

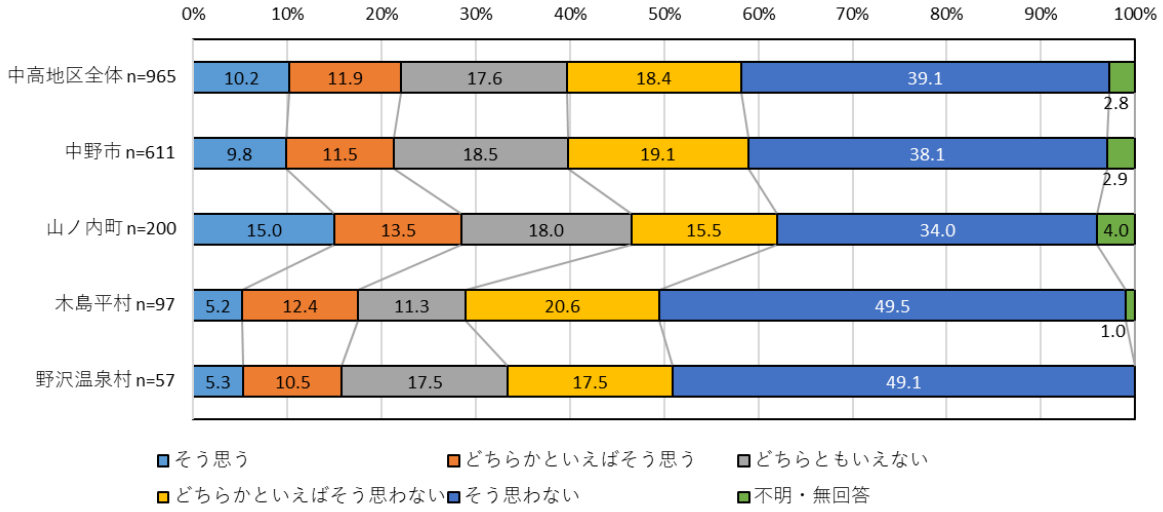
・野沢温泉村においては、「思わない」が 59.6%（34 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 19.3%（11 人）、「どちらともいえない」が 15.8%（９人）の順となっている。

・“思う”が 5.3%（３人）、“思わない”が 78.9%（45 人）と思わない”が“思う”の 15 倍で、その差は 73.6 ポイントとなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 80.4%（78 人）、次いで『野沢温泉村』で 78.9%（45 人）、『中野市』で 74.8%（457 人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で 10.0%（20 人）、次いで『中野市』で 8.0%（49 人）、『木島平村』で 6.2%（６人）の順となっている。

（４）部落差別は、そっとしておけば自然になくなる



【中高地区全体】

・部落差別は、そっとしておけば自然になくなるについてみると、「そう思わない」が 39.1%（377 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 18.4%（178 人）、「どちらともいえない」が 17.6%（170 人）の順となっている。

・“思わない”（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）が 57.5%（555 人）、“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 22.1%（213 人）と“思わない”が５割以上となっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思わない」が 38.1%（233 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 19.1%（117 人）、「どちらともいえない」が 18.5%（113 人）の

順となっている。

・“思う”が 21.3%（130 人）、“思わない”が 57.3%（350 人）と思わない”が“思う”の約 2.7 倍で、その差は 36.0 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思わない」が 34.0%（68 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 18.0%（36 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 15.5%（31 人）、の順となっている。

・“思う”が 28.5%（57 人）、“思わない”が 49.5%（99 人）と思わない”が“思う”の約 1.7 倍で、その差は 21.0 ポイントとなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思わない」が 49.5%（48 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 20.6%（20 人）、「どちらかといえばそう思う」が 12.4%（12 人）の順となっている。

・“思う”が 17.5%（17 人）、“思わない”が 70.1%（68 人）と思わない”が“思う”の４倍で、その差は 52.6 ポイントとなっている。

【野沢温泉村】

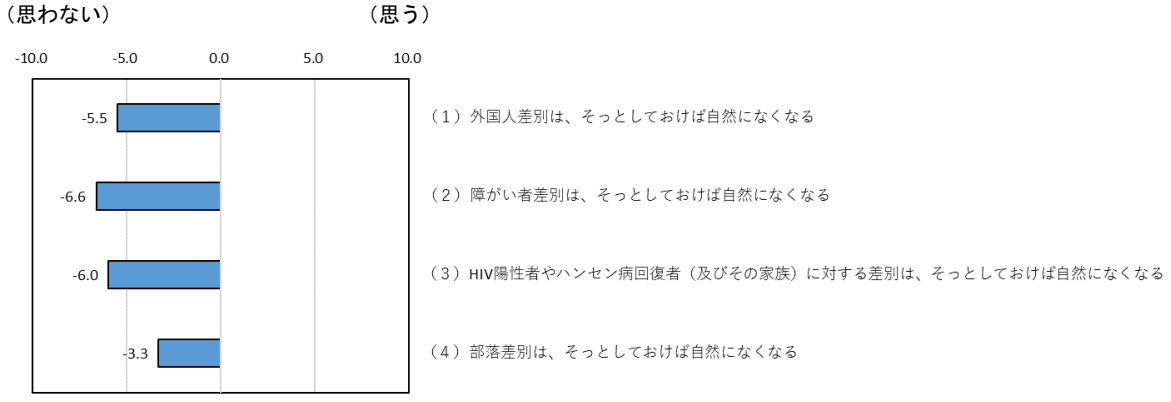
・野沢温泉村においては、「そう思わない」が 49.1%（28 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」、「どちらともいえない」が同率で 17.5%（10 人）の順となっている。

・“思う”が 15.8%（９人）、“思わない”が 66.7%（38 人）と思わない”が“思う”の約 4.2 倍で、その差は 50.9 ポイントとなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 70.1%（68 人）、次いで『野沢温泉村』で 66.7%（38 人）、『中野市』で 57.3%（350 人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で 28.5%（57 人）、次いで『中野市』で 21.3%（130 人）、『木島平村』で 17.5%（17 人）の順となっている。

【設問間比較】



・“思わない”について「障がい者差別は、そっとしておけば自然になくなる」でマイナス 6.6 と最も低く、次いで「ＨＩＶ陽性者やハンセン病回復者（及びその家族）に対する差別は、そっとしておけば自然になくなる」でマイナス 6.0、「外国人差別は、そっとしておけば自然になくなる」でマイナス 5.5 の順となっている。

〈比較の方法〉

設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

・そう思う…… 10点　　・そう思わない…… －10点

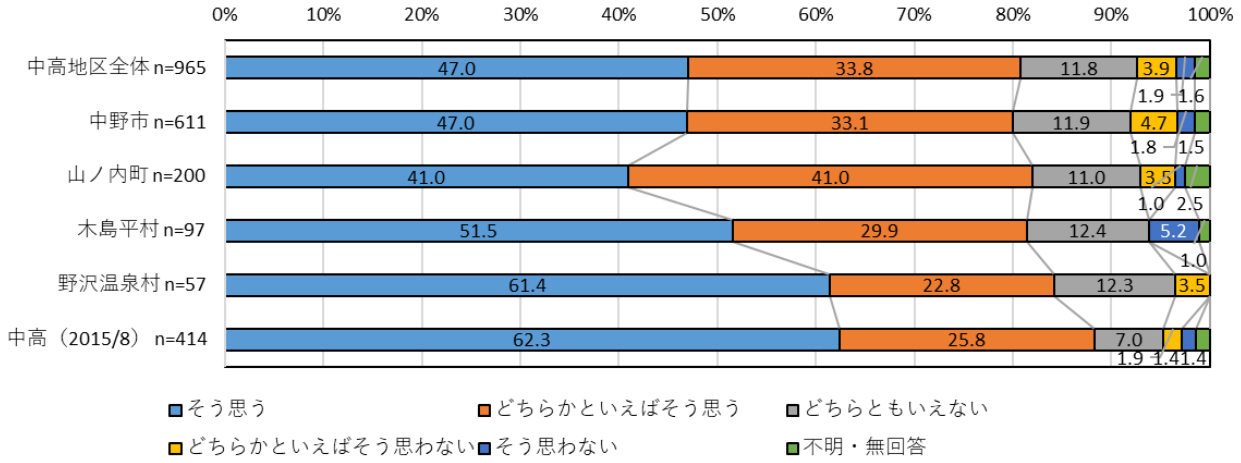
・どちらかといえばそう思う… ５点　　・どちらかといえばそう思わない… －５点

・どちらともいえない…… ０点

問２　あなたは、「差別」というものについて、どのようなお考えをお持ちですか。次の（１）～（10）のすべてについて、あなたのお考えに一番近い番号に○をしてください。

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 そう思わない
(1) 差別は人間として最も恥ずべき行為の一つである	1	2	3	4	5
(2) 差別は世の中に必要なこともある	1	2	3	4	5
(3) あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある	1	2	3	4	5
(4) 差別の原因は、差別される人の側に問題がある	1	2	3	4	5
(5) 差別は法律で禁止する必要がある	1	2	3	4	5
(6) どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理である	1	2	3	4	5
(7) 差別される人の話をきちんと聴く必要がある	1	2	3	4	5
(8) 思いやりややさしさを持てば、差別問題は解決できる	1	2	3	4	5
(9) 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である	1	2	3	4	5
(10) 差別の原因は、差別をする人の側に問題がある	1	2	3	4	5

（１）差別は人間として最も恥ずべき行為の一つである



【中高地区全体】

・差別は人間として最も恥ずべき行為の一つであるについてみると、「そう思う」が 47.0%（454 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 33.8%（326 人）、「どちらともいえない」が 11.8%（114 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 80.8%（780 人）、“思わない”（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）が 5.8%（56 人）と“思う”が８割以上となっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 7.3 ポイント（80.8-88.1）低くなっており、一方“思わない”が 2.5 ポイント（5.8-3.3）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思う」が 47.0%（287 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 33.1%（202 人）、「どちらともいえない」が 11.9%（73 人）の順となっている。

・“思う”が 80.0%（489 人）、“思わない”が 6.5%（40 人）と“思う”が“思わない”の約 12.3 倍で、その差は 73.5 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」が同率で 41.0%（82 人）、次いで「どちらともいえない」が 11.0%（22 人）の順となっている。

・“思う”が 82.0%（164 人）、“思わない”が 4.5%（９人）と“思う”が“思わない”の約 18.2 倍で、その差は 77.5 ポイントとなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思う」が 51.5%（50 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 29.9%（29 人）、「どちらともいえない」が 12.4%（12 人）の順となっている。

・“思う”が 81.4%（79 人）、“思わない”が 5.2%（５人）と“思う”が“思わない”の約 15.8 倍で、その差は 76.2 ポイントとなっている。

【野沢温泉村】

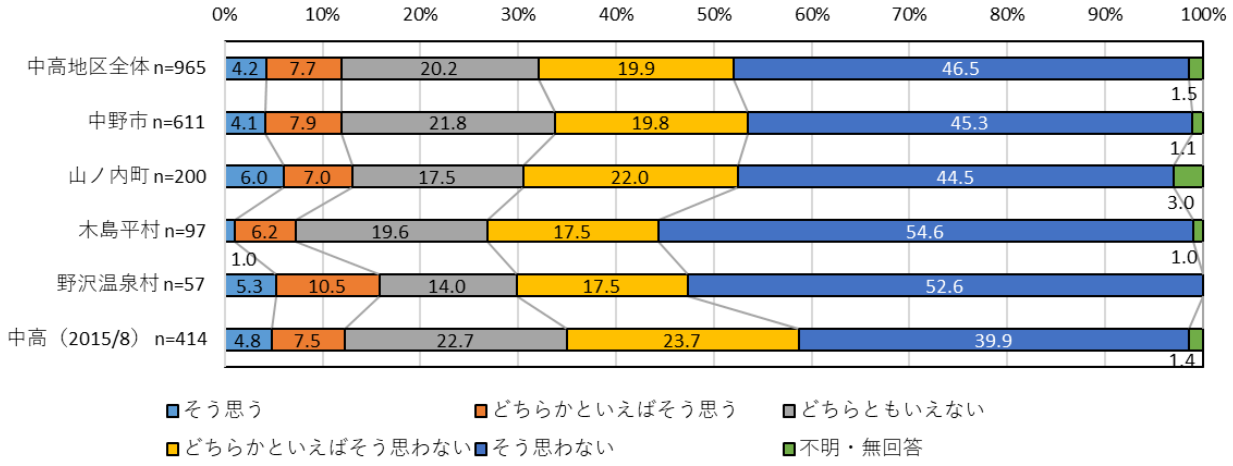
・野沢温泉村においては、「そう思う」が 61.4%（35 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 22.8%（13 人）、「どちらともいえない」が 12.3%（７人）の順となっている。

・“思う”が 84.2%（48 人）、“思わない”が 3.5%（2 人）と“思う”が“思わない”の約 24 倍で、その差は 80.7 ポイントとなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 84.2%（48 人）、次いで『山ノ内町』で 82.0%（164 人）、『木島平村』で 81.4%（79 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『中野市』で 6.5%（40 人）、次いで『木島平村』で 5.2%（５人）、『山ノ内町』で 4.5%（９人）の順となっている。

（２）差別は世の中に必要なこともある



【中高地区全体】

・差別は世の中に必要なこともあるについてみると、「そう思わない」が 46.5%（449 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 20.2%（195 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 19.9%（192 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 11.9%（115 人）、“思わない”（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）が 66.4%（641 人）と“思わない”が６割以上となっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 0.4 ポイント（11.9-12.3）低くなっており、一方“思わない”が 2.8 ポイント（66.4-63.6）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思わない」が 45.3%（277 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 21.8%（133 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 19.8%（121 人）の順となっている。

・“思う”が 11.9%（73 人）、“思わない”が 65.1%（398 人）と“思わない”が“思う”の約 5.5 倍で、その差は 53.2 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思わない」が 44.5%（89 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 22.0%（44 人）、「どちらともいえない」が 17.5%（35 人）の順となっている。

・“思う”が 13.0%（26 人）、“思わない”が 66.5%（133 人）と“思わない”が“思う”の約 5.1 倍で、その差は 53.5 ポイントとなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思わない」が 54.6%（53 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 19.6%（19 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 17.5%（17 人）の順となっている。

・“思う”が 7.2%（7 人）、“思わない”が 72.2%（70 人）と“思わない”が“思う”の 10 倍で、その差は 65.0 ポイントとなっている。

【野沢温泉村】

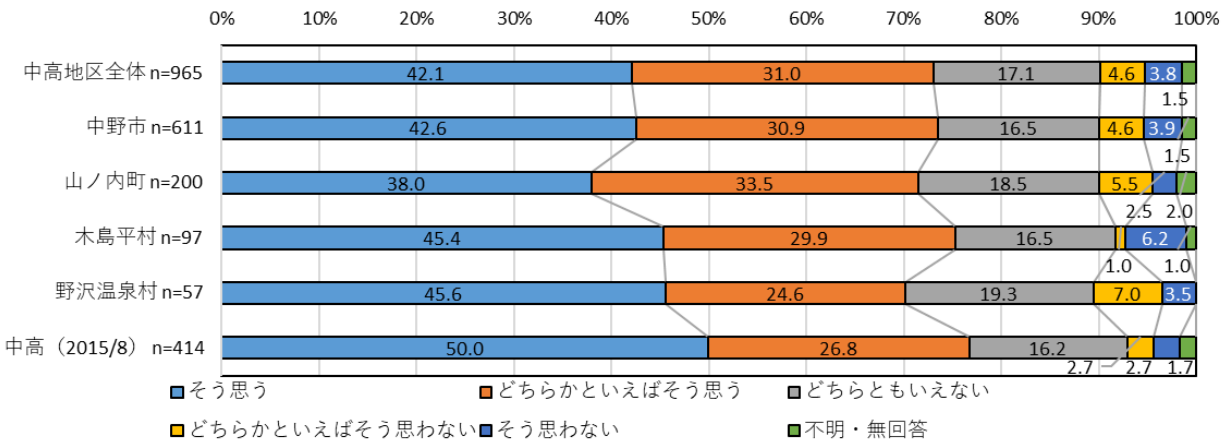
・野沢温泉村においては、「そう思わない」が 52.6%（30 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 17.5%（10 人）、「どちらともいえない」が 14.0%（8 人）の順となっている。

・“思う”が 15.8%（9 人）、“思わない”が 70.2%（40 人）と“思わない”が“思う”の約 4.4 倍で、その差は 54.4 ポイントとなっている。

【市町村比較】

・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 72.2%（70 人）、次いで『野沢温泉村』で 70.2%（40 人）、『山ノ内町』で 66.5%（133 人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 15.8%（9 人）、次いで『山ノ内町』で 13.0%（26 人）、『中野市』で 11.9%（73 人）の順となっている。

（3）あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある



【中高地区全体】

・あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要があるについてみると、「そう思う」が 42.1%（406 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 31.0%（299 人）、「どちらともいえない」が 17.1%（165 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 73.1%（705 人）、“思わない”（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）が 8.4%（81 人）と“思う”が 7 割以上となっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 3.7 ポイント（73.1-76.8）低くなっており、一方“思わない”が 3.0 ポイント（8.4-5.4）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思う」が 42.6%（260 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 30.9%（189 人）、「どちらともいえない」が 16.5%（101 人）の順となっている。

・“思う”が 73.5%（449 人）、“思わない”が 8.5%（52 人）と思わない”が“思う”の約 8.6 倍で、その差は 65.0 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思う」が 38.0%（76 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 33.5%（67 人）、「どちらともいえない」が 18.5%（37 人）の順となっている。

・“思う”が 71.5%（143 人）、“思わない”が 8.0%（16 人）と思わない”が“思う”の約 8.9 倍で、その差は 63.5 ポイントとなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思う」が 45.4%（44 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 29.9%（29 人）、「どちらともいえない」が 16.5%（16 人）の順となっている。

・“思う”が 75.3%（73 人）、“思わない”が 7.2%（７人）と思わない”が“思う”の約 10.4 倍で、その差は 68.1 ポイントとなっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては「そう思う」が 45.6%（26 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 24.6%（14 人）、「どちらともいえない」が 19.3%（11 人）の順となっている。

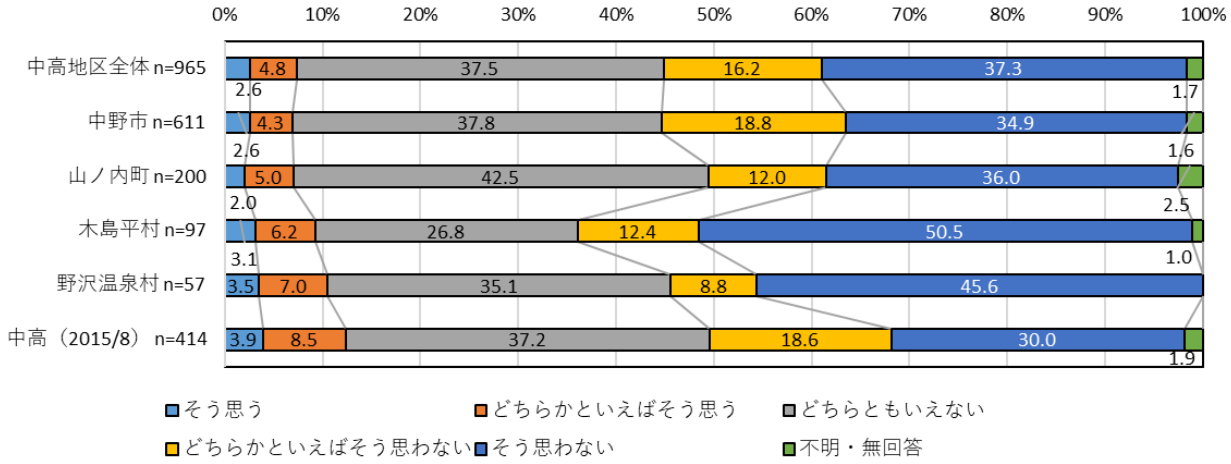
・“思う”が 70.2%（40 人）、“思わない”が 10.5%（６人）と思わない”が“思う”の約 6.7 倍で、その差は 59.7 ポイントとなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『木島平村』で 75.3%（73 人）、次いで『中野市』で 73.5%（449 人）、『山ノ内町』で 71.5%（143 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 10.5%（６人）、次いで『中野市』で 8.5%（52 人）、『山ノ内町』で 8.0%（16 人）の順

となっている。

（４）差別の原因は、差別される人の側に問題がある



【中高地区全体】

・差別の原因は、差別される人の側に問題があるについてみると、「どちらともいえない」が 37.5%（362 人）で最も高く、次いで「そう思わない」が 37.3%（360 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 16.2%（156 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 7.4%（71 人）、“思わない”（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）が 53.5%（516 人）と“思わない”が 5 割以上となっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 5.0 ポイント（7.4-12.4）低くなっており、一方“思わない”が 4.9 ポイント（53.5-48.6）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらともいえない」が 37.8%（231 人）で最も高く、次いで「そう思わない」が 34.9%（213 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 18.8%（115 人）の順となっている。

・“思う”が 6.9%（42 人）、“思わない”が 53.7%（328 人）と思わない”が“思う”の約 7.8 倍で、その差は 46.8 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 42.5%（85 人）で最も高く、次いで「そう思わない」が 36.0%（72 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 12.0%（24 人）の順となっている。

・“思う”が 7.0%（14 人）、“思わない”が 48.0%（96 人）と思わない”が“思う”の約 6.9 倍で、その差は 41.0 ポイントとなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思わない」が 50.5%（49 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 26.8%（26 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 12.4%（12 人）の

順となっている。

・“思う”が 9.3%（９人）、“思わない”が 62.9%（61 人）と思わない”が“思う”の約 6.8 倍で、その差は 53.6 ポイントとなっている。

【野沢温泉村】

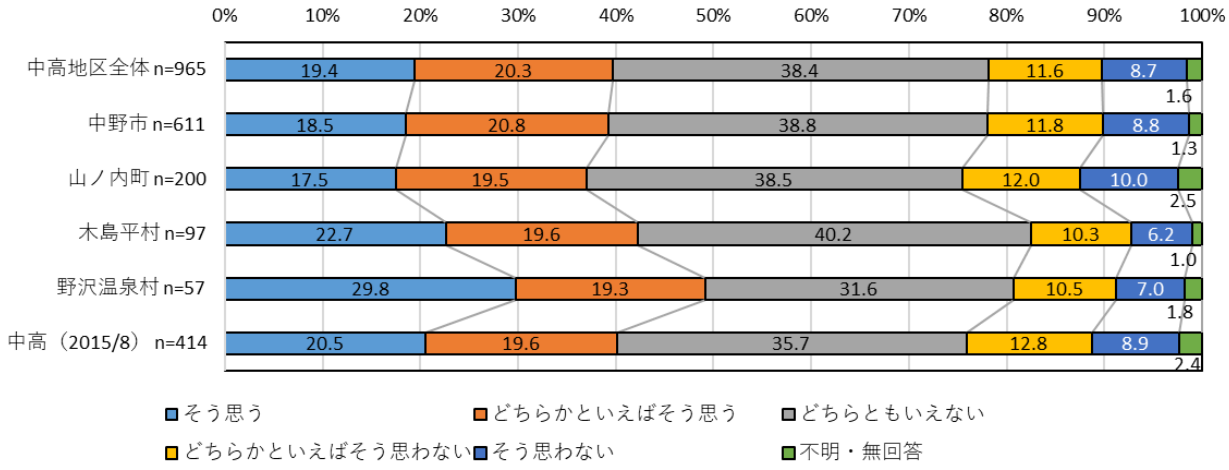
・野沢温泉村においては、「そう思わない」が 45.6%（26 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 35.1%（20 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 8.8%（５人）の順となっている。

・“思う”が 10.5%（６人）、“思わない”が 54.4%（31 人）と思わない”が“思う”の約 5.2 倍で、その差は 43.9 ポイントとなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 62.9%（61 人）、次いで『野沢温泉村』で 54.4%（31 人）、『中野市』で 53.7%（328 人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 10.5%（６人）、次いで『木島平村』で 9.3%（９人）、『山ノ内町』で 7.0%（14 人）の順となっている。

（５）差別は法律で禁止する必要がある



【中高地区全体】

・差別は法律で禁止する必要があるについてみると、「どちらともいえない」が 38.4%（371 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 20.3%（196 人）、「そう思う」が 19.4%（187 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 39.7%（383 人）、“思わない”（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）が 20.3%（196 人）と“思う”が“思わない”の約２倍で、その差は 19.4 ポイントなっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 0.4 ポイント（39.7-40.1）低くなっており、一方“思わない”も 1.4 ポイント（20.3-21.7）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらともいえない」が 38.8%（237 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 20.8%（127 人）、「そう思う」が 18.5%（113 人）の順となっている。

・“思う”が 39.3%（240 人）、“思わない”が 20.6%（126 人）と“思う”が“思わない”の約 1.9 倍で、その差は 18.7 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 38.5%（77 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 19.5%（39 人）、「そう思う」が 17.5%（35 人）の順となっている。

・“思う”が 37.0%（74 人）、“思わない”が 22.0%（44 人）と“思う”が“思わない”の約 1.7 倍で、その差は 15.0 ポイントとなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらともいえない」が 40.2%（39 人）で最も高く、次いで「そう思う」が 22.7%（22 人）、「どちらかといえばそう思う」が 19.6%（19 人）の順となっている。

・“思う”が 42.3%（41 人）、“思わない”が 16.5%（16 人）と“思う”が“思わない”の約 2.6 倍で、その差は 25.8 ポイントとなっている。

【野沢温泉村】

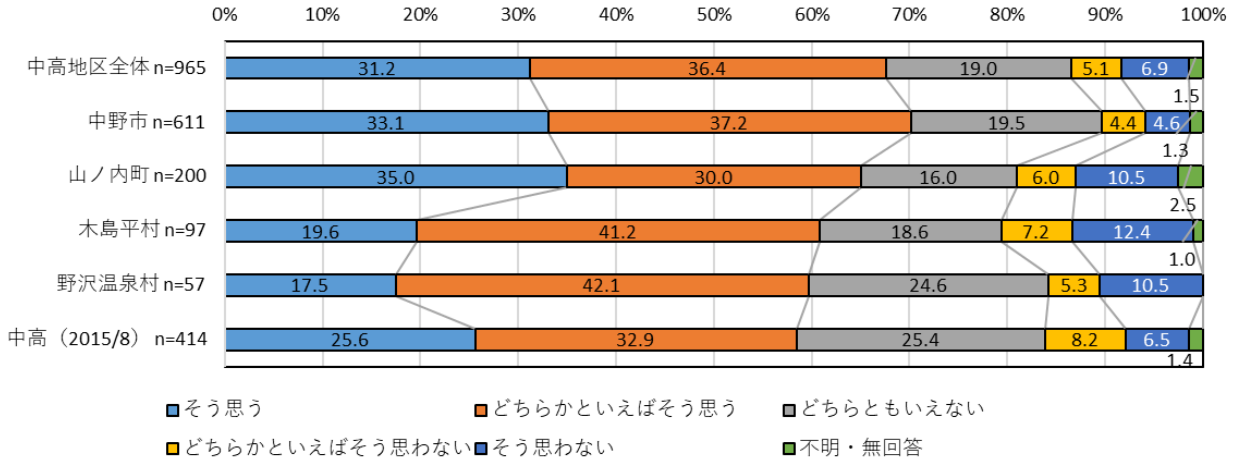
・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が 31.6%（18 人）で最も高く、次いで「そう思う」が 29.8%（17 人）、「どちらかといえばそう思う」が 19.3%（11 人）の順となっている。

・“思う”が 49.1%（28 人）、“思わない”が 17.5%（10 人）と“思う”が“思わない”の 2.8 倍で、その差は 31.6 ポイントとなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 49.1%（28 人）、次いで『木島平村』で 42.3%（41 人）、『中野市』で 39.3%（240 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で 22.0%（44 人）、次いで『中野市』で 20.6%（126 人）、『野沢温泉村』で 17.5%（10 人）の順となっている。

（６）どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理である



【中高地区全体】

・どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理であるについてみると、「どちらかといえばそう思う」が 36.4%（351 人）で最も高く、次いで「そう思う」が 31.2%（301 人）、「どちらともいえない」が 19.0%（183 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 67.6%（652 人）、“思わない”（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）が 12.0%（116 人）と“思う”が６割以上となっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 9.1 ポイント（67.6-58.5）高くなっており、一方“思わない”が 2.2 ポイント（12.0-14.2）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらかといえばそう思う」が 37.2%（227 人）で最も高く、次いで「そう思う」が 33.1%（202 人）、「どちらともいえない」が 19.5%（119 人）の順となっている。

・“思う”が 70.2%（429 人）、“思わない”が 9.0%（55 人）と“思う”が“思わない”の 7.8 倍で、その差は 61.2 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思う」が 35.0%（70 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 30.0%（60 人）、「どちらともいえない」が 16.0%（32 人）の順となっている。

・“思う”が 65.0%（130 人）、“思わない”が 16.5%（33 人）と“思う”が“思わない”の約 3.9 倍で、その差は 48.5 ポイントとなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらかといえばそう思う」が 41.2%（40 人）で最も高く、次いで「そう思う」が 19.6%（19 人）、「どちらともいえない」が 18.6%（18 人）の順となっている。

・“思う”が 60.8%（59 人）、“思わない”が 19.6%（19 人）と“思う”が“思わない”の

約 3.1 倍で、その差は 41.2 ポイントとなっている。

【野沢温泉村】

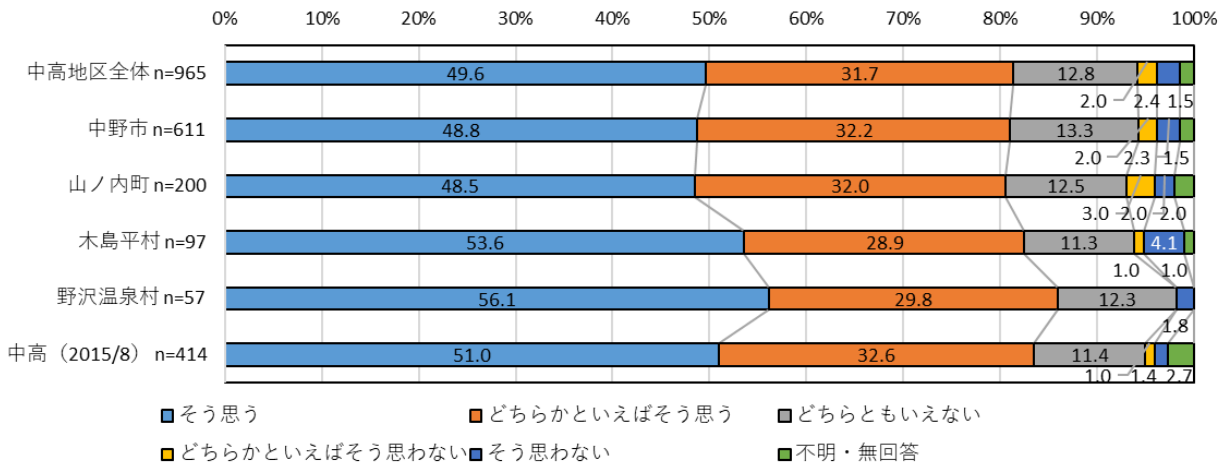
・野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思う」が 42.1%（24 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 24.6%（14 人）、「そう思う」が 17.5%（10 人）の順となっている。

・“思う”が 59.6%（34 人）、“思わない”が 15.8%（９人）と“思う”が“思わない”の約 3.8 倍で、その差は 43.8 ポイントとなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『中野市』で 70.2%（429 人）、次いで『山ノ内町』で 65.0%（130 人）、『木島平村』で 60.8%（59 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 19.6%（19 人）、次いで『野沢温泉村』で 15.8%（９人）、『山ノ内町』で 16.5%（33 人）の順となっている。

（７）差別される人の話をきちんと聴く必要がある



【中高地区全体】

・差別される人の話をきちんと聴く必要があるについてみると、「そう思う」が 49.6%（479 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 31.7%（306 人）、「どちらともいえない」が 12.8%（124 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 81.3%（785 人）、“思わない”（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）が 4.4%（42 人）と“思う”が８割以上となっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 2.3 ポイント（81.3-83.6）低くなっており、一方“思わない”が 2.0 ポイント（4.4-2.4）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思う」が 48.8%（298 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 32.2%（197 人）、「どちらともいえない」が 13.3%（81 人）の順となって

いる。

・“思う”が 81.0%（495 人）、“思わない”が 4.3%（26 人）と“思う”が “思わない”の 19 倍で、その差は 76.7 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思う」が 48.5%（97 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 32.0%（64 人）、「どちらともいえない」が 12.5%（25 人）の順となっている。

・“思う”が 80.5%（161 人）、“思わない”が 5.0%（10 人）と“思う”が “思わない”の 16.1 倍で、その差は 75.5 ポイントとなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思う」が 53.6%（52 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 28.9%（28 人）、「どちらともいえない」が 11.3%（11 人）の順となっている。

・“思う”が 82.5%（80 人）、“思わない”が 5.1%（５人）と“思う”が “思わない”の 16 倍で、その差は 77.3 ポイントとなっている。

【野沢温泉村】

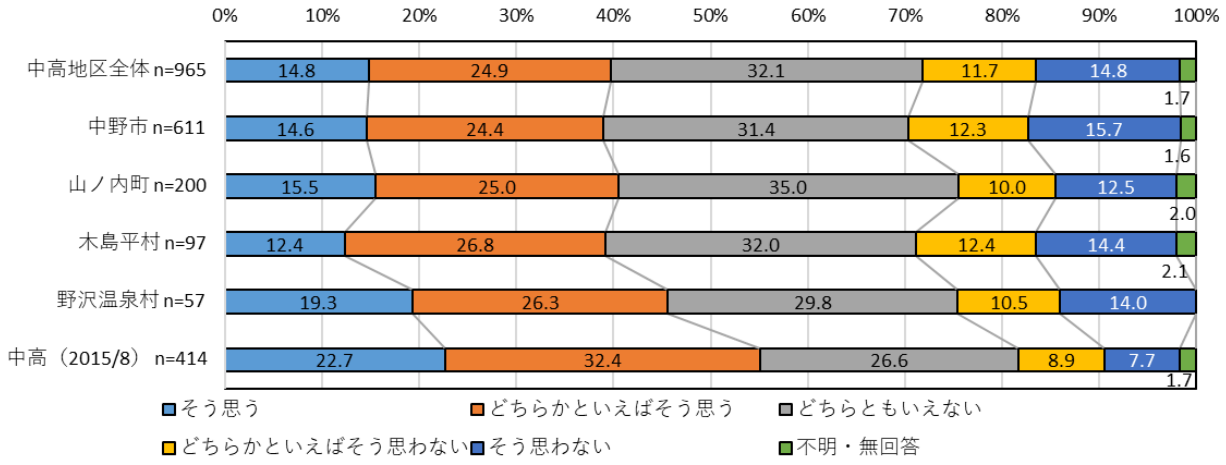
・野沢温泉村においては、「そう思う」が 56.1%（32 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 29.8%（17 人）、「どちらともいえない」が 12.3%（７人）の順となっている。

・“思う”が 86.0%（49 人）、“思わない”が 1.8%（１人）と“思う”が “思わない”の 49 倍で、その差は 84.2 ポイントとなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 86.0%（49 人）、次いで『木島平村』で 82.5%（80 人）、『中野市』で 81.0%（495 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 5.2%（５人）、次いで『山ノ内町』で 5.0%（10 人）、『中野市』で 4.3%（26 人）の順となっている。

（８）思いやりややさしさを持てば、差別問題は解決できる



【中高地区全体】

・思いやりややさしさを持てば、差別問題は解決できるについてみると、「どちらともいえない」が 32.1%（310 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 24.9%（240 人）、「そう思う」「そう思わない」が同率で 14.8%（143 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 39.7%（383 人）、“思わない”（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）が 26.5%（256 人）と“思う”が“思わない”の約 1.5 倍で、その差は 13.2 ポイントとなっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 15.4 ポイント（39.7-55.1）低くなっており、一方“思わない”が 9.9 ポイント（26.5-16.6）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらともいえない」が 31.4%（192 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 24.4%（149 人）、「そう思わない」が 15.7%（96 人）の順となっている。

・“思う”が 39.0%（238 人）、“思わない”が 28.0%（171 人）と“思う”が“思わない”の約 1.4 倍で、その差は 11.0 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 35.0%（70 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 25.0%（50 人）、「そう思う」が 15.5%（31 人）の順となっている。

・“思う”が 40.5%（81 人）、“思わない”が 22.5%（45 人）と“思う”が“思わない”の 1.8 倍で、その差は 18.0 ポイントとなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらともいえない」が 32.0%（31 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.8%（26 人）、「そう思わない」が 14.4%（14 人）の順となっている。

・“思う”が 39.2%（38 人）、“思わない”が 26.8%（26 人）と“思う”が“思わない”の約 1.5 倍で、その差は 12.4 ポイントとなっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が 29.8%（17 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.3%（15 人）、「そう思う」が 19.3%（11 人）の順となっている。

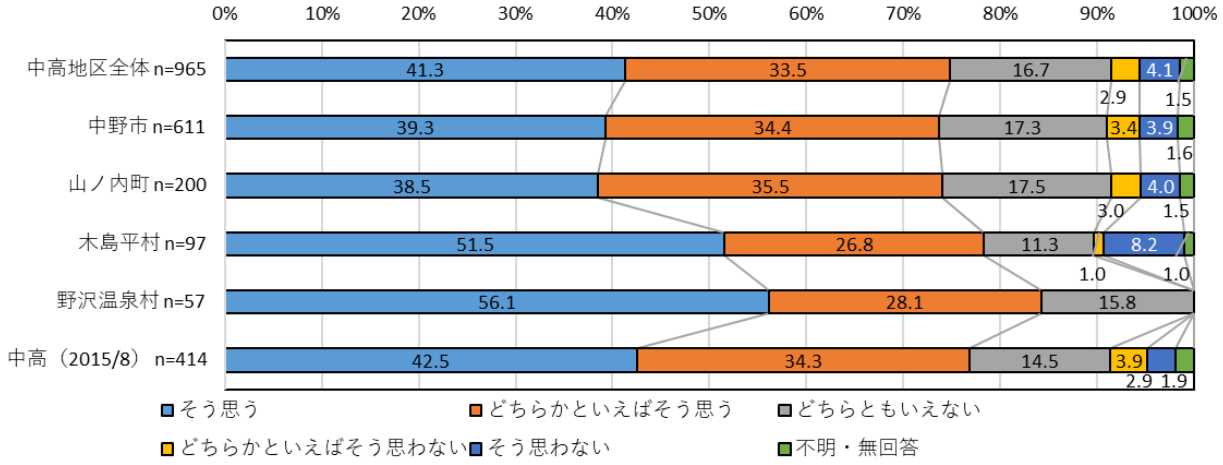
・“思う”が 45.6%（26 人）、“思わない”が 24.6%（14 人）と“思う”が“思わない”の約 1.9 倍で、その差は 21.0 ポイントとなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 45.6%（26 人）、次いで『山ノ内町』で 40.5%（81 人）、『木島平村』で 39.2%（38 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『中野市』で 28.0%（171 人）、次いで『木島平村』で 26.8%（26 人）、『野沢温泉村』で 24.6%（14 人）の順

となっている。

（９）差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である



【中高地区全体】

・差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要であるについてみると、「そう思う」が 41.3%（399 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 33.5%（323 人）、「どちらともいえない」が 16.7%（161 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 74.8%（722 人）、“思わない”（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）が 7.0%（68 人）と“思う”が７割以上となっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が２ポイント（74.8-76.8）低くなっており、一方“思わない”が 0.2 ポイント（7.0-6.8）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思う」が 39.3%（240 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 34.4%（210 人）、「どちらともいえない」が 17.3%（106 人）の順となっている。

・“思う”が 73.6%（450 人）、“思わない”が 7.4%（45 人）と“思う”が“思わない”の 10 倍で、その差は 66.2 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思う」が 38.5%（77 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 35.5%（71 人）、「どちらともいえない」が 17.5%（35 人）の順となっている。

・“思う”が 74.0%（148 人）、“思わない”が 7.0%（14 人）と“思う”が“思わない”の約 10.6 倍で、その差は 67.0 ポイントとなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思う」が 51.5%（50 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.8%（26 人）、「どちらともいえない」が 11.3%（11 人）の順となっている。

・“思う”が 78.4%（76 人）、“思わない”が 9.3%（９人）と“思う”が“思わない”の約 8.4 倍で、その差は 69.1 ポイントとなっている。

【野沢温泉村】

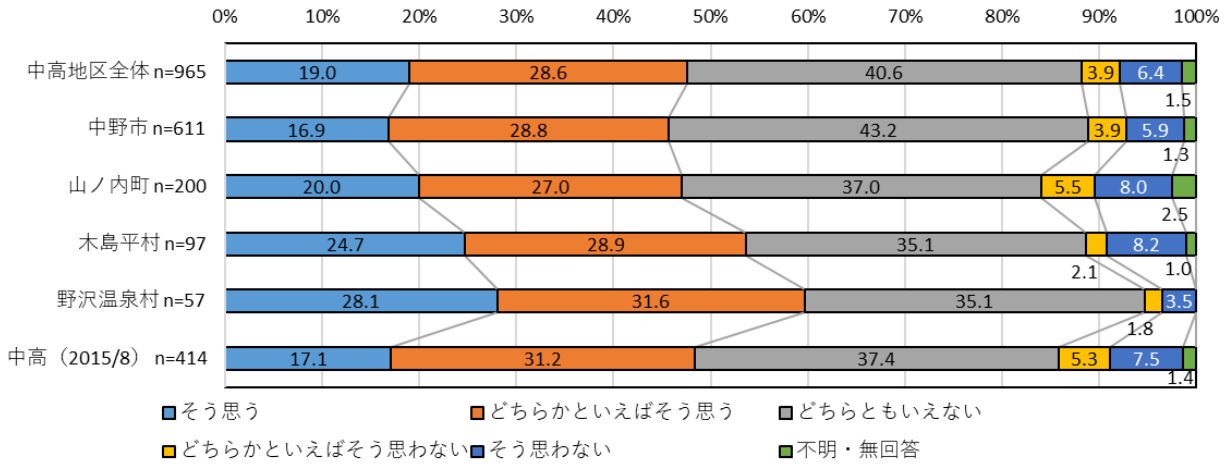
・野沢温泉村においては、「そう思う」が 56.1%（32 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 28.1%（16 人）、「どちらともいえない」が 15.8%（９人）の順となっている。

・“思う”が 84.2%（48 人）、“思わない”が 0.0%（０人）で、その差は 84.2 ポイントとなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 84.2%（48 人）、次いで『木島平村』で 78.4%（76 人）、『山ノ内町』で 74.0%（148 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 9.3%（９人）、次いで『中野市』で 7.4%（45 人）、『山ノ内町』で 7.0%（14 人）の順となっている。

（10）差別の原因は、差別をする人の側に問題がある



【中高地区全体】

・差別の原因は、差別をする人の側に問題があるについてみると、「どちらともいえない」が 40.6%（392 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 28.6%（276 人）、「そう思う」が 19.0%（183 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 47.6%（459 人）、“思わない”（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）が 10.4%（100 人）と“思う”が“思わない”の約 4.6 倍で、その差は 37.2 ポイントとなっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 0.7 ポイント（47.6-48.3）低くなっており、一方“思わない”も 2.4 ポイント（10.4-12.8）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらともいえない」が 43.2%（264 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 28.8%（176 人）、「そう思う」が 16.9%（103 人）の順となっている。

・“思う”が 45.7%（279 人）、“思わない”が 9.8%（60 人）と“思う”が“思わない”の約 4.7 倍で、その差は 35.9 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 37.0%（74 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 27.0%（54 人）、「そう思う」が 20.0%（40 人）の順となっている。

・“思う”が 47.0%（94 人）、“思わない”が 13.5%（27 人）と“思う”が“思わない”の約 3.5 倍で、その差は 33.5 ポイントとなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらともいえない」が 35.1%（34 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 28.9%（28 人）、「そう思う」が 24.7%（24 人）の順となっている。

・“思う”が 53.6%（52 人）、“思わない”が 10.3%（10 人）と“思う”が“思わない”の 5.2 倍で、その差は 43.3 ポイントとなっている。

【野沢温泉村】

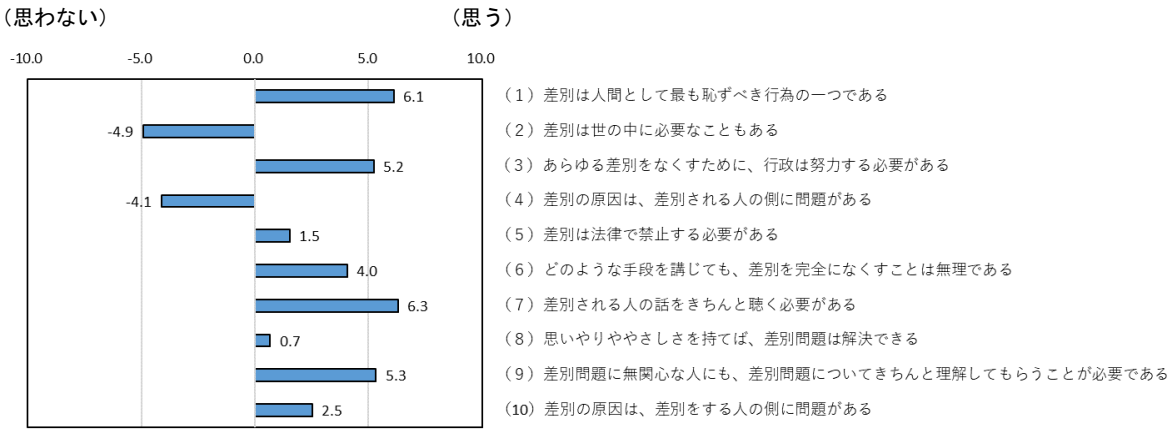
・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が 35.1%（20 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 31.6%（18 人）、「そう思う」が 28.1%（16 人）の順となっている。

・“思う”が 59.6%（34 人）、“思わない”が 5.3%（３人）と“思う”が“思わない”の約 11.3 倍で、その差は 54.3 ポイントとなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 59.6%（34 人）、次いで『木島平村』で 53.6%（52 人）、『山ノ内町』で 47.0%（94 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で 13.5%（27 人）、次いで『木島平村』で 10.3%（10 人）、『中野市』で 9.8%（60 人）の順となっている。

【設問間比較】



・“思わない”について「差別は世の中に必要なこともある」でマイナス 4.9、「差別の原因は、差別される人の側に問題がある」でマイナス 4.1 となっている。一方、“思う”について「差別される人の話をきちんと聴く必要がある」で 6.3 と最も高く、次いで「差別は人間として最も恥ずべき行為の一つである」で 6.1、「差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である」で 5.3 の順となっている。

〈比較の方法〉

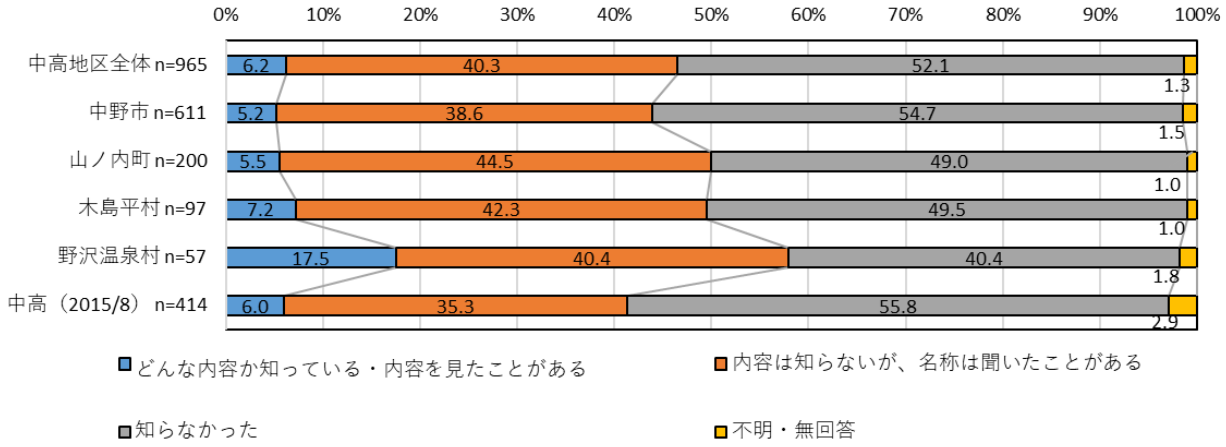
設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

・そう思う…… 10点　　・そう思わない…… －10点
・どちらかといえばそう思う… ５点　　・どちらかといえばそう思わない… －５点
・どちらともいえない…… ０点

問３　あなたは、次の人権に関する法令や宣言等があることをどの程度ご存じですか。次の（１）～（14）のすべてについて、該当する番号に○をしてください。（それぞれ○は１つ）

	1 どんな内容か知っている・内容を見たことがある	2 内容は知らないが、名称は聞いたことがある	3 知らなかった
(1) あなたの住んでいる市町村の人権擁護条例	1	2	3
(2) 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律	1	2	3
(3) 個人情報保護法	1	2	3
(4) 同和対策審議会答申	1	2	3
(5) 世界人権宣言	1	2	3
(6) いじめ防止対策推進法	1	2	3
(7) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)	1	2	3
(8) LGBT理解増進法	1	2	3
(9) アイヌ施策推進法	1	2	3
(10) 障害者差別解消法	1	2	3
(11) ヘイトスピーチ解消法	1	2	3
(12) 部落差別解消推進法	1	2	3
(13) 高齢者の虐待防止法	1	2	3
(14) ハンセン病問題基本法	1	2	3

（１）あなたの住んでいる市町村の人権擁護条例



【中高地区全体】

・あなたの住んでいる市町村の人権擁護条例についてみると、「知らなかった」が 52.1%（503 人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 40.3%（389 人）、「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が 6.2%（60 人）の順となっており、「知らなかった」が５割以上、「どんな内容か知っている」が１割にも満たない。

・前回調査と比較すると、「どんな内容か知っている」が 0.2 ポイント（6.2-6.0）高くなっ

ており、一方「知らなかった」が 3.7 ポイント（52.1-55.8）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「知らなかった」が 54.7%（334 人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 38.6%（236 人）、「どんな内容か知っている」が 5.2%（32 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「知らなかった」が 49.0%（98 人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 44.5%（89 人）、「どんな内容か知っている」が 5.5%（11 人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「知らなかった」が 49.5%（48 人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 42.3%（41 人）、「どんな内容か知っている」が 7.2%（７人）の順となっている。

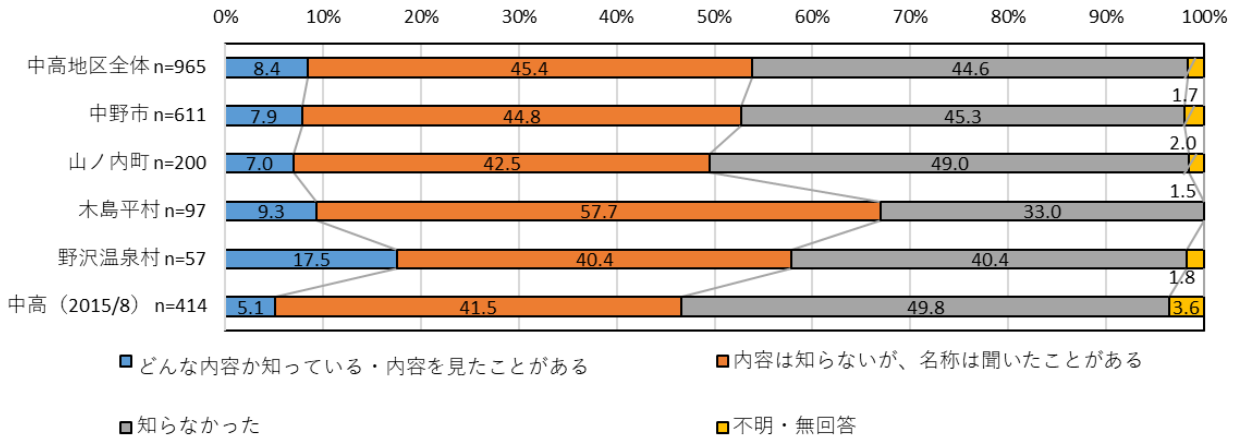
【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「知らなかった」、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が同率で 40.4%（23 人）、次いで「どんな内容か知っている」が 17.5%（10 人）の順となっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『木島平村』で「知らなかった」、『野沢温泉村』で「知らなかった」「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「知らなかった」が最も高いのは『中野市』で 54.7%（334 人）、次いで『木島平村』で 49.5%（48 人）、『山ノ内町』で 49.0%（98 人）の順となっている。一方、「どんな内容か知っている」が最も高いのは『野沢温泉村』で 17.5%（10 人）、次いで『木島平村』で 7.2%（７人）、『山ノ内町』で 5.5%（11 人）の順となっている。

（２）人権教育及び人権啓発の推進に関する法律



【中高地区全体】

・人権教育及び人権啓発の推進に関する法律についてみると、「内容は知らないが、名称は聞

いたことがある」が 45.4%（438 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 44.6%（430 人）、「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が 8.4%（81 人）の順となっており、「知らなかった」が４割以上、「どんな内容か知っている」が１割にも満たない。

・前回調査と比較すると、「どんな内容か知っている」が 3.3 ポイント（8.4-5.1）高くなっており、一方「知らなかった」が 5.2 ポイント（44.6-49.8）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「知らなかった」が 45.3%（277 人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 44.8%（274 人）、「どんな内容か知っている」が 7.9%（48 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「知らなかった」が 49.0%（98 人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 42.5%（85 人）、「どんな内容か知っている」が 7.0%（14 人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 57.7%（56 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 33.0%（32 人）、「どんな内容か知っている」が 9.3%（９人）の順となっている。

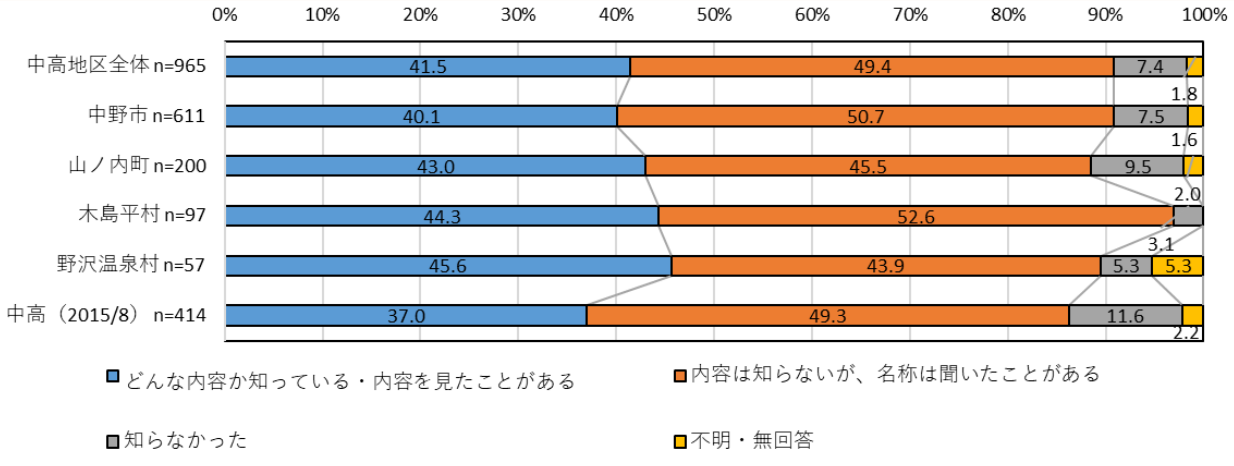
【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「知らなかった」「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が同率で 40.4%（23 人）で、次いで「どんな内容か知っている」が 17.5%（10 人）の順となっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』で「知らなかった」、『木島平村』で「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「知らなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で 49.0%（98 人）、次いで『中野市』で 45.3%（277 人）、『野沢温泉村』で 40.4%（23 人）の順となっている。一方、「どんな内容か知っている」が最も高いのは『野沢温泉村』で 17.5%（10 人）、次いで『木島平村』で 9.3%（９人）、『中野市』で 7.9%（48 人）の順となっている。

（３）個人情報保護法



【中高地区全体】

・個人情報保護法についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 49.4%（477 人）で最も高く、次いで「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が 41.5%（400 人）、「知らなかった」が 7.4%（71 人）の順となっており、「どんな内容か知っている」が４割以上、「知らなかった」が１割にも満たない。

・前回調査と比較すると、「どんな内容か知っている」が 4.5 ポイント（41.5-37.0）高くなっており、一方「知らなかった」が 4.2 ポイント（7.4-11.6）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 50.7%（310 人）で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が 40.1%（245 人）、「知らなかった」が 7.5%（46 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 45.5%（91 人）で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が 43.0%（86 人）、「知らなかった」が 9.5%（19 人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 52.6%（51 人）で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が 44.3%（43 人）、「知らなかった」が 3.1%（３人）の順となっている。

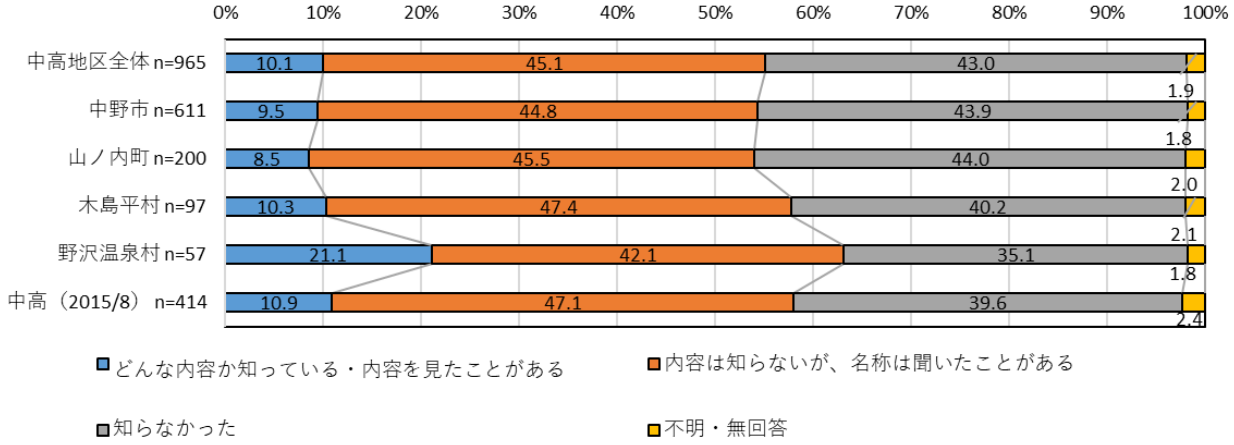
【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「どんな内容か知っている」が 45.6%（26 人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 43.9%（25 人）、「知らなかった」が 5.3%（３人）の順となっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『木島平村』で「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」、『野沢温泉村』で「どんな内容か知っている」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『木島平村』で 52.6%（51 人）、次いで『中野市』で 50.7%（310 人）、『山ノ内町』で 45.5%（91 人）の順となっている。一方、「知らなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で 9.5%（19 人）、次いで『中野市』で 7.5%（46 人）、『野沢温泉村』で 5.3%（３人）の順となっている。

（４）同和対策審議会答申



【中高地区全体】

・同和対策審議会答申についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 45.1%（435 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 43.0%（415 人）、「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が 10.1%（97 人）の順となっており、「知らなかった」が４割以上、「どんな内容か知っている」が１割以上となっている。

・前回調査と比較すると、「どんな内容か知っている」が 0.8 ポイント（10.1-10.9）低くなっており、一方「知らなかった」が 3.4 ポイント（43.0-39.6）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 44.8%（274 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 43.9%（268 人）、「どんな内容か知っている」が 9.5%（58 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 45.5%（91 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 44.0%（88 人）、「どんな内容か知っている」が 8.5%（17 人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 47.4%（46 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 40.2%（39 人）、「どんな内容か知っている」が 10.3%（10 人）の順となっている。

【野沢温泉村】

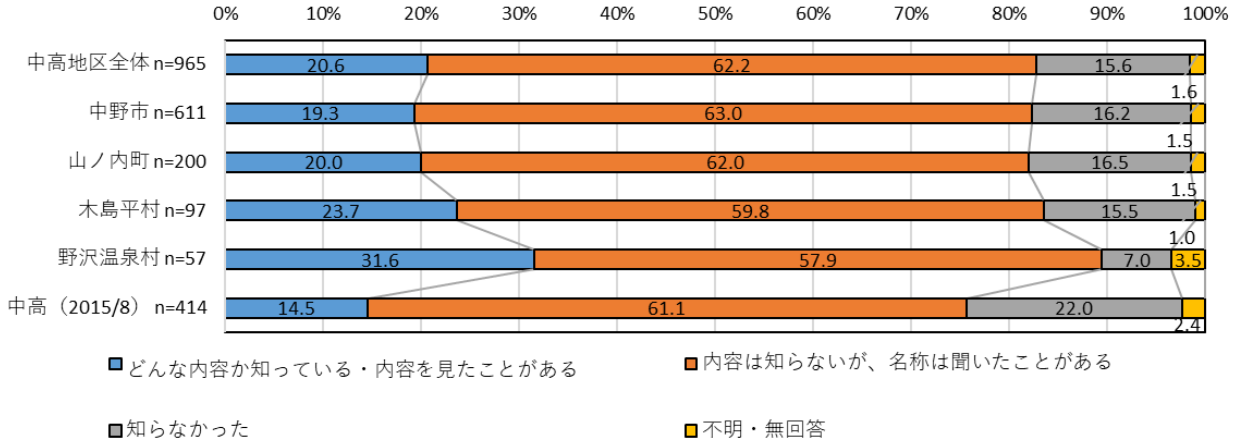
・野沢温泉村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 42.1%（24 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 35.1%（20 人）、「どんな内容か知っている」が 21.1%（12 人）の順となっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『木島平村』で 47.4%（46 人）、次いで『山ノ内町』で 45.5%（91 人）、『中野市』で 44.8%（274

人）の順となっている。一方、「知らなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で 44.0%（88 人）、次いで『中野市』で 43.9%（268 人）、『木島平村』で 40.2%（39 人）の順となっている。

（５）世界人権宣言



【中高地区全体】

・世界人権宣言についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 62.2%（600 人）で最も高く、次いで「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が 20.6%（199 人）、「知らなかった」が 15.6%（151 人）の順となっており、「どんな内容か知っている」が２割以上、「知らなかった」が１割以上となっている。

・前回調査と比較すると、「どんな内容か知っている」が 6.1 ポイント（20.6-14.5）高くなっており、一方「知らなかった」が 6.4 ポイント（15.6-22.0）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 63.0%（385 人）で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が 19.3%（118 人）、「知らなかった」が 16.2%（99 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 62.0%（124 人）で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が 20.0%（40 人）、「知らなかった」が 16.5%（33 人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 59.8%（58 人）で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が 23.7%（23 人）、「知らなかった」が 15.5%（15 人）の順となっている。

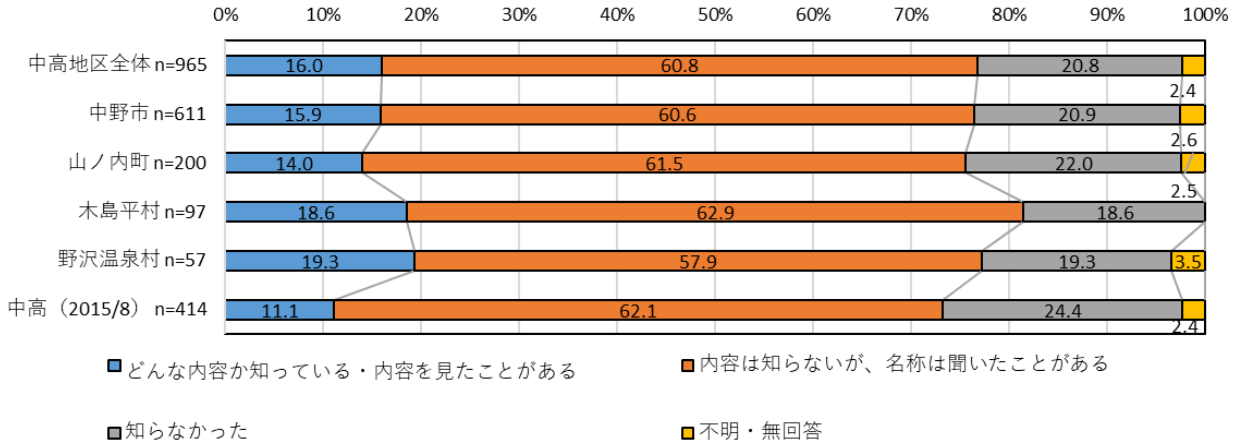
【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 57.9%（33 人）で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が 31.6%（18 人）、「知らなかった」が 7.0%（４人）の順となっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『中野市』で 63.0%（385 人）、次いで『山ノ内町』で 62.0%（124 人）、『木島平村』で 59.8%（58 人）の順となっている。一方、「知らなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で 16.5%（33 人）、次いで『中野市』で 16.2%（99 人）、『木島平村』で 15.5%（15 人）の順となっている。

（６）いじめ防止対策推進法



【中高地区全体】

・いじめ防止対策推進法についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 60.8%（587 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 20.8%（201 人）、「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が 16.0%（154 人）の順となっており、「知らなかった」が２割以上、「どんな内容か知っている」が１割以上となっている。

・前回調査と比較すると、「どんな内容か知っている」が 5.9 ポイント（16.0-11.1）高くなっており、一方「知らなかった」が 3.6 ポイント（20.8-24.4）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 60.6%（370 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 20.9%（128 人）、「どんな内容か知っている」が 15.9%（97 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 61.5%（123 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 22.0%（44 人）、「どんな内容か知っている」が 14.0%（28 人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 62.9%（61 人）で最も高く、次いで「知らなかった」「どんな内容か知っている」が同率で 18.6%（18 人）の順となっている。

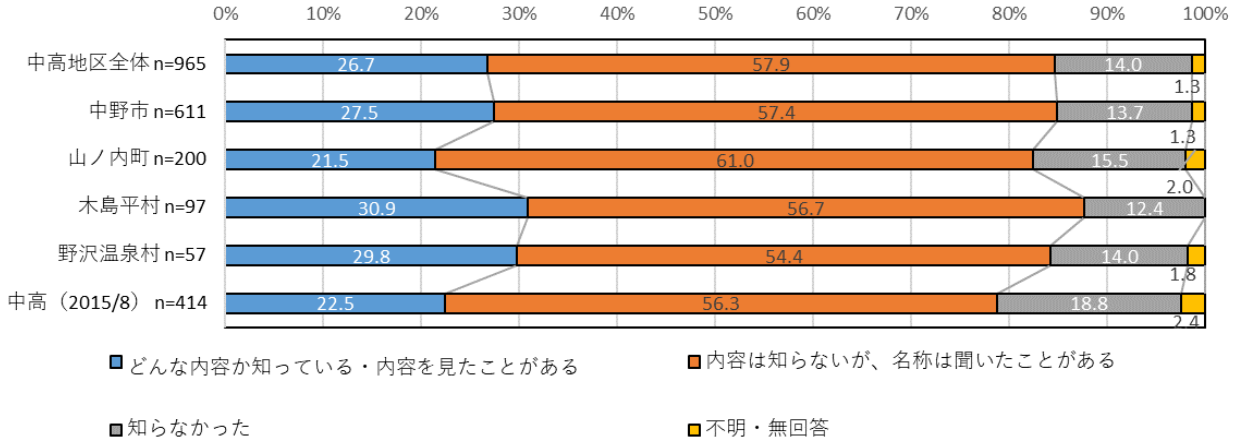
【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 57.9%（33 人）で最も高く、次いで「知らなかった」「どんな内容か知っている」が同率で 19.3%（11 人）の順となっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『木島平村』で 62.9%（61 人）、次いで『山ノ内町』で 61.5%（123 人）、『中野市』で 60.6%（370 人）の順となっている。一方、「知らなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で 22.0%（44 人）、次いで『中野市』で 20.9%（128 人）、『野沢温泉村』で 19.3%（11 人）の順となっている。

（７）配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（ＤＶ防止法）



【中高地区全体】

・配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（ＤＶ防止法）についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 57.9%（559 人）で最も高く、次いで「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が 26.7%（258 人）、「知らなかった」が 14.0%（135 人）の順となっており、「どんな内容か知っている」が２割以上、「知らなかった」が１割以上となっている。

・前回調査と比較すると、「どんな内容か知っている」が 4.2 ポイント（26.7-22.5）高くなっており、一方「知らなかった」が 4.8 ポイント（14.0-18.8）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 57.4%（351 人）で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が 27.5%（168 人）、「知らなかった」が 13.7%（84 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 61.0%（122 人）で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が 21.5%（43 人）、「知らなかった」が

15.5%（31 人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 56.7%（55 人）で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が 30.9%（30 人）、「知らなかった」が 12.4%（12 人）の順となっている。

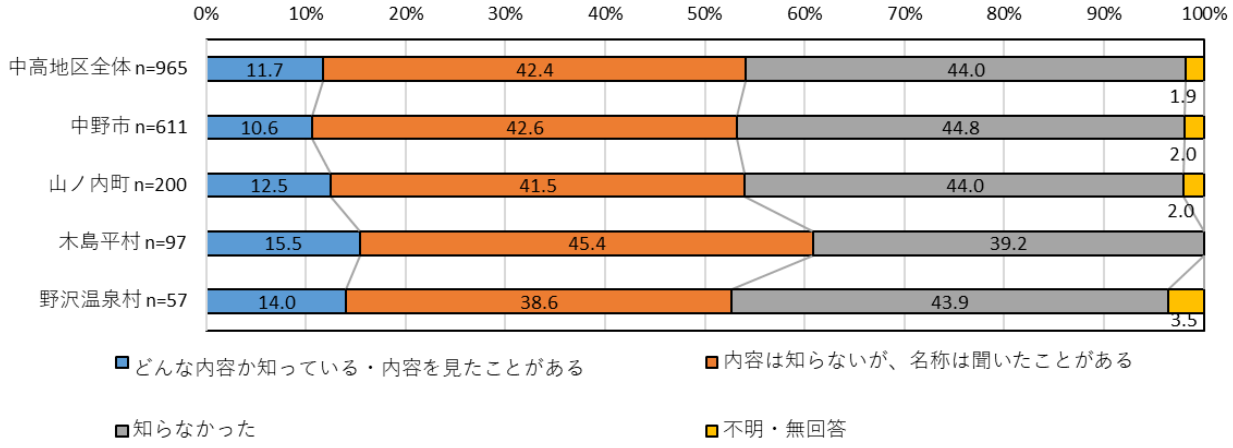
【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 54.4%（31 人）で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が 29.8%（17 人）、「知らなかった」が 14.0%（８人）の順となっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『山ノ内町』で 61.0%（122 人）、次いで『中野市』で 57.4%（351 人）、『木島平村』で 56.7%（55 人）の順となっている。一方、「知らなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で 15.5%（31 人）、次いで『野沢温泉村』で 14.0%（８人）、『中野市』で 13.7%（84 人）の順となっている。

（８）ＬＧＢＴ理解増進法



【中高地区全体】

・ＬＧＢＴ理解増進法についてみると、「知らなかった」が 44.0%（425 人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 42.4%（409 人）、「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が 11.7%（113 人）、の順となっており、「どんな内容か知っている」が１割以上、「知らなかった」が４割以上となっている。

【中野市】

・中野市においては、「知らなかった」が 44.8%（274 人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 42.6%（260 人）、「どんな内容か知っている」が 10.6%（65 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「知らなかった」が 44.0%（88 人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 41.5%（83 人）、「どんな内容か知っている」が 12.5%（25 人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 45.4%（44 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 39.2%（38 人）、「どんな内容か知っている」が 15.5%（15 人）の順となっている。

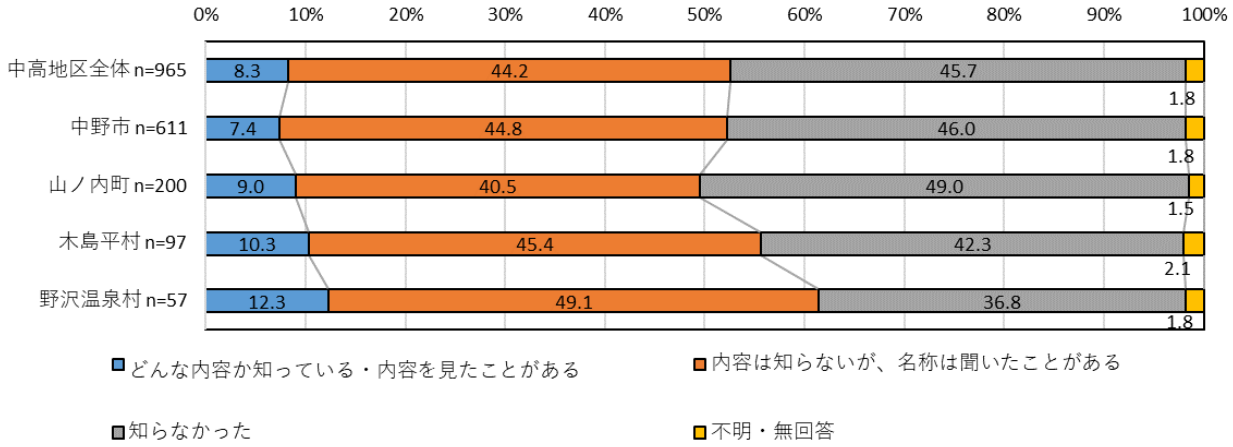
【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「知らなかった」が 43.9%（25 人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 38.6%（22 人）、「どんな内容か知っている」が 14.0%（８人）の順となっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『野沢温泉村』で「知らなかった」、『木島平村』で「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「知らなかった」が最も高いのは『中野市』で 44.8%（274 人）、次いで『山ノ内町』で 44.0%（88 人）、『野沢温泉村』で 43.9%（25 人）の順となっている。一方、「どんな内容か知っている」が最も高いのは『木島平村』で 15.5%（15 人）、次いで『野沢温泉村』で 14.0%（８人）、『山ノ内町』で 12.5%（25 人）の順となっている。

（９）アイヌ施策推進法



【中高地区全体】

・アイヌ施策推進法についてみると、「知らなかった」が 45.7%（441 人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 44.2%（427 人）、「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が 8.3%（80 人）の順となっており、「知らなかった」が４割以上、「どんな内容か知っている」が１割にも満たない。

【中野市】

・中野市においては、「知らなかった」が 46.0%（281 人）で最も高く、次いで「内容は知ら

ないが、名称は聞いたことがある」が 44.8%（274 人）、「どんな内容か知っている」が 7.4%（45 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「知らなかった」が 49.0%（98 人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 40.5%（81 人）、「どんな内容か知っている」が 9.0%（18 人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 45.4%（44 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 42.3%（41 人）、「どんな内容か知っている」が 10.3%（10 人）の順となっている。

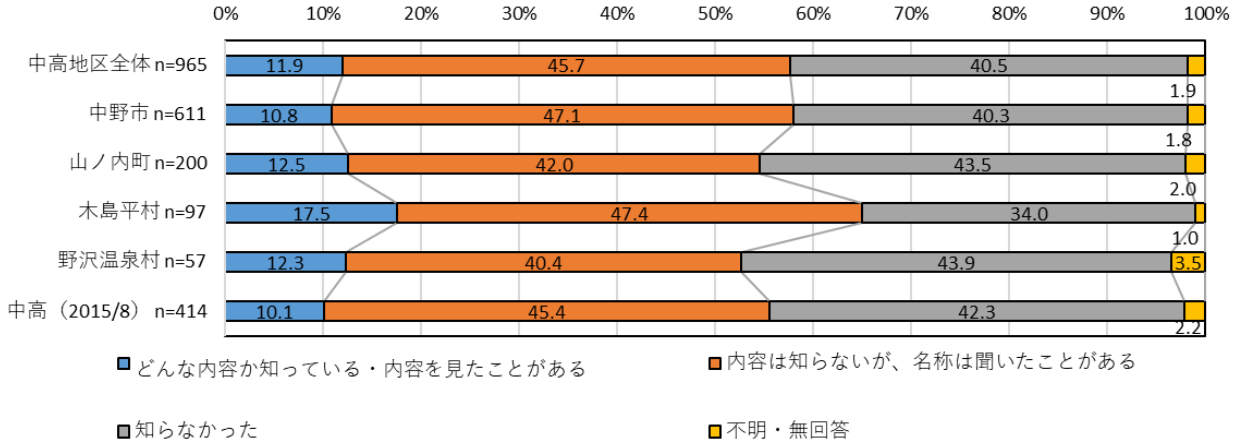
【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 49.1%（28 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 36.8%（21 人）、「どんな内容か知っている」が 12.3%（７人）の順となっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』で「知らなかった」、『木島平村』『野沢温泉村』で「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「知らなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で 49.0%（98 人）、次いで『中野市』で 46.0%（281 人）、『木島平村』で 42.3%（41 人）の順となっている。一方、「どんな内容か知っている」が最も高いのは『野沢温泉村』で 12.3%（７人）、次いで『木島平村』で 10.3%（10 人）、『山ノ内町』で 9.0%（18 人）の順となっている。

（10）障害者差別解消法



【中高地区全体】

・障害者差別解消法についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 45.7%（441 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 40.5%（391 人）、「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が 11.9%（115 人）の順となっており、「知らなかった」が４割以上、「どんな内容か知っている」が１割以上となっている。

・前回調査と比較すると、「どんな内容か知っている」が 1.8 ポイント（11.9-10.1）高くなっており、一方「知らなかった」が 1.8 ポイント（40.5-42.3）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 47.1%（288 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 40.3%（246 人）、「どんな内容か知っている」が 10.8%（66 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「知らなかった」が 43.5%（87 人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 42.0%（84 人）、「どんな内容か知っている」が 12.5%（25 人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 47.4%（46 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 34.0%（33 人）、「どんな内容か知っている」が 17.5%（17 人）の順となっている。

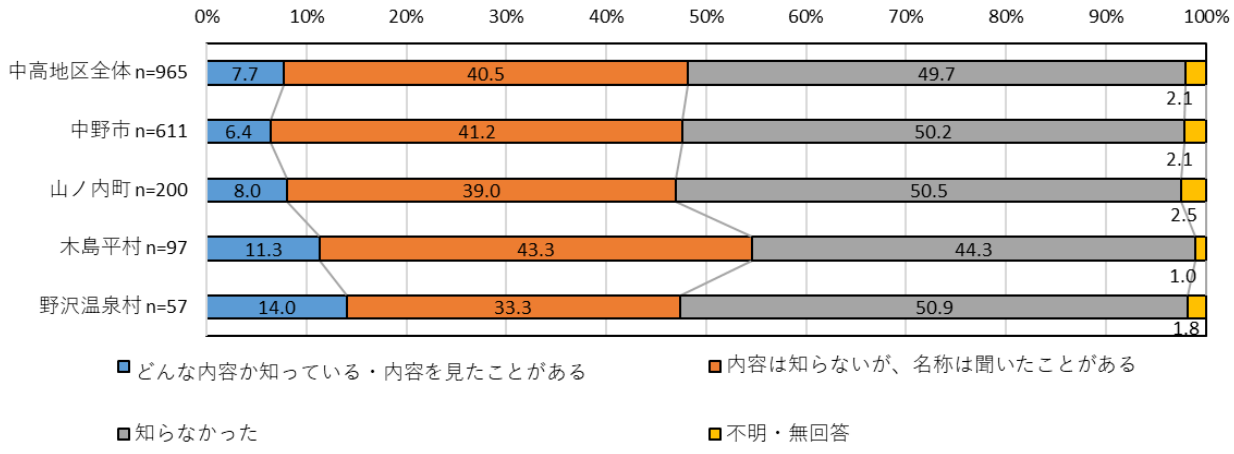
【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「知らなかった」が 43.9%（25 人）で最も高く、次いでが「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」40.4%（23 人）、「どんな内容か知っている」が 12.3%（７人）の順となっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、『中野市』『木島平村』で「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」、『山ノ内町』『野沢温泉村』で「知らなかった」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『木島平村』で 47.4%（46 人）、次いで『中野市』で 47.1%（288 人）、『山ノ内町』で 42.0%（84 人）の順となっている。一方、「どんな内容か知っている」が最も高いのは『木島平村』で 17.5%（17 人）、次いで『山ノ内町』で 12.5%（25 人）、『野沢温泉村』で 12.3%（７人）の順となっている。

（11）ヘイトスピーチ解消法



【中高地区全体】

・ヘイトスピーチ解消法についてみると、「知らなかった」が 49.7%（480 人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 40.5%（391 人）、「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が 7.7%（74 人）の順となっており、「知らなかった」が４割以上、「どんな内容か知っている」が１割にも満たない。

【中野市】

・中野市においては、「知らなかった」が 50.2%（307 人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 41.2%（252 人）、「どんな内容か知っている」が 6.4%（39 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「知らなかった」が 50.5%（101 人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 39.0%（78 人）、「どんな内容か知っている」が 8.0%（16 人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「知らなかった」が 44.3%（43 人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 43.3%（42 人）、「どんな内容か知っている」が 11.3%（11 人）の順となっている。

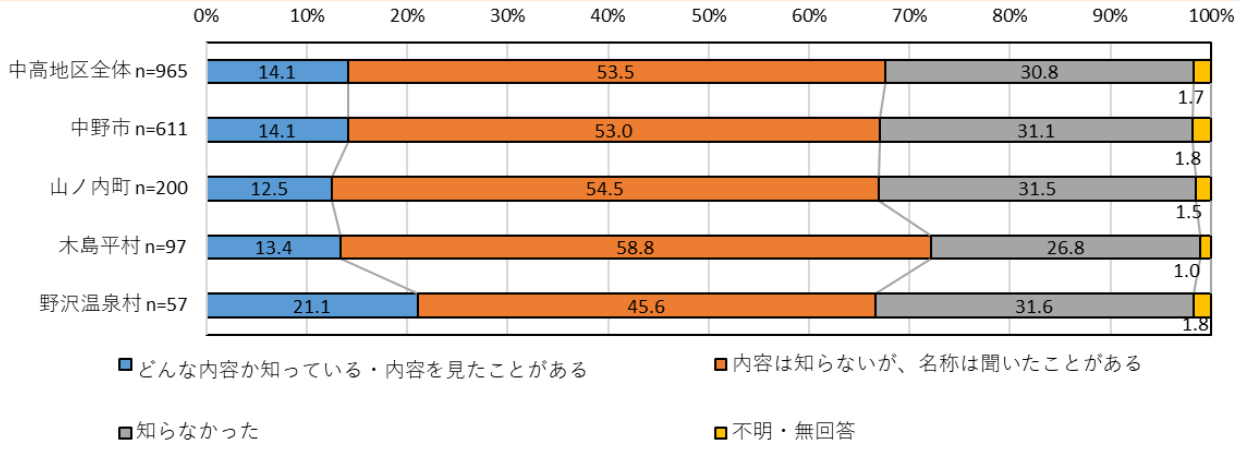
【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「知らなかった」が 50.9%（29 人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 33.3%（19 人）、「どんな内容か知っている」が 14.0%（８人）の順となっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も「知らなかった」が高くなっており、「知らなかった」が最も高いのは『野沢温泉村』で 50.9%（29 人）、次いで『山ノ内町』で 50.5%（101 人）、『中野市』で 50.2%（307 人）の順となっている。一方、「知っている」が最も高いのは『野沢温泉村』で 14.0%（８人）、次いで『木島平村』で 11.3%（11 人）、『山ノ内町』で 8.0%（16 人）の順となっている。

（12）部落差別解消推進法



【中高地区全体】

・部落差別解消推進法についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 53.5%（516 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 30.8%（297 人）、「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が 14.1%（136 人）の順となっており、「知らなかった」が３割以上、「どんな内容か知っている」は１割以上となっている。

【中野市】

・中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 53.0%（324 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 31.1%（190 人）、「どんな内容か知っている」が 14.1%（86 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 54.5%（109 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 31.5%（63 人）、「どんな内容か知っている」が 12.5%（25 人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 58.8%（57 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 26.8%（26 人）、「どんな内容か知っている」が 13.4%（13 人）の順となっている。

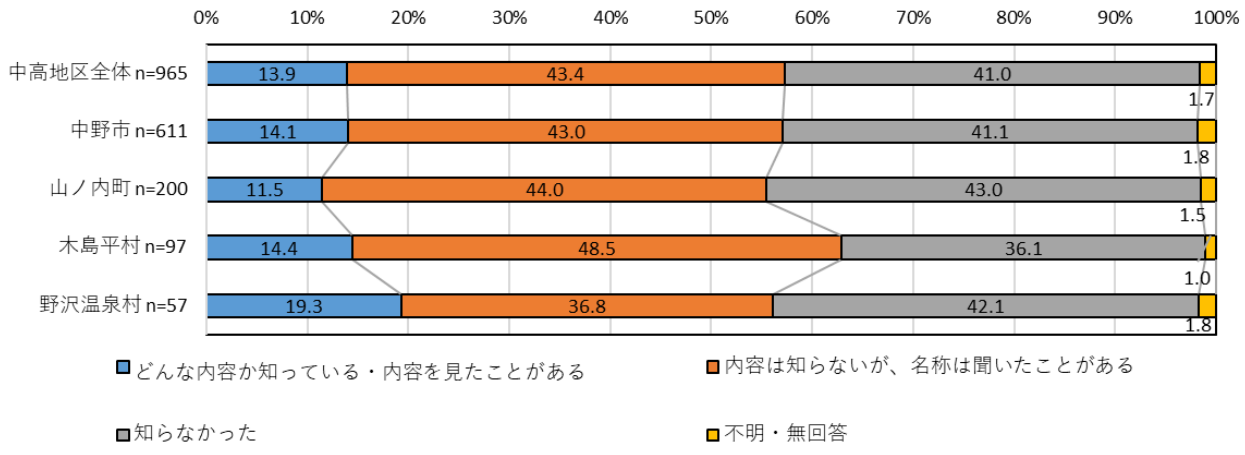
【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 45.6%（26 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 31.6%（18 人）、「どんな内容か知っている」が 21.1%（12 人）の順となっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『木島平村』で 58.8%（57 人）、次いで『山ノ内町』で 54.5%（109 人）、『中野市』で 53.0%（324 人）の順となっている。一方、「知らなかった」が最も高いのは『野沢温泉村』で 31.6%（18 人）、次いで『山ノ内町』で 31.5%（63 人）、『中野市』で 31.1%（190 人）の順となっている。

（13）高齢者の虐待防止法



【中高地区全体】

・高齢者の虐待防止法についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 43.4%（419 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 41.0%（396 人）、「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が 13.9%（134 人）の順となっており、「知らなかった」が４割以上、「どんな内容か知っている」が１割以上となっている。

【中野市】

・中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 43.0%（263 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 41.1%（251 人）、「どんな内容か知っている」が 14.1%（86 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 44.0%（88 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 43.0%（86 人）、「どんな内容か知っている」が 11.5%（23 人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 48.5%（47 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 36.1%（35 人）、「どんな内容か知っている」が 14.4%（14 人）の順となっている。

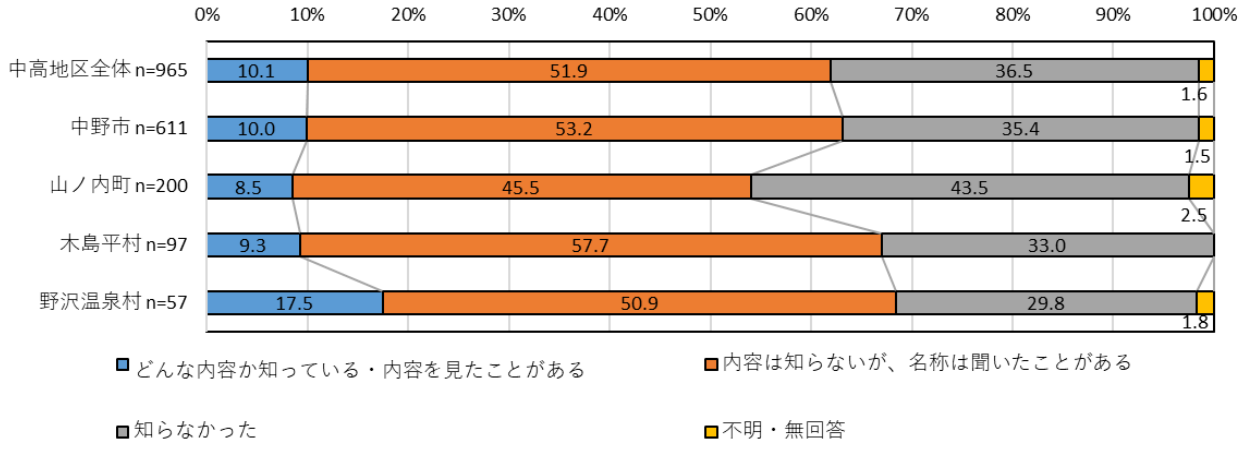
【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「知らなかった」が 42.1%（24 人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 36.8%（21 人）、「どんな内容か知っている」が 19.3%（11 人）の順となっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『木島平村』で「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」、『野沢温泉村』で「知らなかった」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『木島平村』で 48.5%（47 人）、次いで『山ノ内町』で 44.0%（88 人）、『中野市』で 43.0%（263 人）の順となっている。一方、「どんな内容か知っている」が最も高いのは『野沢温泉村』で 19.3%（11 人）、次いで『木島平村』で 14.4%（14 人）、『中野市』で 14.1%（86 人）の順となっている。

（14）ハンセン病問題基本法



【中高地区全体】

・ハンセン病問題基本法についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 51.9%（501 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 36.5%（352 人）、「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が 10.1%（97 人）の順となっており、「知らなかった」が３割以上、「どんな内容か知っている」が１割以上となっている。

【中野市】

・中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 53.2%（325 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 35.4%（216 人）、「どんな内容か知っている」が 10.0%（61 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 45.5%（91 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 43.5%（87 人）、「どんな内容か知っている」が 8.5%（17 人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 57.7%（56 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 33.0%（32 人）、「どんな内容か知っている」が 9.3%（９人）の順となっている。

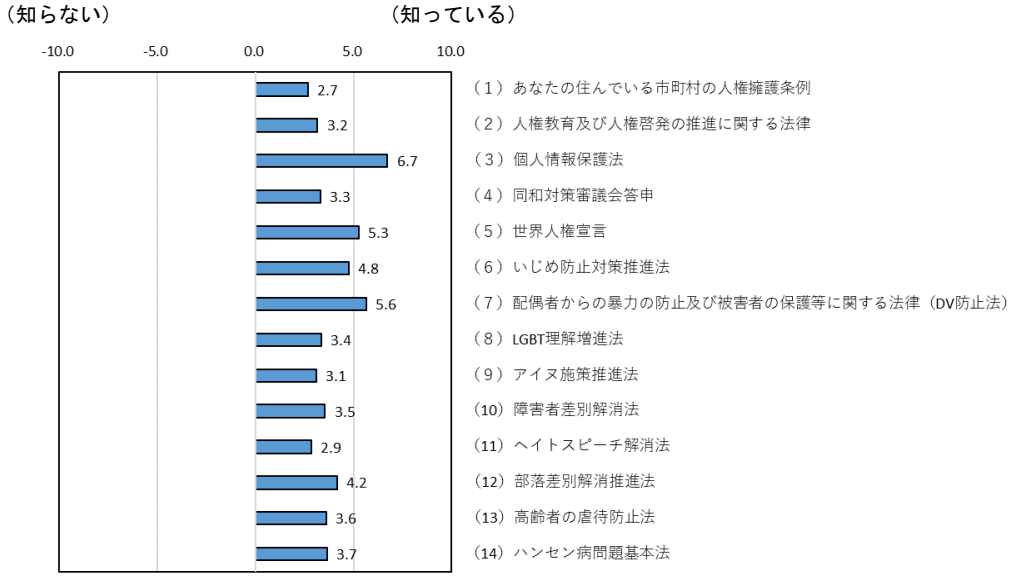
【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 50.9%（29 人）で最も高く、次いで「知らなかった」が 29.8%（17 人）、「どんな内容か知っている」が 17.5%（10 人）の順となっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『木島平村』で 57.7%（56 人）、次いで『野沢温泉村』で 50.9%（29 人）、『中野市』で 53.2%（325 人）の順となっている。一方、「知らなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で 43.5%（87 人）、次いで『中野市』で 35.4%（216 人）、『木島平村』で 33.0%（32 人）の順となっている。

【設問間比較】



・“知っている”について「個人情報保護法」で 6.7 と最も高く、次いで「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（ＤＶ防止法）」で 5.6、「世界人権宣言」で 5.3 の順となっている。

〈比較の方法〉

設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

・どんな内容か知っている・内容を見たことがある…… 10点

・内容は知らないが、名称は聞いたことがある…… ５点

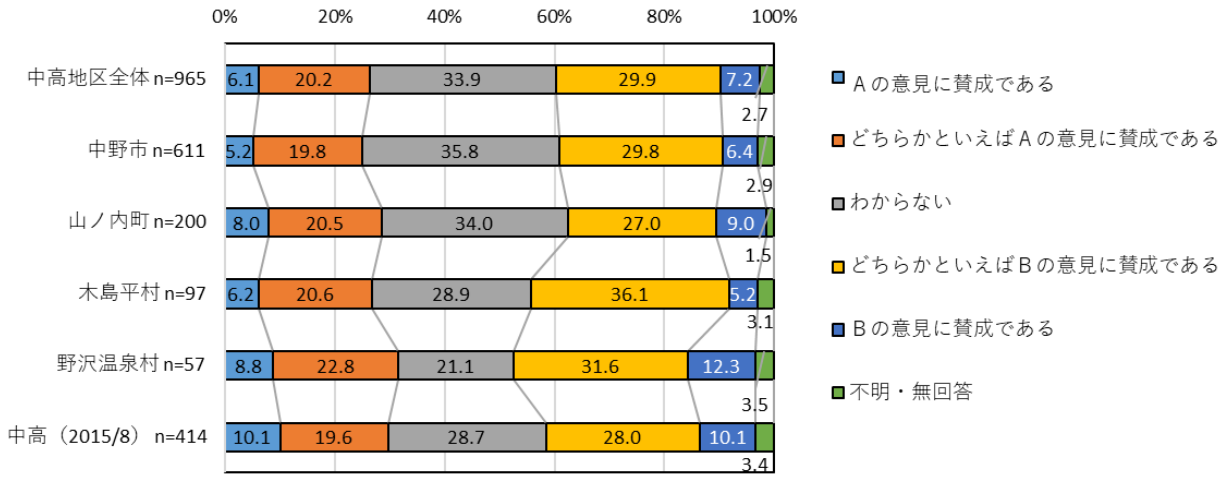
・知らなかった…… －10点

問４　差別について、Ａ、Ｂ二人の意見が次のように分かれました。

Aの意見：今日では差別は許されない状況にあり、差別をする人がやがて孤立してしまう。
Bの意見：世間ではまだまだ差別が残っており、差別をなくそうとする人が孤立してしまう。

→あなたは次のＡとＢのどちらの意見に近いですか。（○は１つ）

1　Aの意見に賛成である
2　どちらかといえばAの意見に賛成である
3　わからない
4　どちらかといえばBの意見に賛成である
5　Bの意見に賛成である



【中高地区全体】

・差別に関する相対する意見への近さについてみると、「わからない」が 33.9%（327 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばＢの意見に賛成である」が 29.9%（289 人）、「どちらかといえばＡの意見に賛成である」が 20.2%（195 人）の順となっている。

・“Ａへの賛成意見”（「Ａの意見に賛成である」+「どちらかといえばＡの意見に賛成である」）が 26.3%（254 人）、“Ｂの意見への賛成意見”（「Ｂの意見に賛成である」+「どちらかといえばＢの意見に賛成である」）が 37.1%（358 人）となっており、“Ｂへの賛成意見”が 10.8 ポイント高くなっている。

・前回調査と比較すると、“Ａへの賛成意見”が 3.4 ポイント（26.3-29.7）低くなっており、一方“Ｂへの賛成意見”も 1.7 ポイント（37.1-38.8）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「わからない」が 35.8%（219 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばＢの意見に賛成である」が 29.8%（182 人）、「どちらかといえばＡの意見に賛成である」が 19.8%（121 人）の順となっている。

・“Ａへの賛成意見”が 25.0%（153 人）、“Ｂへの賛成意見”が 36.2%（221 人）となっており、“Ｂへの賛成意見”が 11.2 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「わからない」が 34.0%（68 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばＢの意見に賛成である」が 27.0%（54 人）、「どちらかといえばＡの意見に賛成である」が 20.5%（41 人）の順となっている。

・“Ａへの賛成意見”が 28.5%（57 人）、“Ｂへの賛成意見”が 36.0%（72 人）となっており、“Ｂへの賛成意見”が 7.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらかといえばＢの意見に賛成である」が 36.1%（35 人）で最も高く、次いで「わからない」が 28.9%（28 人）、「どちらかといえばＡの意見に賛成である」が 20.6%（20 人）の順となっている。

・“Ａへの賛成意見”が 26.8%（26 人）、“Ｂへの賛成意見”が 41.2%（40 人）となっており、

“Ｂへの賛成意見”が 14.4 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「どちらかといえばＢの意見に賛成である」が 31.6％（18 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばＡの意見に賛成である」が 22.8％（13 人）、「わからない」が 21.1％（12 人）の順となっている。

・“Ａへの賛成意見”が 31.6％（18 人）、“Ｂへの賛成意見”が 43.9％（25 人）となっており、“Ｂへの賛成意見”が 12.3%ポイント高くなっている。

【市町村比較】

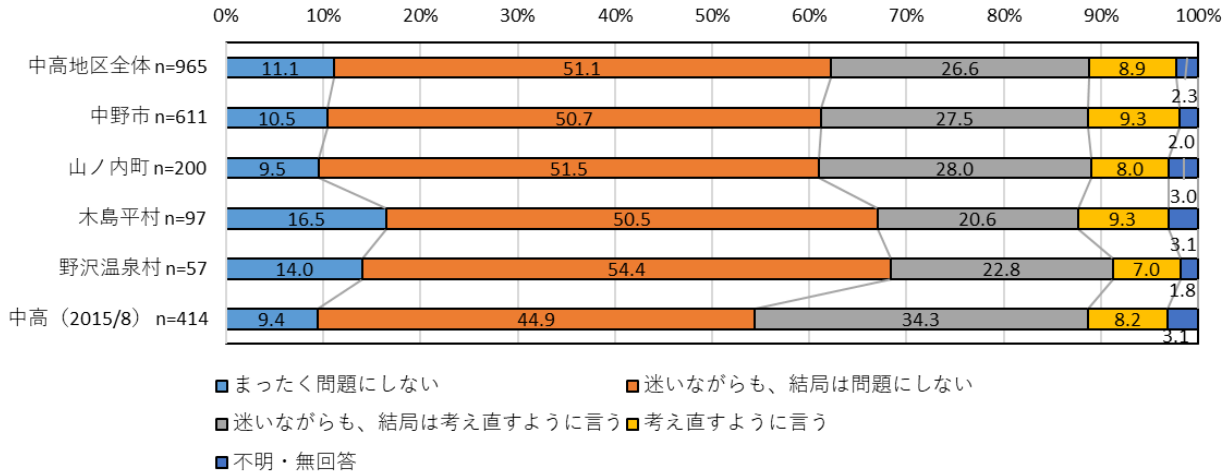
・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“Ｂへの賛成意見”が高くなっており、“Ｂへの賛成意見”が最も高いのは『野沢温泉村』で 43.9％（25 人）、次いで『木島平村』で 41.2％（40 人）、『中野市』で 36.2％（221 人）の順となっている。一方、“Ａへの賛成意見”が最も高いのは『野沢温泉村』で 31.6％（18 人）、次いで『山ノ内町』で 28.5％（57 人）、『木島平村』で 26.8％（26 人）の順となっている。

Ｂ　人権問題に対する様々な課題について

問５　あなたのお子さんが恋愛をし、結婚を考えている相手またはパートナーとして考えている相手が次の人であれば、あなたはどのような態度をとると思いますか。次の（１）～（６）のすべてについて、あてはまる番号に○をしてください（お子さんがいない場合は、いると仮定してお答えください）。（それぞれに○は１つ）

	1 まったく問題にしない	2 迷いながらも、結局は問題にしない	3 迷いながらも、結局は考え直すように言う	4 考え直すように言う
（1）障がい者	1	2	3	4
（2）外国人	1	2	3	4
（3）同和地区出身者	1	2	3	4
（4）ハンセン病回復者の家族	1	2	3	4
（5）HIV陽性者	1	2	3	4
（6）LGBTQ等の性的少数者	1	2	3	4

（１）障がい者



【中高地区全体】

・障がい者についてみると、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 51.1%（493 人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 26.6%（257 人）、「まったく問題にしない」が 11.1%（107 人）の順となっている。

・“問題にしない”（「まったく問題にしない」+「迷いながらも、結局は問題にしない」）が 62.2%（600 人）、“考え直す”（「迷いながらも、結局は考え直すように言う」+「考え直すように言う」）が 35.5%（343 人）となっており、“問題にしない”が６割以上となっている。

・前回調査と比較すると、“問題にしない”が 7.9 ポイント（62.2-54.3）高くなっており、一方“考え直す”が 7.0 ポイント（35.5-42.5）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 50.7%（310 人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 27.5%（168 人）、「まったく問題

にしない」が 10.5%（64 人）の順となっている。

・“問題にしない”が 61.2%（374 人）、“考え直す”が 36.8%（225 人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ 24.4 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 51.5%（103 人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 28.0%（56 人）、「まったく問題にしない」が 9.5%（19 人）の順となっている。

・“問題にしない”が 61.0%（122 人）、“考え直す”が 36.0%（72 人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ 25.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 50.5%（49 人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 20.6%（20 人）、「まったく問題にしない」が 16.5%（16 人）の順となっている。

・“問題にしない”が 67.0%（65 人）、“考え直す”が 29.9%（29 人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ 37.1 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

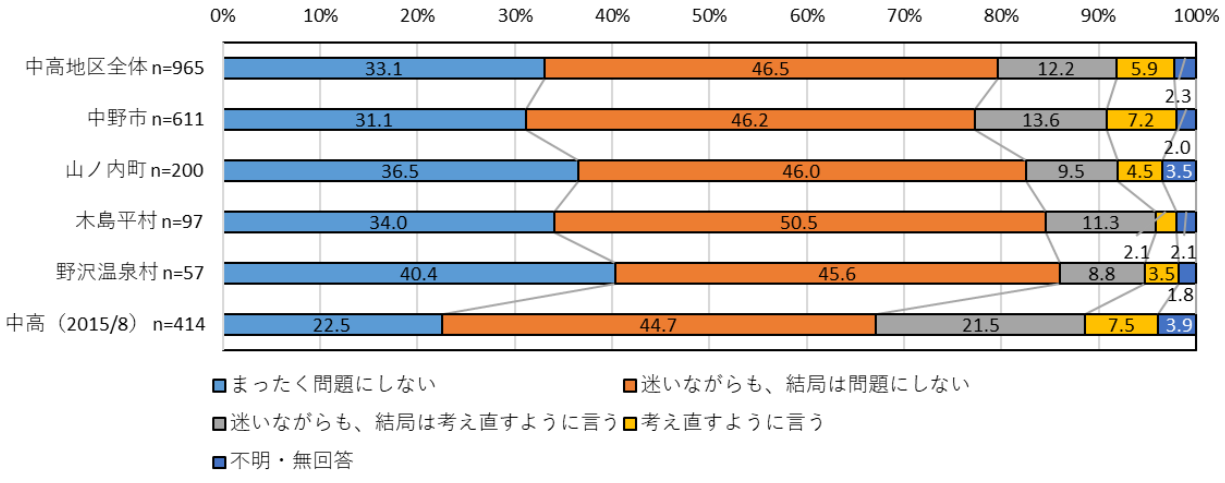
・野沢温泉村においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 54.4%（31 人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 22.8%（13 人）、「まったく問題にしない」が 14.0%（８人）の順となっている。

・“問題にしない”が 68.4%（39 人）、“考え直す”29.8%（17 人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ 38.6 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“問題にしない”が高くなっており、“問題にしない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 68.4%（39 人）、次いで『木島平村』で 67.0%（65 人）、『中野市』で 61.2%（374 人）の順となっている。一方、“考え直す”が最も高いのは『中野市』で 36.8%（225 人）、次いで『山ノ内町』で 36.0%（72 人）、『木島平村』で 29.9%（29 人）の順となっている。

（２）外国人



【中高地区全体】

・外国人についてみると、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 46.5%（449 人）で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が 33.1%（319 人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 12.2%（118 人）の順となっている。

・“問題にしない”（「まったく問題にしない」+「迷いながらも、結局は問題にしない」）が 79.6%（768 人）、“考え直す”（「迷いながらも、結局は考え直すように言う」+「考え直すように言う」）が 18.1%（175 人）となっており、“問題にしない”が７割以上となっている。

・前回調査と比較すると、“問題にしない”が 12.4 ポイント（79.6-67.2）高くなっており、一方“考え直す”が 10.2 ポイント（18.8-29.0）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 46.2%（282 人）で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が 31.1%（190 人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 13.6%（83 人）の順となっている。

・“問題にしない”が 77.3%（472 人）、“考え直す”が 20.8%（127 人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ 56.5 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 46.0%（92 人）で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が 36.5%（73 人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 9.5%（19 人）の順となっている。

・“問題にしない”が 82.5%（165 人）、“考え直す”が 14.0%（28 人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ 68.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 50.5%（49 人）で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が 34.0%（33 人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 11.3%（11 人）の順となっている。

・“問題にしない”が 84.5%（82 人）、“考え直す”が 13.4%（13 人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ 71.1 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 45.6%（26 人）で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が 40.4%（23 人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 8.8%（５人）の順となっている。

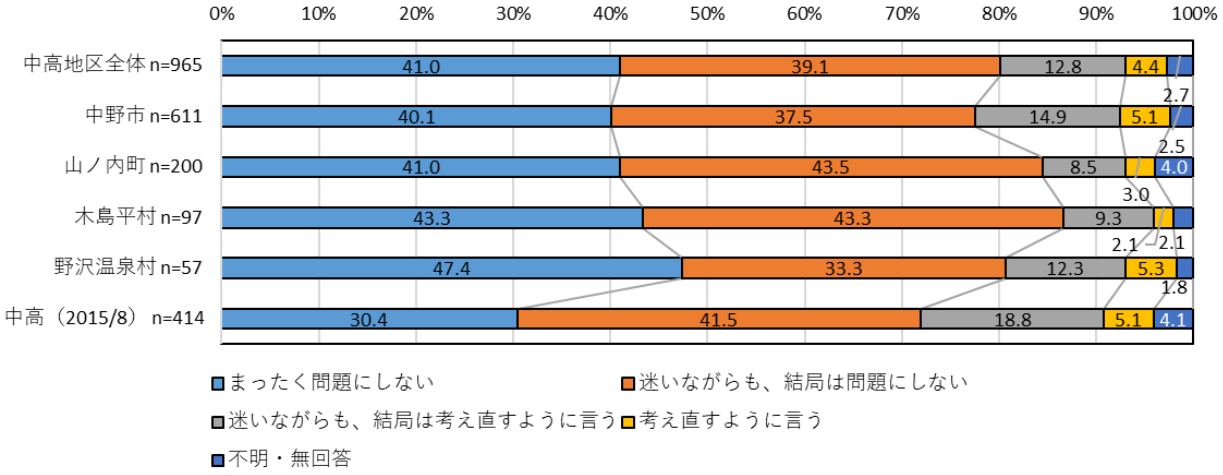
・“問題にしない”が 86.0%（49 人）、“考え直す”が 12.3%（７人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ 73.7 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“問題にしない”が高くなっており、“問題にしない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 86.0%（49 人）、次いで『木島平村』で 84.5%（82 人）、『山ノ内町』で 82.5%（165 人）の順となっている。一方、“考え直す”が最も高いのは『中野市』で 20.8%（127 人）、次いで『山ノ内町』で 14.0%（28 人）、『木島平村』で

13.4%（13 人）の順となっている。

（３）同和地区出身者



【中高地区全体】

・同和地区出身者についてみると、「まったく問題にしない」が 41.0%（396 人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は問題にしない」が 39.1%（377 人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 12.8%（124 人）の順となっている。

・“問題にしない”（「まったく問題にしない」+「迷いながらも、結局は問題にしない」）が 80.1%（773 人）、“考え直す”（「迷いながらも、結局は考え直すように言う」+「考え直すように言う」）が 17.2%（166 人）となっており、“問題にしない”が８割以上となっている。

・前回調査と比較すると、“問題にしない”が 8.2 ポイント（80.1-71.9）高くなっており、一方“考え直す”が 6.7 ポイント（17.2-23.9）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「まったく問題にしない」が 40.1%（245 人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は問題にしない」が 37.5%（229 人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 14.9%（91 人）の順となっている。

・“問題にしない”が 77.6%（474 人）、“考え直す”が 20.0%（122 人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ 57.6 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 43.5%（87 人）で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が 41.0%（82 人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 8.5%（17 人）の順となっている。

・“問題にしない”が 84.5%（169 人）、“考え直す”が 11.5%（23 人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ 73.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「まったく問題にしない」「迷いながらも、結局は問題にしない」が同率で 43.3%（42 人）で、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 9.3%（９

人）の順となっている。

・“問題にしない”が 86.6%（84 人）、“考え直す”が 11.3%（11 人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ 75.3 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

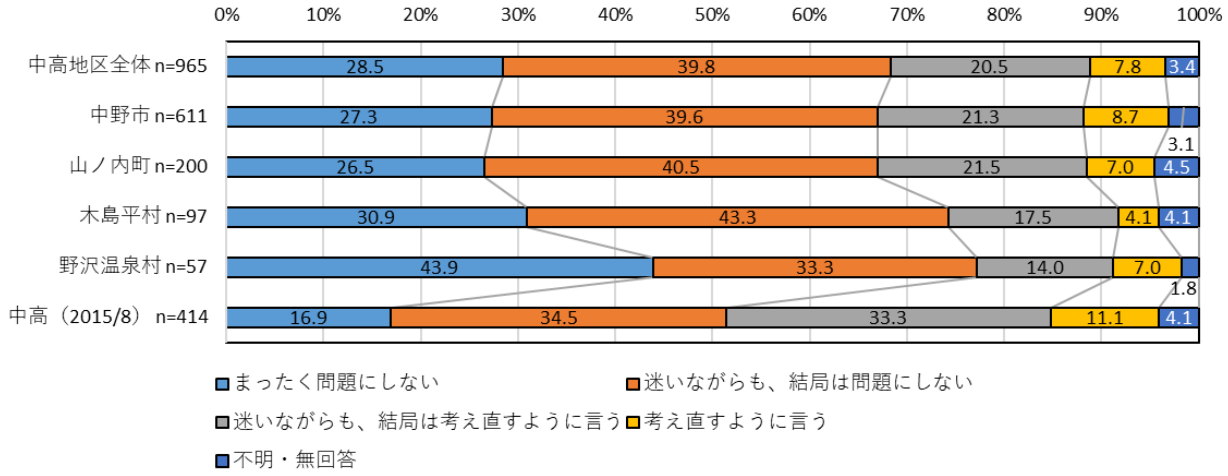
・野沢温泉村においては、「まったく問題にしない」が 47.4%（27 人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は問題にしない」が 33.3%（19 人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 12.3%（７人）の順となっている。

・“問題にしない”が 80.7%（46 人）、“考え直す”が 17.5%（10 人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ 63.2 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“問題にしない”が高くなっており、“問題にしない”が最も高いのは『木島平村』で 86.6%（84 人）、次いで『山ノ内町』で 84.5%（169 人）、『野沢温泉村』で 80.7%（46 人）の順となっている。一方、“考え直す”が最も高いのは『中野市』で 20.0%（122 人）、次いで『野沢温泉村』で 17.5%（10 人）、『山ノ内町』で 11.5%（23 人）の順となっている。

（４）ハンセン病回復者の家族



【中高地区全体】

・ハンセン病回復者の家族についてみると、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 39.8%（384 人）で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が 28.5%（275 人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 20.5%（198 人）の順となっている。

・“問題にしない”（「まったく問題にしない」+「迷いながらも、結局は問題にしない」）が 68.3%（659 人）、“考え直す”（「迷いながらも、結局は考え直すように言う」+「考え直すように言う」）が 28.3%（273 人）となっており、“問題にしない”が６割以上となっている。

・前回調査と比較すると、“問題にしない”が 16.9 ポイント（68.3-51.4）高くなっており、一方“考え直す”が 16.1 ポイント（28.3-44.4）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 39.6%（242 人）で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が 27.3%（167 人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 21.3%（130 人）の順となっている。

・“問題にしない”が 66.9%（409 人）、“考え直す”が 30.0%（183 人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ 36.9 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 40.5%（81 人）で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が 26.5%（53 人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 21.5%（43 人）の順となっている。

・“問題にしない”が 67.0%（134 人）、“考え直す”が 28.5%（57 人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ 38.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 43.3%（42 人）で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が 30.9%（30 人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 17.5%（17 人）の順となっている。

・“問題にしない”が 74.2%（72 人）、“考え直す”が 21.6%（21 人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ 52.6 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

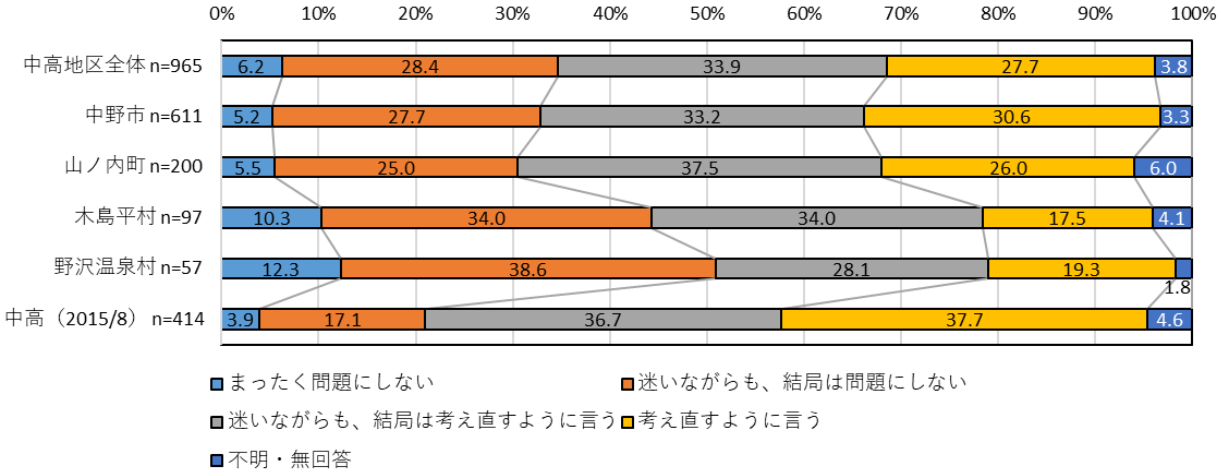
・野沢温泉村においては、「まったく問題にしない」が 43.9%（25 人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は問題にしない」が 33.3%（19 人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 14.0%（８人）の順となっている。

・“問題にしない”が 77.2%（44 人）、“考え直す”が 21.1%（12 人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ 56.1 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“問題にしない”が高くなっており、“問題にしない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 77.2%（44 人）、次いで『木島平村』で 74.2%（72 人）、『山ノ内町』で 67.0%（134 人）の順となっている。一方、“考え直す”が最も高いのは『中野市』で 30.0%（183 人）、次いで『山ノ内町』で 28.5%（57 人）、『木島平村』で 21.6%（21 人）の順となっている。

（５）ＨＩＶ陽性者



【中高地区全体】

・ＨＩＶ陽性者についてみると、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 33.9%（327 人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は問題にしない」が 28.4%（274 人）、「考え直すように言う」が 27.7%（267 人）の順となっている。

・“問題にしない”（「まったく問題にしない」+「迷いながらも、結局は問題にしない」）が 34.6%（334 人）、“考え直す”（「迷いながらも、結局は考え直すように言う」+「考え直すように言う」）が 61.6%（594 人）となっており、“考え直す”が６割以上となっている。

・前回調査と比較すると、“問題にしない”が 32.5 ポイント（34.6-21.0）高くなっており、一方“考え直す”が 12.8 ポイント（61.6-74.4）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 33.2%（203 人）で最も高く、次いで「考え直すように言う」が 30.6%（187 人）、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 27.7%（169 人）、の順となっている。

・“問題にしない”が 32.9%（201 人）、“考え直す”が 63.8%（390 人）と“問題にしない”が“考え直す”の差は 30.9 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 37.5%（75 人）で最も高く、次いで「考え直すように言う」が 26.0%（52 人）、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 25.0%（50 人）の順となっている。

・“問題にしない”が 30.5%（61 人）、“考え直す”が 63.5%（127 人）と“問題にしない”が“考え直す”の差は 33.0 ポイントとなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」「迷いながらも、結局は問題にしない」が同率で 34.0%（33 人）で、次いで「考え直すように言う」が 17.5%（17 人）の順となっている。

・“問題にしない”が 44.3%（43 人）、“考え直す”が 51.5%（50 人）と“問題にしない”が

“考え直す” の差は 7.2 ポイントとなっている。

【野沢温泉村】

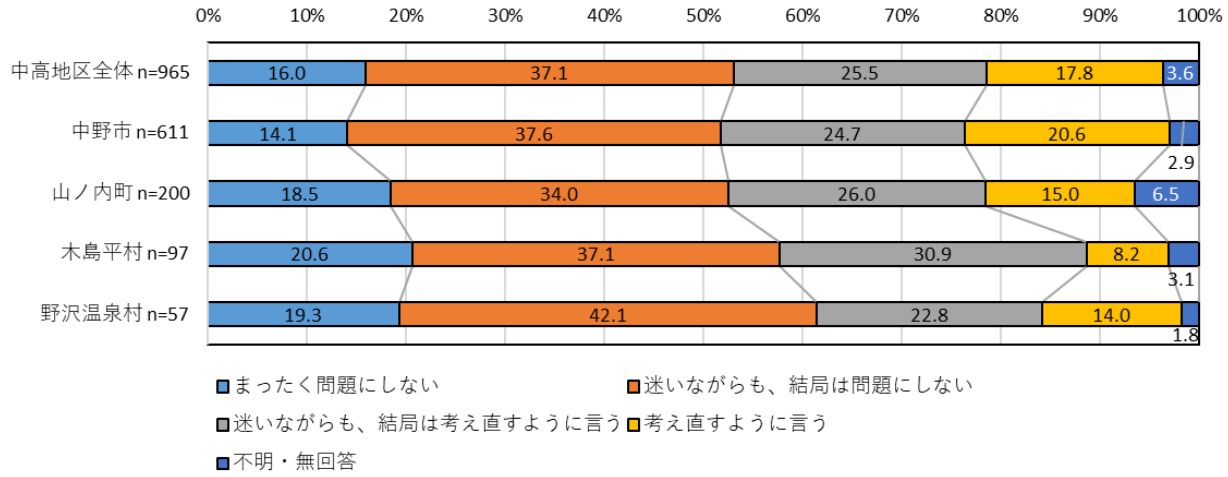
・野沢温泉村においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 38.6%（22 人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 28.1%（16 人）、「考え直すように言う」が 19.3%（11 人）の順となっている。

・“問題にしない”が 50.9%（29 人）、“考え直す”が 47.4%（27 人）と“問題にしない”が“考え直す” の差は 3.5 ポイントとなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『木島平村』で“考え直す”、『野沢温泉村』で“問題にしない”が高くなっており、“考え直す”が最も高いのは『中野市』で 63.8%（390 人）、次いで『山ノ内町』で 63.5%（127 人）、『木島平村』で 51.5%（50 人）の順となっている。一方、“問題にしない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 50.9%（29 人）、次いで『木島平村』で 44.3%（43 人）、『中野市』で 32.9%（201 人）の順となっている。

（６）ＬＧＢＴＱ等の性的少数者



【中高地区全体】

・ＬＧＢＴＱ等の性的少数者についてみると、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 37.1%（358 人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 25.5%（246 人）、「考え直すように言う」が 17.8%（172 人）の順となっている。

・“問題にしない”（「まったく問題にしない」+「迷いながらも、結局は問題にしない」）が 53.1%（512 人）、“考え直す”（「迷いながらも、結局は考え直すように言う」+「考え直すように言う」）が 43.3%（418 人）となっており、“問題にしない”が５割以上となっている。

【中野市】

・中野市においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 37.6%（230 人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 24.7%（151 人）、「考え直すように言う」が 20.6%（126 人）の順となっている。

・“問題にしない”が 51.7%（316 人）、“考え直す”が 45.3%（277 人）と“問題にしない”

が“考え直す”に比べ 6.4 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 34.0%（68 人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 26.0%（52 人）、「まったく問題にしない」が 18.5%（37 人）の順となっている。

・“問題にしない”が 52.5%（105 人）、“考え直す”が 41.0%（82 人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ 11.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 37.1%（36 人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 30.9%（30 人）、「まったく問題にしない」が 20.6%（20 人）の順となっている。

・“問題にしない”が 57.7%（56 人）、“考え直す”が 39.2%（38 人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ 18.5 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

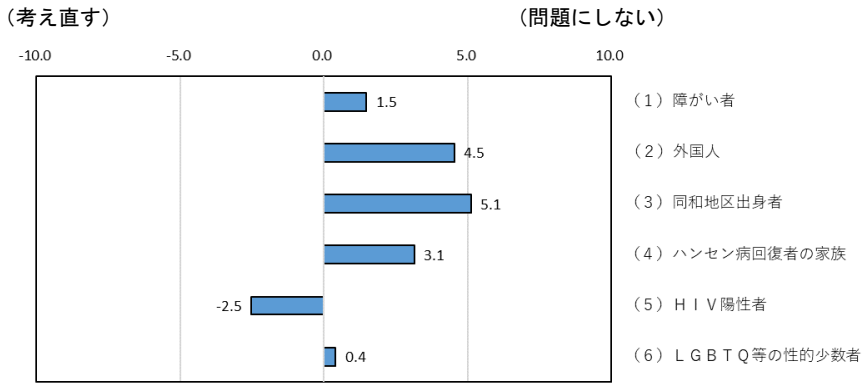
・野沢温泉村においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 42.1%（24 人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 22.8%（13 人）、「まったく問題にしない」が 19.3%（11 人）の順となっている。

・“問題にしない”が 61.4%（35 人）、“考え直す”が 36.8%（21 人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ 24.6 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“問題にしない”が高くなっており、“問題にしない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 61.4%（35 人）、次いで『木島平村』で 57.7%（56 人）、『山ノ内町』で 52.5%（105 人）の順となっている。一方、“考え直す”が最も高いのは『中野市』で 45.3%（277 人）、次いで『山ノ内町』で 41.0%（82 人）、『木島平村』で 39.2%（38 人）の順となっている。

【設問間較】



・“考え直す”について「ＨＩＶ陽性者」でマイナス 2.5 となっている。一方、“問題にしない”について「同和地区出身者」で 5.1 と最も高く、次いで「外国人」で 4.5、「ハンセン

病回復者の家族」で 3.1 の順となっている。

〈比較の方法〉

設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

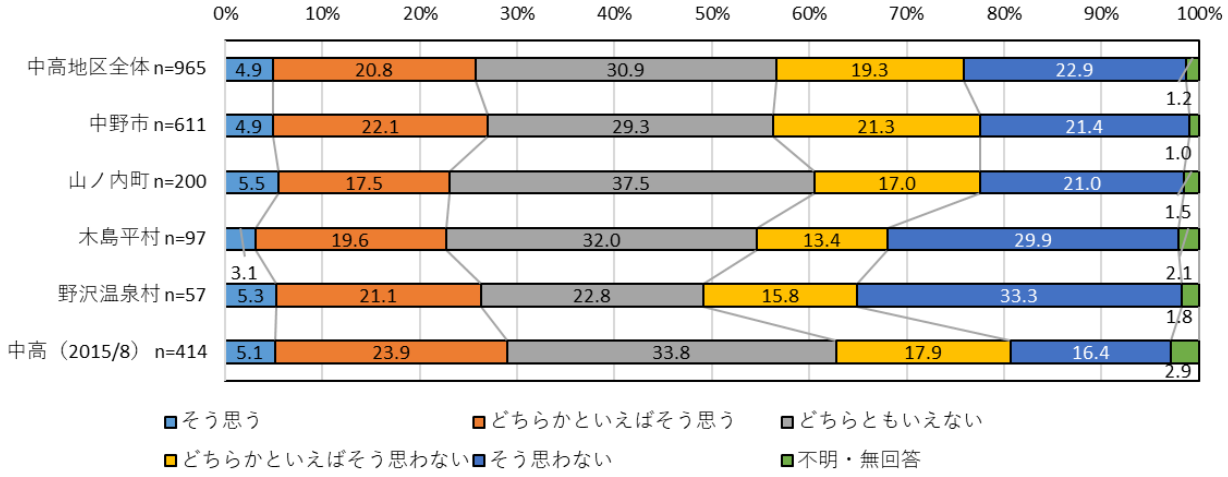
・まったく問題にしない…… 10 点　・考え直すように言う…… －10 点

・迷いながらも、結局は問題にしない…５点　・迷いながらも、結局は考え直すように言う…－５点

問６　あなたは、子どもの人権問題について、どのように思いますか。次の（１）～（４）のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。（それぞれに○は１つ）

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 そう思わない
(1) 子どもは生活力がないのだから、親の言うことを聞くのは当然である	1	2	3	4	5
(2) 親がしつけのため、子どもへ体罰をすることはやむを得ない	1	2	3	4	5
(3) 学校での教育的な体罰は、やむを得ない	1	2	3	4	5
(4) 犯罪を犯した少年は、成人と同じように処遇すべきだ	1	2	3	4	5

（１）子どもは生活力がないのだから、親の言うことを聞くのは当然である



【中高地区全体】

・子どもは生活力がないのだから、親の言うことを聞くのは当然であるについてみると、「どちらともいえない」が 30.9％（298 人）で最も高く、次いで「そう思わない」が 22.9％（221 人）、「どちらかといえばそう思う」が 20.8％（201 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 25.7％（248 人）、“思わない”（「ど

ちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 42.2%（407 人）となっており、“思わない”が“思う”に比べ 16.5 ポイント高くなっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 3.3 ポイント（25.7-29.0）低くなっており、一方“思わない”が 7.9 ポイント（42.2-34.3）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらともいえない」が 29.3%（179 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 22.1%（135 人）、「そう思わない」が 21.4%（131 人）の順となっている。

・“思う”が 27.0%（165 人）、“思わない”が 42.7%（261 人）と“思わない”が“思う”に比べ 15.7 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 37.5%（75 人）で最も高く、次いで「そう思わない」が 21.0%（42 人）、「どちらかといえばそう思う」が 17.5%（35 人）の順となっている。

・“思う”が 23.0%（46 人）、“思わない”が 38.0%（76 人）と“思わない”が“思う”に比べ 15.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらともいえない」が 32.0%（31 人）で最も高く、次いで「そう思わない」が 29.9%（29 人）、「どちらかといえばそう思う」が 19.6%（19 人）の順となっている。

・“思う”が 22.7%（22 人）、“思わない”が 43.3%（42 人）と“思わない”が“思う”に比べ 20.6 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

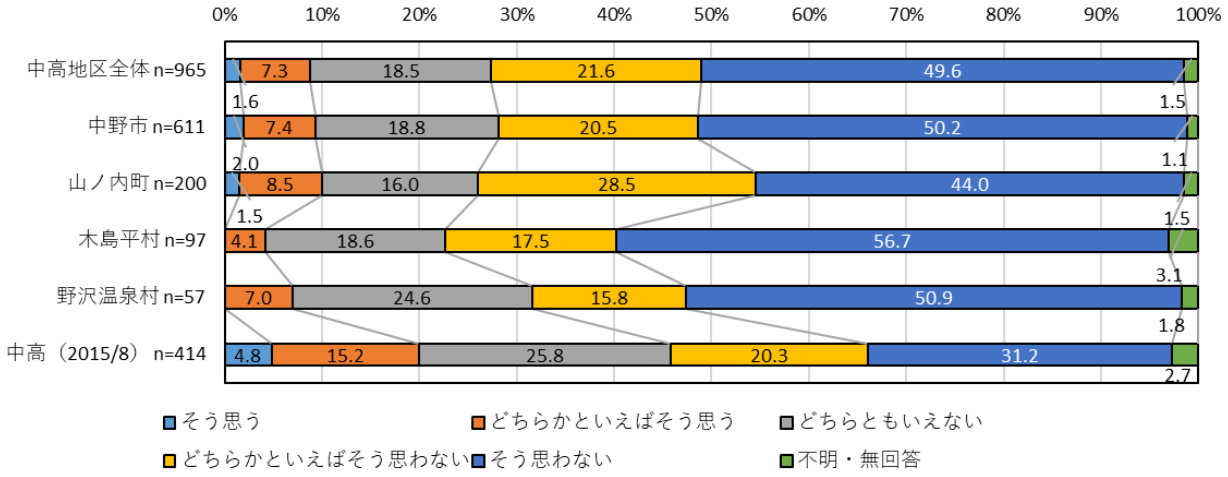
・野沢温泉村においては、「そう思わない」が 33.3%（19 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 22.8%（13 人）、「どちらかといえばそう思う」が 21.1%（12 人）、の順となっている。

・“思う”が 26.3%（15 人）、“思わない”49.1%（28 人）と“思わない”が“思う”に比べ 22.8 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 49.1%（28 人）、次いで『木島平村』で 43.3%（42 人）、『中野市』で 42.7%（261 人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『中野市』で 27.0%（165 人）、次いで『野沢温泉村』で 26.3%（15 人）、『山ノ内町』で 23.0%（46 人）の順となっている。

（２）親がしつけのため、子どもへ体罰をすることはやむを得ない



【中高地区全体】

・親がしつけのため、子どもへ体罰をすることはやむを得ないについてみると、「そう思わない」が 49.6%（479 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 21.6%（208 人）、「どちらともいえない」が 18.5%（179 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 8.8%（85 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 71.2%（687 人）となっており、“思わない”が“思う”に比べ 62.4 ポイント高くなっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 11.2 ポイント（8.8-20.0）低くなっており、一方“思わない”が 19.7 ポイント（71.2-51.5）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思わない」が 50.2%（307 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 20.5%（125 人）、「どちらともいえない」が 18.8%（115 人）の順となっている。

・“思う”が 9.3%（57 人）、“思わない”70.7%（432 人）と“思わない”が“思う”に比べ 61.3 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思わない」が 44.0%（88 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 28.5%（57 人）、「どちらともいえない」が 16.0%（32 人）の順となっている。

・“思う”が 10.0%（20 人）、“思わない”72.5%（145 人）と“思わない”が“思う”に比べ 62.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思わない」が 56.7%（55 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 18.6%（18 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 17.5%（17 人）の順となっている。

・“思う”が 4.1%（４人）、“思わない”74.2%（72 人）と“思わない”が“思う”に比べ 70.1

ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

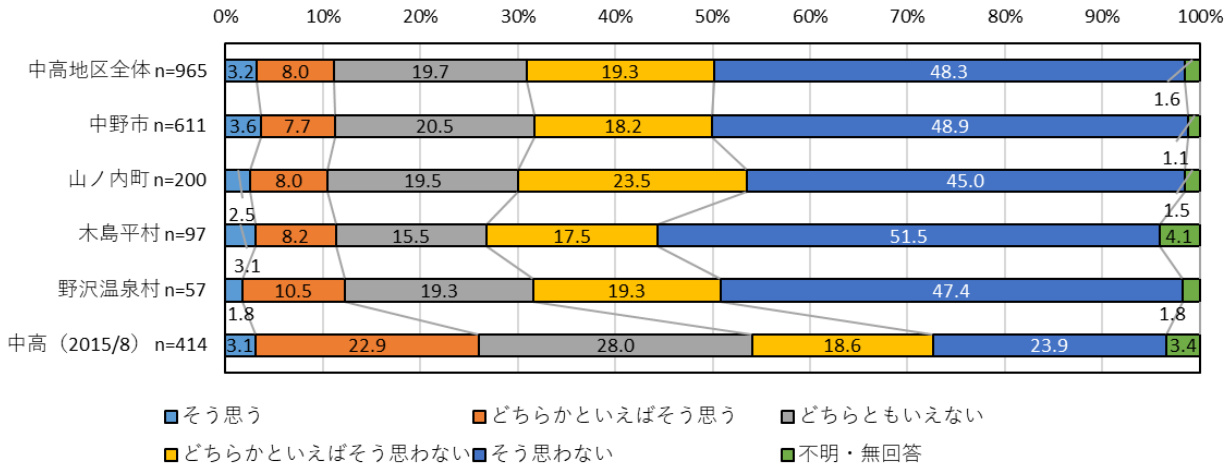
・野沢温泉村においては、「そう思わない」が 50.9%（29 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 24.6%（14 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 15.8%（９人）の順となっている。

・“思う”が 7.0%（４人）、“思わない”66.7%（38 人）と“思わない”が“思う”に比べ 59.7 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 74.2%（72 人）、次いで『山ノ内町』で 72.5%（145 人）、『中野市』で 70.7%（432 人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で 10.0%（20 人）、次いで『中野市』で 9.3%（57 人）、『野沢温泉村』で 7.0%（４人）の順となっている。

（３）学校での教育的な体罰は、やむを得ない



【中高地区全体】

・学校での教育的な体罰は、やむを得ないについてみると、「そう思わない」が 48.3%（466 人）で最も高く、次いで「どちらかともいえない」が 19.7%（190 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 19.3%（186 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 11.2%（108 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 67.6%（652 人）となっており、“思わない”が“思う”に比べ 56.4 ポイント高くなっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 14.8 ポイント（11.2-26.0）低くなっており、一方“思わない”が 25.1 ポイント（67.6-42.5）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思わない」が 48.9%（299 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 20.5%（125 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 18.2%（111 人）の

順となっている。

・“思う”が 11.3%（69 人）、“思わない”が 67.1%（410 人）と“思わない”が“思う”に比べ 55.8 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思わない」が 45.0%（90 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 23.5%（47 人）、「どちらともいえない」が 19.5%（39 人）の順となっている。

・“思う”が 10.5%（21 人）、“思わない”が 68.5%（137 人）と“思わない”が“思う”に比べ 58.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思わない」が 51.5%（50 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 17.5%（17 人）、「どちらともいえない」が 15.5%（15 人）の順となっている。

・“思う”が 11.3%（11 人）、“思わない”が 69.1%（67 人）と“思わない”が“思う”に比べ 57.8 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

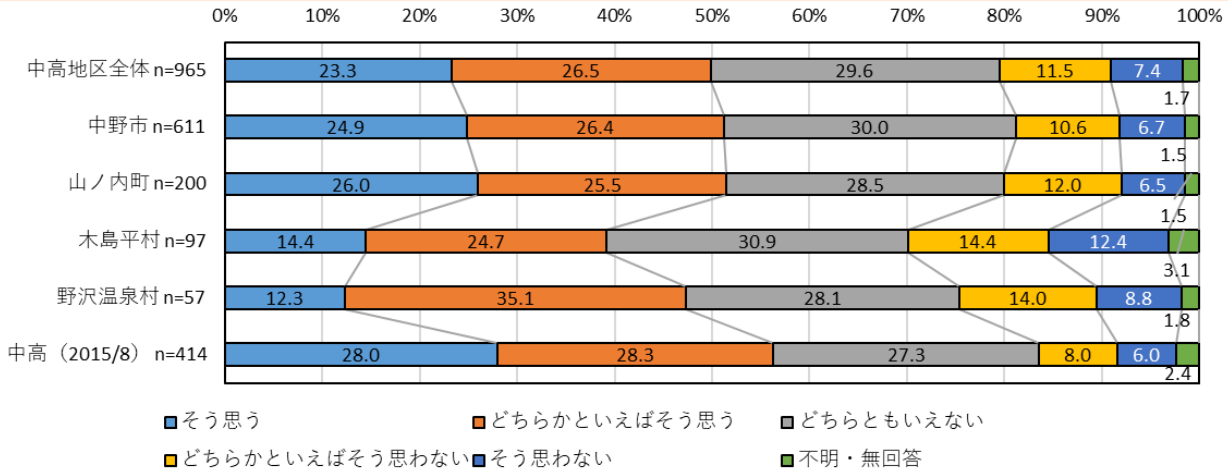
・野沢温泉村においては、「そう思わない」が 47.4%（27 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」「どちらかといえばそう思わない」が同率で 19.3%（11 人）の順となっている。

・“思う”が 12.3%（７人）、“思わない”が 66.7%（38 人）と“思わない”が“思う”に比べ 54.4 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 69.1%（67 人）、次いで『山ノ内町』で 68.5%（137 人）、『中野市』で 67.1%（410 人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 12.3%（７人）、次いで『木島平村』で 11.3%（11 人）、『中野市』で 11.3%（69 人）の順となっている。

（４）犯罪を犯した少年は、成人と同じように処遇すべきだ



【中高地区全体】

・犯罪を犯した少年は、成人と同じように処遇すべきだについてみると、「どちらともいえない」が 29.6%（286 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.5%（256 人）、「そう思う」が 23.3%（225 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 49.8%（481 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 18.9%（182 人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ 30.9 ポイント高くなっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 6.5 ポイント（49.8-56.3）低くなっており、一方“思わない”が 4.9 ポイント（18.9-14.0）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらともいえない」が 30.0%（183 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.4%（161 人）、「そう思う」が 24.9%（152 人）の順となっている。

・“思う”が 51.2%（313 人）、“思わない”が 17.3%（106 人）と“思う”が“思わない”に比べ 33.9 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 28.5%（57 人）で最も高く、次いで「そう思う」が 26.0%（52 人）、「どちらかといえばそう思う」が 25.5%（51 人）の順となっている。

・“思う”が 51.5%（103 人）、“思わない”が 18.5%（37 人）と“思う”が“思わない”に比べ 33.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらともいえない」が 30.9%（30 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 24.7%（24 人）、「そう思う」「どちらかといえばそう思わない」が同率で 14.4%（14 人）の順となっている。

・“思う”が 39.2%（38 人）、“思わない”が 26.8%（26 人）と“思う”が“思わない”に比べ 12.4 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思う」が 35.1%（20 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 28.1%（16 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 14.0%（８人）の順となっている。

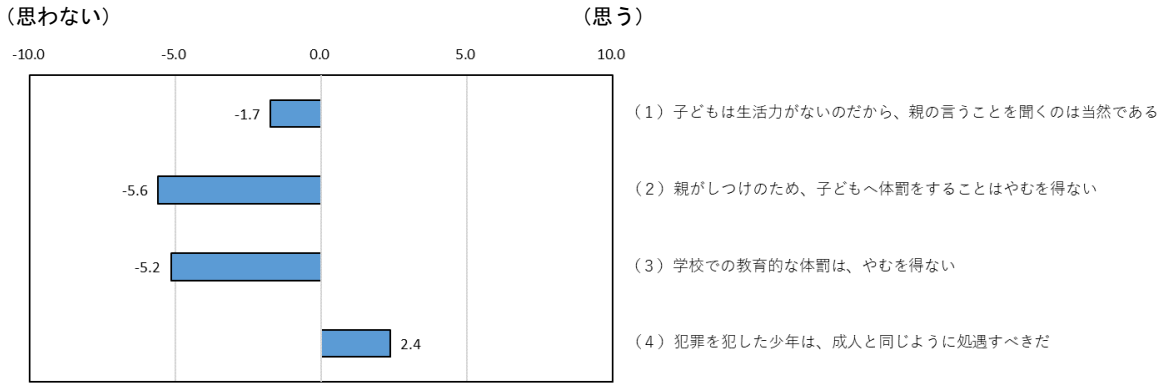
・“思う”が 47.4%（27 人）、“思わない”が 22.8%（13 人）と“思う”が“思わない”に比べ 24.6 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で 51.5%（103 人）、次いで『中野市』で 51.2%（313 人）、『野沢温泉村』で 47.4%（27 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 26.8%（26 人）、次いで『野沢温泉村』で 22.8%（13 人）、『山ノ内町』で 18.5%（37 人）

の順となっている。

【設問間比較】



・“思わない”について「親がしつけのために、子どもへ体罰をすることはやむをえない」でマイナス 5.6 と最も低く、次いで「学校での教育的な体罰は、やむを得ない」でマイナス 5.2、「子どもは生活力がないのだから、親の言うことを聞くのは当然である」でマイナス 1.7 の順となっている。一方、「犯罪を犯した少年は、成人と同じように処遇すべきだ」で 2.4 となっている。

〈比較の方法〉

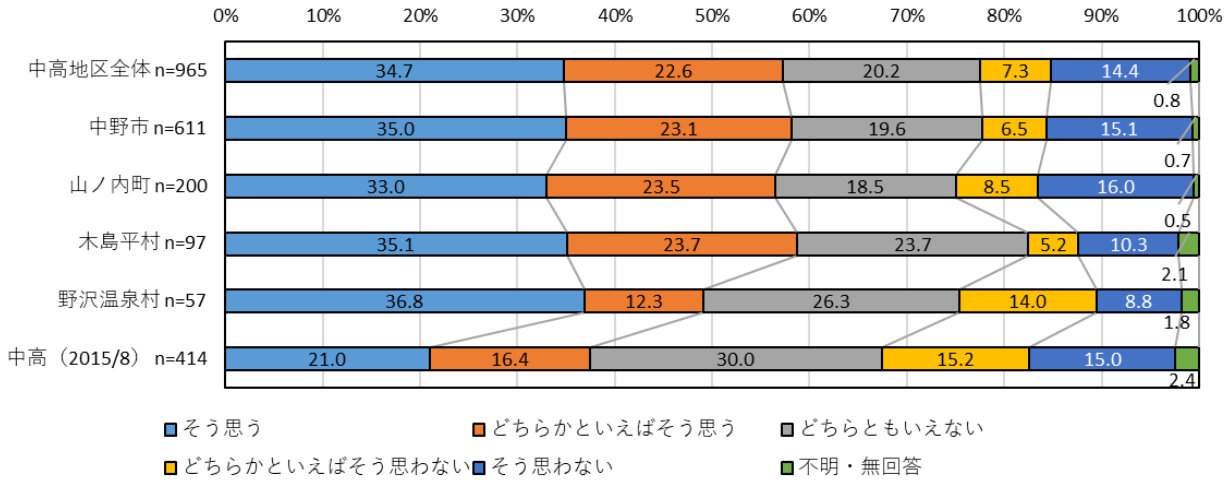
設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

・そう思う…… 10点　　・そう思わない…… －10点
・どちらかといえばそう思う… ５点　　・どちらかといえばそう思わない… －５点
・どちらともいえない…… ０点

問７　あなたは女性の人権問題について、どのように思いますか。次の（１）～（４）のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。（それぞれに○は１つ）

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 そう思わない
(1) 夫婦で別々の姓を名乗りたい人は、名乗ることができるようにした方がよい	1	2	3	4	5
(2) 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方は今もある	1	2	3	4	5
(3) 地域の行事などでは、力仕事は男性、接待は女性の方がよい	1	2	3	4	5
(4) 女性が責任ある役職に就くことには抵抗がある	1	2	3	4	5

（1）夫婦で別々の姓を名乗りたい人は、名乗ることができるようにした方がよい



【中高地区全体】

・夫婦で別々の姓を名乗りたい人は、名乗ることができるようにした方がよいについてみると、「そう思う」が 34.7%（335 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 22.6%（218 人）、「どちらともいえない」が 20.2%（195 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 57.3%（553 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 21.7%（209 人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ 35.6 ポイント高くなっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 19.9 ポイント（57.3-37.4）高くなっており、一方“思わない”が 8.5 ポイント（21.7-30.2）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思う」が 35.0%（214 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 23.1%（141 人）、「どちらともいえない」が 19.6%（120 人）の順となっている。

・“思う”が 58.1%（355 人）、“思わない”が 21.6%（132 人）と“思う”が“思わない”に比べ 36.5 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思う」が 33.0%（66 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 23.5%（47 人）、「どちらともいえない」が 18.5%（37 人）の順となっている。

・“思う”が 56.5%（113 人）、“思わない”が 24.5%（49 人）と“思う”が“思わない”に比べ 32.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思う」が 35.1%（34 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」「どちらともいえない」が同率で 23.7%（23 人）の順となっている。

・“思う”が 58.8%（57 人）、“思わない”が 15.5%（15 人）と思う”が“思わない”に比べ 43.3 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

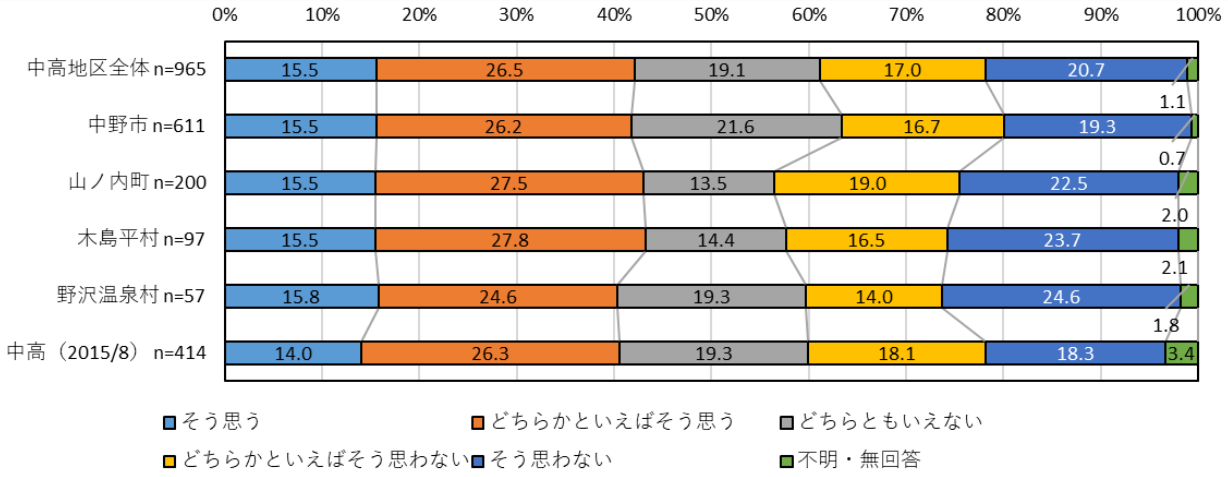
・野沢温泉村においては、「そう思う」が 36.8%（21 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 26.3%（15 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 14.0%（８人）の順となっている。

・“思う”が 49.1%（28 人）、“思わない”が 22.8%（13 人）と“思う”が“思わない”に比べ 26.3 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『木島平村』で 58.8%（57 人）、次いで『中野市』で 58.1%（355 人）、『山ノ内町』で 56.5%（113 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で 24.5%（49 人）、次いで『野沢温泉村』で 22.8%（13 人）、『中野市』で 21.6%（132 人）の順となっている。

（２）「男性は仕事、女性は家庭」という考え方は今もある



【中高地区全体】

・「男性は仕事、女性は家庭」という考え方は今もあるについてみると、「どちらかといえばそう思う」が 26.5%（256 人）で最も高く、次いで「そう思わない」が 20.7%（200 人）、「どちらともいえない」が 19.1%（184 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 42.1%（406 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 37.7%（364 人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ 4.4 ポイント高くなっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 1.8 ポイント（42.1-40.3）高くなっており、一方“思わない”も 1.3 ポイント（37.7-36.4）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらかといえばそう思う」が 26.2%（160 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 21.6%（132 人）、「そう思わない」が 19.3%（118 人）の順となっている。

・“思う”が 41.7%（255 人）、“思わない”が 36.0%（220 人）と“思う”が“思わない”に比べ 5.7 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらかといえばそう思う」が 27.5%（55 人）で最も高く、次いで「そう思わない」が 22.5%（45 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 19.0%（38 人）の順となっている。

・“思う”が 43.0%（86 人）、“思わない”が 41.5%（83 人）と“思う”が“思わない”に比べ 1.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらかといえばそう思う」が 27.8%（27 人）で最も高く、次いで「そう思わない」が 23.7%（23 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 16.5%（16 人）の順となっている。

・“思う”が 43.3%（42 人）、“思わない”が 40.2%（39 人）と“思う”が“思わない”に比べ 3.1 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

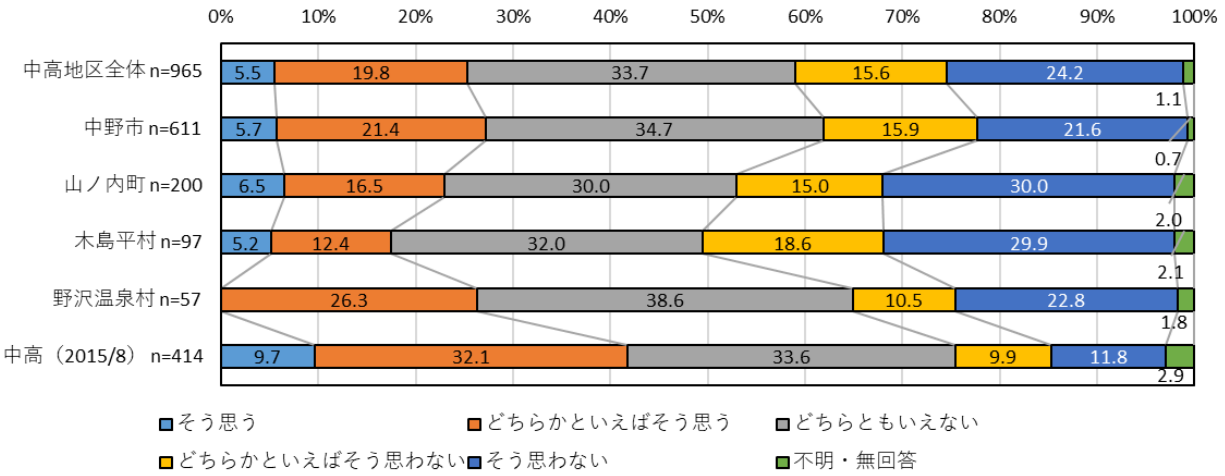
・野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思う」「そう思わない」が同率で 24.6%（14 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 19.3%（11 人）の順となっている。

・“思う”が 40.4%（23 人）、“思わない”が 38.6%（22 人）と“思う”が“思わない”に比べ 1.8 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『木島平村』で 43.3%（42 人）、次いで『山ノ内町』で 43.0%（86 人）、『中野市』で 41.7%（255 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で 41.5%（83 人）、次いで『木島平村』で 40.2%（39 人）、『野沢温泉村』で 38.6%（22 人）の順となっている。

（３）地域の行事などでは、力仕事は男性、接待は女性の方がよい



【中高地区全体】

・地域の行事などでは、力仕事は男性、接待は女性の方がよいについてみると、「どちらともいえない」が 33.7%（325 人）で最も高く、次いで「そう思わない」が 24.2%（234 人）、「どちらかといえばそう思う」が 19.8%（191 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 25.3%（244 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 39.9%（385 人）となっており、“思わない”が“思う”に比べ 14.6 ポイント高くなっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 16.5 ポイント（25.3-41.8）低くなっており、一方“思わない”が 18.2 ポイント（39.9-21.7）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらともいえない」が 34.7%（212 人）で最も高く、次いで「そう思わない」が 21.6%（132 人）、「どちらかといえばそう思う」が 21.4%（131 人）の順となっている。

・“思う”が 27.2%（166 人）、“思わない”が 37.5%（229 人）と“思わない”が“思う”に比べ 10.3 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらともいえない」「そう思わない」が同率で 30.0%（60 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 16.5%（33 人）の順となっている。

・“思う”が 23.0%（46 人）、“思わない”が 45.0%（90 人）と“思わない”が“思う”に比べ 22.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらともいえない」が 32.0%（31 人）で最も高く、次いで「そう思わない」が 29.9%（29 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 18.6%（18 人）の順となっている。

・“思う”が 17.5%（17 人）、“思わない”が 48.5%（47 人）と“思わない”が“思う”に比べ 31.0 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

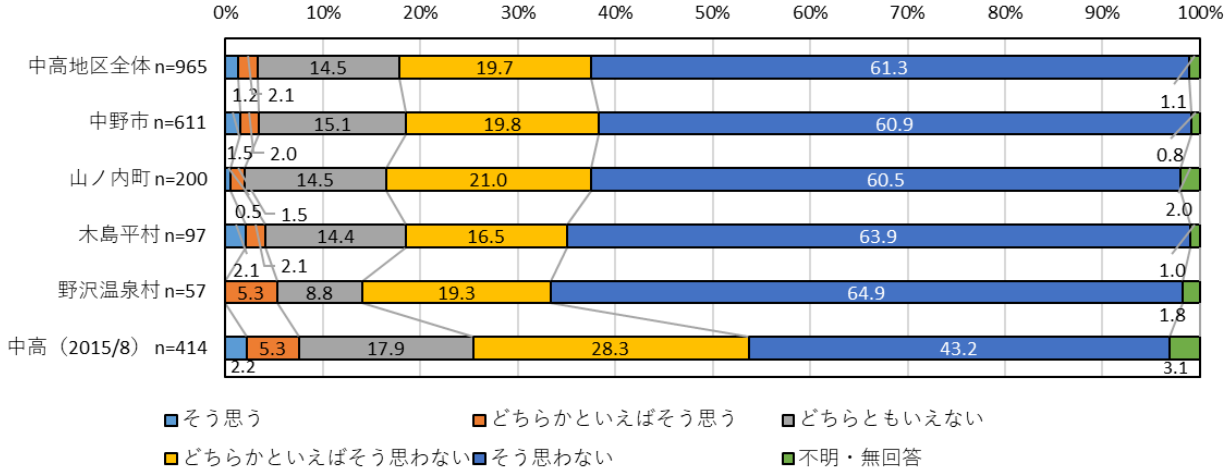
・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が 38.6%（22 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.3%（15 人）、「そう思わない」が 22.8%（13 人）の順となっている。

・“思う”が 26.3%（15 人）、“思わない”が 33.3%（19 人）と“思わない”が“思う”に比べ 7.0 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 48.5%（47 人）、次いで『山ノ内町』で 45.0%（90 人）、『中野市』で 37.5%（229 人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『中野市』で 27.2%（166 人）、次いで『野沢温泉村』で 26.3%（15 人）、『山ノ内町』で 23.0%（46 人）の順となっている。

（４）女性が責任ある役職に就くことには抵抗がある



【中高地区全体】

・女性が責任ある役職に就くことには抵抗があるについてみると、「そう思わない」が 61.3%（592 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 19.7%（190 人）、「どちらともいえない」が 14.5%（140 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 3.3%（32 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 81.0%（782 人）となっており、“思わない”が“思う”に比べ 77.7 ポイント高くなっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 4.2 ポイント（3.3-7.5）低くなっており、一方“思わない”が 9.5 ポイント（81.0-71.5）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思わない」が 60.9%（372 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 19.8%（121 人）、「どちらともいえない」が 15.1%（92 人）の順となっている。

・“思う”が 3.4%（21 人）、“思わない”が 80.7%（493 人）と“思わない”が“思う”に比べ 77.3 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思わない」が 60.5%（121 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 21.0%（42 人）、「どちらともいえない」が 14.5%（29 人）の順となっている。

・“思う”が 2.0%（４人）、“思わない”が 81.5%（163 人）と“思わない”が“思う”に比べ 79.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思わない」が 63.9%（62 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 16.5%（16 人）、「どちらともいえない」が 14.4%（14 人）の順となっている。

・“思う”が 4.1%（４人）、“思わない”が 80.4%（78 人）と“思わない”が“思う”に比べ

76.3 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

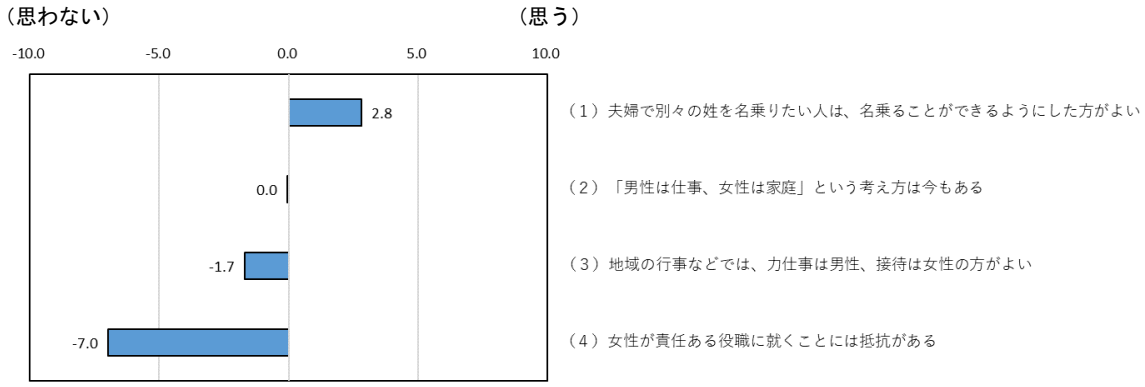
・野沢温泉村においては、「そう思わない」が 64.9%（37 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 19.3%（11 人）、「どちらともいえない」が 8.8%（５人）の順となっている。

・“思う”が 5.3%（３人）、“思わない”が 84.2%（48 人）と“思わない”が“思う”に比べ 78.9 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 84.2%（48 人）、次いで『山ノ内町』で 81.5%（163 人）、『中野市』で 80.7%（493 人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 5.3%（３人）、次いで『木島平村』で 4.1%（４人）、『中野市』で 3.4%（21 人）の順となっている。

【設問間比較】



・“思わない”について、「女性が責任ある役職に就くことには抵抗がある」でマイナス 7.0 と最も低く、次いで「地域の行事などでは、力仕事は男性、接待は女性の方がよい」でマイナス 1.7 となっている。一方、“思う”について「夫婦で別々の姓を名乗りたい人は、名乗ることができるようにした方がよい」で 2.8 となっている。

〈比較の方法〉

設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

・そう思う…… 10点　　・そう思わない…… －10点

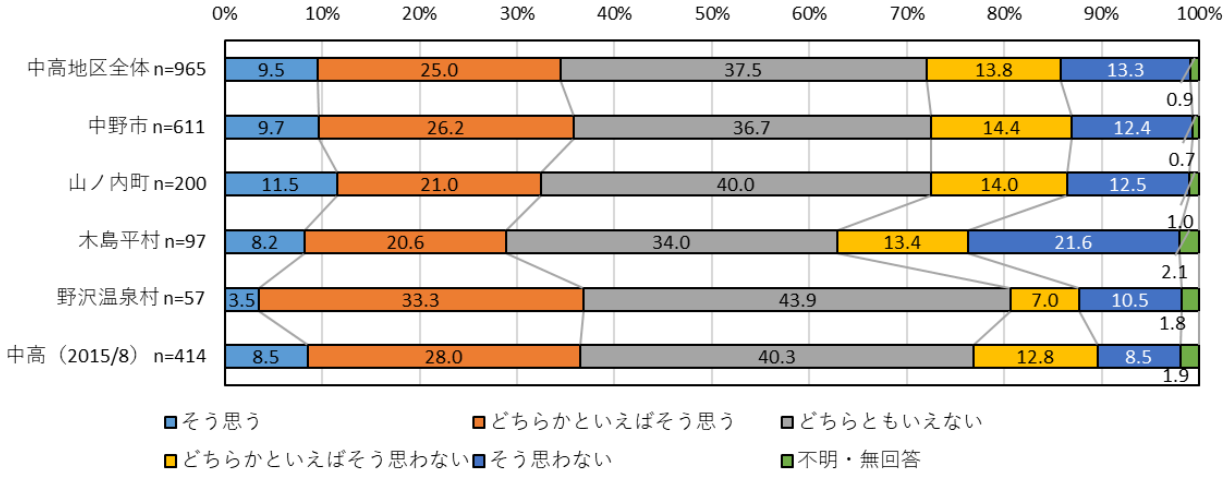
・どちらかといえばそう思う… ５点　　・どちらかといえばそう思わない… －５点

・どちらともいえない…… ０点

問８　あなたは、高齢者の人権問題について、どのように思いますか。次の（１）～（４）のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。（それぞれに○は１つ）

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 そう思わない
(1) 年老いたら、子どもに従う方がよい	1	2	3	4	5
(2) 高齢者が孤独死する社会を作っているのは、私たちの問題である	1	2	3	4	5
(3) 一定年齢の高齢者には、年金の給付や医療費などの負担軽減が行われることは、よいことである	1	2	3	4	5
(4) 特殊詐欺で多額のお金をだまされ送金等したとしても、本人が悪い	1	2	3	4	5

（１）年老いたら、子どもに従う方がよい



【中高地区全体】

・年老いたら、子どもに従う方がよいについてみると、「どちらともいえない」が 37.5%（362 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 25.0%（241 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 13.8%（133 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 34.5%（333 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 27.0%（261 人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ 7.5 ポイント高くなっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 2.0 ポイント（34.5-36.5）低くなっており、一方“思わない”が 5.8 ポイント（27.1-21.3）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらともいえない」が 36.7%（224 人）で最も高く、次いで「どち

らかといえばそう思う」が 26.2%（160 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 14.4%（88 人）の順となっている。

・“思う”が 35.8%（219 人）、“思わない”が 26.8%（164 人）と“思う”が“思わない”に比べ 9.0 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 40.0%（80 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 21.0%（42 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 14.0%（28 人）の順となっている。

・“思う”が 32.5%（65 人）、“思わない”が 26.5%（53 人）と“思う”が“思わない”に比べ 6.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらともいえない」が 34.0%（33 人）で最も高く、次いで「そう思わない」が 21.6%（21 人）、「どちらかといえばそう思う」が 20.6%（20 人）の順となっている。

・“思う”が 28.9%（28 人）、“思わない”が 35.1%（34 人）と“思わない”が“思う”に比べ 6.2 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

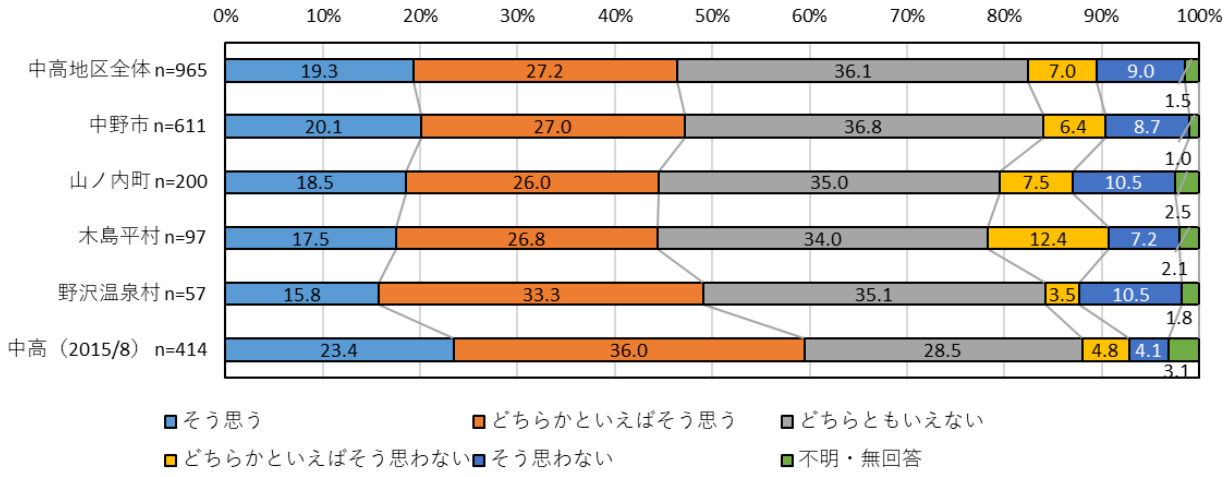
・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が 43.9%（25 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 33.3%（19 人）、「そう思わない」が 10.5%（６人）の順となっている。

・“思う”が 36.8%（21 人）、“思わない”が 17.5%（10 人）と“思う”が“思わない”に比べ 19.3 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『野沢温泉村』で“思う”、『木島平村』で“思わない”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 36.8%（21 人）、次いで『中野市』で 35.8%（219 人）、『山ノ内町』で 32.5%（65 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 35.1%（34 人）、次いで『中野市』で 26.8%（164 人）、『山ノ内町』で 26.5%（53 人）の順となっている。

（２）高齢者が孤独死する社会を作っているのは、私たちの問題である



【中高地区全体】

・高齢者が孤独死する社会を作っているのは、私たちの問題であるについてみると、「どちらともいえない」が 36.1%（348 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 27.2%（262 人）、「そう思う」が 19.3%（186 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 46.4%（448 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 16.1%（155 人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ 30.3 ポイント高くなっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 13.0 ポイント（46.4-59.4）低くなっており、一方“思わない”が 7.2 ポイント（16.1-8.9）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらともいえない」が 36.8%（225 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 27.0%（165 人）、「そう思う」が 20.1%（123 人）の順となっている。

・“思う”が 47.1%（288 人）、“思わない”が 15.1%（92 人）と“思う”が“思わない”に比べ 32.0 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 35.0%（70 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.0%（52 人）、「そう思う」が 18.5%（37 人）の順となっている。

・“思う”が 44.5%（89 人）、“思わない”が 18.0%（36 人）と“思う”が“思わない”に比べ 26.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらともいえない」が 34.0%（33 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.8%（26 人）、「そう思う」が 17.5%（17 人）の順となっている。

・“思う”が 44.3%（43 人）、“思わない”が 19.6%（19 人）と“思う”が“思わない”に比べ 24.7 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が 35.1%（20 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 33.3%（19 人）、「そう思う」が 15.8%（９人）の順となっている。

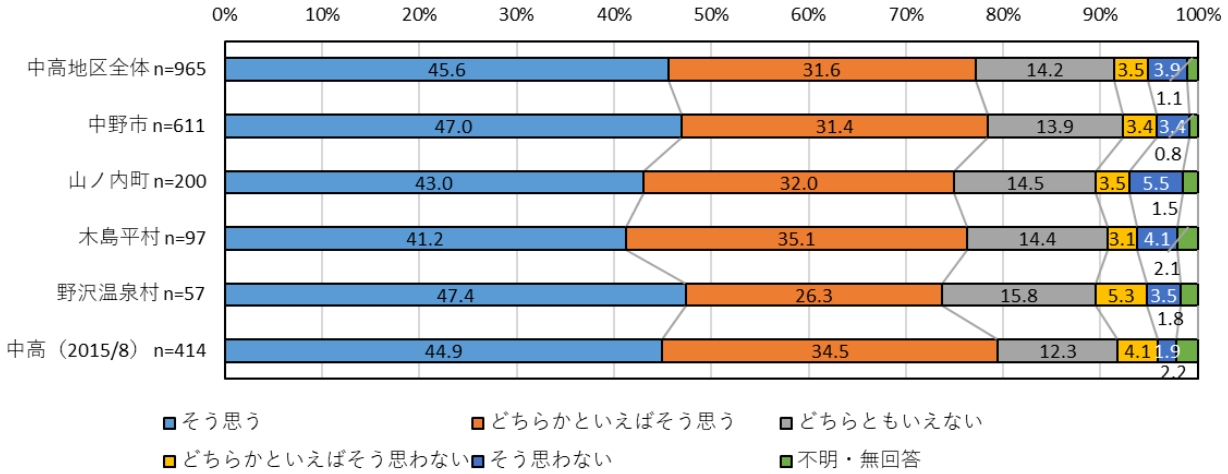
・“思う”が 49.1%（28 人）、“思わない”が 14.0%（８人）と“思う”が“思わない”に比べ 35.1 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 49.1%（28 人）、次いで『中野市』で 47.1%（288 人）、『山ノ内町』で 44.5%（89 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 19.6%（19 人）、次いで『山ノ内町』で 18.0%（36 人）、『中野市』で 15.1%（92 人）の順

となっている。

（３）一定年齢の高齢者には、年金の給付や医療費などの負担軽減が行われることは、よいことである



【中高地区全体】

・一定年齢の高齢者には、年金の給付や医療費などの負担軽減が行われることは、よいことであるについてみると、「そう思う」が 45.6%（440 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 31.6%（305 人）、「どちらともいえない」が 14.2%（137 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 77.2%（745 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 7.5%（72 人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ 69.7 ポイント高くなっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 2.2 ポイント（77.2-79.4）低くなっており、一方“思わない”が 1.5 ポイント（7.5-6.0）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思う」が 47.0%（287 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 31.4%（192 人）、「どちらともいえない」が 13.9%（85 人）の順となっている。

・“思う”が 78.4%（479 人）、“思わない”が 6.9%（42 人）と“思う”が“思わない”に比べ 71.5 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思う」が 43.0%（86 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 32.0%（64 人）、「どちらともいえない」が 14.5%（29 人）の順となっている。

・“思う”が 75.0%（150 人）、“思わない”が 9.0%（18 人）と“思う”が“思わない”に比べ 66.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思う」が 41.2%（40 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 35.1%（34 人）、「どちらともいえない」が 14.4%（14 人）の順となっている。

・“思う”が 76.3%（74 人）、“思わない”が 7.2%（７人）と“思う”が“思わない”に比べ 69.1 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

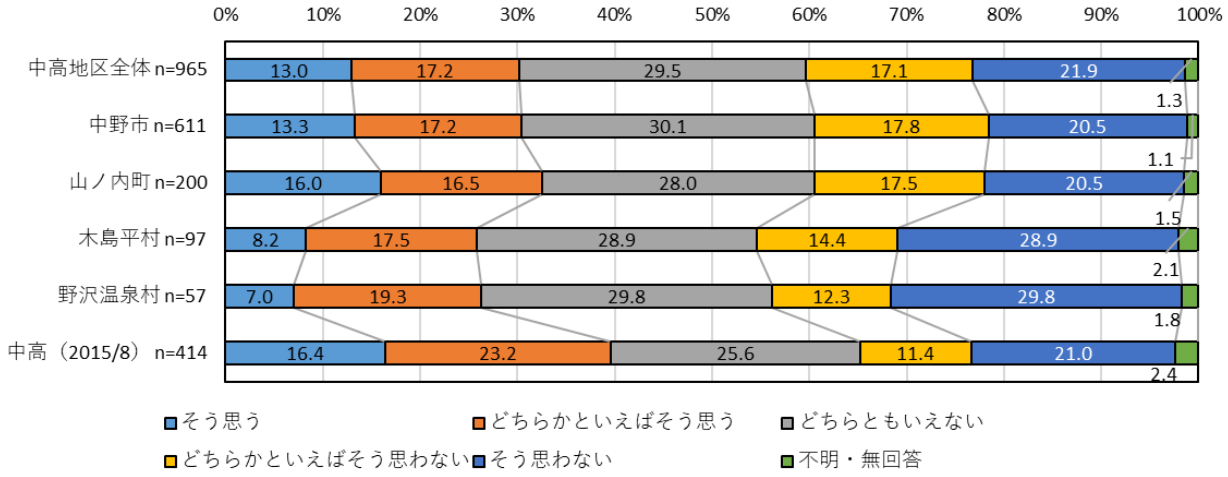
・野沢温泉村においては、「そう思う」が 47.4%（27 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.3%（15 人）、「どちらともいえない」が 15.8%（９人）の順となっている。

・“思う”が 73.7%（42 人）、“思わない”が 8.8%（５人）と“思う”が“思わない”に比べ 64.9 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『中野市』で 78.4%（479 人）、次いで『木島平村』で 76.3%（74 人）、『山ノ内町』で 75.0%（150 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で 9.0%（18 人）、次いで『野沢温泉村』で 8.8%（５人）、『木島平村』で 7.2%（７人）の順となっている。

（４）特殊詐欺で多額のお金をだまされ送金等したとしても、本人が悪い



【中高地区全体】

・特殊詐欺で多額のお金をだまされ送金等したとしても、本人が悪いについてみると、「どちらともいえない」が 29.5%（285 人）で最も高く、次いで「そう思わない」が 21.9%（211 人）、「どちらかといえばそう思う」が 17.2%（166 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 30.2%（291 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 39.0%（376 人）となっており、“思わない”が“思う”に比べ 8.8 ポイント高くなっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 9.4 ポイント（30.2-39.6）低くなっており、一方“思わない”が 6.6 ポイント（39.0-32.4）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらともいえない」が 30.1%（184 人）で最も高く、次いで「そう思わない」が 20.5%（125 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 17.8%（109 人）の順となっている。

・“思う”が 30.4%（186 人）、“思わない”が 38.3%（234 人）と“思わない”が“思う”に比べ 7.9 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 28.0%（56 人）で最も高く、次いで「そう思わない」が 20.5%（41 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 17.5%（35 人）の順となっている。

・“思う”が 32.5%（65 人）、“思わない”が 38.0%（76 人）と“思わない”が“思う”に比べ 5.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらともいえない」「そう思わない」が同率で 28.9%（28 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 17.5%（17 人）の順となっている。

・“思う”が 25.8%（25 人）、“思わない”が 43.3%（42 人）と“思わない”が“思う”に比べ 17.5 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

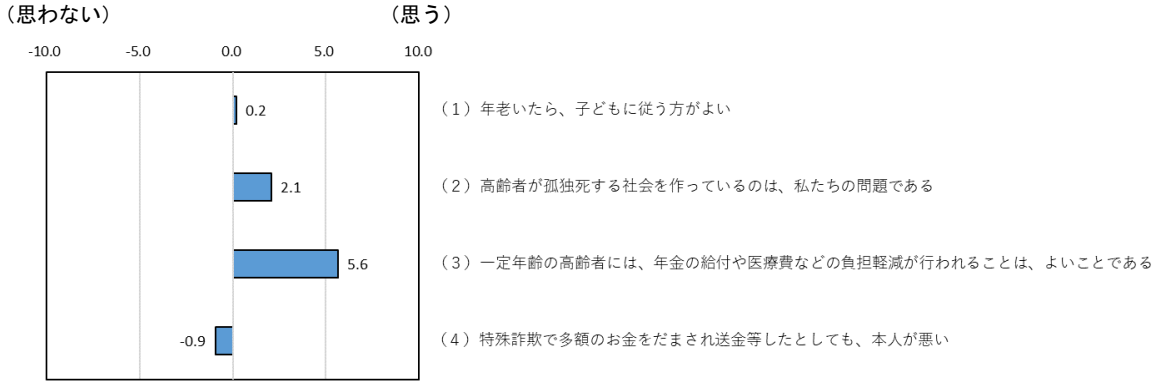
・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」「そう思わない」が同率で 29.8%（17 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 19.3%（11 人）、の順となっている。

・“思う”が 26.3%（15 人）、“思わない”が 42.1%（24 人）と“思わない”が“思う”に比べ 15.8 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 43.3%（42 人）、次いで『野沢温泉村』で 42.1%（24 人）、『中野市』で 38.3%（234 人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で 32.5%（65 人）、次いで『中野市』で 30.4%（186 人）、『野沢温泉村』で 26.3%（15 人）の順となっている。

【設問間比較】



・“思わない”について「特殊詐欺で多額のお金をだまされ送金等したとしても、本人が悪い」でマイナス 0.9 となっている。一方、“思う”について「一定年齢の高齢者には、年金の給付や医療費などの負担軽減が行われることは、よいことである」で 5.6 と最も高く、次いで「高齢者が孤独死する社会を作っているのは、私たちの問題である」で 2.1 の順となっている。

〈比較の方法〉

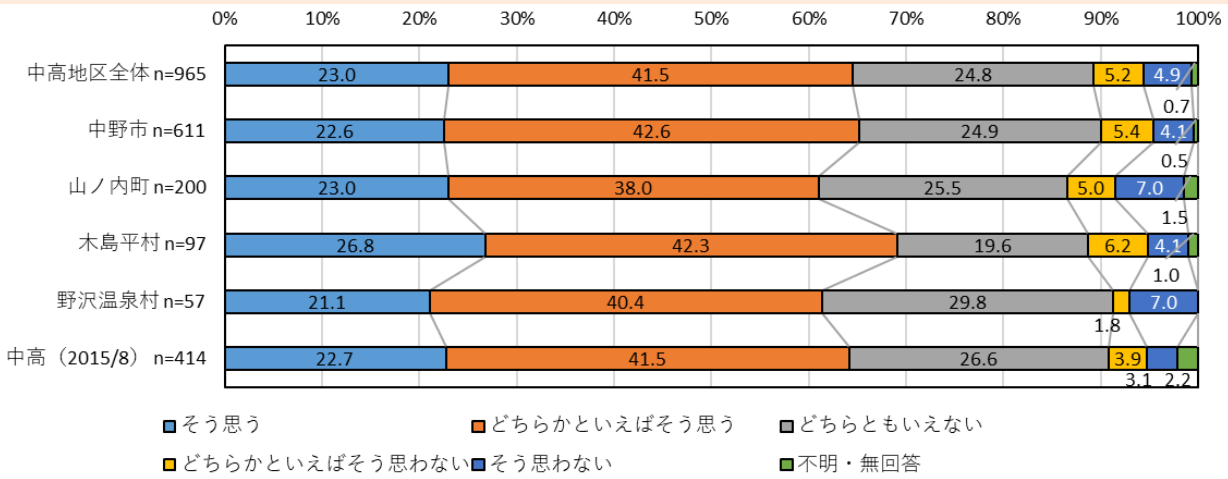
設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

- そう思う…… 10点
- どちらかといえばそう思う… ５点
- どちらともいえない…… ０点
- そう思わない…… －10点
- どちらかといえばそう思わない… －５点

問９　あなたは、障がい者の人権問題について、どのように思いますか。次の（１）～（４）のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。（それぞれに○は１つ）

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 そう思わない
(1) 障がい者が利用しやすくなるように、すべての公共の建物を改造すべきだ	1	2	3	4	5
(2) 障がい者を雇用する義務を果たしていない会社には、厳しい罰則を与えるべきだ	1	2	3	4	5
(3) 障がい者が暮らしやすい社会は、誰もが暮らしやすい	1	2	3	4	5
(4) 自分が住んでいる近くに新しく障がい者の施設ができることは反対だ	1	2	3	4	5

（１）障がい者が利用しやすくなるように、すべての公共の建物を改造すべきだ



【中高地区全体】

・障がい者が利用しやすくなるように、すべての公共の建物を改造すべきだについてみると、「どちらかといえばそう思う」が 41.5%（400 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 24.8%（239 人）、「そう思う」が 23.0%（222 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 64.5%（622 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 10.1%（97 人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ 54.4 ポイント高くなっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 0.3 ポイント（64.5-64.2）高くなっており、一方“思わない”も 3.1 ポイント（10.1-7.0）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらかといえばそう思う」が 42.6%（260 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 24.9%（152 人）、「そう思う」が 22.6%（138 人）の順となっている。

・“思う”が 65.1%（398 人）、“思わない”が 9.5%（58 人）と“思う”が“思わない”に比べ 55.6 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらかといえばそう思う」が 38.0%（76 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 25.5%（51 人）、「そう思う」が 23.0%（46 人）の順となっている。

・“思う”が 61.0%（122 人）、“思わない”が 12.0%（24 人）と“思う”が“思わない”に比べ 49.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらかといえばそう思う」が 42.3%（41 人）で最も高く、次いで「そう思う」が 26.8%（26 人）、「どちらともいえない」が 19.6%（19 人）の順となっている。

・“思う”が 69.1%（67 人）、“思わない”が 10.3%（10 人）と“思う”が“思わない”に比べ 58.8 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思う」が 40.4%（23 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 29.8%（17 人）、「そう思う」が 21.1%（12 人）の順となっている。

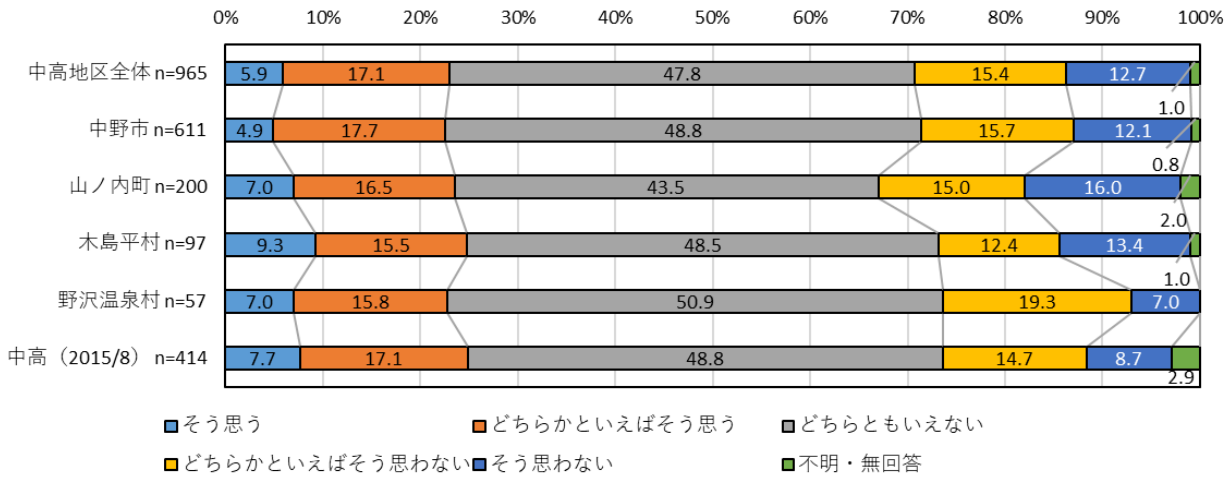
・“思う”が 61.4%（35 人）、“思わない”が 8.8%（５人）と“思う”が“思わない”に比べ 52.6 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『木島平村』で 69.1%（67 人）、次いで『中野市』で 65.1%（398 人）、『野沢温泉村』で 61.4%（35 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で 12.0%（24 人）、次いで『木島平村』で 10.3%（10 人）、『中野市』で 9.5%（58 人）の順

となっている。

（２）障がい者を雇用する義務を果たしていない会社には、厳しい罰則を与えるべきだ



【中高地区全体】

・障がい者を雇用する義務を果たしていない会社には、厳しい罰則を与えるべきだについてみると、「どちらともいえない」が 47.8%（461 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 17.1%（165 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 15.4%（149 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 23.0%（222 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 28.1%（272 人）となっており、“思わない”が“思う”に比べ 5.1 ポイント高くなっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 1.8 ポイント（23.0-24.8）低くなっており、一方“思わない”が 4.7 ポイント（28.1-23.4）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらともいえない」が 48.8%（298 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 17.7%（108 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 15.7%（96 人）の順となっている。

・“思う”が 22.6%（138 人）、“思わない”が 27.8%（170 人）と“思わない”が“思う”に比べ 5.2 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 43.5%（87 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 16.5%（33 人）、「そう思わない」が 16.0%（32 人）の順となっている。

・“思う”が 23.5%（47 人）、“思わない”が 31.0%（62 人）と“思わない”が“思う”に比べ 7.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらともいえない」が 48.5%（47 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 15.5%（15 人）、「そう思わない」が 13.4%（13 人）の順と

なっている。

・“思う”が 24.7%（24 人）、“思わない”が 25.8%（25 人）と“思わない”が“思う”に比べ 1.1 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

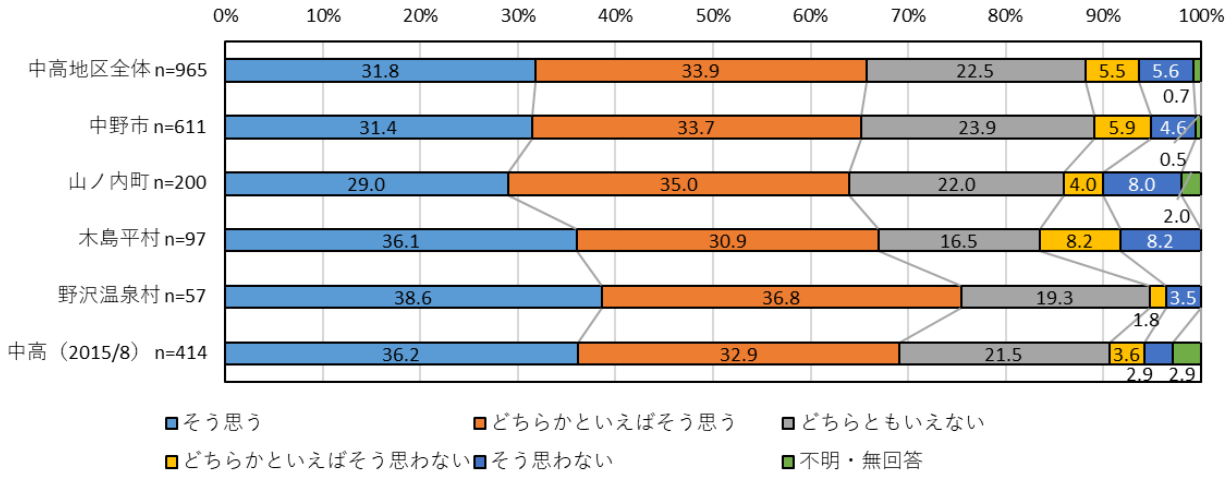
・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が 50.9%（29 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 19.3%（11 人）、「どちらかといえばそう思う」が 15.8%（９人）の順となっている。

・“思う”が 22.8%（13 人）、“思わない”が 26.3%（15 人）と“思わない”が“思う”に比べ 3.5 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で 31.0%（62 人）、次いで『中野市』で 27.8%（170 人）、『野沢温泉村』で 26.3%（15 人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『木島平村』で 24.7%（24 人）、次いで『山ノ内町』で 23.5%（47 人）、『野沢温泉村』で 22.8%（13 人）の順となっている。

（３）障がい者が暮らしやすい社会は、誰もが暮らしやすい



【中高地区全体】

・障がい者が暮らしやすい社会は、誰もが暮らしやすいについてみると、「どちらかといえばそう思う」が 33.9%（327 人）で最も高く、次いで「そう思う」が 31.8%（307 人）、「どちらともいえない」が 22.5%（217 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 65.7%（634 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 11.1%（107 人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ 54.6 ポイント高くなっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 3.4 ポイント（65.7-69.1）低くなっており、一方“思わない”が 4.6 ポイント（11.1-6.5）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらかといえばそう思う」が 33.7%（206 人）で最も高く、次いで「そう思う」が 31.4%（192 人）、「どちらともいえない」が 23.9%（146 人）の順となっている。

・“思う”が 65.1%（398 人）、“思わない”が 10.5%（64 人）と“思う”が“思わない”に比べ 54.6 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらかといえばそう思う」が 35.0%（70 人）で最も高く、次いで「そう思う」が 29.0%（58 人）、「どちらともいえない」が 22.0%（44 人）の順となっている。

・“思う”が 64.0%（128 人）、“思わない”が 12.0%（24 人）と“思う”が“思わない”に比べポ 52.0 イント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思う」が 36.1%（35 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 30.9%（30 人）、「どちらともいえない」が 16.5%（16 人）の順となっている。

・“思う”が 67.0%（65 人）、“思わない”が 16.5%（16 人）と“思う”が“思わない”に比べ 50.5 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

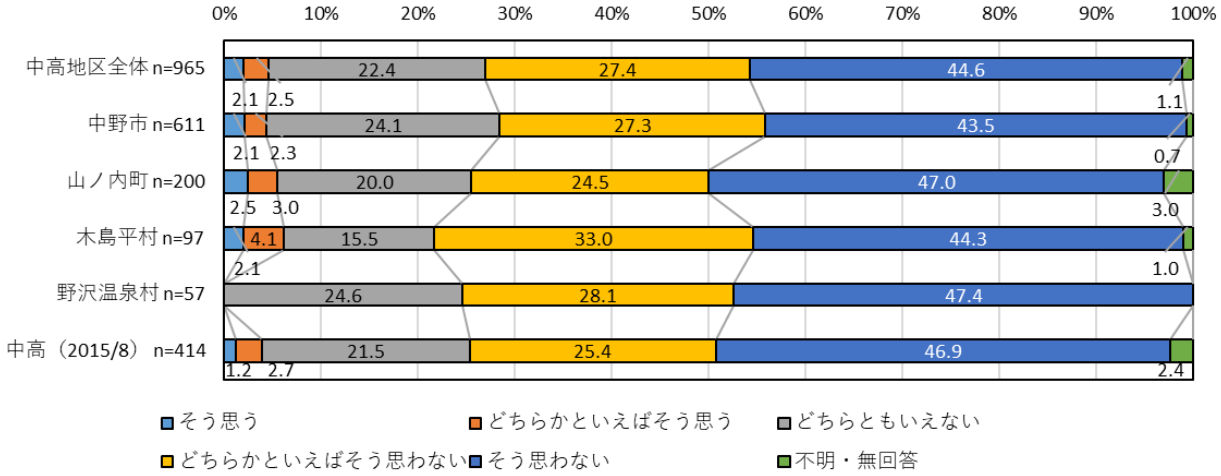
・野沢温泉村においては、「そう思う」が 38.6%（22 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 36.8%（21 人）、「どちらともいえない」が 19.3%（11 人）の順となっている。

・“思う”が 75.4%（43 人）、“思わない”が 5.3%（３人）と“思う”が“思わない”に比べ 70.1 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 75.4%（43 人）、次いで『木島平村』で 67.0%（65 人）、『中野市』で 65.1%（398 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 16.5%（16 人）、次いで『山ノ内町』で 12.0%（24 人）、『中野市』で 10.5%（64 人）の順となっている。

（４）自分が住んでいる近くに新しく障がい者の施設ができることは反対だ



【中高地区全体】

・自分が住んでいる近くに新しく障がい者の施設ができることは反対だについてみると、「そう思わない」が 44.6%（430 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 27.4%（264 人）、「どちらともいえない」が 22.4%（216 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 4.6%（44 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 71.9%（694 人）となっており、“思わない”が“思う”に比べ 67.3 ポイント高くなっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 0.7 ポイント（4.6-3.9）高くなっており、一方“思わない”が 0.4 ポイント（71.9-72.3）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思わない」が 43.5%（266 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 27.3%（167 人）、「どちらともいえない」が 24.1%（147 人）の順となっている。

・“思う”が 4.4%（27 人）、“思わない”が 70.9%（433 人）と“思わない”が“思う”に比べ 66.5 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思わない」が 47.0%（94 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 24.5%（49 人）、「どちらともいえない」が 20.0%（40 人）の順となっている。

・“思う”が 5.5%（11 人）、“思わない”が 71.5%（143 人）と“思わない”が“思う”に比べポ 66.0 イント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思わない」が 44.3%（43 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 33.0%（32 人）、「どちらともいえない」が 15.5%（15 人）の順となっている。

・“思う”が 6.2%（６人）、“思わない”が 77.3%（75 人）と“思わない”が“思う”に比べ

71.1 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

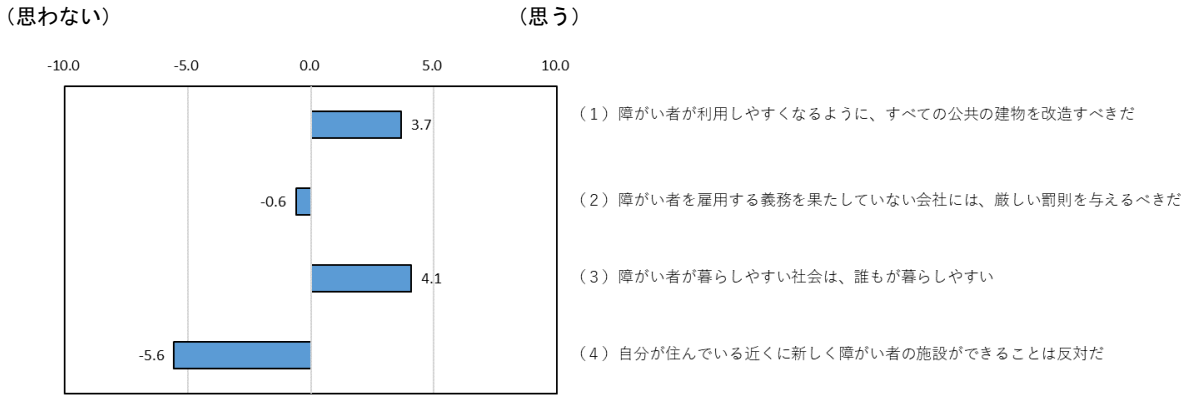
・野沢温泉村においては、「そう思わない」が 47.4%（27 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 28.1%（16 人）、「どちらともいえない」が 24.6%（14 人）の順となっている。

・“思う”が 0.0%（０人）、“思わない”が 75.5%（43 人）と“思わない”が“思う”に比べ 75.5 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 77.3%（75 人）、次いで『野沢温泉村』で 75.5%（43 人）、『山ノ内町』で 71.5%（143 人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『木島平村』で 6.2%（６人）、次いで『山ノ内町』で 5.5%（11 人）、『中野市』で 4.4%（27 人）の順となっている。

【設問間比較】



・“思わない”について「自分が住んでいる近くに新しく障がい者の施設ができることは反対だ」でマイナス 5.6 となっている。一方、“思う”について「障がい者が暮らしやすい社会は、誰もが暮らしやすい」で 4.1、「障がい者が利用しやすくなるように、すべての公共の建物を改造すべきだ」で 3.7 となっている。

〈比較の方法〉

設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

・そう思う…… 10点　　・そう思わない…… －10点

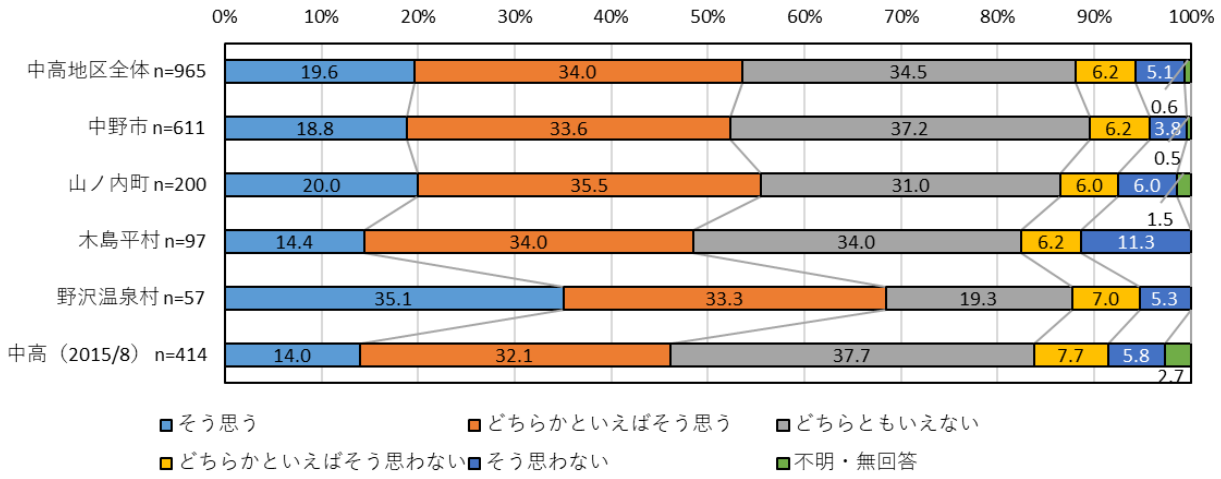
・どちらかといえばそう思う… ５点　　・どちらかといえばそう思わない… －５点

・どちらともいえない…… ０点

問 10　あなたは、外国人の人権問題について、どのように思いますか。次の（１）～（４）のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。（それぞれに○は１つ）

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 そう思わない
(1) 定住外国人は、もっと日本の文化にとけ込む努力をするべきだ	1	2	3	4	5
(2) 外国人は、仕事をするうえで、待遇が悪くても仕方がない	1	2	3	4	5
(3) 外国人が日本で働くことは、日本人の職を奪うことになり賛成できない	1	2	3	4	5
(4) 外国人にアパートを貸さない家主がいることは残念なことだ	1	2	3	4	5

（１）定住外国人は、もっと日本の文化にとけ込む努力をするべきだ



【中高地区全体】

・定住外国人は、もっと日本の文化にとけ込む努力をするべきだについてみると、「どちらともいえない」が 34.5%（333 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 34.0%（328 人）、「そう思う」が 19.6%（189 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 53.6%（517 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 11.3%（109 人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ 42.3 ポイント高くなっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 7.5 ポイント（53.6-46.1）高くなっており、一方“思わない”が 2.2 ポイント（11.3-13.5）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらともいえない」が 37.2%（227 人）で最も高く、次いで「どち

らかといえばそう思う」が 33.7%（206 人）、「そう思う」が 18.8%（115 人）の順となっている。

・“思う”が 52.4%（320 人）、“思わない”が 10.0%（61 人）と“思う”が“思わない”に比べ 42.4 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらかといえばそう思う」が 35.5%（71 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 31.0%（62 人）、「そう思う」が 20.0%（40 人）の順となっている。

・“思う”が 55.5%（111 人）、“思わない”が 12.0%（24 人）と“思う”が“思わない”に比べ 43.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらかといえばそう思う」「どちらともいえない」が同率で 34.0%（33 人）で最も高く、次いで「そう思う」が 14.4%（14 人）の順となっている。

・“思う”が 48.5%（47 人）、“思わない”が 17.5%（17 人）と“思う”が“思わない”に比べ 31.0 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

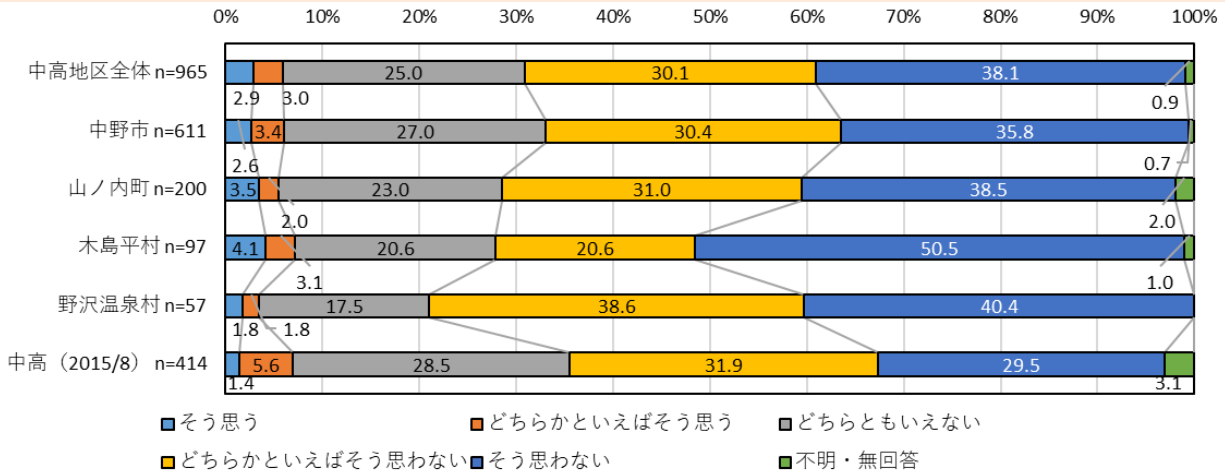
・野沢温泉村においては、「そう思う」が 35.1%（20 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 33.3%（19 人）、「どちらともいえない」が 19.3%（11 人）の順となっている。

・“思う”が 68.4%（39 人）、“思わない”が 12.3%（７人）と“思う”が“思わない”に比べ 56.1 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 68.4%（39 人）、次いで『山ノ内町』で 55.5%（111 人）、『中野市』で 52.4%（320 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 17.5%（17 人）、次いで『野沢温泉村』で 12.3%（７人）、『山ノ内町』で 12.0%（24 人）の順となっている。

（２）外国人は、仕事をするうえで、待遇が悪くても仕方がない



【中高地区全体】

・外国人は、仕事をするうえで、待遇が悪くても仕方がないについてみると、「そう思わない」が 38.1%（368 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 30.1%（290 人）、「どちらともいえない」が 25.0%（241 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 5.9%（57 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 68.2%（658 人）となっており、“思わない”が“思う”に比べ 62.3 ポイント高くなっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 1.1 ポイント（5.9-7.0）低くなっており、一方“思わない”が 6.8 ポイント（68.2-61.4）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思わない」が 35.8%（219 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 30.4%（186 人）、「どちらともいえない」が 27.0%（165 人）の順となっている。

・“思う”が 6.1%（37 人）、“思わない”が 66.3%（405 人）と“思わない”が“思う”に比べ 60.2 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思わない」が 38.5%（77 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 31.0%（62 人）、「どちらともいえない」が 23.0%（46 人）の順となっている。

・“思う”が 5.5%（11 人）、“思わない”が 69.5%（139 人）と“思わない”が“思う”に比べ 64.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思わない」が 50.5%（49 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」「どちらかといえばそう思わない」が同率で 20.6%（20 人）の順となっている。

・“思う”が 7.2%（７人）、“思わない”が 71.1%（69 人）と“思わない”が“思う”に比べ 63.9 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「そう思わない」が 40.4%（23 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 38.6%（22 人）、「どちらともいえない」が 17.5%（10 人）の順となっている。

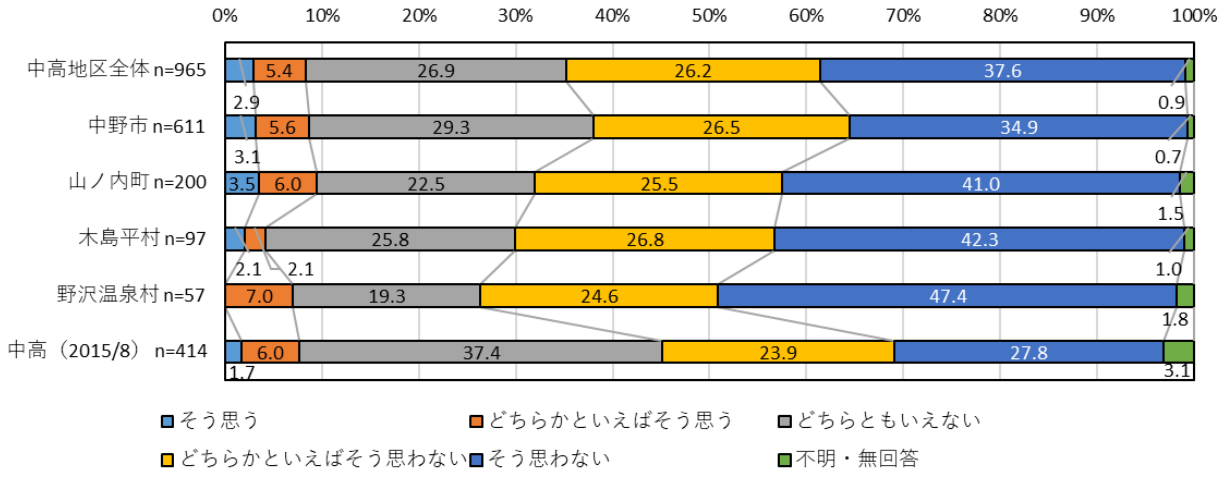
・“思う”が 3.5%（２人）、“思わない”が 78.9%（45 人）と“思わない”が“思う”に比べ 75.4 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 78.9%（45 人）、次いで『木島平村』で 71.1%（69 人）、『山ノ内町』で 69.5%（139 人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『木島平村』で 7.2%（７人）、次いで『中野市』で 6.1%（37 人）、『山ノ内町』で 5.5%（11 人）

の順となっている。

（３）外国人が日本で働くことは、日本人の職を奪うことになり賛成できない



【中高地区全体】

・外国人が日本で働くことは、日本人の職を奪うことになり賛成できないについてみると、「そう思わない」が 37.6%（363 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 26.9%（260 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 26.2%（253 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 8.3%（80 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 63.8%（616 人）となっており、“思わない”が“思う”に比べ 55.5 ポイント高くなっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 0.6 ポイント（8.3-7.7）高くなっており、一方“思わない”も 12.1 ポイント（63.8-51.7）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思わない」が 34.9%（213 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 29.3%（179 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 26.5%（162 人）の順となっている。

・“思う”が 8.7%（53 人）、“思わない”が 61.4%（375 人）と“思わない”が“思う”に比べ 52.7 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思わない」が 41.0%（82 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 25.5%（51 人）、「どちらともいえない」が 22.5%（45 人）の順となっている。

・“思う”が 9.5%（19 人）、“思わない”が 66.5%（133 人）と“思わない”が“思う”に比べ 57.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思わない」が 42.3%（41 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 26.8%（26 人）、「どちらともいえない」が 25.8%（25 人）の

順となっている。

・“思う”が 4.1%（４人）、“思わない”が 69.1%（67 人）と“思わない”が“思う”に比べ 65.0 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

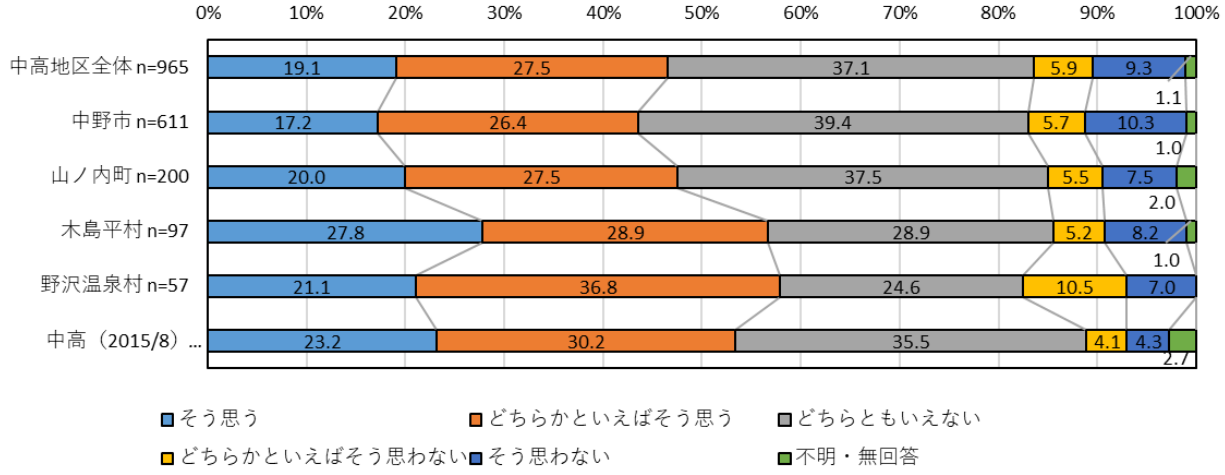
・野沢温泉村においては、「そう思わない」が 47.4%（27 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 24.6%（14 人）、「どちらともいえない」が 19.3%（11 人）の順となっている。

・“思う”が 7.0%（４人）、“思わない”が 71.9%（41 人）と“思わない”が“思う”に比べ 64.9 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 71.9%（41 人）、次いで『木島平村』で 69.1%（67 人）、『山ノ内町』で 66.5%（133 人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で 9.5%（19 人）、次いで『中野市』で 8.7%（53 人）、『野沢温泉村』で 7.0%（４人）の順となっている。

（４）外国人にアパートを貸さない家主がいることは残念なことだ



【中高地区全体】

・外国人にアパートを貸さない家主がいることは残念なことだについてみると、「どちらともいえない」が 37.1%（358 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 27.5%（265 人）、「そう思う」が 19.1%（184 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 46.5%（449 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 15.2%（147 人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ 31.3 ポイント高くなっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 6.9 ポイント（46.5-53.4）低くなっており、一方“思わない”が 6.8 ポイント（15.2-8.4）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらともいえない」が 39.4%（241 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.4%（161 人）、「そう思う」が 17.2%（105 人）の順となっている。

・“思う”が 43.5%（266 人）、“思わない”が 16.0%（98 人）と“思う”が“思わない”に比べ 27.5 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 37.5%（75 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 27.5%（55 人）、「そう思う」が 20.0%（40 人）の順となっている。

・“思う”が 47.5%（95 人）、“思わない”が 13.0%（26 人）と“思う”が“思わない”に比べ 34.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらかといえばそう思う」「どちらともいえない」が同率で 28.9%（28 人）で最も高く、次いで「そう思う」が 27.8%（27 人）の順となっている。

・“思う”が 56.7%（55 人）、“思わない”が 13.4%（13 人）と“思う”が“思わない”に比べ 43.3 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

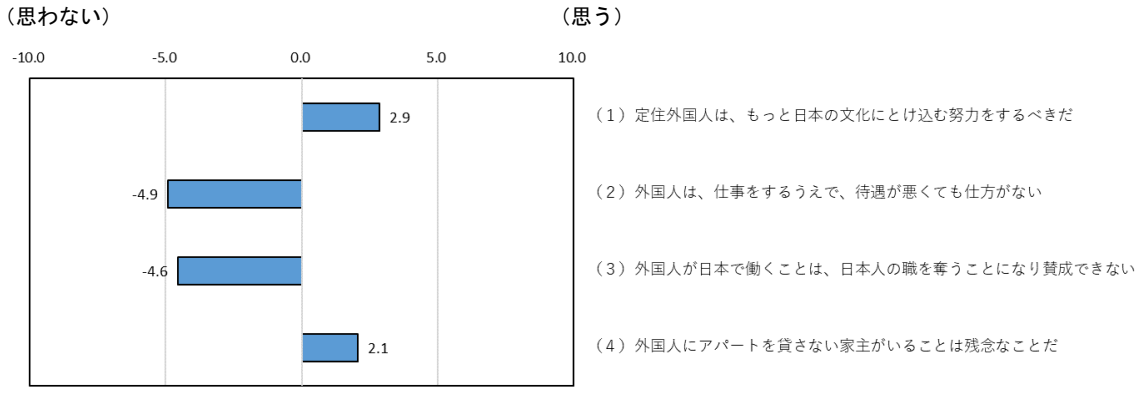
・野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思う」が 36.8%（21 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 24.6%（14 人）、「そう思う」が 21.1%（12 人）の順となっている。

・“思う”が 57.9%（33 人）、“思わない”が 17.5%（10 人）と“思う”が“思わない”に比べ 40.4 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 57.9%（33 人）、次いで『木島平村』で 56.7%（55 人）、『山ノ内町』で 47.5%（95 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 17.5%（10 人）、次いで『中野市』で 16.0%（98 人）、『木島平村』で 13.4%（13 人）の順となっている。

【設問間比較】



・“思わない”について「外国人は、仕事をするうえで、待遇が悪くても仕方がない」でマイナス 4.9、「外国人が日本で働くことは、日本人の職を奪うことになり賛成できない」でマイナス 4.6 となっている。一方、“思う”について「定住外国人は、もっと日本の文化にとけ込む努力をするべきだ」で 2.9、「外国人にアパートを貸さない家主がいることは残念なことだ」で 2.1 となっている。

〈比較の方法〉

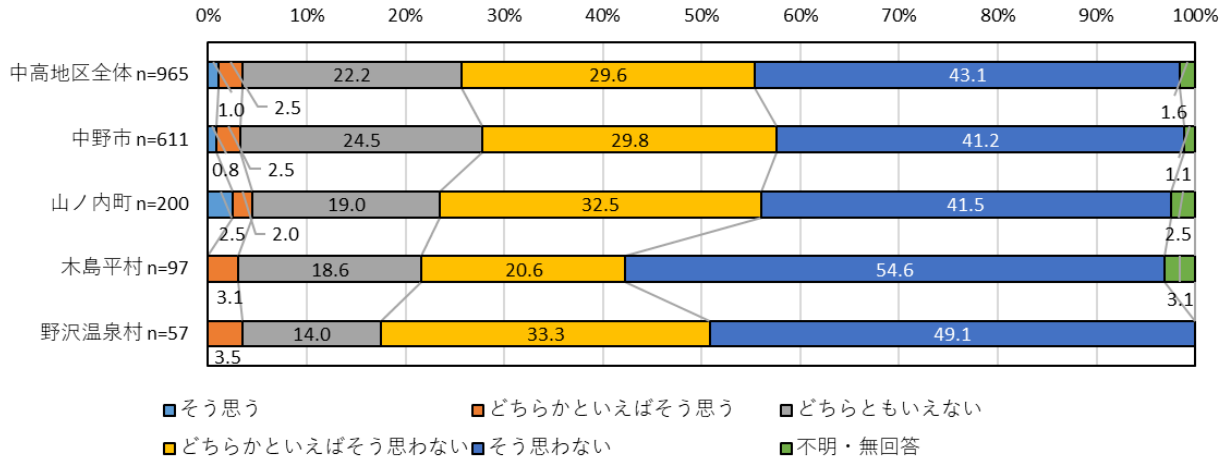
設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

・そう思う…… 10点　　・そう思わない…… －10点
・どちらかといえばそう思う… ５点　　・どちらかといえばそう思わない… －５点
・どちらともいえない…… ０点

問 11　あなたは、ハンセン病や感染症患者等に関する人権問題について、どのように思いますか。次の（１）～（４）のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。（それぞれに○は１つ）

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 そう思わない
(1) ハンセン病回復者が社会復帰できなくても仕方がない	1	2	3	4	5
(2) ハンセン病回復者の家族が結婚や就職などで不利な扱いを受けることは仕方がない	1	2	3	4	5
(3) 友人がHIVに感染していることがわかっても、これまでと同じように付き合っていける	1	2	3	4	5
(4) コロナ感染者やこれに関わる医療従事者等が誹謗中傷されたり嫌がらせを受けたりしたことは差別であり許されない	1	2	3	4	5

（１）ハンセン病回復者が社会復帰できなくても仕方がない



【中高地区全体】

・ハンセン病回復者が社会復帰できなくても仕方がないについてみると、「そう思わない」が43.1%（416 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 29.6%（286 人）、「どちらともいえない」が 22.2%（214 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 3.5%（34 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 72.7%（702 人）となっており、“思わない”が“思う”に比べ 69.2 ポイント高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思わない」が 41.2%（252 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 29.8%（182 人）、「どちらともいえない」が 24.5%（150 人）の順となっている。

・“思う”が 3.3%（20 人）、“思わない”が 71.0%（434 人）と“思わない”が“思う”に比べ 67.7 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思わない」が 41.5%（83 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 32.5%（65 人）、「どちらともいえない」が 19.0%（38 人）の順となっている。

・“思う”が 4.5%（９人）、“思わない”が 74.0%（148 人）と“思わない”が“思う”に比べ 69.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思わない」が 54.6%（53 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 20.6%（20 人）、「どちらともいえない」が 18.6%（18 人）の順となっている。

・“思う”が 3.1%（３人）、“思わない”が 75.2%（73 人）と“思わない”が“思う”に比べ 72.1 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

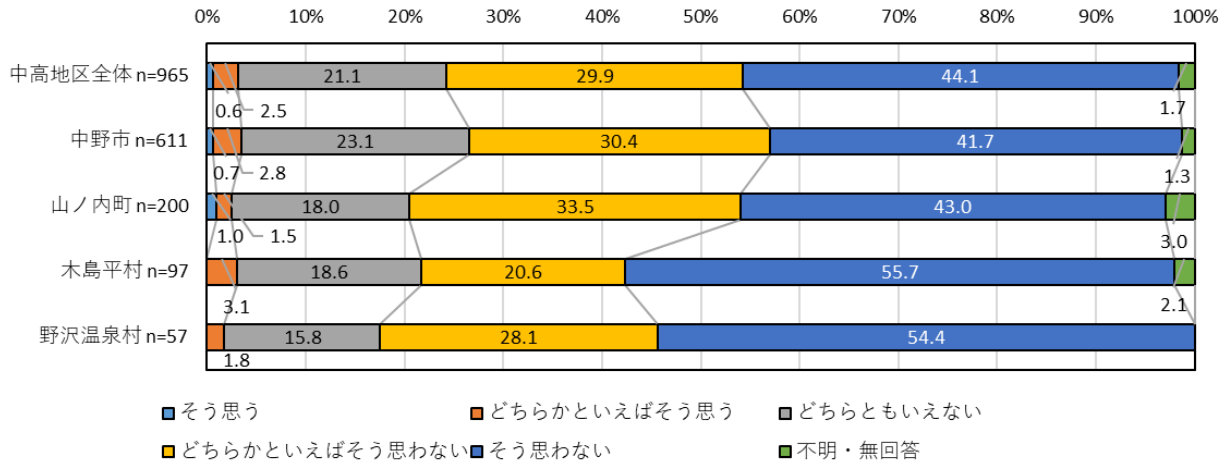
・野沢温泉村においては、「そう思わない」が 49.1%（28 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 33.3%（19 人）、「どちらともいえない」が 14.0%（８人）の順となっている。

・“思う”が 3.5%（２人）、“思わない”が 82.5%（47 人）と“思わない”が“思う”に比べ 79.0 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 82.5%（47 人）、次いで『木島平村』で 75.2%（73 人）、『山ノ内町』で 74.0%（148 人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で 4.5%（９人）、次いで『野沢温泉村』で 3.5%（２人）、『中野市』で 3.3%（20 人）の順となっている。

（２）ハンセン病回復者の家族が結婚や就職などで不利な扱いを受けることは仕方がない



【中高地区全体】

・ハンセン病回復者の家族が結婚や就職などで不利な扱いを受けることは仕方がないについてみると、「そう思わない」が 44.1%（426 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 29.9%（289 人）、「どちらともいえない」が 21.1%（204 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 3.1%（30 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 74.1%（715 人）となっており、“思わない”が“思う”に比べ 71.0 ポイント高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思わない」が 41.7%（255 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 30.4%（186 人）、「どちらともいえない」が 23.1%（141 人）の順となっている。

・“思う”が 3.4%（21 人）、“思わない”が 72.2%（441 人）と“思わない”が“思う”に比べ 68.8 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思わない」が 43.0%（86 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 33.5%（67 人）、「どちらともいえない」が 18.0%（36 人）の順となっている。

・“思う”が 2.5%（５人）、“思わない”が 76.5%（153 人）と“思わない”が“思う”に比べ 74.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思わない」が 55.7%（54 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 20.6%（20 人）、「どちらともいえない」が 18.6%（18 人）の順となっている。

・“思う”が 3.1%（３人）、“思わない”が 76.3%（74 人）と“思わない”が“思う”に比べ 73.2 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

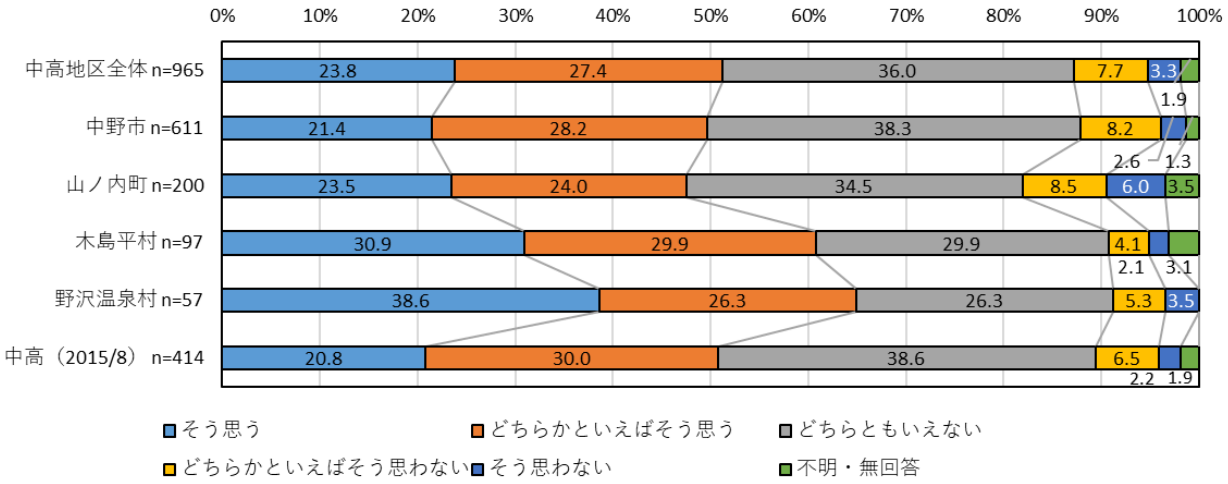
・野沢温泉村においては、「そう思わない」が 54.4%（31 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 28.1%（16 人）、「どちらともいえない」が 15.8%（９人）の順となっている。

・“思う”が 1.8%（１人）、“思わない”が 82.5%（47 人）と“思わない”が“思う”に比べ 80.7 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 82.5%（47 人）、次いで『山ノ内町』で 76.5%（153 人）、『木島平村』で 76.3%（74 人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『中野市』で 3.4%（21 人）、次いで『木島平村』で 3.1%（３人）、『山ノ内町』で 2.5%（５人）の順となっている。

（３）友人が HIV に感染していることがわかっても、これまでと同じように付き合っていける



【中高地区全体】

・友人が HIV に感染していることがわかっても、これまでと同じように付き合っていけるについてみると、「どちらともいえない」が 36.0%（347 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 27.4%（264 人）、「そう思う」が 23.8%（230 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 51.2%（494 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 11.0%（106 人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ 40.2 ポイント高くなっている。

・前回調査と比較すると、“思う”が 0.4 ポイント（51.2-50.8）高くなっており、一方“思わない”も 2.3 ポイント（11.0-8.7）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらともいえない」が 38.3%（234 人）で最も高く、次いで「どち

らかといえばそう思う」が 28.2%（172 人）、「そう思う」が 21.4%（131 人）の順となっている。

・“思う”が 49.6%（303 人）、“思わない”が 10.8%（66 人）と“思う”が“思わない”に比べ 38.8 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 34.5%（69 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 24.0%（48 人）、「そう思う」が 23.5%（47 人）の順となっている。

・“思う”が 47.5%（95 人）、“思わない”が 14.5%（29 人）と“思う”が“思わない”に比べ 33.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思う」が 30.9%（30 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」「どちらともいえない」が同率で 29.9%（29 人）の順となっている。

・“思う”が 60.8%（59 人）、“思わない”が 6.2%（６人）と“思う”が“思わない”に比べ 54.6 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

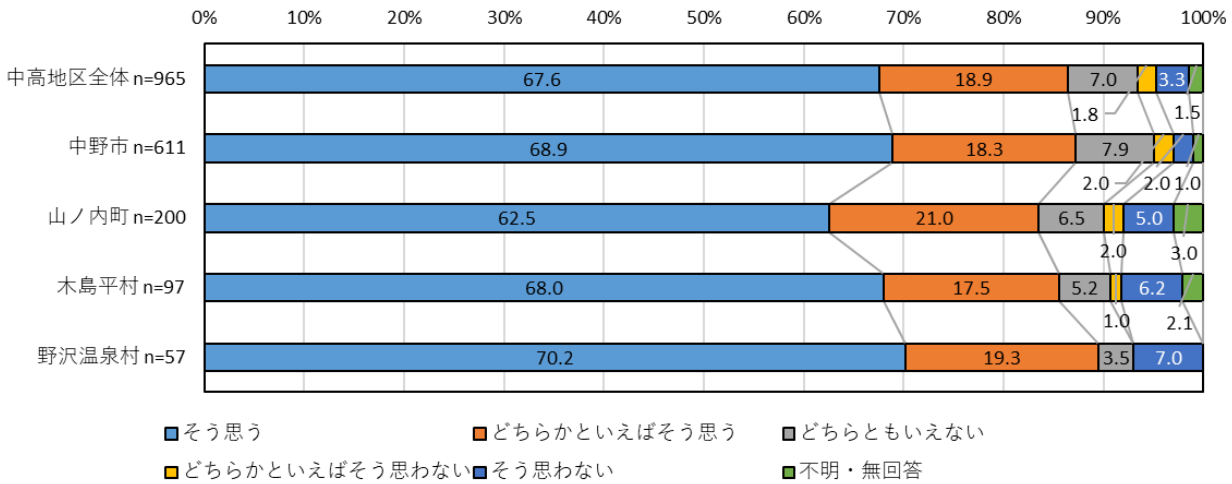
・野沢温泉村においては、「そう思う」が 38.6%（22 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」「どちらともいえない」が同率で 26.3%（15 人）の順となっている。

・“思う”が 64.9%（37 人）、“思わない”が 8.8%（５人）と“思う”が“思わない”に比べ 56.1 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 64.9%（37 人）、次いで『木島平村』で 60.8%（59 人）、『中野市』で 49.6%（303 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で 14.5%（29 人）、次いで『中野市』で 10.8%（66 人）、『野沢温泉村』で 8.8%（５人）の順となっている。

（４）コロナ感染者やこれに関わる医療従事者等が誹謗中傷されたり嫌がらせを受けたりしたことは差別であり許されない



【中高地区全体】

・コロナ感染者やこれに関わる医療従事者等が誹謗中傷されたり嫌がらせを受けたりしたことは差別であり許されないについてみると、「そう思う」が 67.6%（652 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 18.9%（182 人）、「どちらともいえない」が 7.0%（68 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 86.4%（834 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 5.1%（49 人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ 81.3 ポイント高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思う」が 68.9%（421 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 18.3%（112 人）、「どちらともいえない」が 7.9%（48 人）の順となっている。

・“思う”が 87.2%（533 人）、“思わない”が 3.9%（24 人）と“思う”が“思わない”に比べ 83.3 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思う」が 62.5%（125 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 21.0%（42 人）、「どちらともいえない」が 6.5%（13 人）の順となっている。

・“思う”が 83.5%（167 人）、“思わない”が 7.0%（14 人）と“思う”が“思わない”に比べ 76.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思う」が 68.0%（66 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 17.5%（17 人）、「どちらともいえない」が 5.2%（５人）の順となっている。

・“思う”が 85.6%（83 人）、“思わない”が 7.2%（７人）と“思う”が“思わない”に比べ 78.4 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

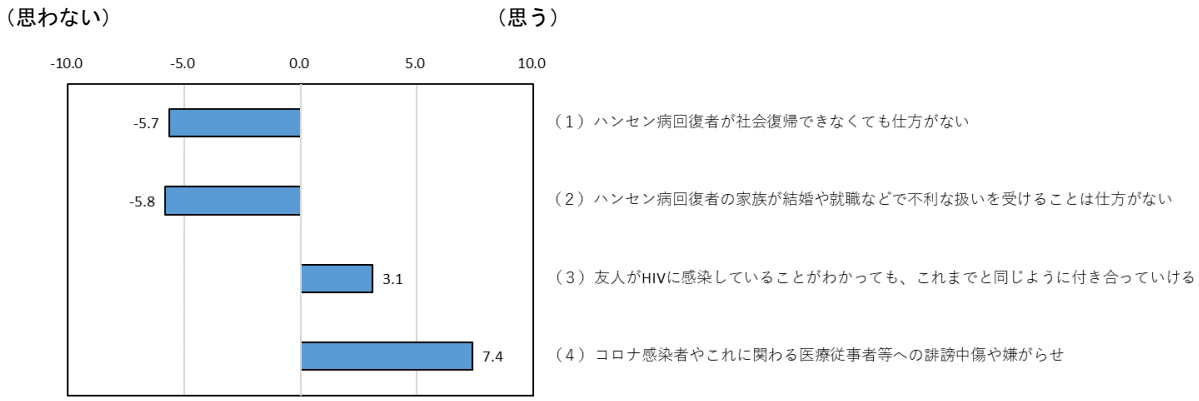
・野沢温泉村においては、「そう思う」が 70.2%（40 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 19.3%（11 人）、「どちらともいえない」が 3.5%（２人）の順となっている。

・“思う”が 89.5%（51 人）、“思わない”が 7.0%（４人）と“思う”が“思わない”に比べ 82.5 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 89.5%（51 人）、次いで『中野市』で 87.2%（533 人）、『木島平村』で 85.6%（83 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 7.2%（７人）、次いで『山ノ内町』『野沢温泉村』でそれぞれ 7.0%（14 人）（４人）の順となっている。

【設問間比較】



・“思わない”について「ハンセン病回復者の家族が結婚や就職などで不利な扱いを受けることは仕方がない」でマイナス 5.8、「ハンセン病回復者が社会復帰できなくても仕方がない」でマイナス 5.7 となっている。一方、“思う”について「コロナ感染者やこれに関わる医療従事者等が誹謗中傷されたり嫌がらせを受けたりしたことは差別であり許されない」で 7.4、「友人がＨＩＶに感染していることがわかっても、これまでと同じように付き合っていける」で 3.1 となっている

〈比較の方法〉

設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

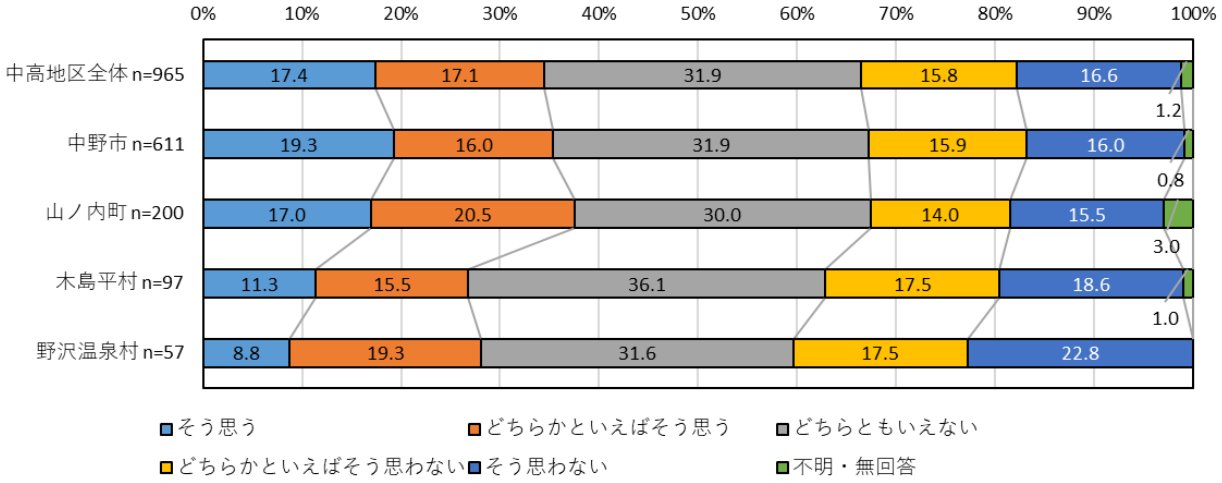
・そう思う…… 10点　　・そう思わない…… －10点
・どちらかといえばそう思う… ５点　　・どちらかといえばそう思わない… －５点
・どちらともいえない…… ０点

問 12　あなたは、ＬＧＢＴＱ※等の性的少数者の人権問題について、どのように思いますか。次の（１）～（４）のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。（それぞれに○は１つ）

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 そう思わない
(1) LGBTQ等の性的少数者の入居を拒否するのは大家さんの自由である	1	2	3	4	5
(2) 友人がLGBTQ等の性的少数者とわかってもこれまでと同じように付き合っていける	1	2	3	4	5
(3) LGBTQ等の性的少数者が就職で不利な取扱いをされるのは仕方がない	1	2	3	4	5
(4) 同性の婚姻を法的に認めるべきである	1	2	3	4	5

※　ＬＧＢＴＱ：女性同性愛者（レズビアン）、男性同性愛者（ゲイ）、異性も同性も好きになる人（バイセクシャル）、生物学的な性と性自認が異なる人（トランスジェンダー）、性自認や性的指向が明確でない人（クエスチョニング）の略

（１）ＬＧＢＴＱ等の性的少数者の入居を拒否するのは大家さんの自由である



【中高地区全体】

・ＬＧＢＴＱ等の性的少数者の入居を拒否するのは大家さんの自由であるについてみると、「どちらともいえない」が 31.9%（308 人）で最も高く、次いで「そう思う」が 17.4%（168 人）、「どちらかといえばそう思う」が 17.1%（165 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 34.5%（333 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 32.3%（312 人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ 2.2 ポイント高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらともいえない」が 31.9%（195 人）で最も高く、次いで「そう思う」が 19.3%（118 人）、「どちらかといえばそう思う」「そう思わない」が同率で 16.0%（98 人）の順となっている。

・“思う”が 35.4%（216 人）、“思わない”が 31.9%（195 人）と“思う”が“思わない”に比べ 3.5 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 30.0%（60 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 20.5%（41 人）、「そう思う」が 17.0%（34 人）の順となっている。

・“思う”が 37.5%（75 人）、“思わない”が 29.5%（59 人）と“思う”が“思わない”に比べ 8.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらともいえない」が 36.1%（35 人）で最も高く、次いで「そ

う思わない」が 18.6%（18 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 17.5%（17 人）の順となっている。

・“思う”が 26.8%（26 人）、“思わない”が 36.1%（35 人）と“思わない”が“思う”に比べ 9.3 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

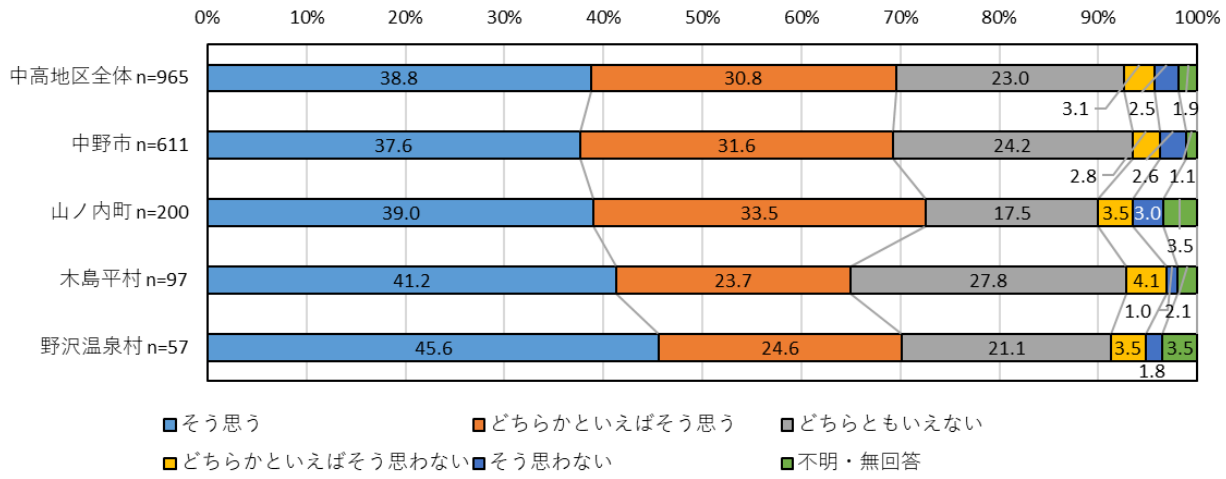
・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が 31.6%（18 人）で最も高く、次いで「そう思わない」が 22.8%（13 人）、「どちらかといえばそう思う」が 19.3%（11 人）の順となっている。

・“思う”が 28.1%（16 人）、“思わない”が 40.4%（23 人）と“思わない”が“思う”に比べ 12.3 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』で“思う”、『木島平村』『野沢温泉村』で“思わない”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で 37.5%（75 人）、次いで『中野市』で 35.4%（216 人）、『野沢温泉村』で 28.1%（16 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 40.4%（23 人）、次いで『木島平村』で 36.1%（35 人）、『中野市』で 31.9%（195 人）の順となっている。

（２）友人がＬＧＢＴＱ等の性的少数者とわかってもこれまでと同じように付き合っていける



【中高地区全体】

・友人がＬＧＢＴＱ等の性的少数者とわかってもこれまでと同じように付き合っていけるについてみると、「そう思う」が 38.8%（374 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 30.8%（297 人）、「どちらともいえない」が 23.0%（222 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 69.5%（671 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 5.6%（54 人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ 63.9 ポイント高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思う」が 37.6%（230 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 31.6%（193 人）、「どちらともいえない」が 24.2%（148 人）の順となっている。

・“思う”が 69.2%（423 人）、“思わない”が 5.4%（33 人）と“思う”が“思わない”に比べ 63.8 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思う」が 39.0%（78 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 33.5%（67 人）、「どちらともいえない」が 17.5%（35 人）の順となっている。

・“思う”が 72.5%（145 人）、“思わない”が 6.5%（13 人）と“思う”が“思わない”に比べ 66.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思う」が 41.2%（40 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 27.8%（27 人）、「どちらかといえばそう思う」が 23.7%（23 人）の順となっている。

・“思う”が 64.9%（63 人）、“思わない”が 5.2%（５人）と“思う”が“思わない”に比べ 59.7 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

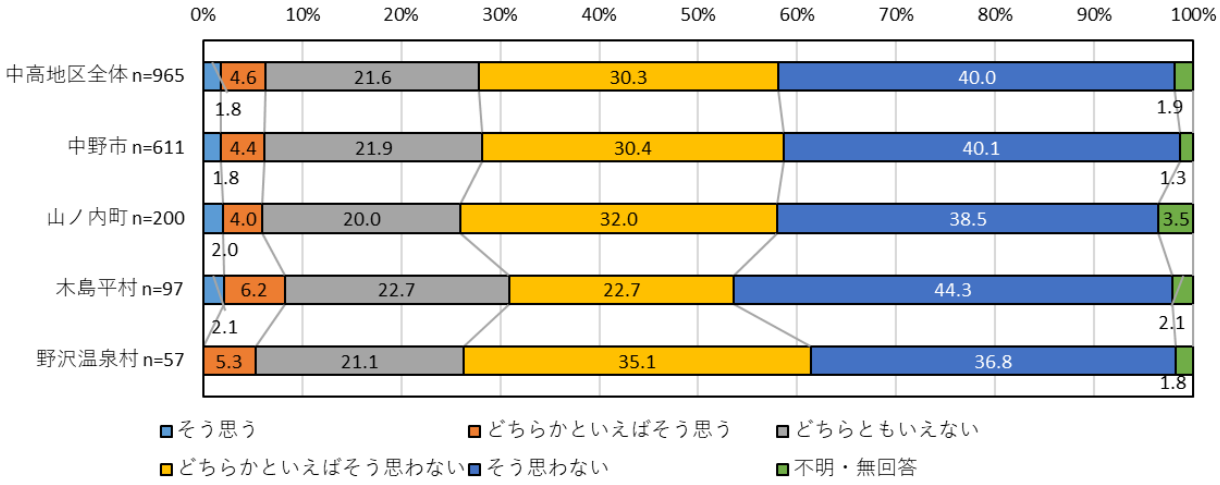
・野沢温泉村においては、「そう思う」が 45.6%（26 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 24.6%（14 人）、「どちらともいえない」が 21.1%（12 人）の順となっている。

・“思う”が 70.2%（40 人）、“思わない”が 5.3%（３人）と“思う”が“思わない”に比べ 64.9 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で 72.5%（145 人）、次いで『野沢温泉村』で 70.2%（40 人）、『中野市』で 69.2%（423 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で 6.5%（13 人）、次いで『中野市』で 5.4%（33 人）、『野沢温泉村』で 5.3%（３人）の順となっている。

（３）ＬＧＢＴＱ等の性的少数者が就職で不利な取扱いをされるのは仕方がない



【中高地区全体】

・ＬＧＢＴＱ等の性的少数者が就職で不利な取扱いをされるのは仕方がないについてみると、「そう思わない」が 40.0%（386 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 30.3%（292 人）、「どちらともいえない」が 21.6%（208 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 6.3%（61 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 70.3%（678 人）となっており、“思わない”が“思う”に比べ 64.0 ポイント高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思わない」が 40.1%（245 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 30.4%（186 人）、「どちらともいえない」が 21.9%（134 人）の順となっている。

・“思う”が 6.2%（38 人）、“思わない”が 70.5%（431 人）と“思わない”が“思う”に比べ 64.3 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思わない」が 38.5%（77 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 32.0%（64 人）、「どちらともいえない」が 20.0%（40 人）の順となっている。

・“思う”が 6.0%（12 人）、“思わない”が 70.5%（141 人）と“思わない”が“思う”に比べ 64.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思わない」が 44.3%（43 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」「どちらかといえばそう思わない」が同率で 22.7%（22 人）の順となっている。

・“思う”が 8.2%（８人）、“思わない”が 67.0%（65 人）と“思わない”が“思う”に比べ 58.8 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

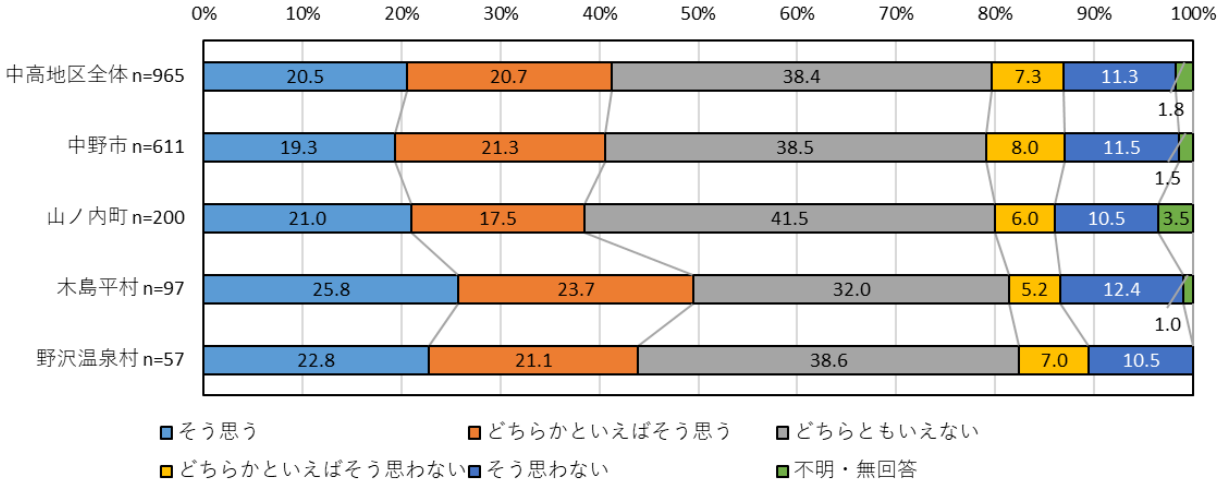
・野沢温泉村においては、「そう思わない」が 36.8%（21 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 35.1%（20 人）、「どちらともいえない」が 21.1%（12 人）の順となっている。

・“思う”が 5.3%（３人）、“思わない”が 71.9%（41 人）と“思わない”が“思う”に比べ 66.6 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 71.9%（41 人）、次いで『中野市』『山ノ内町』でそれぞれ 70.5%（431 人）（141 人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『木島平村』で 8.2%（８人）、次いで『中野市』で 6.2%（38 人）、『山ノ内町』で 6.0%（12 人）の順となっている。

（４）同性の婚姻を法的に認めるべきである



【中高地区全体】

・同性の婚姻を法的に認めるべきであるについてみると、「どちらともいえない」が 38.4%（371 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 20.7%（200 人）、「そう思う」が 20.5%（198 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 41.2%（398 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 18.5%（179 人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ 22.7 ポイント高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらともいえない」が 38.5%（235 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 21.3%（130 人）、「そう思う」が 19.3%（118 人）の順となっている。

・“思う”が 40.6%（248 人）、“思わない”が 19.5%（119 人）と“思う”が“思わない”に比べ 21.1 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 41.5%（83 人）で最も高く、次いで「そう思う」が 21.0%（42 人）、「どちらかといえばそう思う」が 17.5%（35 人）の順となっている。

・“思う”が 38.5%（77 人）、“思わない”が 16.5%（33 人）と“思う”が“思わない”に比べ 22.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらともいえない」が 32.0%（31 人）で最も高く、次いで「そう思う」が 25.8%（25 人）、「どちらかといえばそう思う」が 23.7%（23 人）の順となっている。

・“思う”が 49.5%（48 人）、“思わない”が 17.5%（17 人）と“思う”が“思わない”に比べ 32.0 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

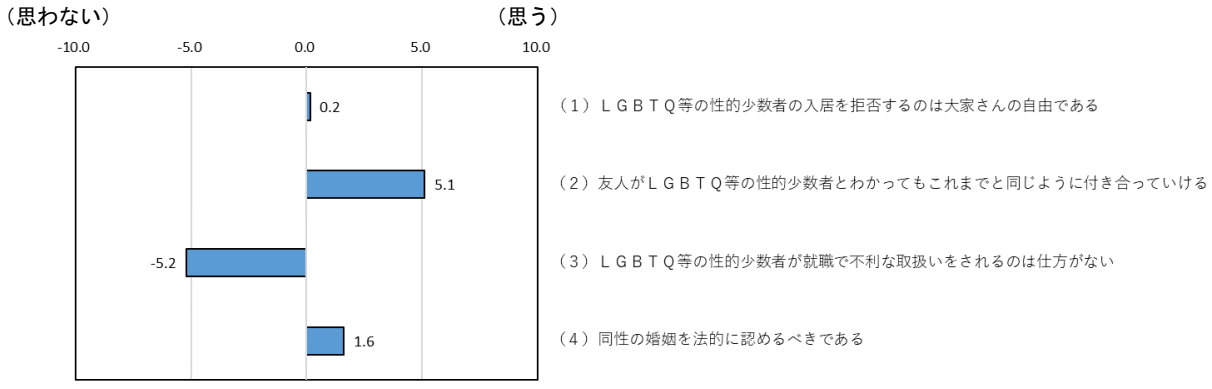
・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が 38.6%（22 人）で最も高く、次いで「そう思う」が 22.8%（13 人）、「どちらかといえばそう思う」が 21.1%（12 人）の順となっている。

・“思う”が 43.9%（25 人）、“思わない”が 17.5%（10 人）と“思う”が“思わない”に比べ 26.4 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『木島平村』で 49.5%（48 人）、次いで『野沢温泉村』で 43.9%（25 人）、『中野市』で 40.6%（248 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『中野市』で 19.5%（119 人）、次いで『山ノ内町』で 16.5%（33 人）、『木島平村』『野沢温泉村』が同率で 17.5%（17 人）（10 人）の順となっている。

【設問間比較】



・“思わない”について「ＬＧＢＴＱ等の性的少数者が就職で不利な取扱いをされるのは仕方がない」でマイナス 5.2 となっている。一方、“思う”について「友人がＬＧＢＴＱ等の性的少数者とわかってもこれまでと同じように付き合っていける」で 5.1、「同性の婚姻を法

的に認めるべきである」で1.6となっている。

〈比較の方法〉

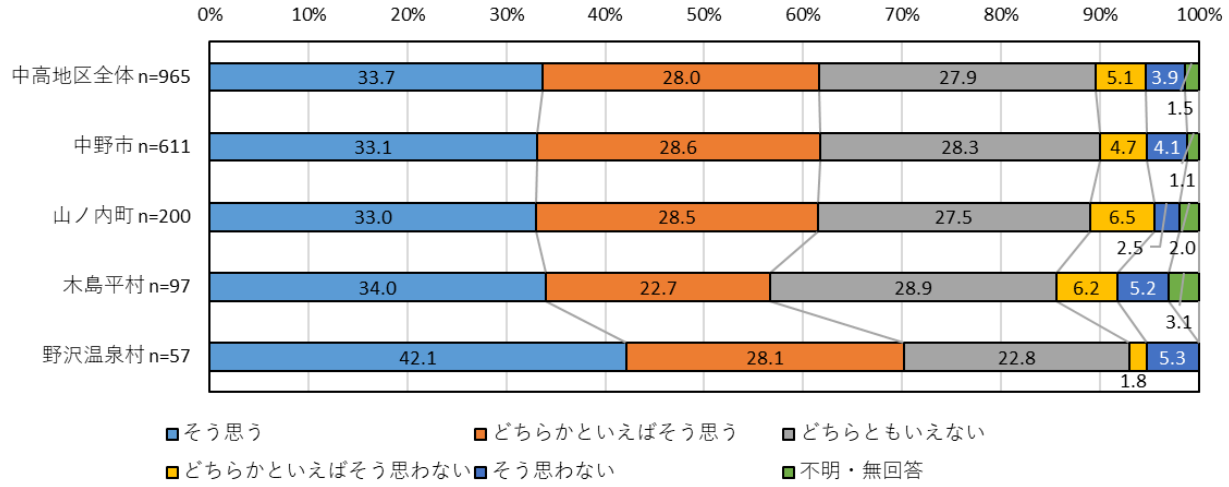
設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

- そう思う…… 10点
- どちらかといえばそう思う… ５点
- どちらともいえない…… ０点
- そう思わない…… －10点
- どちらかといえばそう思わない… －５点

問13　あなたは、犯罪被害者やその家族の人権問題について、どのように思いますか。次の（１）～（４）のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。（それぞれに○は１つ）

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 そう思わない
(1) 犯罪行為によって生じる経済的負担をできる限り軽減するための措置が取られるべきである	1	2	3	4	5
(2) 事件に関して興味本位でうわさ話をするのはやむを得ない	1	2	3	4	5
(3) 刑事裁判手続きに被害者の声が十分反映されるようにすべきである	1	2	3	4	5
(4) 報道、取材や一般人のSNS等によってプライバシーに関することを公にして、私生活の平穏を犯してはならない	1	2	3	4	5

（１）犯罪行為によって生じる経済的負担をできる限り軽減するための措置が取られるべきである



【中高地区全体】

・犯罪行為によって生じる経済的負担をできる限り軽減するための措置が取られるべきであるについてみると、「そう思う」が 33.7%（325 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 28.0%（270 人）、「どちらともいえない」が 27.9%（269 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 61.7%（595 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 9.0%（87 人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ 52.7 ポイント高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思う」が 33.1%（202 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 28.6%（175 人）、「どちらともいえない」が 28.3%（173 人）の順となっている。

・“思う”が 61.7%（377 人）、“思わない”が 8.8%（54 人）と“思う”が“思わない”に比べ 52.9 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思う」が 33.0%（66 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 28.5%（57 人）、「どちらともいえない」が 27.5%（55 人）の順となっている。

・“思う”が 61.5%（123 人）、“思わない”が 9.0%（18 人）と“思う”が“思わない”に比べ 52.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思う」が 34.0%（33 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 28.9%（28 人）、「どちらかといえばそう思う」が 22.7%（22 人）の順となっている。

・“思う”が 56.7%（55 人）、“思わない”が 11.3%（11 人）と“思う”が“思わない”に比べ 45.4 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

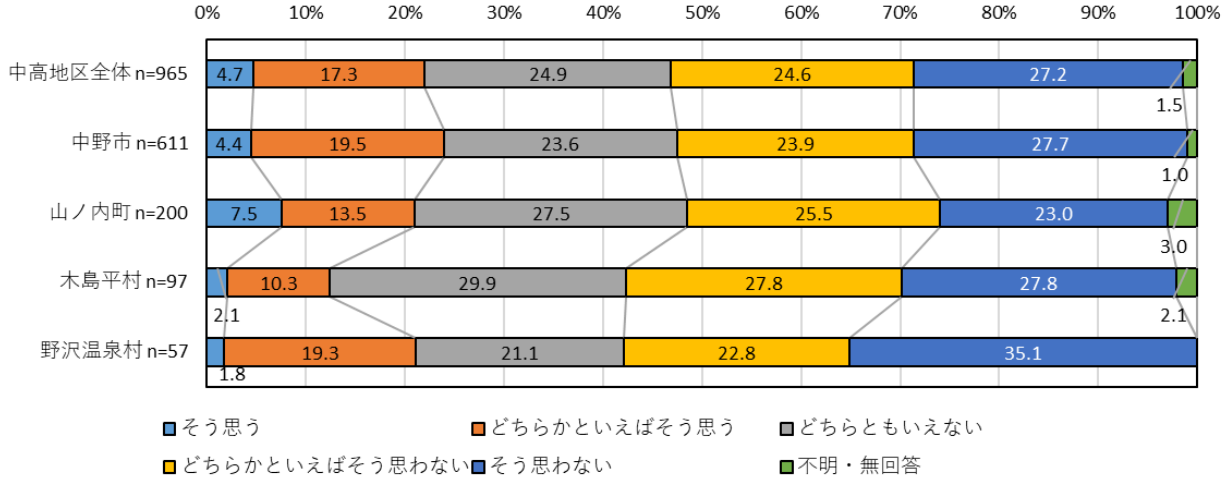
・野沢温泉村においては、「そう思う」が 42.1%（24 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 28.1%（16 人）、「どちらともいえない」が 22.8%（13 人）の順となっている。

・“思う”が 70.2%（40 人）、“思わない”が 7.0%（４人）と“思う”が“思わない”に比べ 63.2 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 70.2%（40 人）、次いで『中野市』で 61.7%（377 人）、『山ノ内町』で 61.5%（123 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 11.3%（11 人）、次いで『山ノ内町』で 9.0%（18 人）、『中野市』で 8.8%（54 人）の順となっている。

（２）事件に関して興味本位でうわさ話をするのはやむを得ない



【中高地区全体】

・事件に関して興味本位でうわさ話をするのはやむを得ないについてみると、「そう思わない」が 27.2%（262 人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 24.9%（240 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 24.6%（237 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 22.0%（212 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 51.7%（499 人）となっており、“思わない”が“思う”に比べ 29.7 ポイント高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思わない」が 27.7%（169 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 23.9%（146 人）、「どちらともいえない」が 23.6%（144 人）の順となっている。

・“思う”が 23.9%（146 人）、“思わない”が 51.6%（315 人）と“思わない”が“思う”に比べ 27.7 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 27.5%（55 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 25.5%（51 人）、「そう思わない」が 23.0%（46 人）の順となっている。

・“思う”が 21.0%（42 人）、“思わない”が 48.5%（97 人）と“思わない”が“思う”に比べ 27.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらともいえない」が 29.9%（29 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が同率で 27.8%（27 人）の順となっている。

・“思う”が 12.4%（12 人）、“思わない”が 55.7%（54 人）と“思わない”が“思う”に比べ 43.3 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

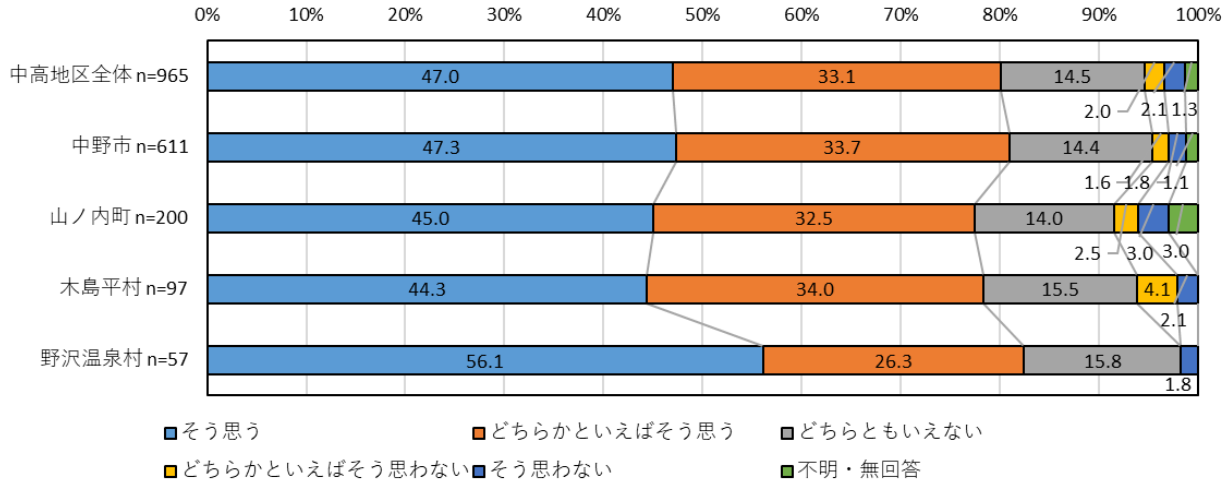
・野沢温泉村においては、「そう思わない」が 35.1%（20 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 22.8%（13 人）、「どちらともいえない」が 21.1%（12 人）の順となっている。

・“思う”が 21.1%（12 人）、“思わない”が 57.9%（33 人）と“思わない”が“思う”に比べ 36.8 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 57.9%（33 人）、次いで『木島平村』で 55.7%（54 人）、『中野市』で 51.6%（315 人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『中野市』で 23.9%（146 人）、次いで『野沢温泉村』で 21.1%（12 人）、『山ノ内町』で 21.0%（42 人）の順となっている。

（３）刑事裁判手続きに被害者の声が十分反映されるようにすべきである



【中高地区全体】

・刑事裁判手続きに被害者の声が十分反映されるようにすべきであるについてみると、「そう思う」が 47.0%（454 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 33.1%（319 人）、「どちらともいえない」が 14.5%（140 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 80.1%（773 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 4.0%（39 人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ 76.1 ポイント高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思う」が 47.3%（289 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 33.7%（206 人）、「どちらともいえない」が 14.4%（88 人）の順となっている。

・“思う”が 81.0%（495 人）、“思わない”が 3.4%（21 人）と“思う”が“思わない”に比べ 77.6 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思う」が 45.0%（90 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 32.5%（65 人）、「どちらともいえない」が 14.0%（28 人）の順となっている。

・“思う”が 77.5%（155 人）、“思わない”が 5.5%（11 人）と“思う”が“思わない”に比べ 72.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思う」が 44.3%（43 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 34.0%（33 人）、「どちらともいえない」が 15.5%（15 人）の順となっている。

・“思う”が 78.4%（76 人）、“思わない”が 6.2%（６人）と“思う”が“思わない”に比べ 72.2 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

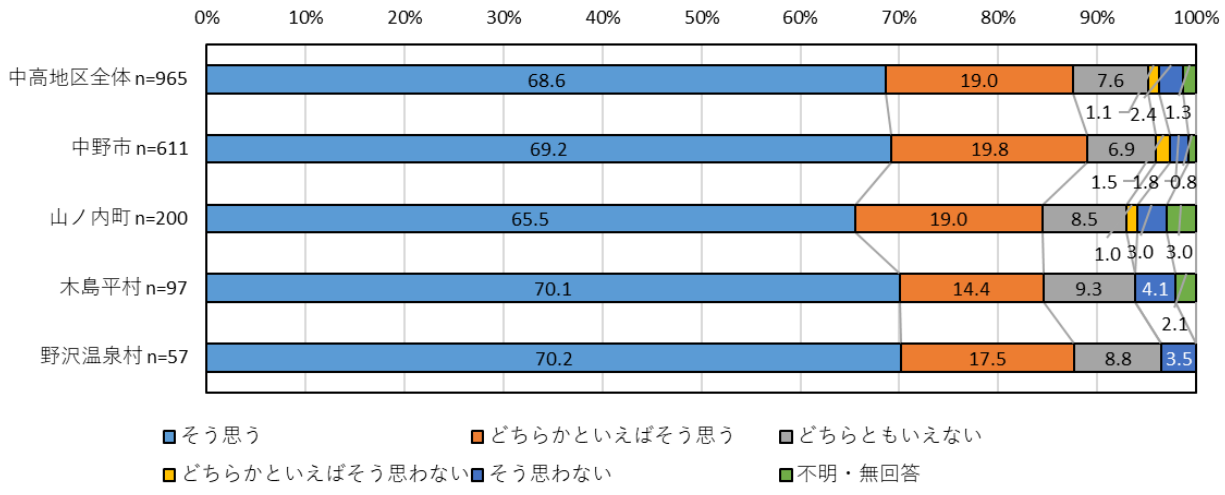
・野沢温泉村においては、「そう思う」が 56.1%（32 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.3%（15 人）、「どちらともいえない」が 15.8%（９人）の順となっている。

・“思う”が 82.5%（47 人）、“思わない” が 1.8%（１人）と“思う”が“思わない”に比べ 80.7 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 82.5%（47 人）、次いで『中野市』で 81.0%（495 人）、『木島平村』で 78.4%（76 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 6.2%（６人）、次いで『山ノ内町』で 5.5%（11 人）、『中野市』で 3.4%（21 人）の順となっている。

（４）報道、取材や一般人のＳＮＳ等によってプライバシーに関することを公にして、私生活の平穏を犯してはならない



【中高地区全体】

・報道、取材や一般人のＳＮＳ等によってプライバシーに関することを公にして、私生活の平穏を犯してはならないについてみると、「そう思う」が 68.6%（662 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 19.0%（183 人）、「どちらともいえない」が 7.6%（73 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 87.6%（845 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 3.5%（34 人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ 84.1 ポイント高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思う」が 69.2%（423 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 19.8%（121 人）、「どちらともいえない」が 6.9%（42 人）の順となっている。

・“思う”が 89.0%（544 人）、“思わない”が 3.3%（20 人）と“思う”が“思わない”に比べ 85.7 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思う」が 65.5%（131 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 19.0%（38 人）、「どちらともいえない」が 8.5%（17 人）の順となっている。

・“思う”が 84.5%（169 人）、“思わない”が 4.0%（８人）と“思う”が“思わない”に比べ 80.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思う」が 70.1%（68 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 14.4%（14 人）、「どちらともいえない」が 9.3%（９人）の順となっている。

・“思う”が 84.5%（82 人）、“思わない”が 4.1%（４人）と“思う”が“思わない”に比べ 80.4 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

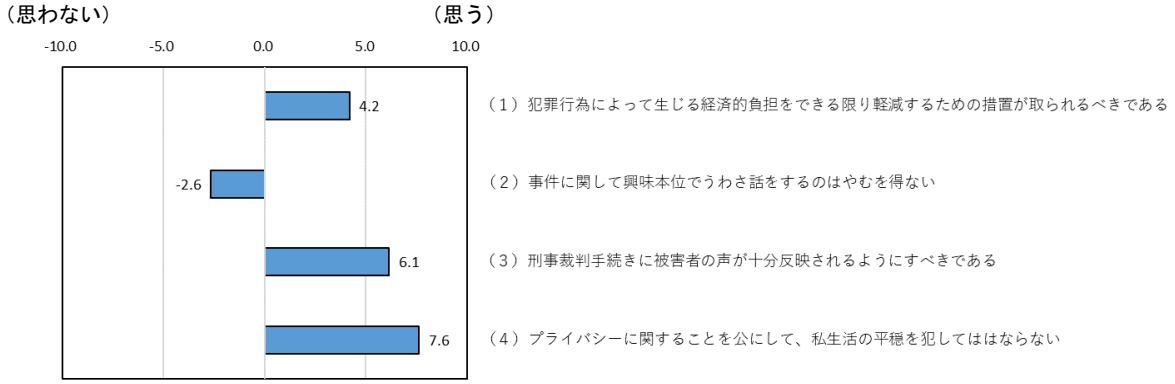
・野沢温泉村においては、「そう思う」が 70.2%（40 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 17.5%（10 人）、「どちらともいえない」が 8.8%（５人）の順となっている。

・“思う”が 87.7%（50 人）、“思わない”が 3.5%（２人）と“思う”が“思わない”に比べ 84.2 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 87.7%（50 人）、次いで『山ノ内町』『木島平村』でそれぞれ 84.5%（169 人）（82 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 4.1%（４人）、次いで『山ノ内町』で 4.0%（８人）、『野沢温泉村』で 3.5%（２人）の順となっている。

【設問間比較】



・“思わない”について「事件に関して興味本位でうわさ話をするのはやむを得ない」でマイナス 2.6 となっている。一方、“思う”について「報道、取材や一般人のＳＮＳ等によってプライバシーに関することを公にして、私生活の平穏を犯してはならない」で 7.6、「刑事裁判手続きに被害者の声が十分反映されるようにすべきである」で 6.1、「犯罪行為によって生じる経済的負担をできる限り軽減するための措置が取られるべきである」で 4.2 となっている。

〈比較の方法〉

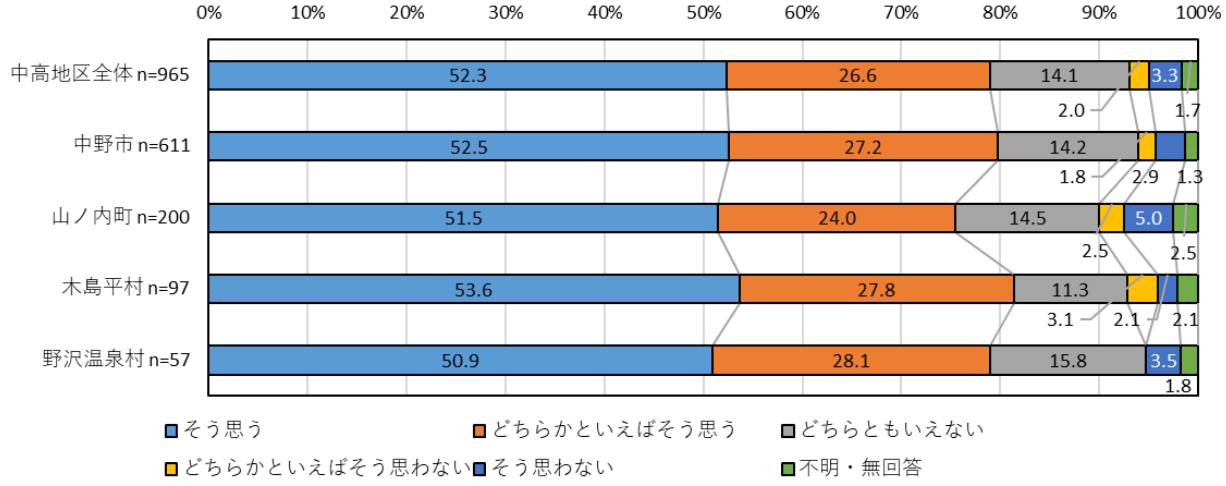
設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

・そう思う…… 10点　　・そう思わない…… －10点
・どちらかといえばそう思う… ５点　　・どちらかといえばそう思わない… －５点
・どちらともいえない…… ０点

問 14　あなたは、インターネット上の人権問題について、どのように思いますか。次の（１）～（４）のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。（それぞれに○は１つ）

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 そう思わない
(1) インターネット上の差別的書き込みを行政が把握し、プロバイダーへ情報停止・削除を求めるべきだ	1	2	3	4	5
(2) ルールやマナーを守ってインターネットを利用するように日頃からの教育・住民啓発が必要である	1	2	3	4	5
(3) 表現の自由に関わる問題なので、安易に情報の規制は行うべきではない	1	2	3	4	5
(4) 差別をあおるような書き込みを行った人に対しては処罰すべきだ	1	2	3	4	5

（1）インターネット上の差別的書き込みを行政が把握し、プロバイダーへ情報停止・削除を求めるべきだ



【中高地区全体】

・インターネット上の差別的書き込みを行政が把握し、プロバイダーへ情報停止・削除を求めるべきだについてみると、「そう思う」が 52.3%（505 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.6%（257 人）、「どちらともいえない」が 14.1%（136 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 79.0%（762 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 5.3%（51 人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ 73.7 ポイント高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思う」が 52.5%（321 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 27.2%（166 人）、「どちらともいえない」が 14.2%（87 人）の順となっている。

・“思う”が 79.7%（487 人）、“思わない”が 4.7%（29 人）と“思う”が“思わない”に比べ 75.0 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思う」が 51.5%（103 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 24.0%（48 人）、「どちらともいえない」が 14.5%（29 人）の順となっている。

・“思う”が 75.5%（151 人）、“思わない”が 7.5%（15 人）と“思う”が“思わない”に比べ 68.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思う」が 53.6%（52 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 27.8%（27 人）、「どちらともいえない」が 11.3%（11 人）の順となっている。

・“思う”が 81.4%（79 人）、“思わない”が 5.2%（５人）と“思う”が“思わない”に比べ

76.2 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

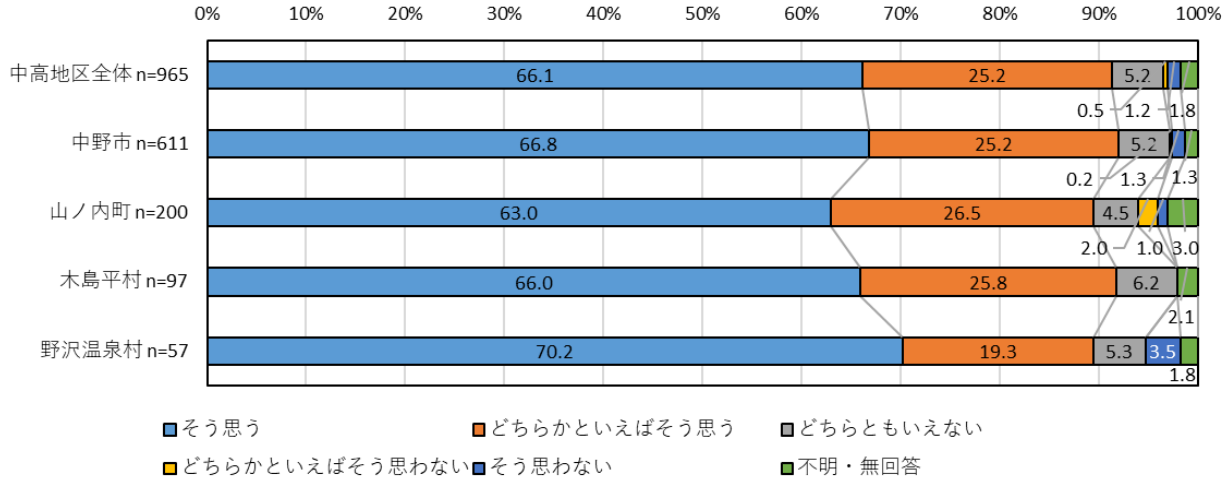
・野沢温泉村においては、「そう思う」が 50.9%（29 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 28.1%（16 人）、「どちらともいえない」が 15.8%（９人）の順となっている。

・“思う”が 78.9%（45 人）、“思わない”が 3.5%（２人）と“思う”が“思わない”に比べ 75.5 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『木島平村』で 81.4%（79 人）、次いで『中野市』で 79.7%（487 人）、『野沢温泉村』で 78.9%（45 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で 7.5%（15 人）、次いで『木島平村』で 5.2%（５人）、『中野市』で 4.7%（29 人）の順となっている。

（２）ルールやマナーを守ってインターネットを利用するように日頃からの教育・住民啓発が必要である



【中高地区全体】

・ルールやマナーを守ってインターネットを利用するように日頃からの教育・住民啓発が必要であるについてみると、「そう思う」が 66.1%（638 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 25.2%（243 人）、「どちらともいえない」が 5.2%（50 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 91.3%（881 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 1.8%（17 人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ 89.5 ポイント高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思う」が 66.8%（408 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 25.2%（154 人）、「どちらともいえない」が 5.2%（32 人）の順となって

いる。

・“思う”が 92.0%（562 人）、“思わない”が 1.5%（９人）と“思う”が“思わない”に比べ 90.5 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思う」が 63.0%（126 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.5%（53 人）、「どちらともいえない」が 4.5%（９人）の順となっている。

・“思う”が 89.5%（179 人）、“思わない”が 3.0%（６人）と“思う”が“思わない”に比べ 86.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思う」が 66.0%（64 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 25.8%（25 人）、「どちらともいえない」が 6.2%（６人）の順となっている。

・“思う”が 91.8%（89 人）、“思わない”が 0.0%（０人）と“思う”が“思わない”に比べ 91.8 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

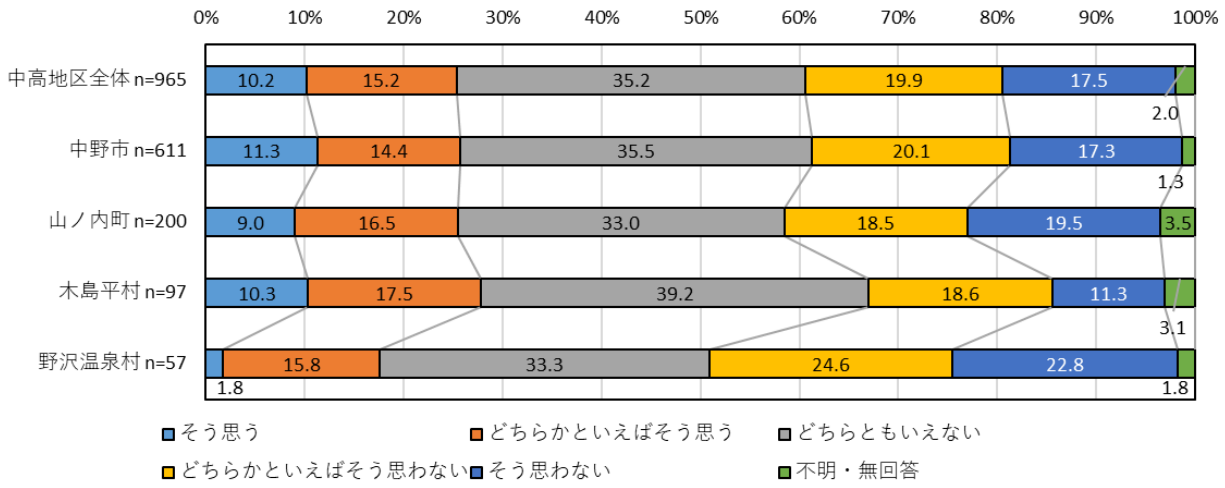
・野沢温泉村においては、「そう思う」が 70.2%（40 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 19.3%（11 人）、「どちらともいえない」が 5.3%（３人）の順となっている。

・“思う”が 89.5%（51 人）、“思わない”が 3.5%（２人）と“思う”が“思わない”に比べ 86.0 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

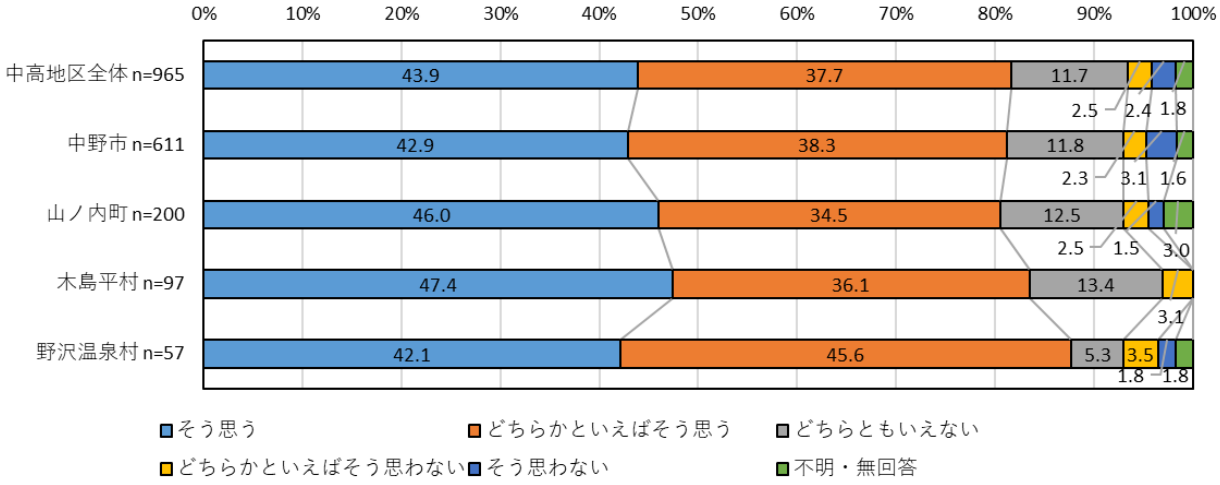
・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『中野市』で 92.0%（562 人）、次いで『木島平村』で 91.8%（89 人）、『山ノ内町』『野沢温泉村』でそれぞれ 89.5%（179 人）（51 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 3.5%（２人）、次いで『山ノ内町』で 3.0%（６人）、『中野市』で 1.5%（９人）の順となっている。

（３）表現の自由に関わる問題なので、安易に情報の規制は行うべきではない



【中高地区全体】
・表現の自由に関わる問題なので、安易に情報の規制は行うべきではないについてみると、「どちらともいえない」が 35.2%（340 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 19.9%（192 人）、「そう思わない」が 17.5%（169 人）の順となっている。
・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 25.4%（245 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 37.4%（361 人）となっており、“思わない”が“思う”に比べ 12.0 ポイント高くなっている。
【中野市】
・中野市においては、「どちらともいえない」が 35.5%（217 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 20.1%（123 人）、「そう思わない」が 17.3%（106 人）の順となっている。
・“思う”が 25.7%（157 人）、“思わない”が 37.5%（229 人）と“思わない”が“思う”に比べ 11.8 ポイント高くなっている。
【山ノ内町】
・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 33.0%（66 人）で最も高く、次いで「そう思わない」が 19.5%（39 人）、「どちらかといえばそう思わない」が 18.5%（37 人）の順となっている。
・“思う”が 25.5%（51 人）、“思わない”が 38.0%（76 人）と“思わない”が“思う”に比べ 12.5 ポイント高くなっている。
【木島平村】
・木島平村においては、「どちらともいえない」が 39.2%（38 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 18.6%（18 人）、「どちらかといえばそう思う」が 17.5%（17 人）の順となっている。
・“思う”が 27.8%（27 人）、“思わない”が 29.9%（29 人）と“思わない”が“思う”に比べ 2.1 ポイント高くなっている。
【野沢温泉村】
・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が 33.3%（19 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 24.6%（14 人）、「そう思わない」が 22.8%（13 人）の順となっている。
・“思う”が 17.5%（10 人）、“思わない”が 47.4%（27 人）と“思わない”が“思う”に比べ 29.9 ポイント高くなっている。
【市町村比較】
・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 47.4%（27 人）、次いで『山ノ内町』で 38.0%（76 人）、『中野市』で 37.5%（229 人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『木島平村』で 27.8%（27 人）、次いで『中野市』で 25.7%（157 人）、『山ノ内町』で 25.5%（51 人）の順となっている。

（４）差別をあおるような書き込みを行った人に対しては処罰すべきだ



【中高地区全体】

・差別をあおるような書き込みを行った人に対しては処罰すべきだについてみると、「そう思う」が 43.9%（424 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 37.7%（364 人）、「どちらともいえない」が 11.7%（113 人）の順となっている。

・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 81.7%（788 人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 4.9%（47 人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ 76.8 ポイント高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そう思う」が 42.9%（262 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 38.3%（234 人）、「どちらともいえない」が 11.8%（72 人）の順となっている。

・“思う”が 81.2%（496 人）、“思わない”が 5.4%（33 人）と“思う”が“思わない”に比べ 75.8 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そう思う」が 46.0%（92 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 34.5%（69 人）、「どちらともいえない」が 12.5%（25 人）の順となっている。

・“思う”が 80.5%（161 人）、“思わない”が 4.0%（８人）と“思う”が“思わない”に比べ 76.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そう思う」が 47.4%（46 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 36.1%（35 人）、「どちらともいえない」が 13.4%（13 人）の順となっている。

・“思う”が 83.5%（81 人）、“思わない”が 3.1%（３人）と“思う”が“思わない”に比べ 80.4 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

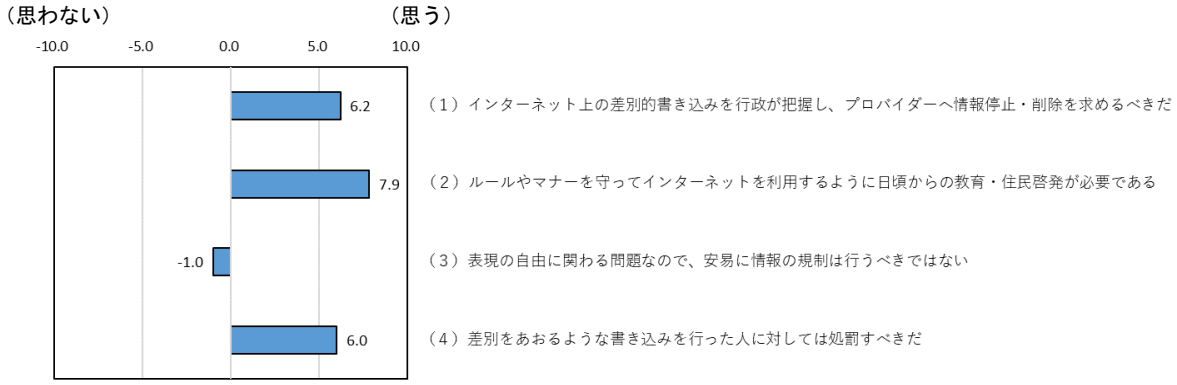
・野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思う」が 45.6%（26 人）で最も高く、次いで「そう思う」が 42.1%（24 人）、「どちらともいえない」が 5.3%（３人）の順となっている。

・“思う”が 87.7%（50 人）、“思わない”が 5.3%（３人）と“思う”が“思わない”に比べ 82.4 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 87.7%（50 人）、次いで『木島平村』で 83.5%（81 人）、『中野市』で 81.2%（496 人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『中野市』で 5.4%（33 人）、次いで『野沢温泉村』で 5.3%（３人）、『山ノ内町』で 4.0%（８人）の順となっている。

【設問間比較】



・“思わない”について「表現の自由に関わる問題なので、安易に情報の規制は行うべきではない」でマイナス 1.0 となっている。一方、“思う”について「ルールやマナーを守ってインターネットを利用するように日頃からの教育・住民啓発が必要である」で 7.9、「インターネット上の差別的書き込みを行政が把握し、プロバイダーへ情報停止・削除を求めるべきだ」で 6.2、「差別をあおるような書き込みを行った人に対しては処罰すべきだ」で 6.0 となっている。

〈比較の方法〉

設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

・そう思う…… 10点　　・そう思わない…… －10点

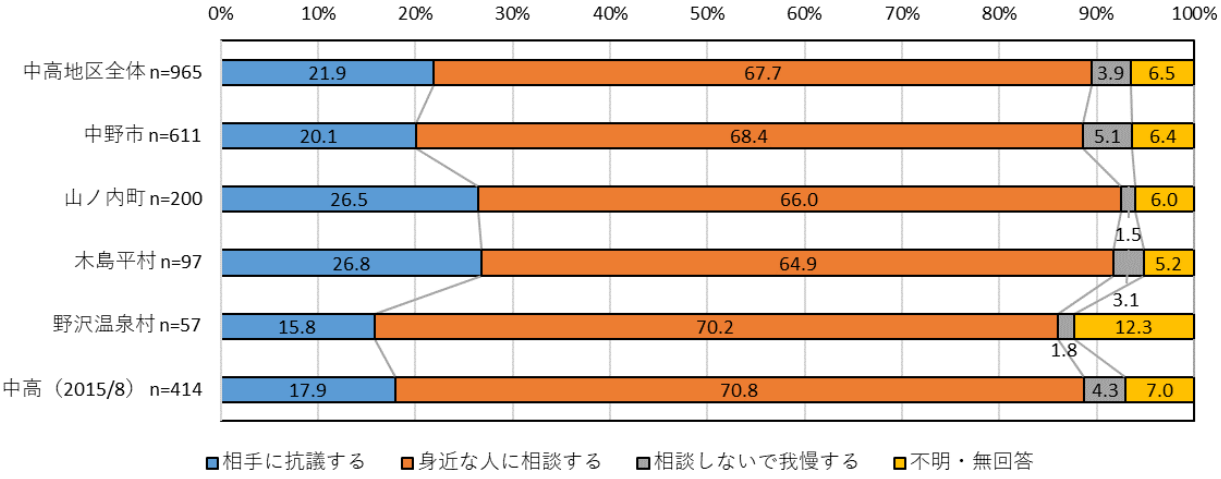
・どちらかといえばそう思う… ５点　　・どちらかといえばそう思わない… －５点

・どちらともいえない…… ０点

C　人権問題や差別への対応について

問 15　もし、あなた自身やあなたの家族が人権を侵害されることがあったとき、あなたはまずどのような対応をしますか。（○は１つ）

1　相手に抗議する	→	問16へお進みください
2　身近な人に相談する	→	問15-1へお進みください
3　相談しないで我慢する	→	問16へお進みください



【中高地区全体】

・人権が侵害されることがあったときの対応についてみると、「身近な人に相談する」が 67.7%（653 人）で最も高く、次いで「相手に抗議する」が 21.9%（211 人）、「相談しないで我慢する」が 3.9%（38 人）の順となっている。

・前回調査と比較すると、「相手に抗議する」が 4.0 ポイント（21.9-17.9）高く、「身近な人に相談する」が 3.1 ポイント（67.7-70.8）低く、「相談しないで我慢する」が 0.4 ポイント（3.9-4.3）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「身近な人に相談する」が 68.4%（418 人）で最も高く、次いで「相手に抗議する」が 20.1%（123 人）、「相談しないで我慢する」が 5.1%（31 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「身近な人に相談する」が 66.0%（132 人）で最も高く、次いで「相手に抗議する」が 26.5%（53 人）、「相談しないで我慢する」が 1.5%（３人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「身近な人に相談する」が 64.9%（63 人）で最も高く、次いで「相手に抗議する」が 26.8%（26 人）、「相談しないで我慢する」が 3.1%（３人）の順となっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「身近な人に相談する」が 70.2%（40 人）で最も高く、次いで「相手に抗議する」が 15.8%（９人）、「相談しないで我慢する」が 1.8%（１人）の順となっている。

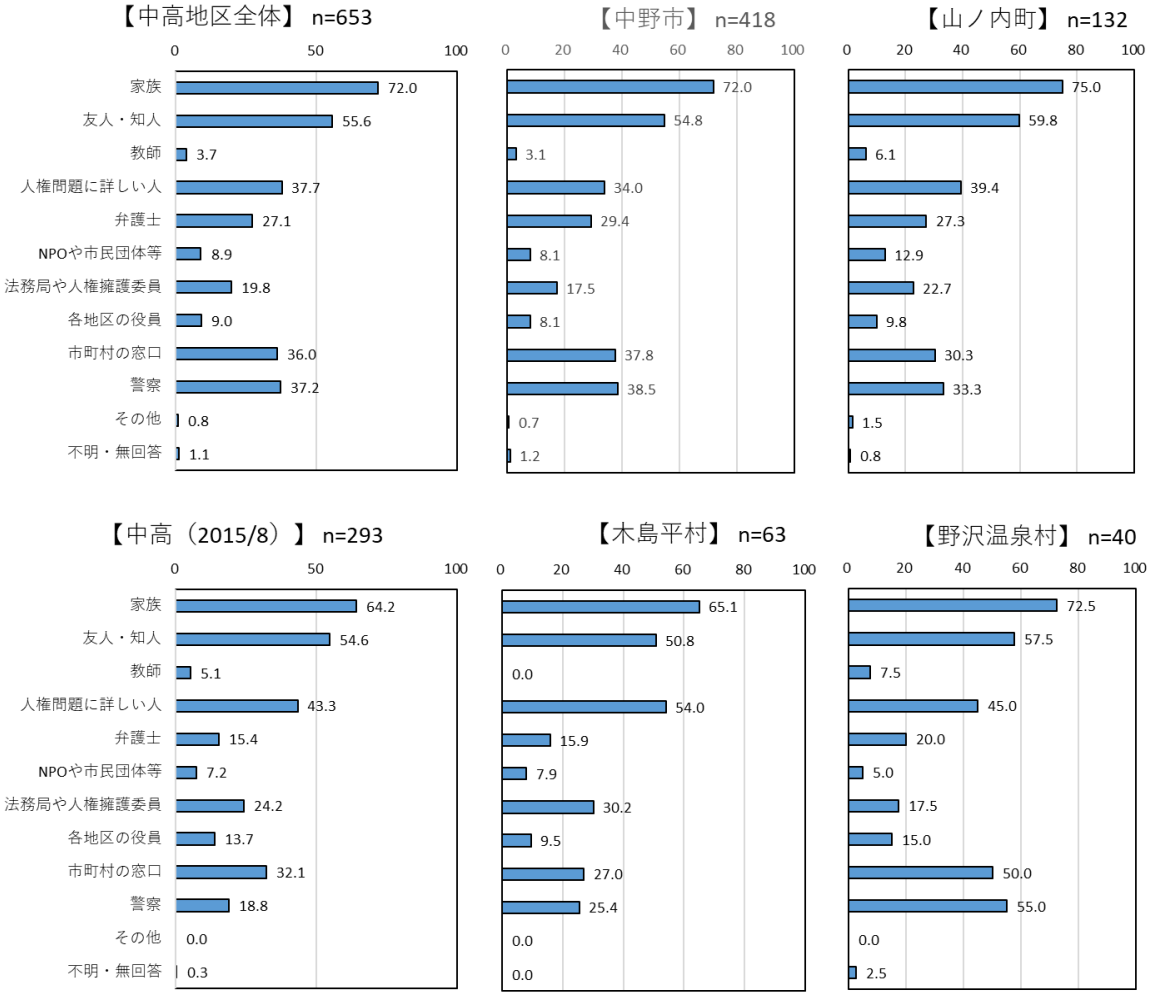
【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も「身近な人に相談する」が高くなっており、「身近な人に相談する」が最も高いのは『野沢温泉村』で 70.2%（40 人）、次いで『中野市』で 68.4%（418 人）、『山ノ内町』で 66.0%（132 人）の順となっている。一方、「相談しないで我慢する」が最も高いのは『中野市』で 5.1%（31 人）、次いで『木島平村』で 3.1%（３人）、『野沢温泉村』で 1.8%（１人）の順となっている。

問 15 で「２ 身近な人に相談する」を選ばれた方にお尋ねします。

問 15-1　どのような人に相談しますか。（○はいくつでも）

1　家族	7　法務局や人権擁護委員
2　友人・知人	8　各地区の役員（区長・民生委員など）
3　教師	9　市町村の窓口
4　人権問題に詳しい人	10　警察
5　弁護士	11　その他（具体的に:　　）
6　NPOや市民団体等	



【中高地区全体】

・相談する相手についてみると、「家族」が 72.0%（470 人）で最も高く、次いで「友人・知人」が 55.6%（363 人）、「人権問題に詳しい人」が 37.7%（246 人）の順となっている。

・前回調査と比較すると、増加幅が最も大きいのは「警察」で 18.4 ポイント（37.2-18.8）高くなっており、一方減少幅が最も大きいのは「人権問題に詳しい人」で 5.6 ポイント（37.7-43.3）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「家族」が 72.0%（301 人）で最も高く、次いで「友人・知人」が 54.8%（229 人）、「警察」が 38.5%（161 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「家族」が 75.0%（99 人）で最も高く、次いで「友人・知人」が 59.8%（79 人）、「人権問題に詳しい人」が 39.4%（52 人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「家族」が 65.1%（41 人）で最も高く、次いで「人権問題に詳しい人」が 54.0%（34 人）、「友人・知人」が 50.8%（32 人）の順となっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「家族」が 72.5%（29 人）で最も高く、次いで「友人・知人」が 57.5%（23 人）、「警察」が 55.0%（22 人）の順となっている。

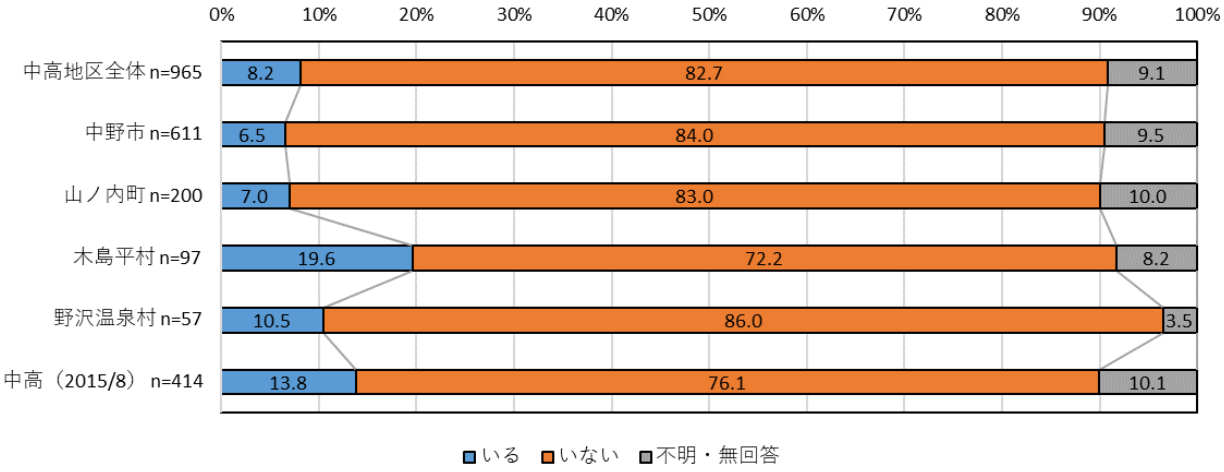
【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も「家族」が高くなっており、「家族」が最も高いのは『山ノ内町』で 75.0%（99 人）、次いで『野沢温泉村』で 72.5%（29 人）、『中野市』で 72.0%（301 人）の順となっている。また、「友人・知人」が最も高いのは『山ノ内町』で 59.8%（79 人）、次いで『野沢温泉村』で 57.5%（23 人）、『中野市』で 54.8%（229 人）、「人権問題に詳しい人」が最も高いのは『木島平村』で 54.0%（34 人）、次いで『野沢温泉村』で 45.0%（18 人）、『山ノ内町』で 39.4%（52 人）の順となっている。

すべての方にお尋ねします。

問 16　あなたの知り合いの中で、差別問題の解消や人権問題の擁護を熱心に行っている人はいますか。（○は１つ）

１　いる　→　**問16-1へ**お進みください　　２　いない　→　**問17へ**お進みください



【中高地区全体】

・知り合いで差別問題解消や人権擁護の取組を行っている人の有無についてみると、「いない」が 82.7%（798 人）、「いる」が 8.2%（79 人）となっており、「いない」が８割以上となっている。

・前回調査と比較すると、「いる」が 5.6 ポイント（8.2-13.8）低くなっており、一方「いない」が 6.6 ポイント（82.7-76.1）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「いない」が 84.0%（513 人）、「いる」が 6.5%（40 人）となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「いない」が 83.0%（166 人）、「いる」が 7.0%（14 人）となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「いない」が 72.2%（70 人）、「いる」が 19.6%（19 人）となっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「いない」が 86.0%（49 人）、「いる」が 10.5%（６人）となっている。

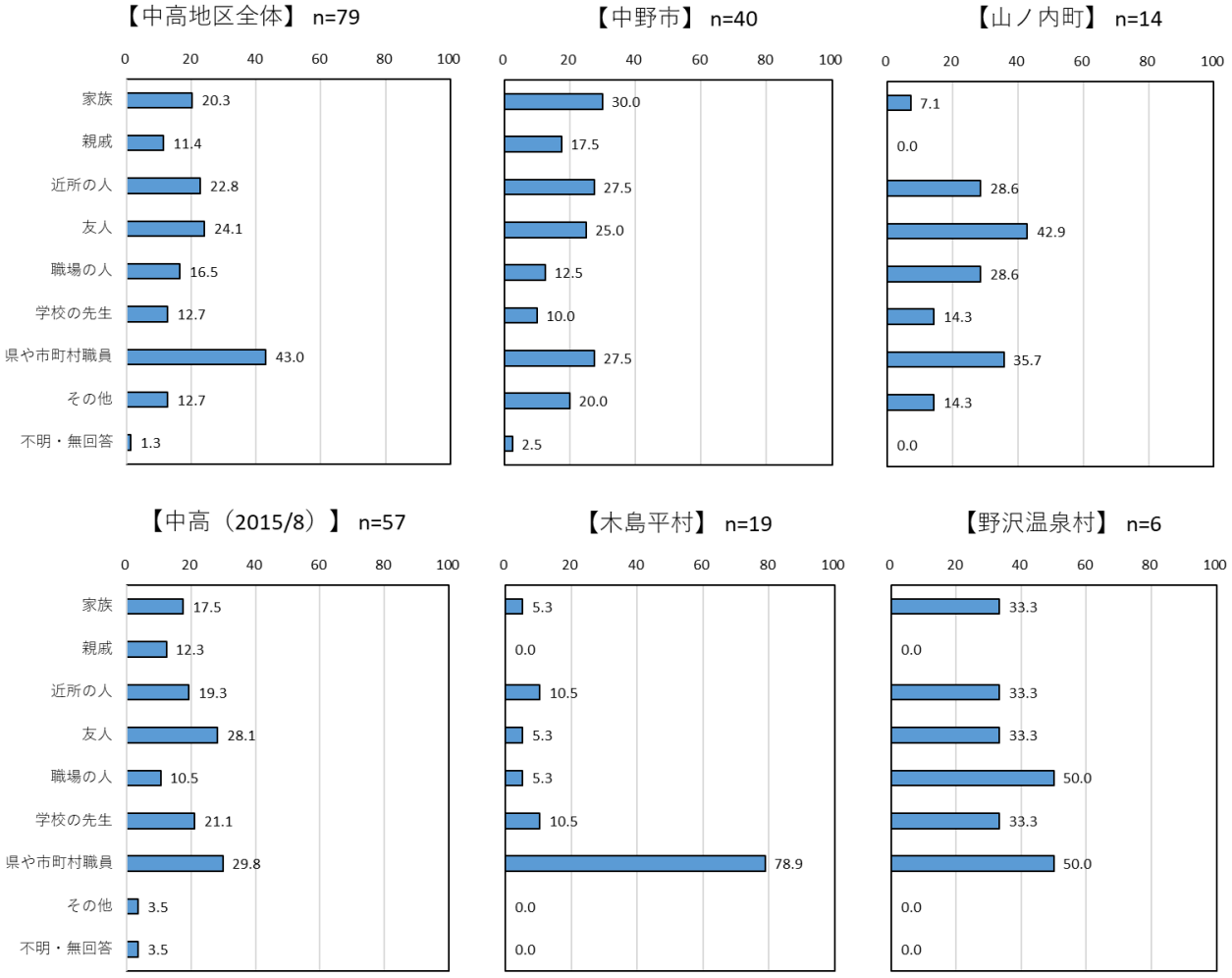
【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も「いない」が高くなっており、「いない」が最も高いのは『野沢温泉村』で 86.0%（49 人）、次いで『中野市』で 84.0%（513 人）、『山ノ内町』で 83.0%（166 人）の順となっている。一方「いる」が最も高いのは『木島平村』で 19.6%（19 人）、次いで『野沢温泉村』で 10.5%（６人）、『山ノ内町』で 7.0%（14 人）の順となっている。

問 16 で「いる」を選ばれた方にお尋ねします。

問 16-1　その差別問題の解消や人権問題の擁護を熱心に行っている人は誰ですか。
（○はいくつでも）

1　家族	5　職場の人
2　親戚	6　学校の先生
3　近所の人	7　県や市町村の職員
4　友人	8　その他（具体的に:　　）



【中高地区全体】

・取組を行っている人の属性についてみると、「県や市町村の職員」が 43.0%（34 人）で最も高く、次いで「友人」が 24.1%（19 人）、「近所の人」が 22.8%（18 人）の順となっている。

・前回調査と比較すると、増加幅が最も大きいのは「県や市町村の職員」で 13.2 ポイント（43.0-29.8）高くなっており、一方減少幅が最も大きいのは「学校の先生」で 8.4 ポイント（12.7-21.1）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「家族」が 30.0%（12 人）で最も高く、次いで「近所の人」「県や市町

村の職員」が同率で 27.5%（11 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「友人」が 42.9%（６人）で最も高く、次いで「県や市町村の職員」が 35.7%（５人）、「近所の人」「職場の人」が同率で 28.6%（４人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「県や市町村の職員」が 78.9%（15 人）で最も高く、次いで「近所の人」「学校の先生」が同率で 10.5%（２人）の順となっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「職場の人」「県や市町村の職員」が同率で 50.0%（３人）で最も高く、次いで「家族」「近所の人」「友人」「学校の先生」が同率で 33.3%（２人）の順となっている。

【市町村比較】

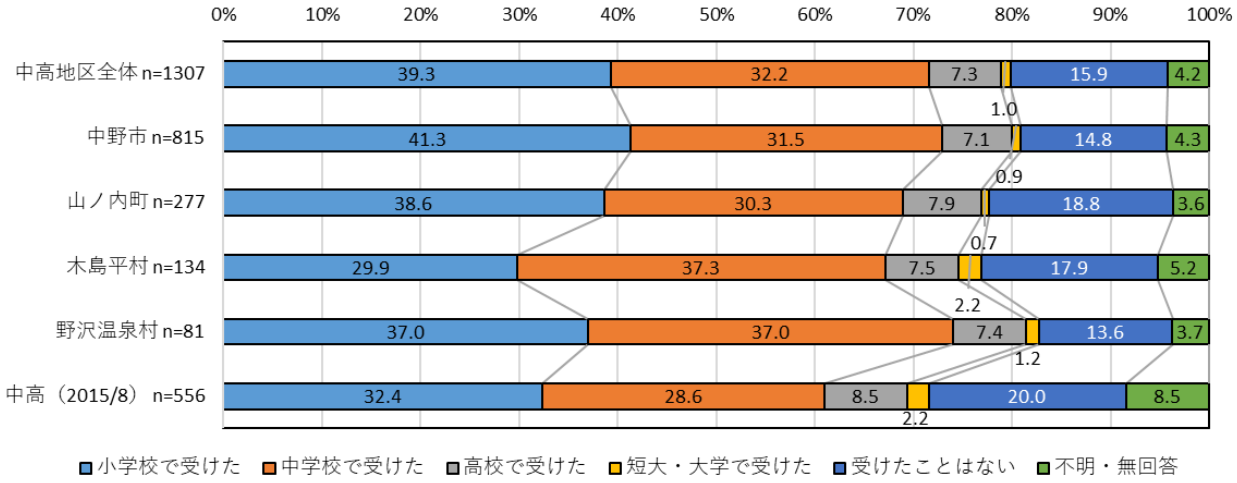
・４市町村を比較すると、『中野市』で「家族」、『山ノ内町』で「友人」、『木島平村』で「県や市町村の職員」、『野沢温泉村』で「職場の人」「県や市町村の職員」が高くなっており、「県や市町村の職員」が最も高いのは『木島平村』で 78.9%（15 人）、次いで『野沢温泉村』で 50.0%（３人）、『山ノ内町』で 35.7%（５人）の順となっている。また、「友人」が最も高いのは『山ノ内町』で 42.9%（６人）、次いで『野沢温泉村』で 33.3%（２人）、『中野市』で 25.0%（10 人）の順となっている。

D　同和問題（部落問題）に関する学習経験について

すべての方にお尋ねします。

問 17　あなたは、学校で同和問題（部落問題）についての学習を受けましたか。（○はいくつでも）

1　小学校で受けた
2　中学校で受けた
3　高校で受けた
4　短大・大学で受けた　→ 問17-1へお進みください
5　受けたことはない　→ 問18へお進みください



【中高地区全体】

・学校での同和問題についての学習経験についてみると、「小学校で受けた」が 39.3%（514 人）で最も高く、次いで「中学校で受けた」が 32.2%（421 人）、「受けたことはない」が 15.9%（208 人）の順となっている。

・前回調査と比較すると、「小学校で受けた」が 6.9 ポイント（39.3-32.4）、「中学校で受けた」が 3.6 ポイント（32.2-28.6）高くなっており、一方「高校で受けた」が 1.2 ポイント（7.3-8.5）、「短大・大学で受けた」が 1.2 ポイント（1.0-2.2）、「受けたことがない」が 4.3 ポイント（4.2-8.5）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「小学校で受けた」が 41.3%（337 人）で最も高く、次いで「中学校で受けた」が 31.5%（257 人）、「受けたことがない」が 14.8%（121 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「小学校で受けた」が 38.6%（107 人）で最も高く、次いで「中学校で受けた」が 30.3%（84 人）、「受けたことがない」が 18.8%（52 人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「中学校で受けた」が 37.3%（50 人）で最も高く、次いで「小学校で受けた」が 29.9%（40 人）、「受けたことがない」が 17.9%（24 人）の順となっている。

【野沢温泉村】

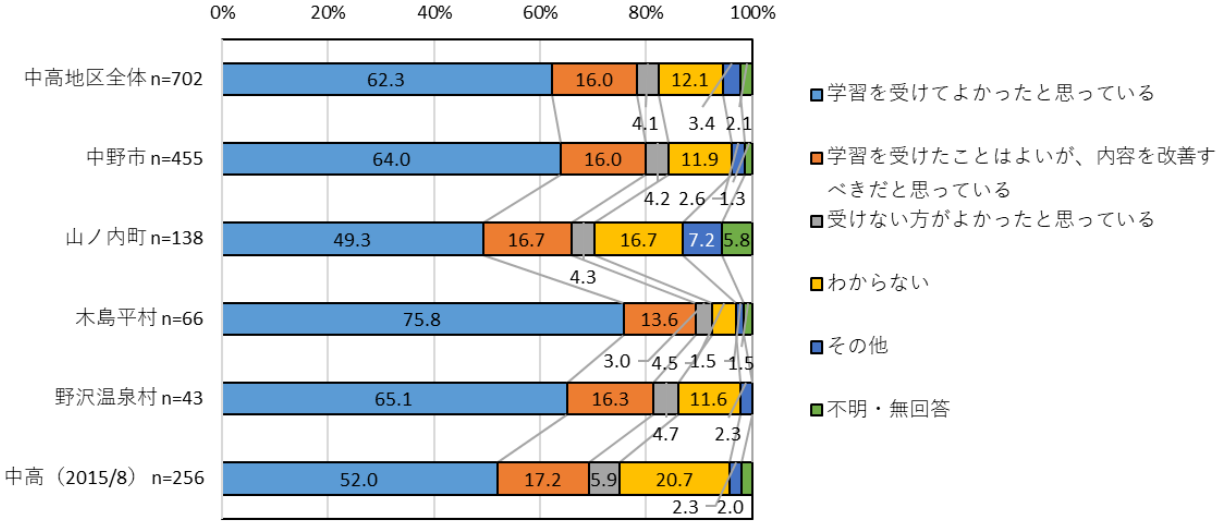
・野沢温泉村においては、「小学校で受けた」「中学校で受けた」が同率で 37.0%（30 人）で最も高く、次いで「受けたことがない」が 13.6%（11 人）の順となっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』が「小学校で受けた」、『木島平村』が「中学校で受けた」、『野沢温泉村』が同率で「小学校で受けた」「中学校で受けた」が高くなっており、一方「受けたことがない」が最も高いのは『山ノ内町』で 18.8%（52 人）、次いで『木島平村』で 17.9%（24 人）、『中野市』で 14.8%（121 人）の順となっている。

問 17-1　そうした学習を受けたことについて、どう感じていますか。（○は１つ）

1　学習を受けてよかったと思っている
2　学習を受けたことはよいが、内容を改善すべきだと思っている
3　受けない方がよかったと思っている
4　わからない
5　その他（具体的に:　　）



【中高地区全体】

・学習を受けたことへの感想についてみると、「学習を受けてよかった」が 62.3%（437 人）で最も高く、次いで「学習を受けたことはよいが、内容を改善すべきだと思っている」が 16.0%（112 人）、「わからない」が 12.1%（85 人）の順となっている。

【中野市】

・中野市においては、「学習を受けてよかった」が 64.0%（291 人）で最も高く、次いで「学習を受けたことはよいが、内容を改善すべきだと思っている」が 16.0%（73 人）、「わからない」が 11.9%（54 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「学習を受けてよかった」が 49.3%（68 人）で最も高く、次いで「学習を受けたことはよいが、内容を改善すべきだと思っている」「わからない」が同率で 16.7%

（23 人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「学習を受けてよかった」が 75.8%（50 人）で最も高く、次いで「学習を受けたことはよいが、内容を改善すべきだと思っている」が 13.6%（９人）、「わからない」が 4.5%（３人）の順となっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「学習を受けてよかった」が 65.1%（28 人）で最も高く、次いで「学習を受けたことはよいが、内容を改善すべきだと思っている」が 16.3%（７人）、「わからない」が 11.6%（５人）の順となっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も「学習を受けてよかった」が高くなっており、「学習を受けてよかった」が最も高いのは『木島平村』で 75.8%（50 人）、次いで『野沢温泉村』で 65.1%（28 人）、『中野市』で 64.0%（291 人）の順となっている。また、「学習を受けたことはよいが、内容を改善すべきだと思っている」が最も高いのは『山ノ内町』で 16.7%（23 人）、次いで『野沢温泉村』で 16.3%（７人）、『中野市』で 16.0%（73 人）の順となっている。

すべての方にお尋ねします

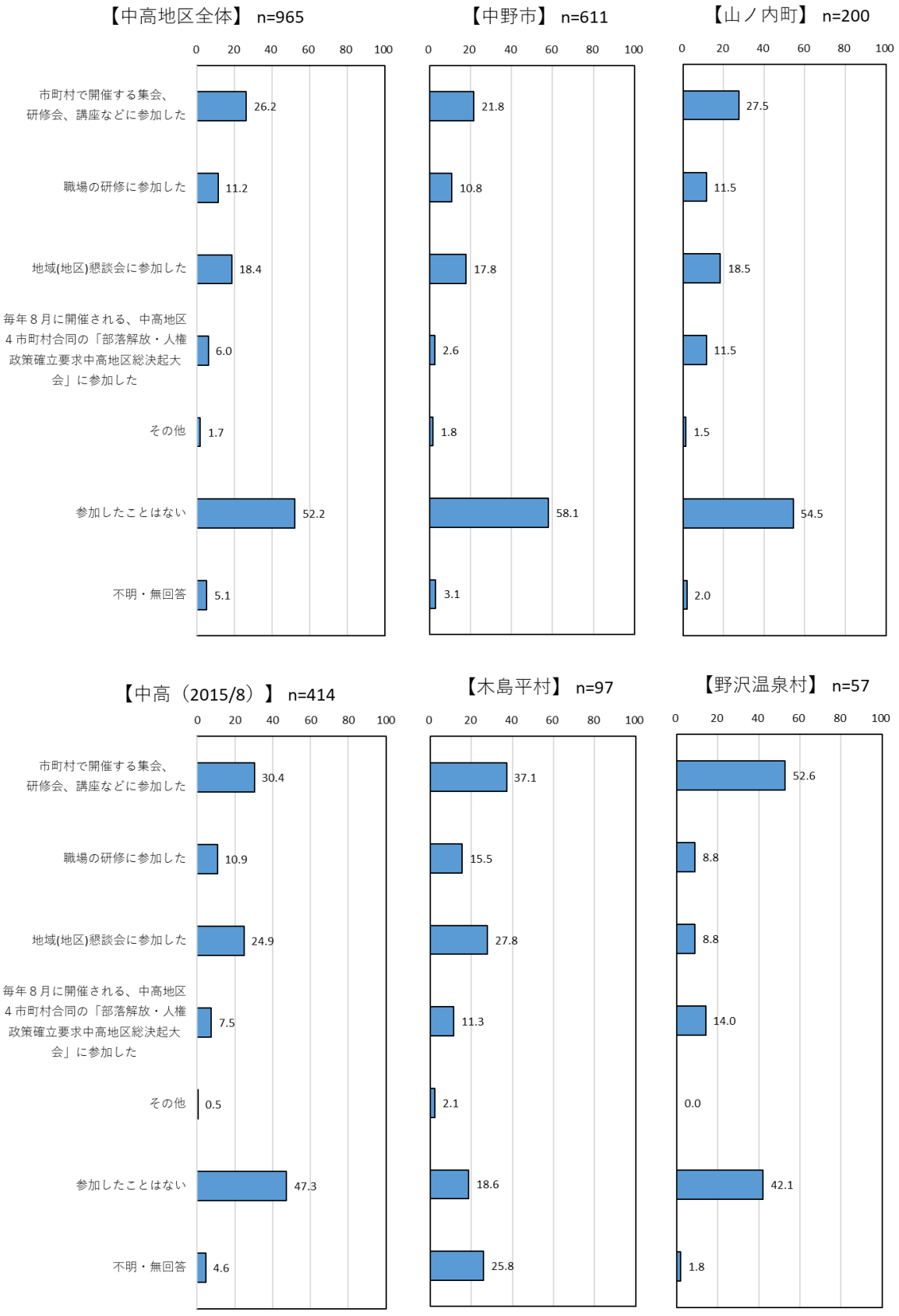
問 18　あなたは、地域や職場での同和問題についての学習や研修に参加したことはありますか。（○はいくつでも）

1　市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した
2　職場の研修に参加した
3　地域（地区）懇談会に参加した
4　毎年8月に開催される、中高地区4市町村合同の「部落解放・人権政策確立要求中高地区総決起大会」に参加した
5　その他（　　）

→ 問18-1へお進みください

6　参加したことはない

→ 問18-2へお進みください


【中高地区全体】 n=965
【中野市】 n=611
【山ノ内町】 n=200
【中高（2015/8）】 n=414
【木島平村】 n=97
【野沢温泉村】 n=57
0
20
40
60
80
100
市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した
職場の研修に参加した
地域(地区)懇談会に参加した
毎年８月に開催される、中高地区４市町村合同の「部落解放・人権政策確立要求中高地区総決起大会」に参加した
その他
参加したことはない
不明・無回答
26.2
11.2
18.4
6.0
1.7
52.2
5.1
21.8
10.8
17.8
2.6
1.8
58.1
3.1
27.5
11.5
18.5
11.5
1.5
54.5
2.0
30.4
10.9
24.9
7.5
0.5
47.3
4.6
37.1
15.5
27.8
11.3
2.1
18.6
25.8
52.6
8.8
8.8
14.0
0.0
42.1
1.8

【中高地区全体】

・地域や職場での同和問題についての学習や研修への参加についてみると、「参加したことはない」が 52.4%（506 人）で最も高く、次いで「市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した」が 26.3%（254 人）、「地域（地区）懇談会に参加した」が 18.4%（178 人）の順となっている。

・前回調査と比較すると、「参加したことはない」が 4.9 ポイント（52.2-47.3）、「市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した」が 4.2 ポイント（26.2-30.4）、「地域（地区）懇談会に参加した」が 6.5 ポイント（18.4-24.9）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「参加したことはない」が 58.1%（355 人）で最も高く、次いで「市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した」が 21.8%（133 人）、「地域（地区）懇談会に参加した」が 17.8%（109 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「参加したことはない」が 54.5%（109 人）で最も高く、次いで「市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した」が 27.5%（55 人）、「地域（地区）懇談会に参加した」が 18.5%（37 人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した」が 37.1%（36 人）で最も高く、次いで「地域（地区）懇談会に参加した」が 27.8%（27 人）、「参加したことはない」が 18.6%（18 人）の順となっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した」が 52.6%（30 人）で最も高く、次いで「参加したことはない」が 42.1%（24 人）、「毎年８月に開催される、中高地区４市町村合同の「部落解放・人権政策確立要求中高地区総決起大会」に参加した」が 14.0%（８人）の順となっている。

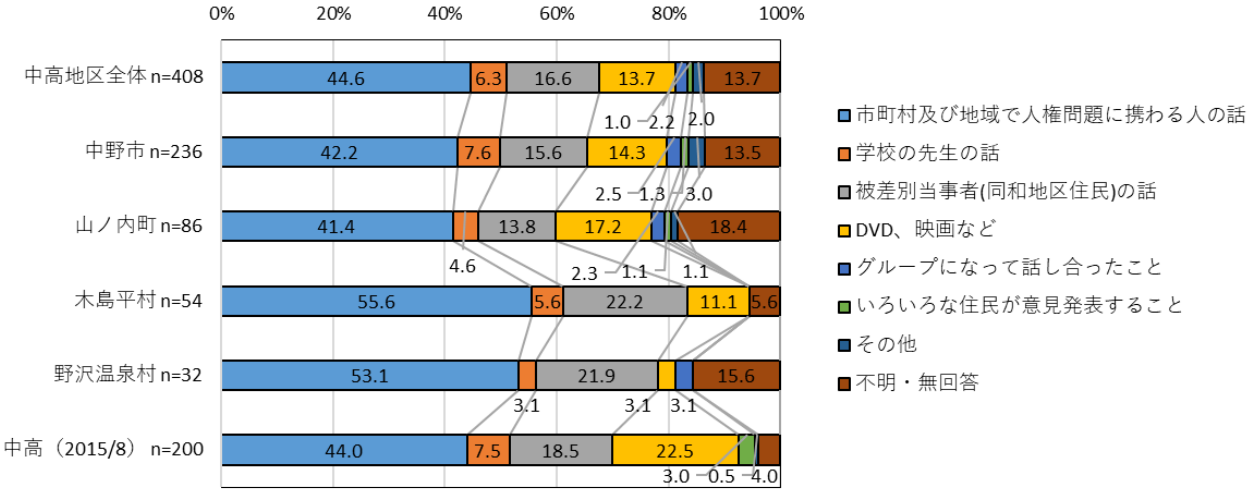
【市町村比較】

・４市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』で「参加したことはない」、『木島平村』『野沢温泉村』で「市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した」が高くなっており、「参加したことはない」が最も高いのは『中野市』で 58.1%（355 人）、次いで『山ノ内町』で 54.5%（109 人）、『野沢温泉村』で 42.1%（24 人）の順となっている。また、「市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した」が最も高いのは『野沢温泉村』で 52.6%（30 人）、次いで『木島平村』で 37.1%（36 人）、『山ノ内町』で 27.5%（55 人）の順となっている。

問 18 で「１」から「５」を選ばれた方にお尋ねします。

問 18-1　参加して最も印象に残っている研修会はどのような内容でしたか。（○は１つ）

1　市町村及び地域で人権問題に携わる人の話
2　学校の先生の話
3　被差別当事者（同和地区住民）の話
4　DVD、映画など
5　グループになって話し合ったこと
6　いろいろな住民が意見発表すること
7　その他（具体的に:　　）



【中高地区全体】

・最も印象に残っている研修会の内容についてみると、「市町村及び地域で人権問題に携わる人の話」が 44.9%（183 人）で最も高く、次いで「被差別当事者（同和地区住民）の話」が 16.7%（68 人）、「ＤＶＤ、映画など」が 13.7%（56 人）の順となっている。

・前回調査と比較すると、「市町村及び地域で人権問題に携わる人の話」が 0.6 ポイント（44.6-44.0）高く、「被差別当事者（同和地区住民）の話」が 1.9 ポイント（16.6-18.5）低く、「ＤＶＤ、映画など」が 8.8 ポイント（13.7-22.5）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「市町村及び地域で人権問題に携わる人の話」が 42.4%（100 人）で最も高く、次いで「被差別当事者（同和地区住民）の話」が 15.7%（37 人）、「ＤＶＤ、映画など」が 14.4%（34 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「市町村及び地域で人権問題に携わる人の話」が 41.9%（36 人）で最も高く、次いで「ＤＶＤ、映画など」が 17.4%（15 人）、「被差別当事者（同和地区住民）の話」が 14.0%（12 人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「市町村及び地域で人権問題に携わる人の話」が 55.6%（30 人）で

最も高く、次いで「被差別当事者（同和地区住民）の話」が 22.2%（12 人）、「ＤＶＤ、映画など」が 11.1%（６人）の順となっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「市町村及び地域で人権問題に携わる人の話」が 53.1%（17 人）で最も高く、次いで「被差別当事者（同和地区住民）の話」が 21.9%（７人）、「学校の先生の話」「ＤＶＤ、映画など」「」グループになって話し合ったこと」が同率で 3.1%（１人）の順となっている。

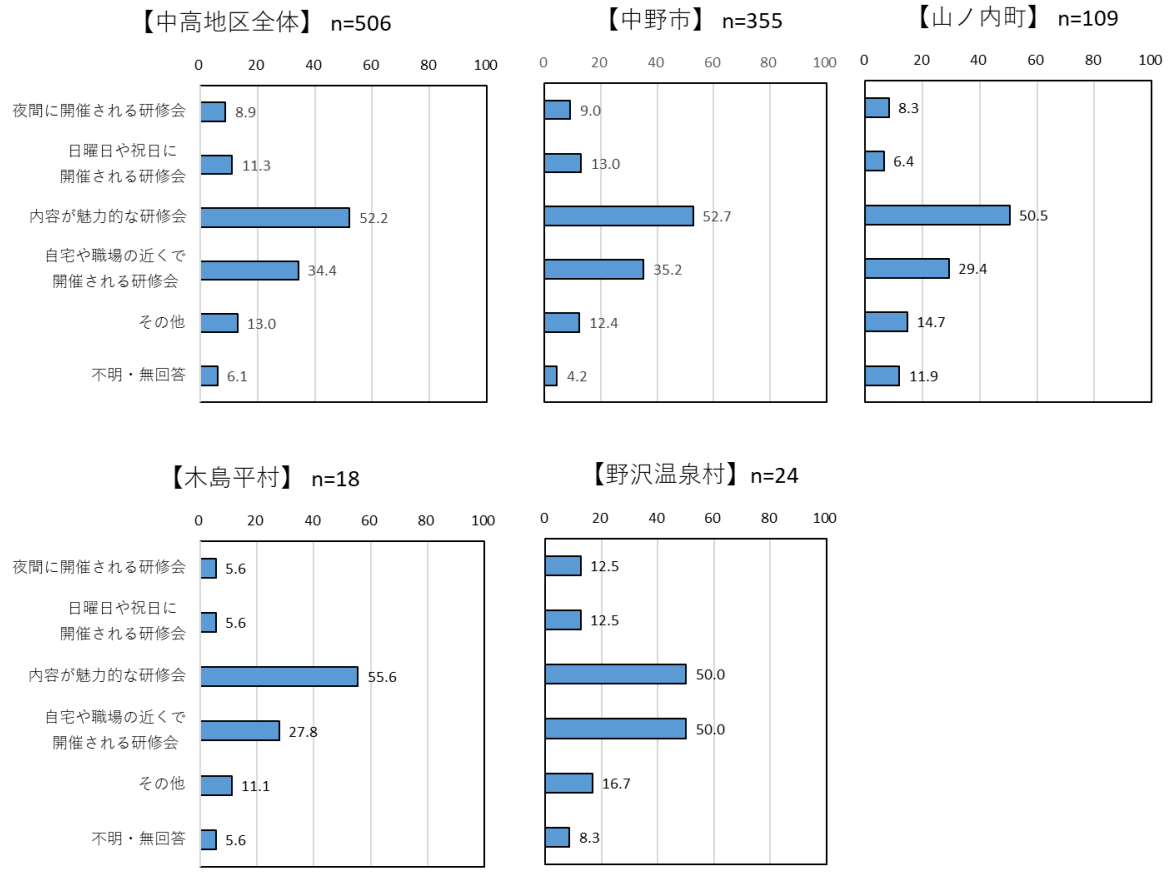
【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も「市町村及び地域で人権問題に携わる人の話」が高くなっており、「市町村及び地域で人権問題に携わる人の話」が最も高いのは『木島平村』で 55.6%（30 人）、次いで『野沢温泉村』で 53.1%（17 人）、『中野市』で 42.4%（100 人）の順となっている。

問 18 で「６　参加したことはない」を選ばれた方にお尋ねします。

問 18-2　どのような研修会であれば参加できますか。（○はいくつでも）

１　夜間に開催される研修会
２　日曜日や祝日に開催される研修会
３　内容が魅力的な研修会
４　自宅や職場の近くで開催される研修会
５　その他（具体的に:　　）



【中高地区全体】

・どのような研修会であれば参加できるかについてみると、「内容が魅力的な研修会」が 52.2%（264 人）で最も高く、次いで「自宅や職場の近くで開催される研修会」が 34.4%（174 人）、「その他」が 13.0%（66 人）の順となっている。

【中野市】

・中野市においては、「内容が魅力的な研修会」が 52.7%（187 人）で最も高く、次いで「自宅や職場の近くで開催される研修会」が 35.2%（125 人）、「日曜日や祝日に開催される研修会」が 13.0%（46 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「内容が魅力的な研修会」が 50.5%（55 人）で最も高く、次いで「自宅や職場の近くで開催される研修会」が 29.4%（32 人）、「その他」が 14.7%（16 人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「内容が魅力的な研修会」が 55.6%（10 人）で最も高く、次いで「自宅や職場の近くで開催される研修会」が 27.8%（５人）「その他」が 11.1%（２人）、の順となっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「内容が魅力的な研修会」「自宅や職場の近くで開催される研修会」が同率で 50.0%（12 人）で最も高く、次いで「その他」が 16.7%（４人）の順となっている。

【市町村比較】

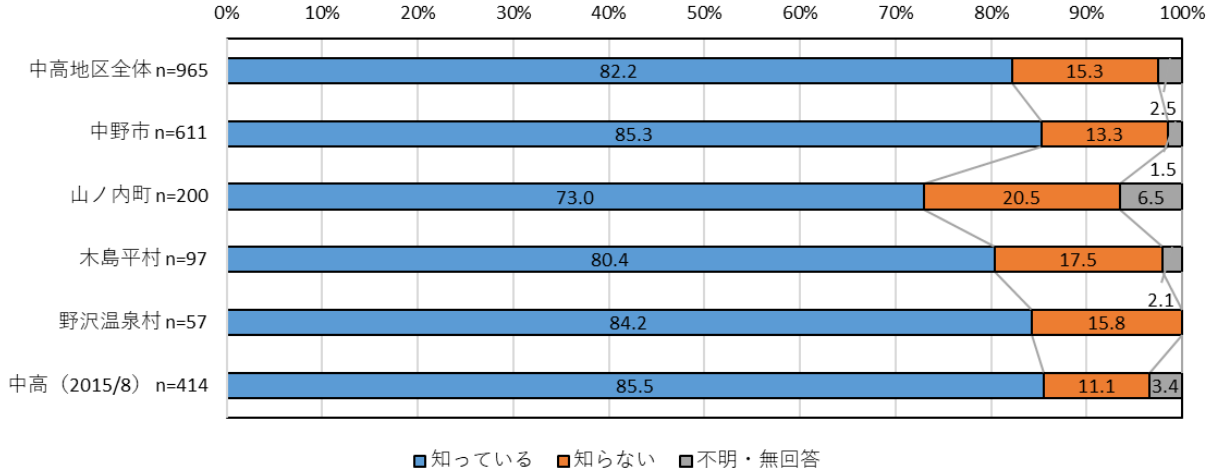
・４市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『木島平村』で「内容が魅力的な研修会」、『野沢温泉村』で「内容が魅力的な研修会」「自宅や職場の近くで開催される研修会」が同率で高くなっており、「内容が魅力的な研修会」が最も高いのは『木島平村』で 55.6%（10 人）、次いで『中野市』で 52.7%（187 人）、『山ノ内町』で 50.5%（55 人）の順となっている。また、「自宅や職場の近くで開催される研修会」が最も高いのは『野沢温泉村』で 50.0%（12 人）、次いで『中野市』で 35.2%（125 人）、『山ノ内町』で 29.4%（32 人）の順となっている。

E　同和問題（部落問題）の認知や意識について

すべての方にお尋ねします。

問 19　あなたは、日本の社会に「被差別部落」「同和地区」あるいは「部落」と呼ばれ、差別を受けている地区があることや差別を受けている住民がいることを知っていますか。（○は１つ）

1　知っている　→　<u>問19-1へ</u>お進みください　　2　知らない　→　<u>問20へ</u>お進みください



【中高地区全体】

・差別を受けている地区や住民があることの認知度についてみると、「知っている」が 82.2%（793 人）、「知らない」が 15.3%（148 人）となっており、「知っている」が８割以上となっている。

・前回調査と比較すると、「知っている」が 3.2 ポイント（82.3-85.5）低くなっており、一方「知らない」が 4.2 ポイント（15.3-11.1）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「知っている」が 85.3%（521 人）、「知らない」が 13.3%（81 人）となっており、「知っている」が８割以上となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「知っている」が 73.0%（146 人）、「知らない」が 20.5%（41 人）となっており、「知っている」が７割以上となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「知っている」が 80.4%（78 人）、「知らない」が 17.5%（17 人）となっており、「知っている」が８割以上となっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「知っている」が 84.2%（48 人）、「知らない」が 15.8%（９人）となっており、「知っている」が８割以上となっている。

【市町村比較】

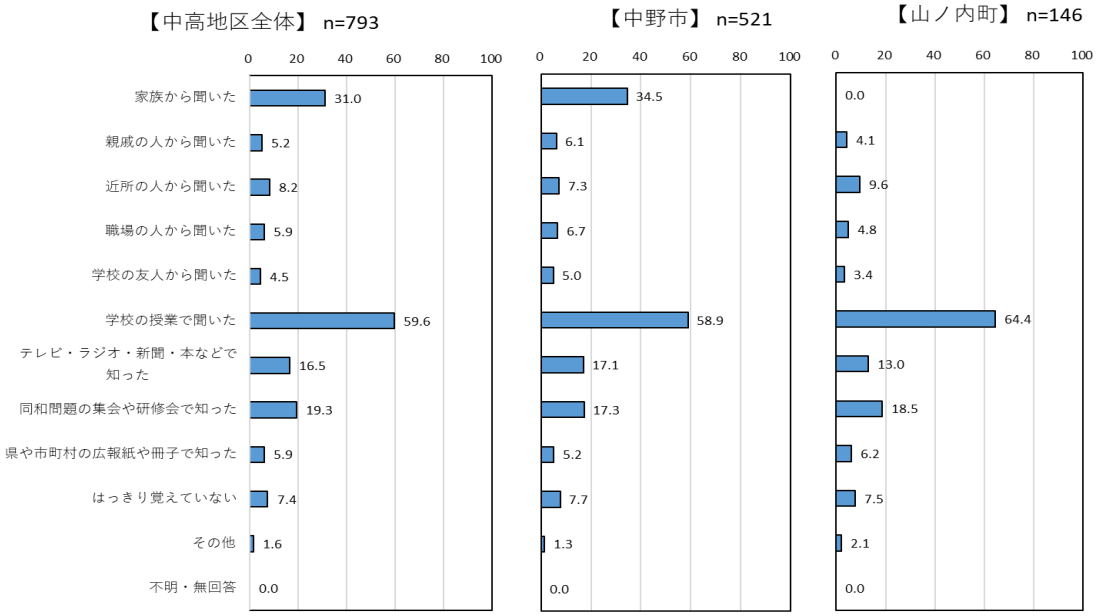
・４市町村を比較すると、いずれの市町村も７割以上で「知っている」が高くなっており、「知っている」が最も高いのは『中野市』で 85.3%（521 人）、次いで『野沢温泉村』で 84.2%

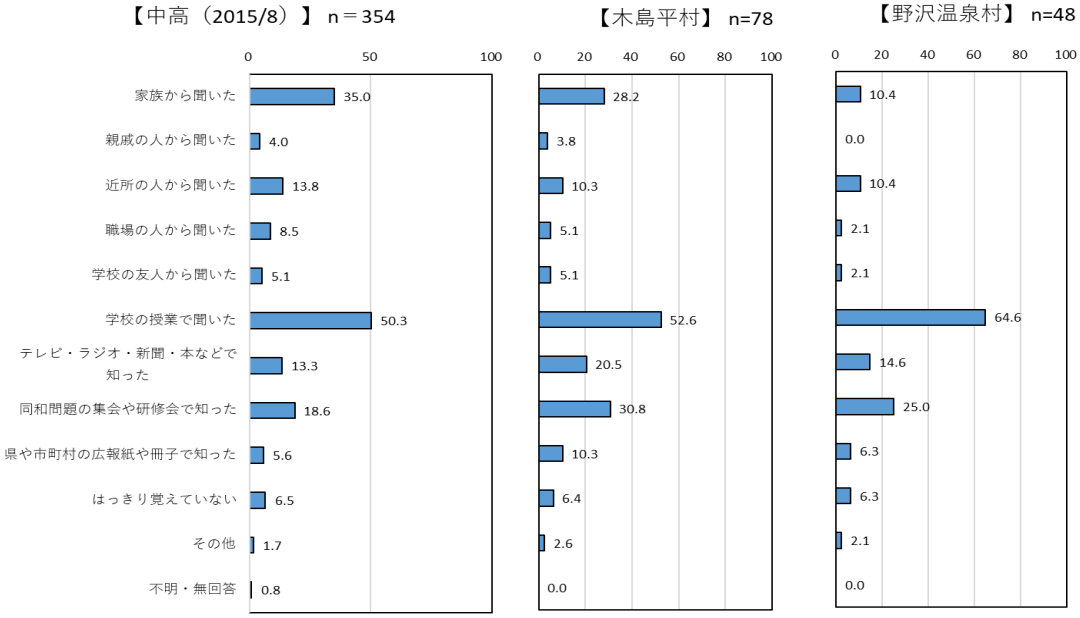
（48 人）、『木島平村』で 80.4％（78 人）の順となっている。一方、「知らない」が最も高いのは『山ノ内町』で 20.5％（41 人）、次いで『木島平村』で 17.5％（17 人）、『野沢温泉村』で 15.8％（９人）の順となっている。

問 19 で「１　知っている」を選ばれた方にお尋ねします。

問 19-1　あなたが同和問題について、初めて知ったきっかけは何ですか。（○はいくつでも）

1　家族から聞いた	7　テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った
2　親戚の人から聞いた	8　同和問題の集会や研修会で知った
3　近所の人から聞いた	9　県や市町村の広報紙や冊子で知った
4　職場の人から聞いた	10　はっきり覚えていない
5　学校の友人から聞いた	11　その他（具体的に:　　）
6　学校の授業で聞いた	





【中高地区全体】

・初めて知ったきっかけについてみると、「学校の授業で聞いた」が 59.6%（473 人）、「家族から聞いた」が 31.0%（246 人）、「同和問題の集会や研修会で知った」が 19.3%（153 人）となっている。

・前回調査と比較すると、「学校の授業で聞いた」が 9.3 ポイント（59.6-50.3）、「はっきり覚えていない」が 0.9 ポイント（7.4-6.5）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「学校の授業で聞いた」が 58.9%（307 人）、次いで「家族から聞いた」が 34.5%（180 人）、「同和問題の集会や研修会で知った」が 17.3%（90 人）となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「学校の授業で聞いた」が 64.4%（94 人）、次いで「同和問題の集会や研修会で知った」が 18.5%（27 人）、「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」が 13.0%（19 人）となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「学校の授業で聞いた」が 52.6%（41 人）、次いで「同和問題の集会や研修会で知った」が 30.8%（24 人）、「家族から聞いた」が 28.2%（22 人）となっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「学校の授業で聞いた」が 64.6%（31 人）、次いで「同和問題の集会や研修会で知った」が 25.0%（12 人）、「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」が 14.6%（７人）となっている。

【市町村比較】

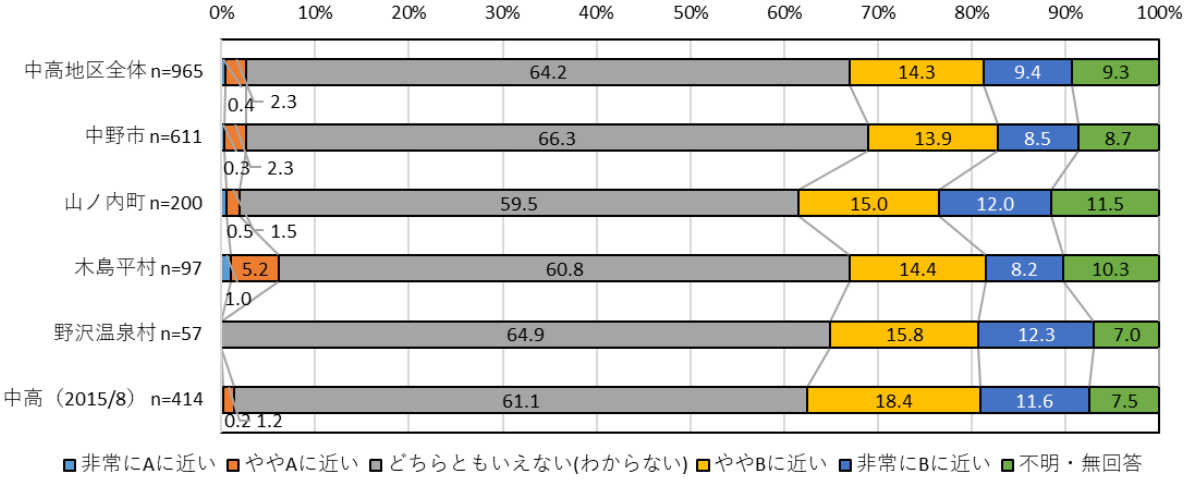
・４市町村を比較すると、いずれの市町村も５割以上で「学校の授業で聞いた」が高くなっており、「学校の授業で聞い」が最も高いのは『野沢温泉村』で 64.6%（31 人）、次いで『山ノ内町』で 64.4%（94 人）、『中野市』で 58.9%（307 人）の順となっている。一方、「はっきり覚えていない」が最も高いのは『中野市』で 7.7%（40 人）、次いで『山ノ内町』で 7.5%（11 人）、『木島平村』で 6.4%（５人）の順となっている。

すべての方にお尋ねします。

問 20　あなたは、「被差別部落」という言葉を聞いたとき、どのような感情を持ちますか。次の（１）～（５）について、あなたの感情に一番近い番号に○をしてください。（それぞれに○は１つ）

＜A＞	1 非常に Aに近い	2 ややAに 近い	3 どちらとも いえない (わからない)	4 ややBに 近い	5 非常にB に近い	＜B＞
(1) 上品な	1	2	3	4	5	下品な
(2) やさしい	1	2	3	4	5	こわい
(3) 清潔な	1	2	3	4	5	不潔な
(4) 豊か	1	2	3	4	5	貧しい
(5) 働き者	1	2	3	4	5	なまけもの

問 20（１）上品な―下品な



【中高地区全体】

・「被差別部落」という言葉の感じ・イメージ（A. 上品なーB. 下品な）についてみると、「どちらともいえない（わからない）」が 64.2%（620 人）で最も高く、次いで「ややＢに近い」が 14.3%（138 人）、「非常にＢに近い」が 9.4%（91 人）となっている。

・“Ａに近い”（「非常にＡに近い」+「ややＡに近い」）が 2.7%（26 人）、“Ｂに近い”（「非常にＢに近い」+「ややＢに近い」が 23.7%（229 人）となっており、“Ａに近い”が１割にも満たず、“Ｂに近い”が２割以上となっている。

・前回調査と比較すると、“Ａに近い”が 1.3 ポイント（2.7-1.4）高くなっており、一方“Ｂに近い”が 6.3 ポイント（23.7-30.0）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらともいえない（わからない）」が 66.3%（405 人）で最も高く、次いで「ややＢに近い」が 13.9%（85 人）、「非常にＢに近い」が 8.5%（52 人）の順となっている。

・“Ａに近い”が 2.6%（16 人）、“Ｂに近い”が 22.4%（137 人）となっており、“Ａに近い”が１割にも満たず、“Ｂに近い”が２割以上となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらともいえない（わからない）」が 59.5%（119 人）で最も高く、次いで「ややＢに近い」が 15.0%（30 人）、「非常にＢに近い」が 12.0%（24 人）の順となっている。

・“Ａに近い”が 2.0%（４人）、“Ｂに近い”が 27.0%（54 人）となっており、“Ａに近い”が１割にも満たず、“Ｂに近い”が２割以上となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらともいえない（わからない）」が 60.8%（59 人）で最も高く、次いで「ややＢに近い」が 14.4%（14 人）、「非常にＢに近い」が 8.2%（８人）の順となっている。

・“Ａに近い”が 6.2%（６人）、“Ｂに近い”が 22.7%（22 人）となっており、“Ａに近い”

が１割にも満たず、“Ｂに近い”が２割以上となっている。

【野沢温泉村】

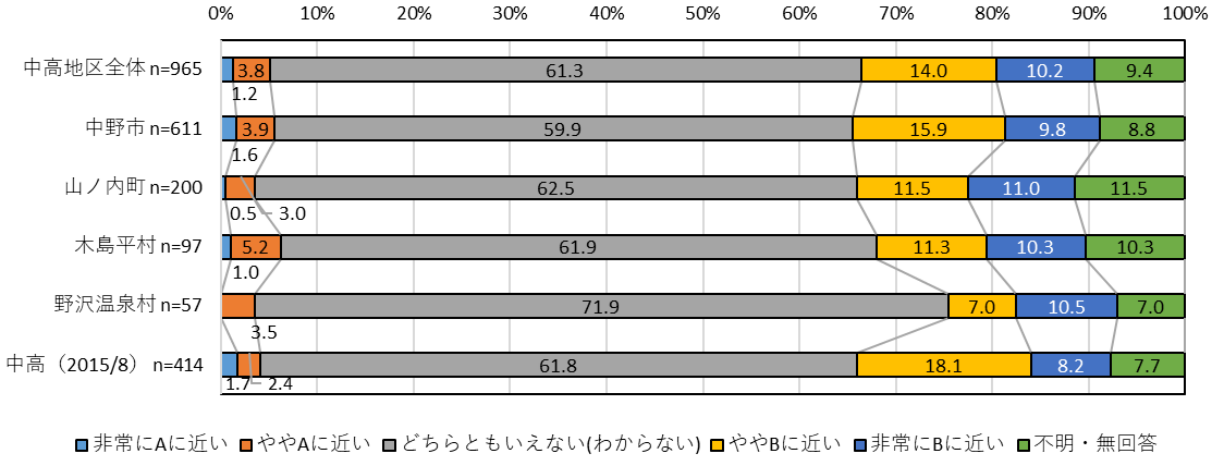
・野沢温泉村においては、「どちらともいえない（わからない）」が 64.9%（37 人）で最も高く、次いで「ややＢに近い」が 15.8%（９人）、「非常にＢに近い」が 12.3%（７人）の順となっている。

・“Ａに近い”が 0.0%（０人）、“Ｂに近い”が 28.1%（16 人）となっており、“Ａに近い”が１割にも満たず、“Ｂに近い”が２割以上となっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も２割以上で“Ｂに近い”が高くなっており、“Ｂに近い”が最も高いのは『野沢温泉村』で 28.1%（16 人）、次いで『山ノ内町』で 27.0%（54 人）、『木島平村』で 22.7%（22 人）の順となっている。一方、いずれの市町村も“Ａに近い”が１割にも満たない。

問 20（２）やさしい―こわい



【中高地区全体】

・「被差別部落」という言葉の感じ・イメージ（A.やさしい―B.こわい）についてみると、「どちらともいえない（わからない）」が 61.3%（592 人）で最も高く、次いで「ややＢに近い」が 14.0%（135 人）、「非常にＢに近い」が 10.2%（98 人）となっている。

・“Ａに近い”（「非常にＡに近い」+「ややＡに近い」）が 5.1%（49 人）、“Ｂに近い”（「非常にＢに近い」+「ややＢに近い」が 24.1%（233 人）となっており、“Ａに近い”が１割にも満たず、“Ｂに近い”が２割以上となっている。

・前回調査と比較すると、“Ａに近い”が 1.0 ポイント（5.1-4.1）高くなっており、一方“Ｂに近い”が 2.2 ポイント（24.1-26.3）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらともいえない（わからない）」が 59.9%（366 人）で最も高く、次いで「ややＢに近い」が 15.9%（97 人）、「非常にＢに近い」が 9.8%（60 人）の順となっている。

・“Ａに近い”が 5.6%（34 人）、“Ｂに近い”が 25.7%（157 人）となっており、“Ａに近い”

が１割にも満たず、“Ｂに近い”が２割以上となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらともいえない（わからない）」が 62.5%（125 人）で最も高く、次いで「ややＢに近い」が 11.5%（23 人）、「非常にＢに近い」が 11.0%（22 人）の順となっている。

・“Ａに近い”が 3.5%（７人）、“Ｂに近い”が 22.5%（45 人）となっており、“Ａに近い”が１割にも満たず、“Ｂに近い”が２割以上となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらともいえない（わからない）」が 61.9%（60 人）で最も高く、次いで「ややＢに近い」が 11.3%（11 人）、「非常にＢに近い」が 10.3%（10 人）の順となっている。

・“Ａに近い”が 6.2%（６人）、“Ｂに近い”が 21.6%（21 人）となっており、“Ａに近い”が１割にも満たず、“Ｂに近い”が２割以上となっている。

【野沢温泉村】

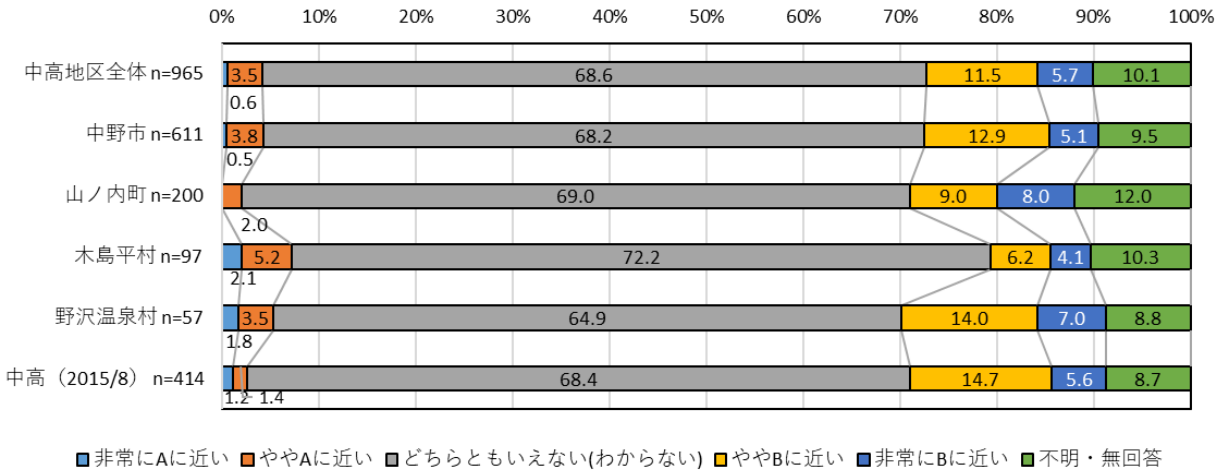
・野沢温泉村においては、「どちらともいえない（わからない）」が 71.9%（41 人）で最も高く、次いで「非常にＢに近い」が 10.5%（６人）、「ややＢに近い」が 7.0%（４人）の順となっている。

・“Ａに近い”が 3.5%（２人）、“Ｂに近い”が 17.5%（10 人）となっており、“Ａに近い”が１割にも満たず、“Ｂに近い”が１割以上となっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も１割以上で“Ｂに近い”が高くなっており、“Ｂに近い”が最も高いのは『中野市』で 25.7%（157 人）、次いで『山ノ内町』で 22.5%（45 人）、『木島平村』で 21.6%（21 人）の順となっている。一方、いずれの市町村も“Ａに近い”が１割にも満たない。

問 20（３）清潔な―不潔な



【中高地区全体】

・「被差別部落」という言葉の感じ・イメージ（A.清潔な―B.不潔な）についてみると、「どちらともいえない（わからない）」が 68.6%（662 人）で最も高く、次いで「ややＢに近い」が 11.5%（111 人）、「非常にＢに近い」が 5.7%（55 人）となっている。

・“Ａに近い”（「非常にＡに近い」+「ややＡに近い」）が 4.1%（40 人）、“Ｂに近い”（「非常にＢに近い」+「ややＢに近い」が 17.2%（166 人）となっており、“Ａに近い”が１割にも満たず、“Ｂに近い”が１割以上となっている。

・前回調査と比較すると、“Ａに近い”が 1.5 ポイント（4.1-2.6）高くなっており、一方“Ｂに近い”が 3.1 ポイント（17.2-20.3）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらともいえない（わからない）」が 68.2%（417 人）で最も高く、次いで「ややＢに近い」が 12.9%（79 人）、「非常にＢに近い」が 5.1%（31 人）の順となっている。

・“Ａに近い”が 4.3%（26 人）、“Ｂに近い”が 18.0%（110 人）となっており、“Ａに近い”が１割にも満たず、“Ｂに近い”が１割以上となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらともいえない（わからない）」が 69.0%（138 人）で最も高く、次いで「ややＢに近い」が 9.0%（18 人）、「非常にＢに近い」が 8.0%（16 人）の順となっている。

・“Ａに近い”が 2.0%（４人）、“Ｂに近い”が 17.0%（34 人）となっており、“Ａに近い”が１割にも満たず、“Ｂに近い”が１割以上となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらともいえない（わからない）」が 72.2%（70 人）で最も高く、次いで「ややＢに近い」が 6.2%（６人）、「ややＡに近い」が 5.2%（５人）の順となっている。

・“Ａに近い”が 7.2%（７人）、“Ｂに近い”が 10.3%（10 人）となっており、“Ａに近い”が１割にも満たず、“Ｂに近い”が約１割となっている。

【野沢温泉村】

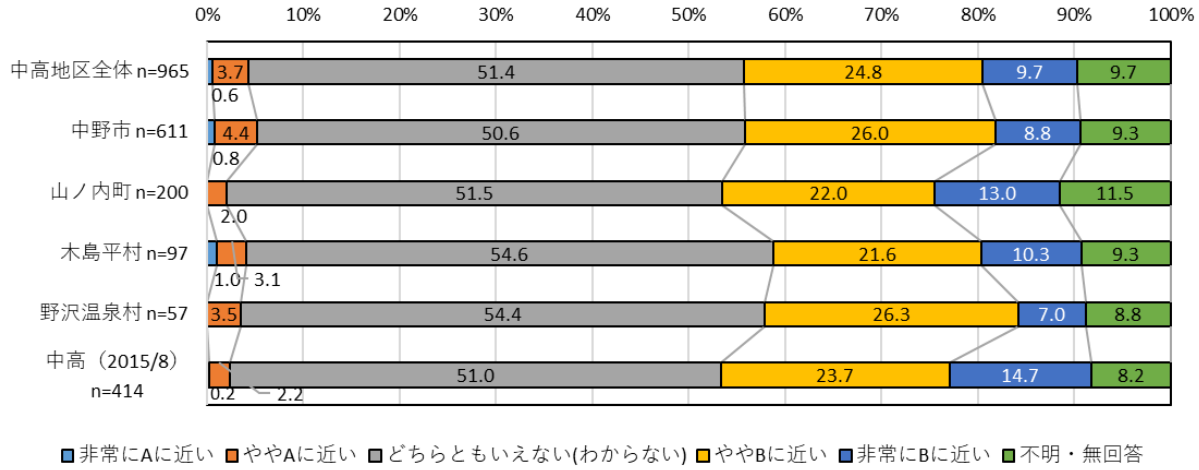
・野沢温泉村においては、「どちらともいえない（わからない）」が 64.9%（37 人）で最も高く、次いで「ややＢに近い」が 14.0%（８人）、「非常にＢに近い」が 7.0%（４人）の順となっている。

・“Ａに近い”が 5.3%（３人）、“Ｂに近い”が 21.1%（12 人）となっており、“Ａに近い”が１割にも満たず、“Ｂに近い”が２割以上となっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も１割以上で“Ｂに近い”が高くなっており、“Ｂに近い”が最も高いのは『野沢温泉村』で 21.1%（12 人）、次いで『中野市』で 18.0%（110 人）、『山ノ内町』で 17.0%（34 人）の順となっている。一方、いずれの市町村も“Ａに近い”が１割にも満たない。

問 20（４）豊か―貧しい



【中高地区全体】

・「被差別部落」という言葉の感じ・イメージ（A.豊か―B.貧しい）についてみると、「どちらともいえない（わからない）」が 51.4%（496 人）で最も高く、次いで「ややＢに近い」が 24.8%（239 人）、「非常にＢに近い」が 9.7%（94 人）となっている。

・“Ａに近い”（「非常にＡに近い」+「ややＡに近い」）が 4.4%（42 人）、“Ｂに近い”（「非常にＢに近い」+「ややＢに近い」が 34.5%（333 人）となっており、“Ａに近い”が１割にも満たず、“Ｂに近い”が３割以上となっている。

・前回調査と比較すると、“Ａに近い”が 2.0 ポイント（4.4-2.4）高くなっており、一方“Ｂに近い”が 3.9 ポイント（34.5-38.4）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらともいえない（わからない）」が 50.6%（309 人）で最も高く、次いで「ややＢに近い」が 26.0%（159 人）、「非常にＢに近い」が 8.8%（54 人）の順となっている。

・“Ａに近い”が 5.2%（32 人）、“Ｂに近い”が 34.9%（213 人）となっており、“Ａに近い”が１割にも満たず、“Ｂに近い”が３割以上となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらともいえない（わからない）」が 51.5%（103 人）で最も高く、次いで「ややＢに近い」が 22.0%（44 人）、「非常にＢに近い」が 13.0%（26 人）の順となっている。

・“Ａに近い”が 2.0%（４人）、“Ｂに近い”が 35.0%（70 人）となっており、“Ａに近い”が１割にも満たず、“Ｂに近い”が３割以上となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらともいえない（わからない）」が 54.6%（53 人）で最も高く、次いで「ややＢに近い」が 21.6%（21 人）、「非常にＢに近い」が 10.3%（10 人）の順となっている。

・“Ａに近い”が 4.1%（４人）、“Ｂに近い”が 32.0%（31 人）となっており、“Ａに近い”

が１割にも満たず、“Ｂに近い”が３割以上となっている。

【野沢温泉村】

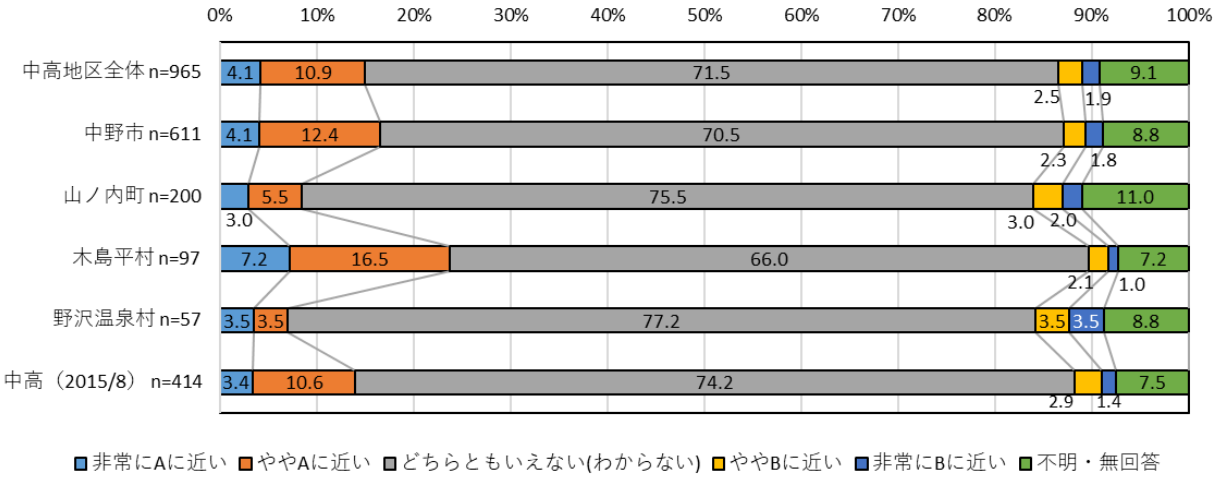
・野沢温泉村においては、「どちらともいえない（わからない）」が 54.4%（31 人）で最も高く、次いで「ややＢに近い」が 26.3%（15 人）、「非常にＢに近い」が 7.0%（４人）の順となっている。

・“Ａに近い”が 3.5%（２人）、“Ｂに近い”が 33.3%（19 人）となっており、“Ａに近い”が１割にも満たず、“Ｂに近い”が３割以上となっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も３割以上で“Ｂに近い”が高くなっており、“Ｂに近い”が最も高いのは『山ノ内町』で 35.0%（70 人）、次いで『中野市』で 34.9%（213 人）、『野沢温泉村』で 33.3%（19 人）の順となっている。一方、いずれの市町村も“Ａに近い”が１割にも満たない。

問 20（５）働き者―なまけもの



【中高地区全体】

・「被差別部落」という言葉の感じ・イメージ（A.働き者―B.なまけもの）についてみると、「どちらともいえない（わからない）」が 71.5%（690 人）で最も高く、次いで「ややＡに近い」が 10.9%（105 人）、「非常にＡに近い」が 4.1%（40 人）となっている。

・“Ａに近い”（「非常にＡに近い」+「ややＡに近い」）が 15.0%（145 人）、“Ｂに近い”（「非常にＢに近い」+「ややＢに近い」が 4.4%（42 人）となっており、“Ａに近い”が１割以上、“Ｂに近い”が１割にも満たない。

・前回調査と比較すると、“Ａに近い”が 1.0 ポイント（15.0-14.0）高くなっており、一方“Ｂに近い”も 0.1 ポイント（4.4-4.3）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらともいえない（わからない）」が 70.5%（431 人）で最も高く、次いで「ややＡに近い」が 12.4%（76 人）、「非常にＡに近い」が 4.1%（25 人）の順となっている。

・“Ａに近い”が 16.5%（101 人）、“Ｂに近い”が 4.1%（25 人）となっており、“Ａに近い”が１割以上、“Ｂに近い”が１割にも満たない。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらともいえない（わからない）」が 75.5%（151 人）で最も高く、次いで「ややＡに近い」が 5.5%（11 人）、「非常にＡに近い」「ややＢに近い」が同率で 3.0%（６人）の順となっている。

・“Ａに近い”が 8.5%（17 人）、“Ｂに近い”が 5.0%（10 人）となっており、いずれも１割にも満たない。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらともいえない（わからない）」が 66.0%（64 人）で最も高く、次いで「ややＡに近い」が 16.5%（16 人）、「非常にＡに近い」が 7.2%（７人）の順となっている。

・“Ａに近い”が 23.7%（23 人）、“Ｂに近い”が 3.1%（３人）となっており、“Ａに近い”が２割以上、“Ｂに近い”が１割にも満たない。

【野沢温泉村】

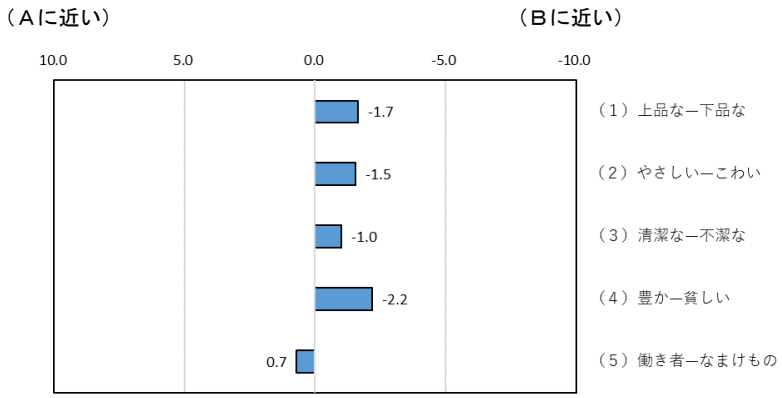
・野沢温泉村においては、「どちらともいえない（わからない）」が 77.2%（44 人）で最も高く、次いで「非常にＡに近い」「ややＡに近い」「ややＢに近い」「非常にＢに近い」が同率で 3.5%（２人）の順となっている。

・“Ａに近い”が 7.0%（４人）、“Ｂに近い”が 7.0%（４人）となっており、いずれも１割に満たない。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『木島平村』で“Ａに近い”、『野沢温泉村』で“Ａに近い”“Ｂに近い”が同率で高くなっており、“Ａに近い”が最も高いのは『木島平村』で 23.7%（23 人）、次いで『中野市』で 16.5%（101 人）、『山ノ内町』で 8.5%（17 人）の順となっている。一方、いずれの市町村も“Ｂに近い”が１割にも満たない。

【設問間比較】



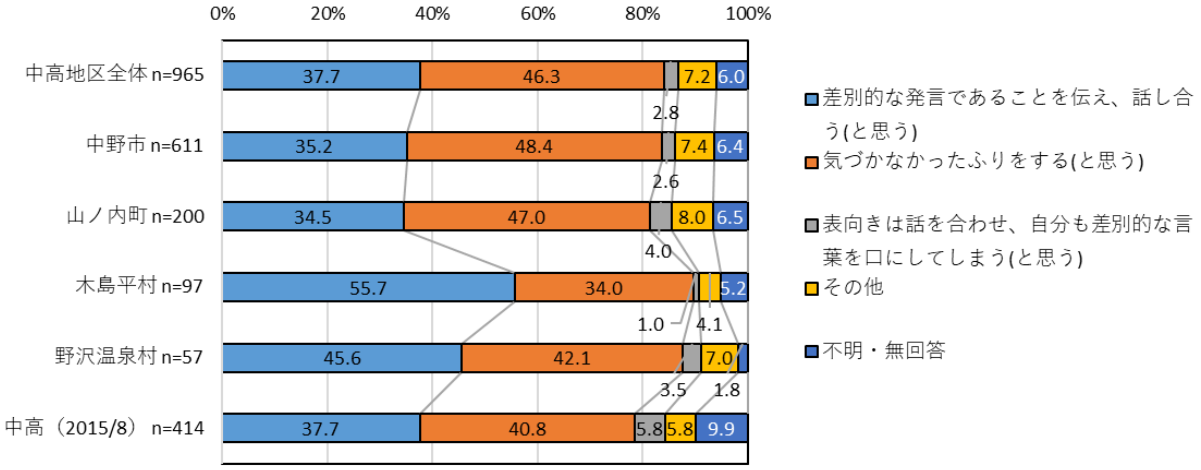
・“Ａに近い”について「働き者―なまけもの」で 0.7 となっている。一方、“Ｂに近い”について「豊か―貧しい」でマイナス 2.2 と最も高く、次いで「上品な―下品なでがマイナ

ス 1.7、「やさしい―こわい」でマイナス 1.5 の順となっている。

〈比較の方法〉
設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した
・非常にＡに近い…… 10点　　・非常にＢに近い……－10点
・ややＡに近い…… ５点　　・ややＢに近い……－５点
・どちらともいえない（わからない）…… ０点

問 21　学校や職場、日常生活の中で、誰かが「同和地区」の人に対する差別的な発言をしたとき、あなたはどのような対応をとりますか。またはとると思いますか。（○は１つ）

1　差別的な発言であることを伝え、話し合う(と思う)
2　気づかなかったふりをする(と思う)
3　表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう(と思う)
4　その他(具体的に:　　)



【中高地区全体】
・「同和地区」の人に対する差別的な発言があったときの対応についてみると、「気づかなかったふりをする（と思う）」が 46.3%（447 人）、次いで「差別的な発言であることを伝え、話し合う（と思う）」が 37.7%（364 人）、「表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう（と思う）」が 2.8%（27 人）の順となっている。
・前回調査と比較すると、「差別的な発言であることを伝え、話し合う（と思う）」が前回と同率（37.7-37.7）となっており、一方「表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう（と思う）」が 3.0 ポイント（2.8-5.8）低くなっている。
【中野市】
・中野市においては、「気づかなかったふりをする（と思う）」が 48.4%（296 人）、次いで「差別的な発言であることを伝え、話し合う（と思う）」が 35.2%（215 人）、「表向きは話を合

わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう（と思う）」が 2.6%（16 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「気づかなかったふりをする（と思う）」が 47.0%（94 人）、次いで「差別的な発言であることを伝え、話し合う（と思う）」が 34.5%（69 人）、「表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう（と思う）」が 4.0%（８人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「差別的な発言であることを伝え、話し合う（と思う）」が 55.7%（54 人）、次いで「気づかなかったふりをする（と思う）」が 34.0%（33 人）、「表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう（と思う）」が 1.0%（１人）の順となっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「差別的な発言であることを伝え、話し合う（と思う）」が 45.6%（26 人）、次いで「気づかなかったふりをする（と思う）」が 42.1%（24 人）、「表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう（と思う）」が 3.5%（２人）の順となっている。

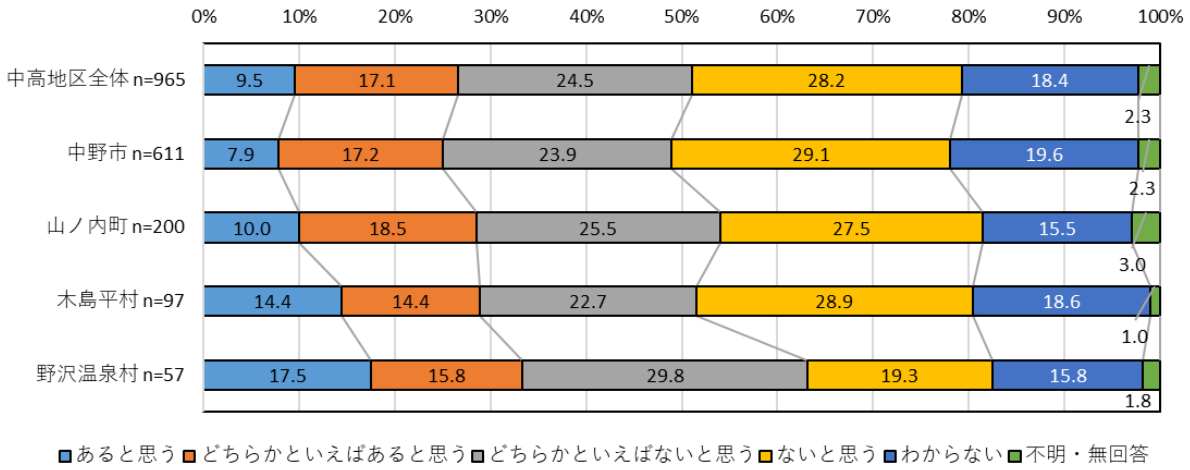
【市町村比較】

・４市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』が「気づかなかったふりをする（と思う）」、『木島平村』『野沢温泉村』が「差別的な発言であることを伝え、話し合う（と思う）」が高くなっており、「気づかなかったふりをする（と思う）」が最も高いのは『中野市』で 48.4%（296 人）、次いで『山ノ内町』で 47.0%（94 人）、『野沢温泉村』で 42.1%（24 人）の順となっている。一方、「表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう（と思う）」がいずれの市町村も１割にも満たない。

問 22　あなたは現在、部落差別（同和問題）に関して、次にみられるような人権侵害や問題などがあると思いますか。次の（１）～（６）のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。（それぞれに○は１つ）

	1 あると思う	2 どちらかといえばあると思う	3 どちらかといえばないと思う	4 ないと思う	5 わからない
（1）就職のときや職場で不利な扱いを受けること	1	2	3	4	5
（2）地域の活動や地域での付き合いで嫌がらせを受けること	1	2	3	4	5
（3）身元調査をされること	1	2	3	4	5
（4）行政機関や不動産取引業者に「どこが同和地区なのか」と問い合わせること	1	2	3	4	5
（5）インターネット上に誹謗中傷等が掲載されること	1	2	3	4	5
（6）インターネット上に同和地区と呼ばれる地域の所在地リストや動画・写真などが掲載されること	1	2	3	4	5

（１）就職のときや職場で不利な扱いを受けること



【中高地区全体】

・就職のときや職場で不利な扱いを受けることについてみると、「ないと思う」が 28.2%（272 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が 24.5%（236 人）、「わからな

い」が 18.4%（178 人）の順となっている。
・“あると思う”（「あると思う」+「どちらかといえばあると思う」）が 26.6%（257 人）、“ないと思う”（「どちらかといえばないと思う」+「ないと思う」）が 52.6%（508 人）となっており、“ないと思う”が“あると思う”に比べ 26.0 ポイント高くなっている。

【中野市】
・中野市においては、「ないと思う」が 29.1%（178 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が 23.9%（146 人）、「わからない」が 19.6%（120 人）の順となっている。
・“あると思う”が 25.0%（153 人）、“ないと思う”が 53.0%（324 人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ 28.0 ポイント高くなっている。

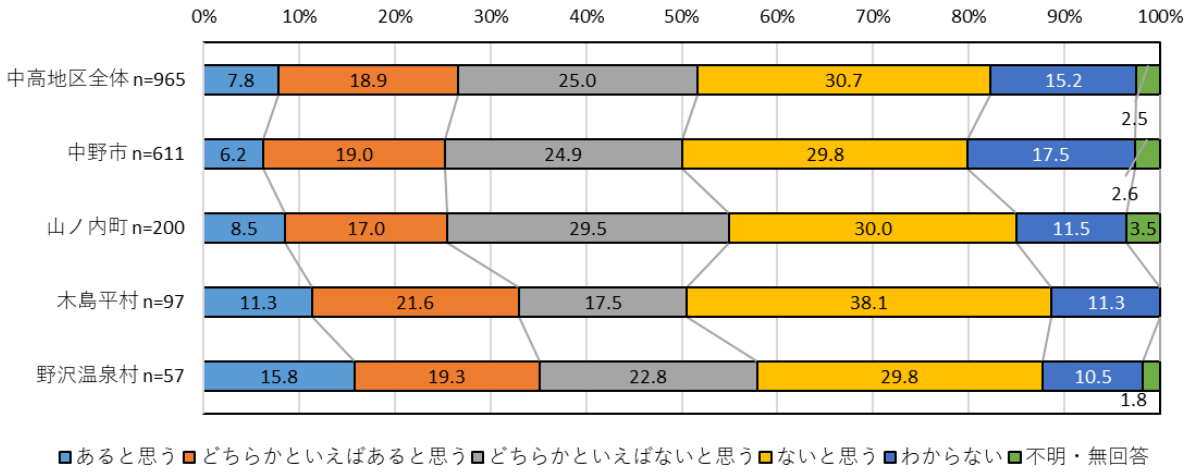
【山ノ内町】
・山ノ内町においては、「ないと思う」が 27.5%（55 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が 25.5%（51 人）、「どちらかといえばあると思う」が 18.5%（37 人）の順となっている。
・“あると思う”が 28.5%（57 人）、“ないと思う”が 53.0%（106 人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ 24.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】
・木島平村においては、「ないと思う」が 28.9%（28 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が 22.7%（22 人）、「わからない」が 18.6%（18 人）の順となっている。
・“あると思う”が 28.9%（28 人）、“ないと思う”が 51.5%（50 人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ 22.6 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】
・野沢温泉村においては、「どちらかといえばないと思う」が 29.8%（17 人）で最も高く、次いで「ないと思う」が 19.3%（11 人）、「あると思う」が 17.5%（10 人）の順となっている。
・“あると思う”が 33.3%（19 人）、“ないと思う”が 49.1%（28 人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ 15.8 ポイント高くなっている。

【市町村比較】
・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も“ないと思う”が高くなっており、“ないと思う”が最も高いのは『中野市』『山ノ内町』が同率で 53.0%（324 人）（106 人）、次いで『木島平村』で 51.5%（50 人）の順となっている。一方、“あると思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 33.3%（19 人）、次いで『木島平村』で 28.9%（28 人）、『山ノ内町』で 28.5%（57 人）の順となっている。

（２）地域の活動や地域での付き合いで嫌がらせを受けること



【中高地区全体】

・地域の活動や地域での付き合いで嫌がらせを受けることについてみると、「ないと思う」が 30.7%（296 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が 25.0%（241 人）、「どちらかといえばあると思う」が 18.9%（182 人）の順となっている。

・“ある思う”（「あると思う」+「どちらかといえばあると思う」）が 26.6%（257 人）、“ないと思う”（「どちらかといえばないと思う」+「ないと思う」）が 55.6%（537 人）となっており、“ないと思う”が“あると思う”に比べ 29.0 ポイント高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「ないと思う」が 29.8%（182 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が 24.9%（152 人）、「どちらかといえばあると思う」が 19.0%（116 人）の順となっている。

・“あると思う”が 25.2%（154 人）、“ないと思う”が 54.7%（334 人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ 29.5 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「ないと思う」が 30.0%（60 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が 29.5%（59 人）、「どちらかといえばあると思う」が 17.0%（34 人）の順となっている。

・“あると思う”が 25.5%（51 人）、“ないと思う”が 59.5%（119 人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ 34.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「ないと思う」が 38.1%（37 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばあると思う」が 21.6%（21 人）、「どちらかといえばないと思う」が 17.5%（17 人）の順となっている。

・“あると思う”が 33.0%（32 人）、“ないと思う”が 55.7%（54 人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ 22.7 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

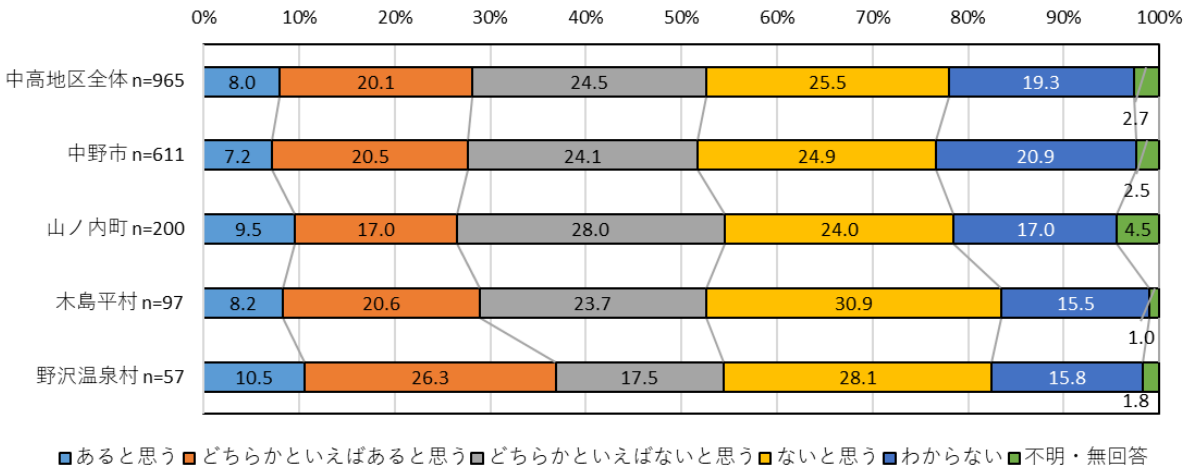
・野沢温泉村においては、「ないと思う」が 29.8%（17 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が 22.8%（13 人）、「どちらかといえばあると思う」が 19.3%（11 人）の順となっている。

・“あると思う”が 35.1%（20 人）、“ないと思う”が 52.6%（30 人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ 17.5 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も“ないと思う”が高くなっており、“ないと思う”が最も高いのは『山ノ内町』で 59.5%（119 人）、次いで『木島平村』で 55.7%（54 人）、『中野市』で 54.7%（334 人）の順となっている。一方、“あると思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 35.1%（20 人）、次いで『木島平村』で 33.0%（32 人）、『山ノ内町』で 25.5%（51 人）の順となっている。

（3）身元調査をされること



【中高地区全体】

・身元調査をされることについてみると、「ないと思う」が 25.5%（246 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が 24.5%（236 人）、「どちらかといえばあると思う」が 20.1%（194 人）の順となっている。

・“あると思う”（「あると思う」+「どちらかといえばあると思う」）が 28.1%（271 人）、“ないと思う”（「どちらかといえばないと思う」+「ないと思う」）が 49.9%（482 人）となっており、“ないと思う”が“あると思う”に比べ 21.8 ポイント高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「ないと思う」が 24.9%（152 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が 24.1%（147 人）、「わからない」が 20.9%（128 人）の順となっている。

・“あると思う”が 27.7%（169 人）、“ないと思う”が 48.9%（299 人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ 21.2 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらかといえばないと思う」が 28.0%（56 人）で最も高く、次いで「ないと思う」が 24.0%（48 人）、「どちらかといえばあると思う」「わからない」が同率で 17.0%（34 人）の順となっている。

・“あると思う”が 26.5%（53 人）、“ないと思う”が 52.0%（104 人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ 25.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「ないと思う」が 30.9%（30 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が 23.7%（23 人）、「どちらかといえばあると思う」が 20.6%（20 人）の順となっている。

・“あると思う”が 28.9%（28 人）、“ないと思う”が 54.6%（53 人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ 25.7 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

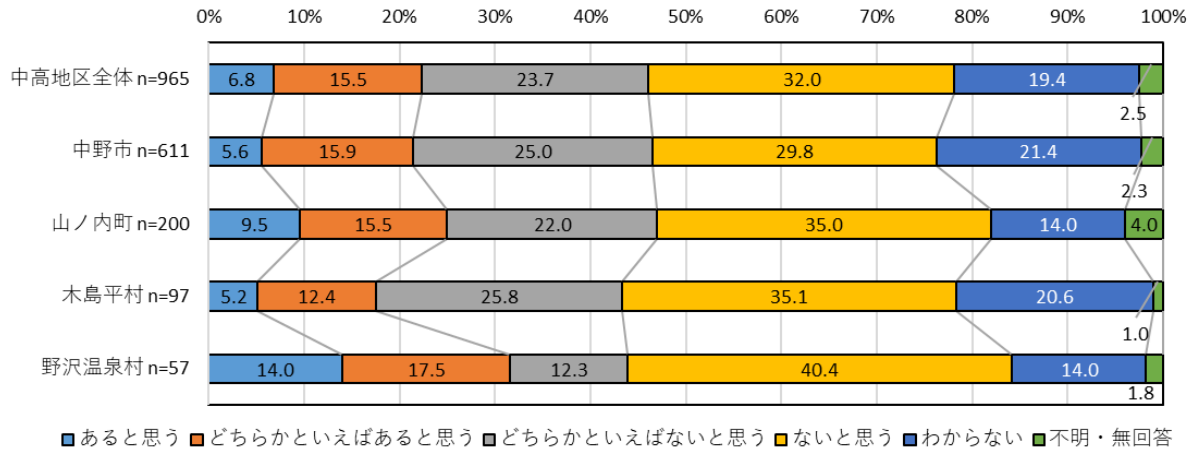
・野沢温泉村においては、「ないと思う」が 28.1%（16 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばあると思う」が 26.3%（15 人）、「どちらかといえばないと思う」が 17.5%（10 人）の順となっている。

・“あると思う”が 36.8%（21 人）、“ないと思う”が 45.6%（26 人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ 8.8 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も“ないと思う”が高くなっており、“ないと思う”が最も高いのは『木島平村』で 54.6%（53 人）、次いで『山ノ内町』で 52.0%（104 人）、『中野市』で 48.9%（299 人）の順となっている。一方、“あると思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 36.8%（21 人）、次いで『木島平村』で 28.9%（28 人）、『中野市』で 27.7%（169 人）の順となっている。

（4）行政機関や不動産取引業者に「どこが同和地区なのか」と問い合わせること



【中高地区全体】

・行政機関や不動産取引業者に「どこが同和地区なのか」と問い合わせることについてみると、「ないと思う」が 32.0%（309 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が 23.7%（229 人）、「わからない」が 19.4%（187 人）の順となっている。

・“あると思う”（「あると思う」+「どちらかといえばあると思う」）が 22.4%（216 人）、“ないと思う”（「どちらかといえばないと思う」+「ないと思う」）が 55.8%（538 人）となっており、“ないと思う”が“あると思う”に比べ 33.4 ポイント高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「ないと思う」が 29.8%（182 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が 25.0%（153 人）、「わからない」が 21.4%（131 人）の順となっている。

・“あると思う”が 21.4%（131 人）、“ないと思う”が 54.8%（335 人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ 33.4 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「ないと思う」が 35.0%（70 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が 22.0%（44 人）、「どちらかといえばあると思う」が 15.5%（31 人）の順となっている。

・“あると思う”が 25.0%（50 人）、“ないと思う”が 57.0%（114 人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ 32.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「ないと思う」が 35.1%（34 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が 25.8%（25 人）、「わからない」が 20.6%（20 人）の順となっている。

・“あると思う”が 17.5%（17 人）、“ないと思う”が 60.8%（59 人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ 43.3 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

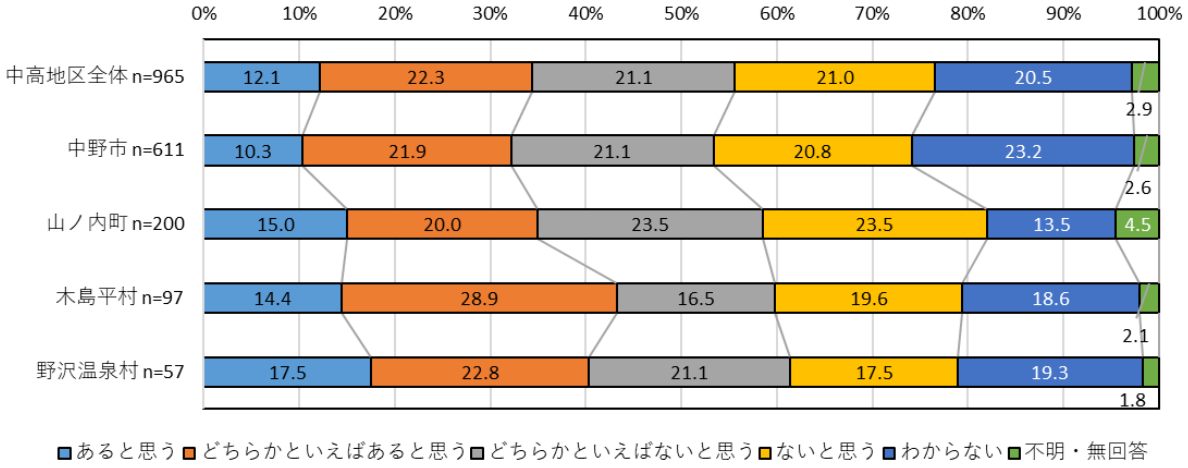
・野沢温泉村においては、「ないと思う」が 40.4%（23 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばあると思う」が 17.5%（10 人）、「あると思う」「わからない」が同率で 14.0%（８人）の順となっている。

・“あると思う”が 31.6%（18 人）、“ないと思う”が 52.6%（30 人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ 21.0 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“ないと思う”が高くなっており、“ないと思う”が最も高いのは『木島平村』で 60.8%（59 人）、次いで『山ノ内町』で 57.0%（114 人）、『中野市』で 54.8%（335 人）の順となっている。一方、“あると思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 31.6%（18 人）、次いで『山ノ内町』で 25.0%（50 人）、『中野市』で 21.4%（131 人）の順となっている。

（５）インターネット上に誹謗中傷等が掲載されること



【中高地区全体】

・インターネット上に誹謗中傷等が掲載されることについてみると、「どちらかといえばあると思う」が 22.3%（215 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が 21.1%（204 人）、「ないと思う」が 21.0%（203 人）の順となっている。

・“あると思う”（「あると思う」+「どちらかといえばあると思う」）が 34.4%（332 人）、“ないと思う”（「どちらかといえばないと思う」+「ないと思う」）が 42.2%（407 人）となっており、“ないと思う”が“あると思う”に比べ 7.8 ポイント高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「どちらかといえばあると思う」が 21.9%（134 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が 21.1%（129 人）、「ないと思う」が 20.8%（127 人）の順となっている。

・“あると思う”が 32.2%（197 人）、“ないと思う”が 41.9%（256 人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ 9.7 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「どちらかといえばないと思う」「ないと思う」が同率で 23.5%（47 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばあると思う」が 20.0%（40 人）の順となっている。

・“あると思う”が 35.0%（70 人）、“ないと思う”47.0%（94 人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ 12.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらかといえばあると思う」が 28.9%（28 人）で最も高く、次いで「ないと思う」が 19.6%（19 人）、「わからない」が 18.6%（18 人）の順となっている。

・“あると思う”が 43.3%（42 人）、“ないと思う”が 36.1%（35 人）と“あると思う”が“ないと思う”に比べ 7.2 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

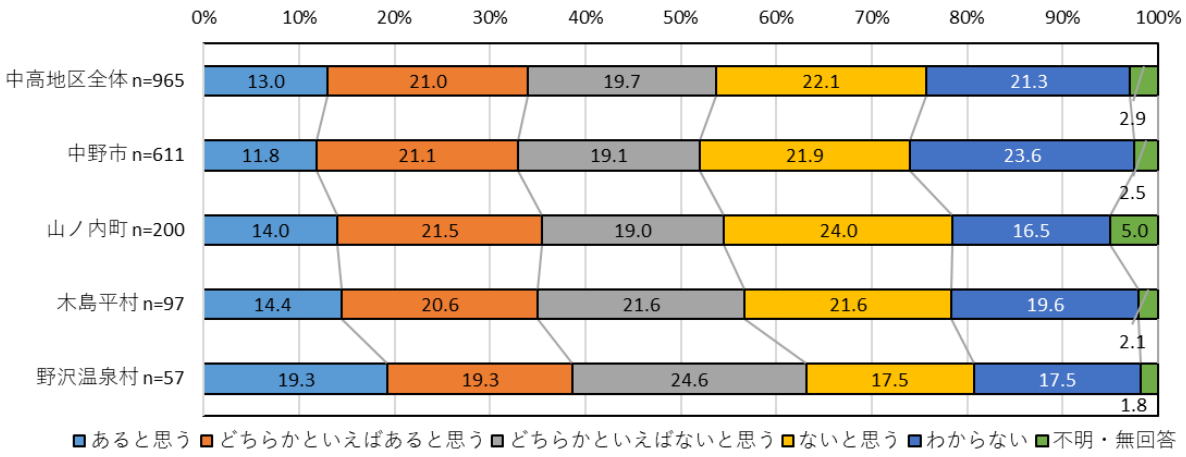
・野沢温泉村においては、「どちらかといえばあると思う」が 22.8%（13 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が 21.1%（12 人）、「わからない」が 19.3%（11 人）の順となっている。

・“あると思う”が 40.4%（23 人）、“ないと思う”が 38.6%（22 人）と“あると思う”が“ないと思う”に比べ 1.8 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・4 市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』が“ないと思う”、『木島平村』『野沢温泉村』が“あると思う”が高くなっており、“あると思う”が最も高いのは『木島平村』で 43.3%（42 人）、次いで『野沢温泉村』で 40.4%（23 人）、『山ノ内町』で 35.0%（70 人）の順となっている。一方、“ないと思う”が最も高いのは『山ノ内町』で 47.0%（94 人）、次いで『中野市』で 41.9%（256 人）、『野沢温泉村』で 38.6%（22 人）の順となっている。

（6）インターネット上に同和地区と呼ばれる地域の所在地リストや動画・写真などが掲載されること



【中高地区全体】

・インターネット上に同和地区と呼ばれる地域の所在地リストや動画・写真などが掲載されることについてみると、「ないと思う」が 22.1%（213 人）で最も高く、次いで「わからない」が 21.3%（206 人）、「どちらかといえばあると思う」が 21.0%（203 人）の順となっている。

・“あると思う”（「あると思う」+「どちらかといえばあると思う」）が 34.0%（328 人）、“ないと思う”（「どちらかといえばないと思う」+「ないと思う」）が 41.8%（403 人）となっており、“ないと思う”が“あると思う”に比べ 7.8 ポイント高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「わからない」が 23.6%（144 人）で最も高く、次いで「ないと思う」が 21.9%（134 人）、「どちらかといえばあると思う」が 21.1%（129 人）の順となっている。

・“あると思う”が 32.9%（201 人）、“ないと思う”が 41.1%（251 人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ 8.2 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「ないと思う」が 24.0%（48 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばあると思う」が 21.5%（43 人）、「どちらかといえばないと思う」が 19.0%（38 人）の順となっている。

・“あると思う”が 35.5%（71 人）、“ないと思う”が 43.0%（86 人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ 7.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「どちらかといえばないと思う」「ないと思う」が同率で 21.6%（21 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばあると思う」が 20.6%（20 人）の順となっている。

・“あると思う”が 35.1%（34 人）、“ないと思う”が 43.3%（42 人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ 8.2 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「どちらかといえばないと思う」が 24.6%（14 人）で最も高く、次いで「あると思う」「どちらかといえばあると思う」が同率で 19.3%（11 人）の順となっている。

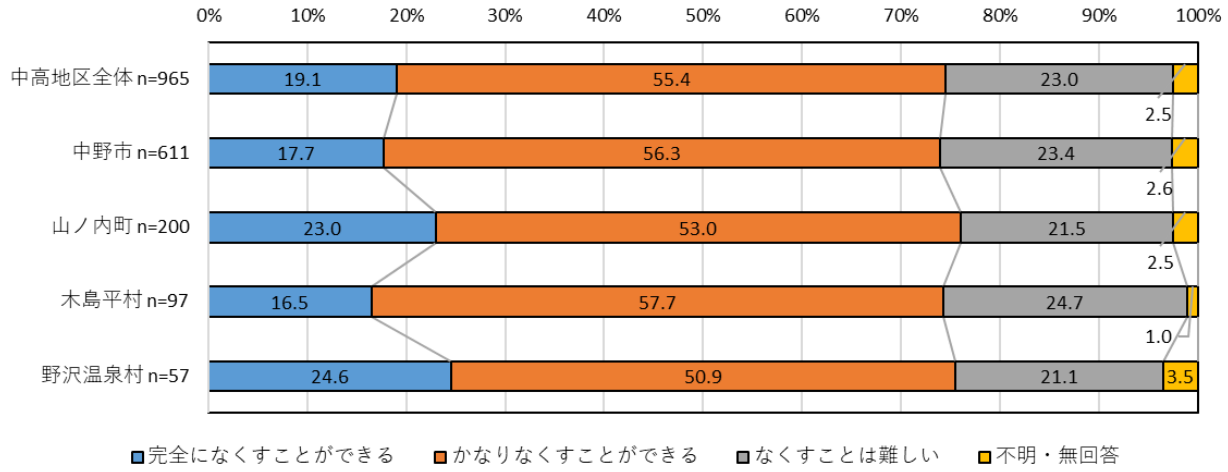
・“あると思う”が 38.6%（22 人）、“ないと思う”が 42.1%（24 人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ 3.5 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も“ないと思う”が高くなっており、“ないと思う”が最も高いのは『木島平村』で 43.3%（42 人）、次いで『山ノ内町』で 43.0%（86 人）、『野沢温泉村』で 42.1%（24 人）の順となっている。一方、“あると思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 38.6%（22 人）、次いで『山ノ内町』で 35.5%（71 人）、『木島平村』で 35.1%（34 人）の順となっている。

問 23　部落差別は将来なくすことができると思いますか。（○は１つ）

1　完全になくすことができる
2　かなりなくすことができる
3　なくすことは難しい



【中高地区全体】

・部落差別は将来なくすことができるかについてみると、「かなりなくすことができる」が 55.4%（535 人）で最も高く、次いで「なくすことは難しい」が 23.0%（222 人）、「完全になくすことができる」が 19.1%（184 人）の順となっている。

・“なくすことができる”（「完全になくすことができる」+「かなりなくすことができる」）が 74.5%（719 人）となっており、“なくすことができる”が「なくすことは難しい」に比べ約 3.2 倍で、その差は 51.5 ポイントとなっている。

【中野市】

・中野市においては、「かなりなくすことができる」が 56.3%（344 人）で最も高く、次いで「なくすことは難しい」が 23.4%（143 人）、「完全になくすことができる」が 17.7%（108 人）の順となっている。

・“なくすことができる”が 74.0%（452 人）となっており、“なくすことができる”が「なくすことは難しい」に比べ約 3.2 倍で、その差は 50.6 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「かなりなくすことができる」が 53.0%（106 人）で最も高く、次いで「完全になくすことができる」が 23.0%（46 人）、「なくすことは難しい」が 21.5%（43 人）の順となっている。

・“なくすことができる”が 76.0%（152 人）となっており、“なくすことができる”が「なくすことは難しい」に比べ約 3.5 倍で、その差は 54.5 ポイントとなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「かなりなくすことができる」が 57.7%（56 人）で最も高く、次いで「なくすことは難しい」が 24.7%（24 人）、「完全になくすことができる」が 16.5%（16 人）の順となっている。

・“なくすことができる”が 74.2%（72 人）となっており、“なくすことができる”が「なくすことは難しい」に比べ３倍で、その差は 49.5 ポイントとなっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「かなりなくすことができる」が 50.9%（29 人）で最も高く、次

いで「完全になくすことができる」が 24.6%（14 人）、「なくすことは難しい」が 21.1%（12 人）の順となっている。

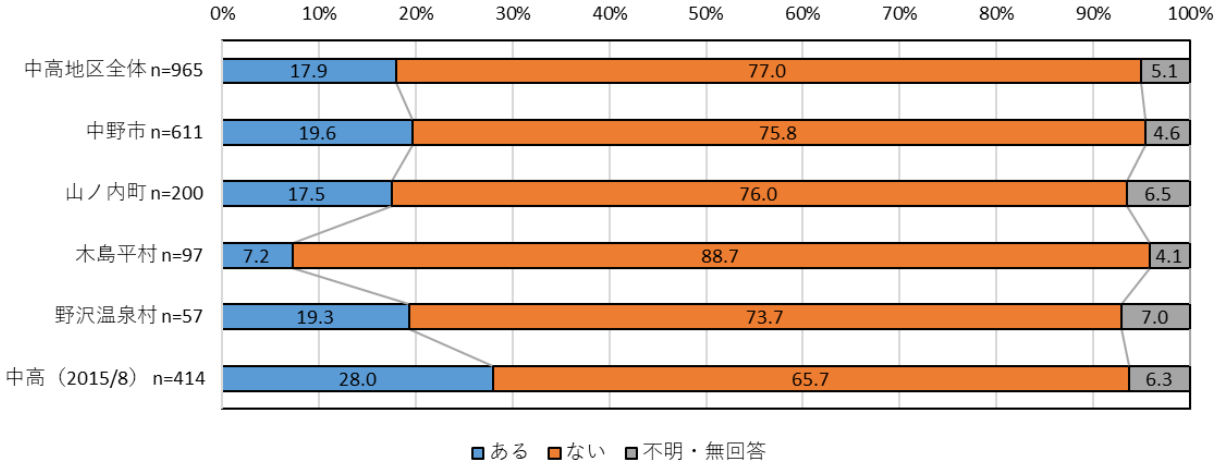
・“なくすことができる”が 75.5%（43 人）となっており、“なくすことができる”が「なくすことは難しい」に比べ約 3.6 倍で、その差は 54.4 ポイントとなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“なくすことができる”が高くなっており、“なくすことができる”が最も高いのは『山ノ内町』で 76.0%（152 人）、次いで『野沢温泉村』で 75.5%（43 人）、『木島平村』で 74.2%（72 人）の順となっている。一方、「なくすことは難しい」が最も高いのは『木島平村』で 24.7%（24 人）、次いで『中野市』で 23.4%（143 人）、『山ノ内町』で 21.5%（43 人）の順となっている。

問 24　あなたは、「同和地区はこわい」というような話を聞いたことがありますか。（○は１つ）

1　ある　→　問24-1、24-2、24-3へお進みください	2　ない　→　問25へお進みください



【中高地区全体】

・「同和地区はこわい」という話を聞いたことの有無についてみると、「ない」が 77.0%（743 人）、「ある」が 17.9%（173 人）となっている。

・前回調査と比較すると、「ない」が 11.3 ポイント（77.0-65.7）高くなっており、一方「ある」が 10.1 ポイント（17.9-28.0）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「ない」が 75.8%（463 人）、「ある」が 19.6%（120 人）となっており、「ない」が「ある」に比べ約 3.9 倍で、その差は 56.2 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「ない」が 76.0%（152 人）、「ある」が 17.5%（35 人）となっており、「ない」が「ある」に比べ約 4.3 倍で、その差は 58.5 ポイントとなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「ない」が 88.7%（86 人）、「ある」が 7.2%（７人）となっており、「ない」が「ある」に比べ約 12.3 倍で、その差 81.5 はポイントとなっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「ない」が 73.7%（42 人）、「ある」が 19.3%（11 人）となっており、「ない」が「ある」に比べ約 3.8 倍で、その差は 54.4 ポイントとなっている。

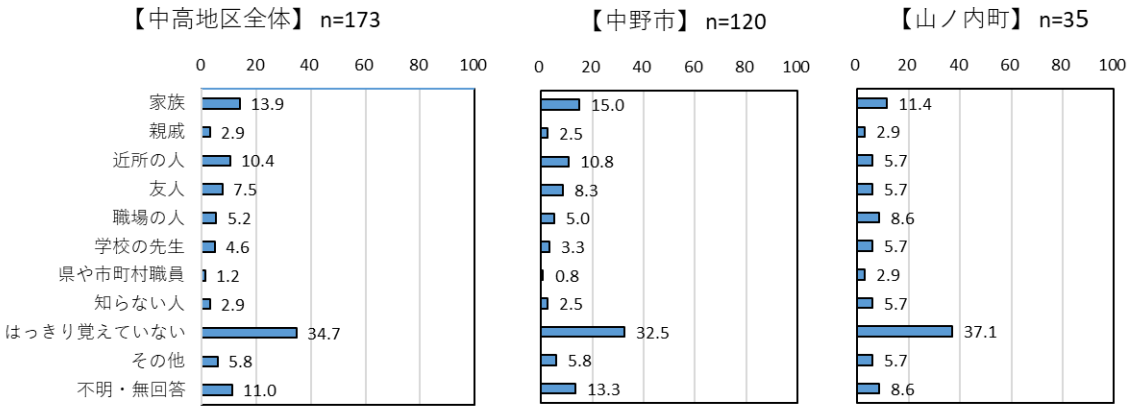
【市町村比較】

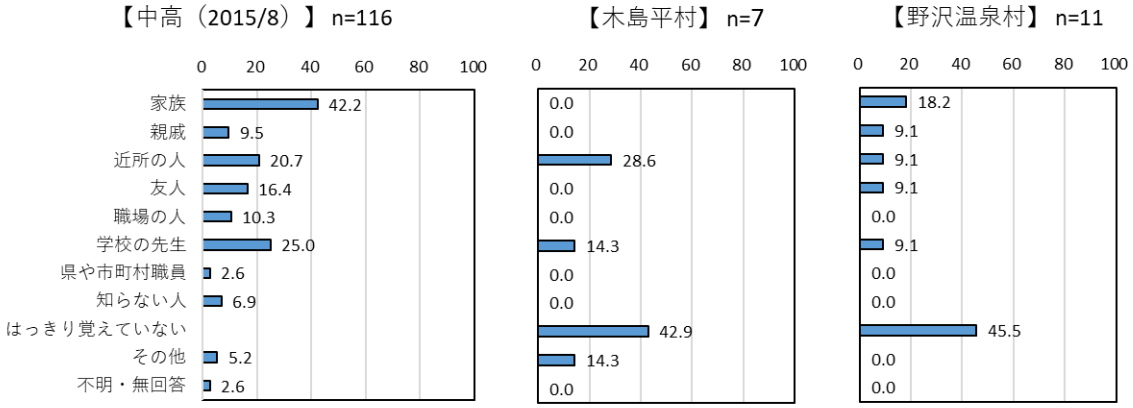
・４市町村を比較すると、いずれの市町村も「ない」が高くなっており、「ない」が最も高いのは『木島平村』で 88.7%（86 人）、次いで『山ノ内町』で 76.0%（152 人）、『中野市』で 75.8%（463 人）の順となっている。一方、「ある」が最も高いのは『中野市』で 19.6%（120 人）、次いで『野沢温泉村』で 19.3%（11 人）、『山ノ内町』で 17.5%（35 人）の順となっている。

問 24 で「１　ある」を選ばれた方にお尋ねします。

問 24-１　こわいという話を誰から聞きましたか。（○は１つ）

１　家族	６　学校の先生
２　親戚	７　県や市町村の職員
３　近所の人	８　知らない人
４　友人	９　はっきり覚えていない
５　職場の人	10　その他（具体的に:　　）





【中高地区全体】

・こわいという話を誰から聞いたかについてみると、「はっきり覚えていない」が 34.7%（60 人）、次いで「家族」が 13.9%（24 人）、「近所の人」が 10.4%（18 人）の順となっている。

【中野市】

・中野市においては、「はっきり覚えていない」が 32.5%（39 人）、次いで「家族」が 15.0%（18 人）、「近所の人」が 10.8%（13 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「はっきり覚えていない」が 37.1%（13 人）、次いで「家族」が 11.4%（４人）、「職場の人」が 8.6%（３人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「はっきり覚えていない」が 42.9%（３人）、次いで「近所の人」が 28.6%（２人）、「学校の先生」が 14.3%（１人）の順となっている。

【野沢温泉村】

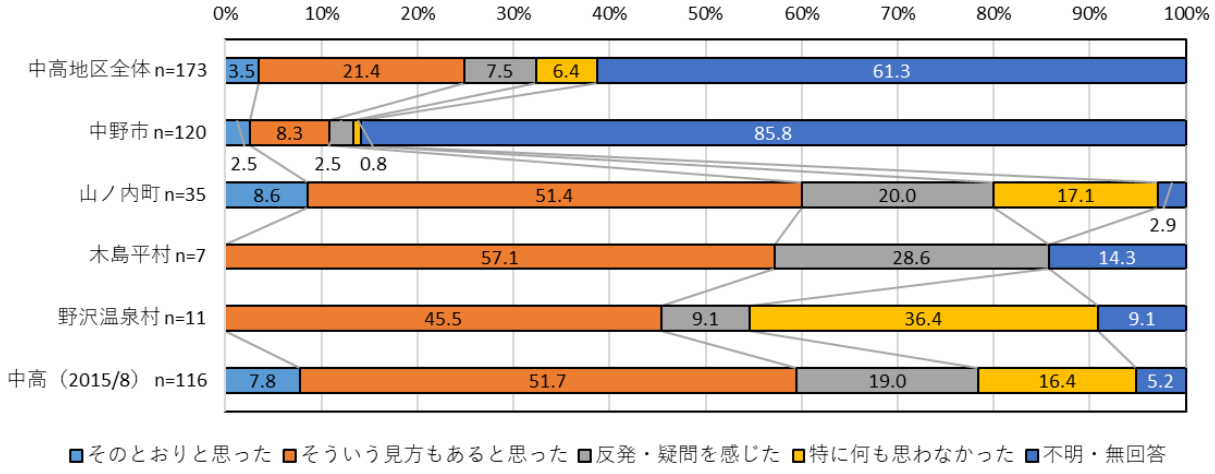
・野沢温泉村においては、「はっきり覚えていない」が 45.5%（５人）、次いで「家族」が 18.2%（２人）、「親戚」「近所の人」「友人」「学校の先生」が同率で 9.1%（１人）の順となっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も「はっきり覚えていない」が高くなっており、「はっきり覚えていない」が最も高いのは『野沢温泉村』で 45.5%（５人）、次いで『木島平村』で 42.9%（３人）、『山ノ内町』で 37.1%（13 人）の順となっている。また、「家族」が最も高いのは『野沢温泉村』で 18.2%（２人）、次いで『中野市』で 15.0%（18 人）、『山ノ内町』で 11.4%（４人）、「近所の人」が最も高いのは『木島平村』で 28.6%（２人）、次いで『中野市』で 10.8%（13 人）、『野沢温泉村』で 9.1%（１人）の順となっている。

問 24-２　その話を聞いたときどう感じましたか。（○は１つ）

1　そのとおりだと思った
2　そういう見方もあると思った
3　反発・疑問を感じた
4　特に何も思わなかった



【中高地区全体】

・話を聞いたときの感想についてみると、「そういう見方もあると思った」が 21.4%（37 人）で最も高く、次いで「反発・疑問を感じた」が 7.5%（13 人）、「特に何も思わなかった」が 6.4%（11 人）の順となっている。

・“そのとおりである”（「そのとおりだと思った」+「そういう見方もあると思った」）が 24.9%（43 人）となっており、“そのとおりである”が「反発・疑問を感じた」に比べ約 3.3 倍で、その差は 17.4 ポイントとなっている。

・前回調査と比較すると、“そのとおりである”が 34.6 ポイント（24.9-59.5）低くなっており、一方「反発・疑問を感じた」が 11.5 ポイント（7.5-19.0）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「そういう見方もあると思った」が 8.3%（10 人）で最も高く、次いで「そのとおりだと思った」「反発・疑問を感じた」が同率で 2.5%（３人）の順となっている。

・“そのとおりである”が 10.8%（13 人）となっており、“そのとおりである”が「反発・疑問を感じた」に比べ約 4.3 倍で、その差は 8.3 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「そういう見方もあると思った」が 51.4%（18 人）で最も高く、次いで「反発・疑問を感じた」が 20.0%（７人）、「特に何も思わなかった」が 17.1%（６人）の順となっている。

・“そのとおりである”が 60.0%（21 人）となっており、“そのとおりである”が「反発・疑問を感じた」に比べ３倍で、その差は 40.0 ポイントとなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「そういう見方もあると思った」が 57.1%（４人）で最も高く、次いで「反発・疑問を感じた」が 28.6%（２人）の順となっている。

・“そのとおりである”が 57.1%（４人）となっており、“そのとおりである”が「反発・疑問を感じた」に比べ２倍で、その差は 28.5 ポイントとなっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「そういう見方もあると思った」が 45.5%（５人）で最も高く、次いで「特に何も思わなかった」が 36.4%（４人）、「反発・疑問を感じた」が 9.1%（１人）の順となっている。

・“そのとおりである”が 45.5%（５人）となっており、“そのとおりである”が「反発・疑問を感じた」に比べ５倍で、その差は 36.4 ポイントとなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も“そのとおりである”が高くなっており、“そのとおりである”が最も高いのは『山ノ内町』で 60.0%（21 人）、次いで『木島平村』で 57.1%（４人）、『野沢温泉村』で 45.5%（５人）の順となっている。一方、「反発・疑問を感じた」が最も高いのは『木島平村』で 28.6%（２人）、次いで『山ノ内町』で 20.0%（７人）、『野沢温泉村』で 9.1%（１人）の順となっている。

問 24-３　それは、どんな内容でしたか。（自由記載）

「同和地区はこわい」というような話を「聞いたことがある」とした 173 人のうち、自由記載への記入は 70 人であった。

「なぜこわいといったのかわからなかった」「親は仲よくしてはいけないと言っていましたが、私は関係なくお友達でいました。現在も仲良くしています」など、「同和地区はこわい」という話を否定する記載は自由記載回答者の 7.5%（13 人）とわずかである。

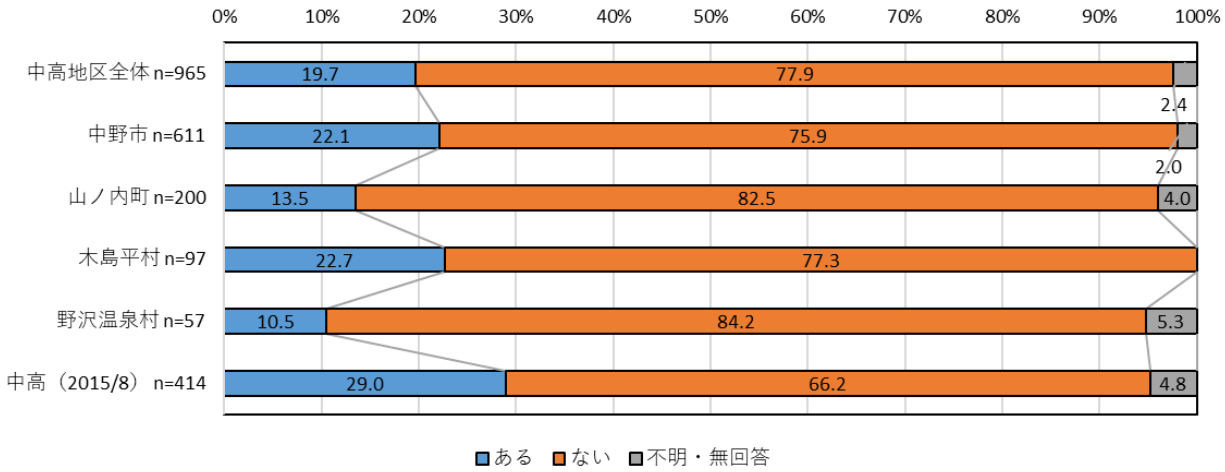
一方、職業や歴史に関する間違った理解や認識不足、「同和地区」に対する強いマイナスイメージや固定観念、差別的な思い込みや偏見、回答者自身の意見や感想としての記述が多くみられた。

問 24-3 の自由記載回答者数は調査回答者全体の 7.3%であるが、根強い差別意識が残されていることに留意しなければならない。

すべての方にお尋ねします。

問 25　あなた自身あるいはあなたの親戚や友人で、同和地区の人との結婚に関して、もめたり、反対にあったりしたことを聞いたことがありますか。（○は１つ）

1　ある　　2　ない



【中高地区全体】

・同和地区の人との結婚でもめたり、反対されたことについてみると、「ない」が 77.9%（752 人）、「ある」が 19.7%（190 人）となっている。

・前回調査と比較すると、「ない」で 11.7 ポイント（77.9-66.2）高くなっており、一方「ない」が 9.3 ポイント（19.7-29.0）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「ない」が 75.9%（464 人）、「ある」が 22.1%（135 人）となっており、「ない」が「ある」に比べ約 3.4 倍で、その差は 53.8 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「ない」が 82.5%（165 人）、「ある」が 13.5%（27 人）となっており、「ない」が「ある」に比べ約 6.1 倍で、その差は 69.0 ポイントとなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「ない」が 77.3%（75 人）、「ある」が 22.7%（22 人）となっており、「ない」が「ある」に比べ約 3.4 倍で、その差は 54.6 ポイントとなっている。

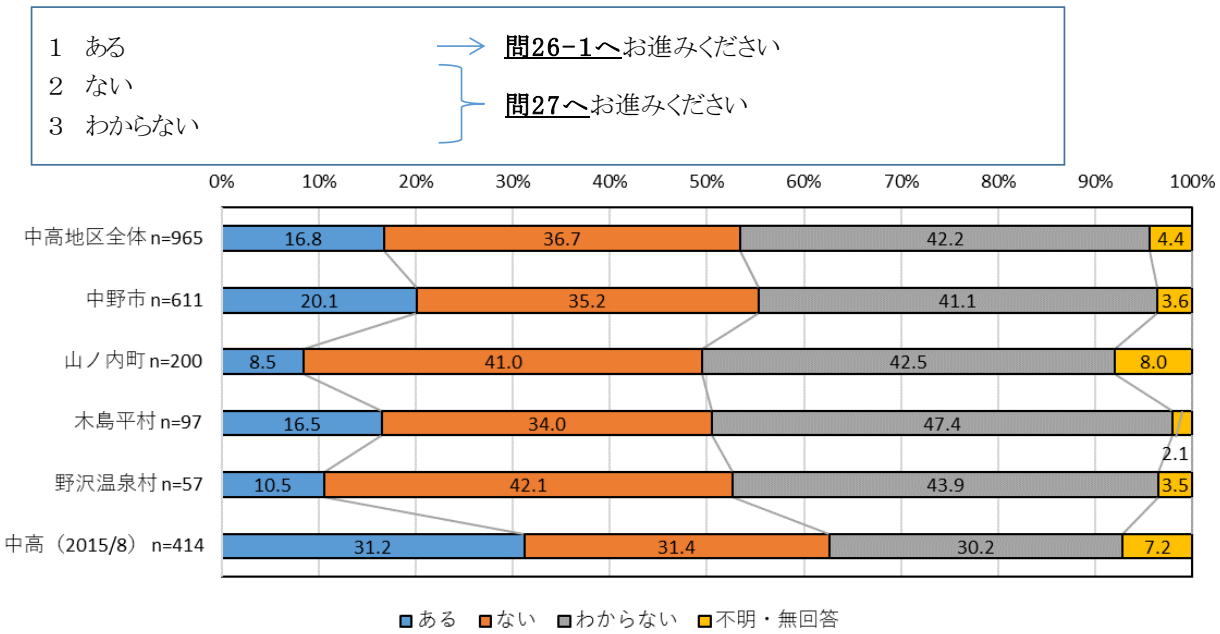
【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「ない」が 84.2%（48 人）、「ある」が 10.5%（６人）となっており、「ない」が「ある」に比べ８倍で、その差は 73.7 ポイントとなっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も「ない」が高くなっており、「ない」が最も高いのは『野沢温泉村』で 84.2%（48 人）、次いで『山ノ内町』で 82.5%（165 人）、『木島平村』で 77.3%（75 人）の順となっている。一方、「ある」が最も高いのは『木島平村』で 22.7%（22 人）、次いで『中野市』で 22.1%（135 人）、『山ノ内町』で 13.5%（27 人）の順となっている。

問 26　あなたは、同和地区の人との付き合いはありますか。（○は１つ）



【中高地区全体】

・同和地区居住者との付き合いの有無についてみると、「わからない」が 42.2%（407 人）と最も高く、次いで「ない」が 36.7%（354 人）、「ある」が 16.8%（162 人）、の順となっている。

・前回調査と比較すると、「ない」で 5.3 ポイント（36.7-31.4）高くなっており、一方「ある」が 14.4 ポイント（16.8-31.2）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「わからない」が 41.1%（251 人）と最も高く、次いで「ない」が 35.2%（215 人）、「ある」が 20.1%（123 人）となっており、「ない」が「ある」に比べ約 1.7 倍で、その差は 15.1 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「わからない」が 42.5%（85 人）、次いで「ない」が 41.0%（82 人）、「ある」が 8.5%（17 人）の順となっており、「ない」が「ある」に比べ約 4.8 倍で、その差は 32.5 ポイントとなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「わからない」が 47.4%（46 人）、次いで「ない」が 34.0%（33 人）、「ある」が 16.5%（16 人）の順となっており、「ない」が「ある」に比べ約 2.1 倍で、その差は 17.5 ポイントとなっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「わからない」が 43.9%（25 人）、次いで「ない」が 42.1%（24 人）、「ある」が 10.5%（６人）の順となっており、「ない」が「ある」に比べ４倍で、その差は 31.6 ポイントとなっている。

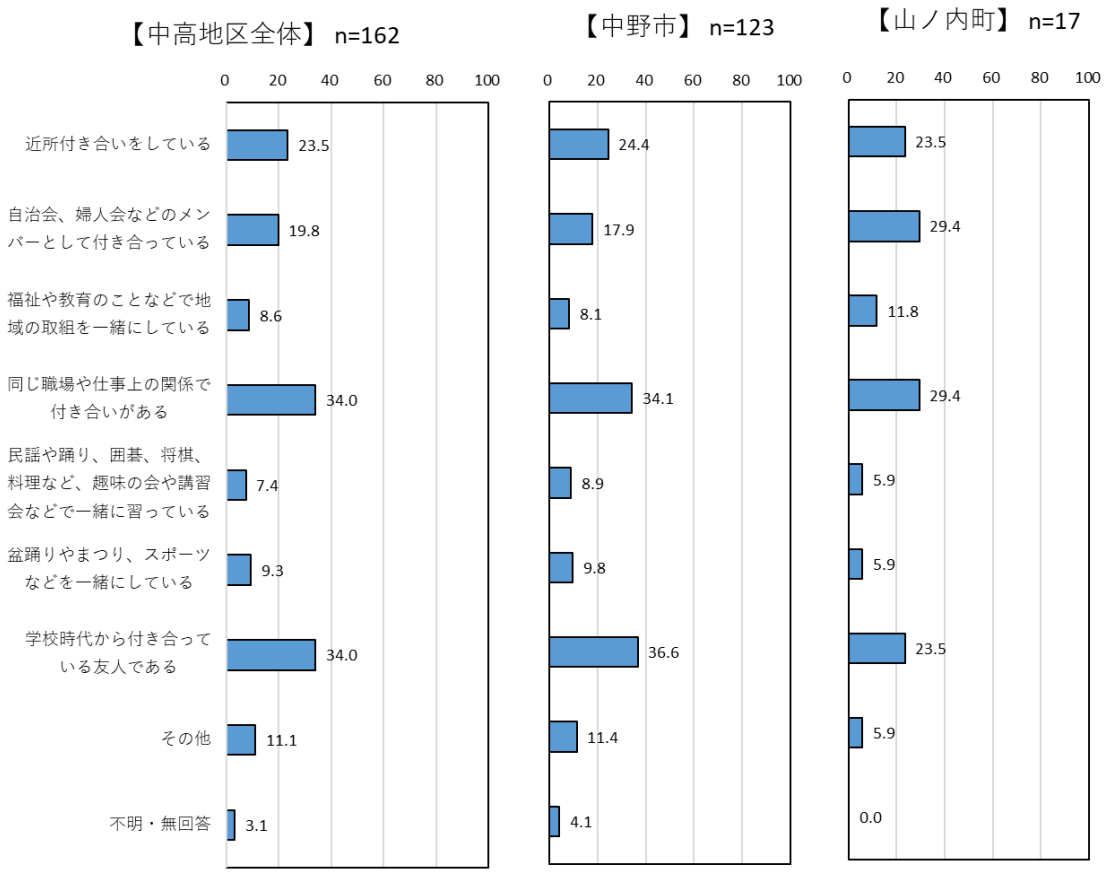
【市町村比較】

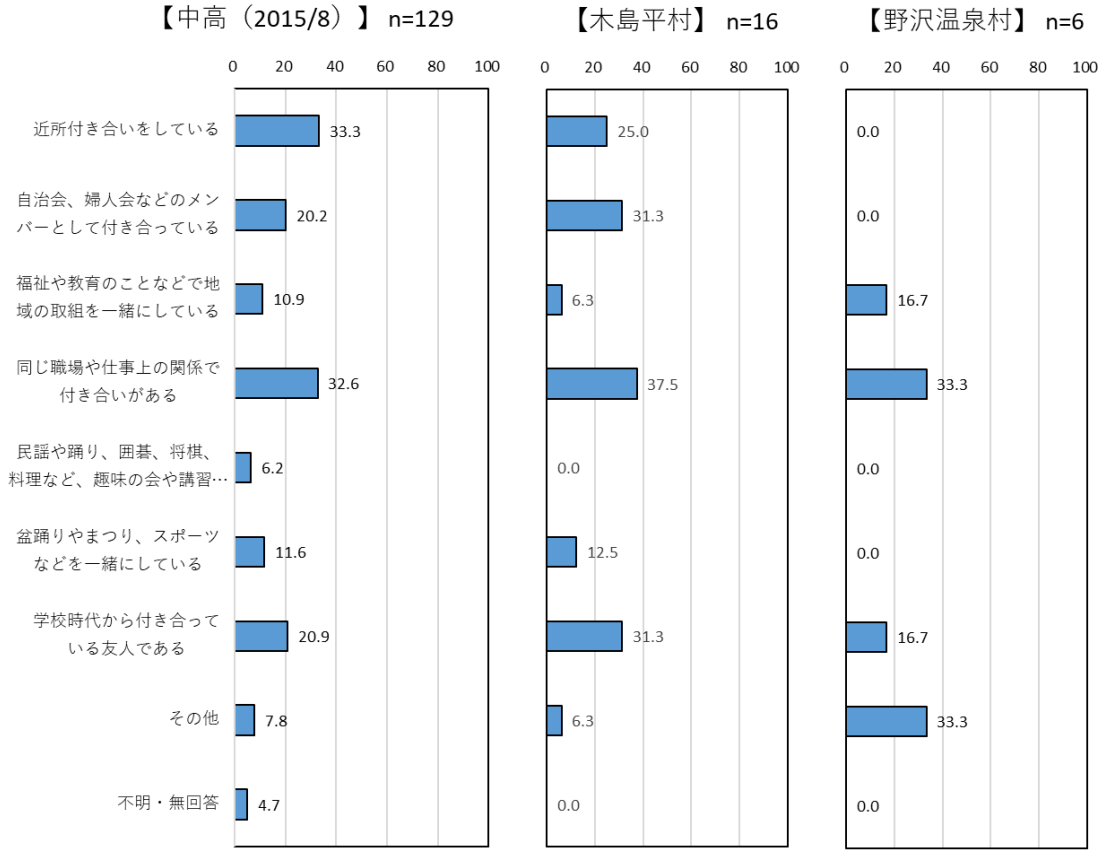
・４市町村を比較すると、いずれの市町村も「わからない」が高くなっており、「わからない」が最も高いのは『木島平村』で 47.4%（46 人）、次いで『野沢温泉村』で 43.9%（25 人）、『山ノ内町』で 42.5%（85 人）の順となっている。一方、「ある」が最も高いのは『中野市』で 20.1%（123 人）、次いで『木島平村』で 16.5%（16 人）、『野沢温泉村』で 10.5%（６人）の順となっている。

問 26 で「１　ある」を選ばれた方にお尋ねします。

問 26-1　それは、どの程度のお付き合いでしょうか。（○はいくつでも）

１　近所付き合いをしている
２　自治会、婦人会などのメンバーとして付き合っている
３　福祉や教育のことなどでの地域の取組を一緒にしている
４　同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある
５　民謡や踊り、囲碁、将棋、料理など、趣味の会や講習会などで一緒に習っている
６　盆踊りやまつり、スポーツなどを一緒にしている
７　学校時代から付き合っている友人である
８　その他（具体的に:　　）


【中高地区全体】 n=162
【中野市】 n=123
【山ノ内町】 n=17
0 20 40 60 80 100
近所付き合いをしている
自治会、婦人会などのメンバーとして付き合っている
福祉や教育のことなどで地域の取組を一緒にしている
同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある
民謡や踊り、囲碁、将棋、料理など、趣味の会や講習会などで一緒に習っている
盆踊りやまつり、スポーツなどを一緒にしている
学校時代から付き合っている友人である
その他
不明・無回答
23.5
19.8
8.6
34.0
7.4
9.3
34.0
11.1
3.1
24.4
17.9
8.1
34.1
8.9
9.8
36.6
11.4
4.1
23.5
29.4
11.8
29.4
5.9
5.9
23.5
5.9
0.0


【中高（2015/8）】 n=129
【木島平村】 n=16
【野沢温泉村】 n=6
0 20 40 60 80 100
近所付き合いをしている
自治会、婦人会などのメンバーとして付き合っている
福祉や教育のことなどで地域の取組を一緒にしている
同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある
民謡や踊り、囲碁、将棋、料理など、趣味の会や講習…
盆踊りやまつり、スポーツなどを一緒にしている
学校時代から付き合っている友人である
その他
不明・無回答
33.3
20.2
10.9
32.6
6.2
11.6
20.9
7.8
4.7
25.0
31.3
6.3
37.5
0.0
12.5
31.3
6.3
0.0
0.0
0.0
16.7
33.3
0.0
0.0
16.7
33.3
0.0

【中高地区全体】

・付き合いの具体的内容についてみると、「同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある」「学生時代から付き合っている友人である」が同率で 34.0%（55 人）、次いで「近所付き合いをしている」が 23.5%（38 人）の順となっている。

・前回調査と比較すると、増加幅が最も大きいのは「学生時代から付き合っている友人である」で 13.1 ポイント（34.0-20.9）高くなっており、一方減少幅が最も大きいのは「近所付き合いをしている」で 9.8 ポイント（23.5-33.3）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「学生時代から付き合っている友人である」が 36.6%（45 人）、次いで「同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある」が 34.1%（42 人）、「近所付き合いをしている」が 24.4%（30 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「自治会、婦人会などのメンバーとして付き合っている」「同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある」が同率で 29.4%（５人）、次いで「近所付き合いをしている」「学生時代から付き合っている友人である」が同率で 23.5%（４人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある」が 37.5%（６人）、次いで「自治会、婦人会などのメンバーとして付き合っている」「学生時代から付き合っている友人である」が同率で 31.3%（５人）の順となっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある」「その他」が同率で 33.3%（２人）、次いで「福祉や教育のことなどでの地域の取組を一緒にしている」「学生時代から付き合っている友人である」が同率で 16.7%（１人）の順となっている。

【市町村比較】

・４市町村を比較すると、『中野市』が「学生時代から付き合っている友人である」、『山ノ内町』が「自治会、婦人会などのメンバーとして付き合っている」「同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある」、『木島平村』『野沢温泉村』が「同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある」が高くなっており、「学生時代から付き合っている友人である」が最も高いのは『中野市』で 36.6%（12 人）、次いで『木島平村』で 31.3%（５人）、『山ノ内町』で 23.5%（４人）の順となっている。また「同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある」が最も高いのは『木島平村』で 37.5%（６人）、次いで『中野市』で 34.1%（42 人）、『野沢温泉村』で 33.3%（２人）の順となっている。

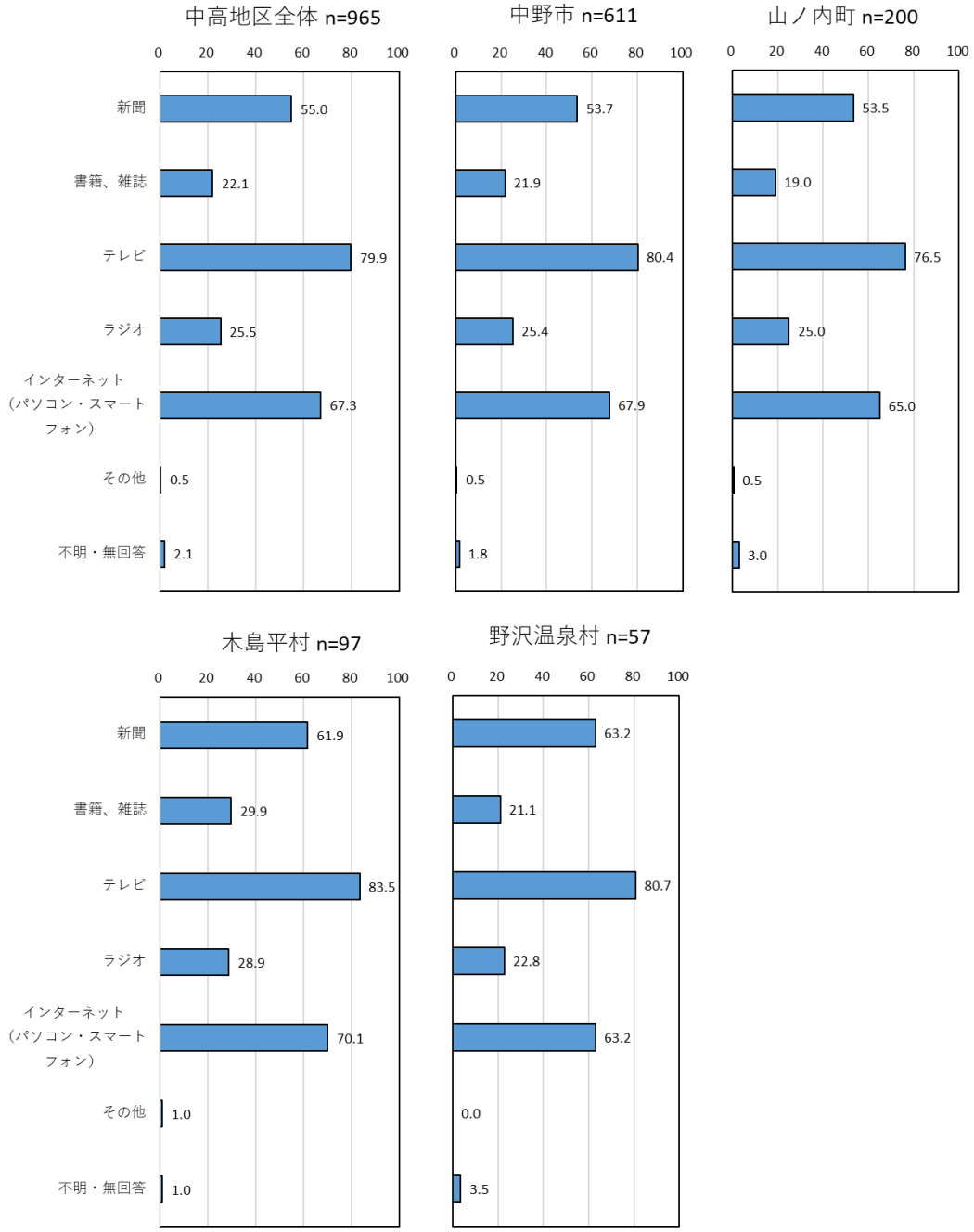
F　あなた自身のことについて

すべての方にお尋ねします。

問 27　あなた自身のことについて、次の（1）～（5）のすべてにお答えください。

（1）あなたが日常に利用する主なメディアはどれですか。（○はいくつでも）

1　新聞　　2　書籍、雑誌　　3　テレビ　　4　ラジオ
5　インターネット（パソコン・スマートフォン）　　6　その他（　　）



【中高地区全体】

・日常に利用する主なメディアについてみると、「テレビ」が 79.9%（771 人）、次いで「インターネット」が 67.3%（649 人）、「新聞」が 55.0%（531 人）の順となっている。

【中野市】

・中野市においては、「テレビ」が 80.4%（491 人）、次いで「インターネット」が 67.9%（415 人）、「新聞」が 53.7%（328 人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「テレビ」が 76.5%（153 人）、次いで「インターネット」が 65.0%（130 人）、「新聞」が 53.5%（107 人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「テレビ」が 83.5%（81 人）、次いで「インターネット」が 70.1%（68 人）、「新聞」が 61.9%（60 人）の順となっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「テレビ」が 80.7%（46 人）、次いで「新聞」「インターネット」が同率で 63.2%（36 人）の順となっている。

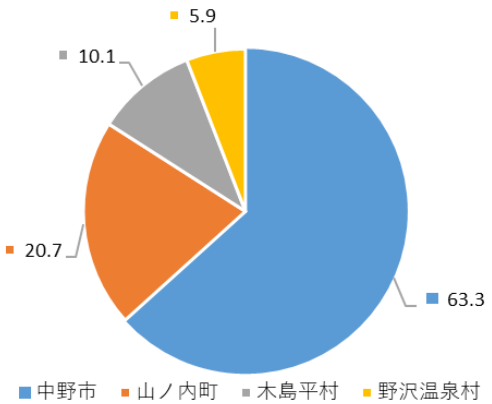
【市町村比較】

・４市町村を比較すると、いずれの市町村も「テレビ」が高くなっており、「テレビ」が最も高いのは『木島平村』で 83.5%（81 人）、次いで『野沢温泉村』で 80.7%（46 人）、『中野市』で 80.4%（491 人）の順となっている。また「インターネット」が最も高いのは『木島平村』で 70.1%（68 人）、次いで『中野市』で 67.9%（415 人）、『山ノ内町』で 65.0%（130 人）の順となっている。

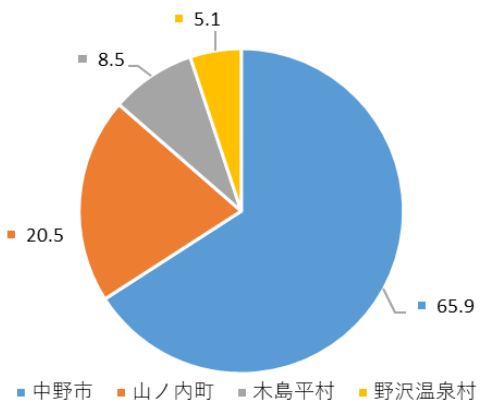
（２）あなたがお住まいの市町村はどれですか。（○は１つ）

1　中野市	2　山ノ内町	3　木島平村	4　野沢温泉村

中高地区全体 n=611



中高（2015/8）n=414



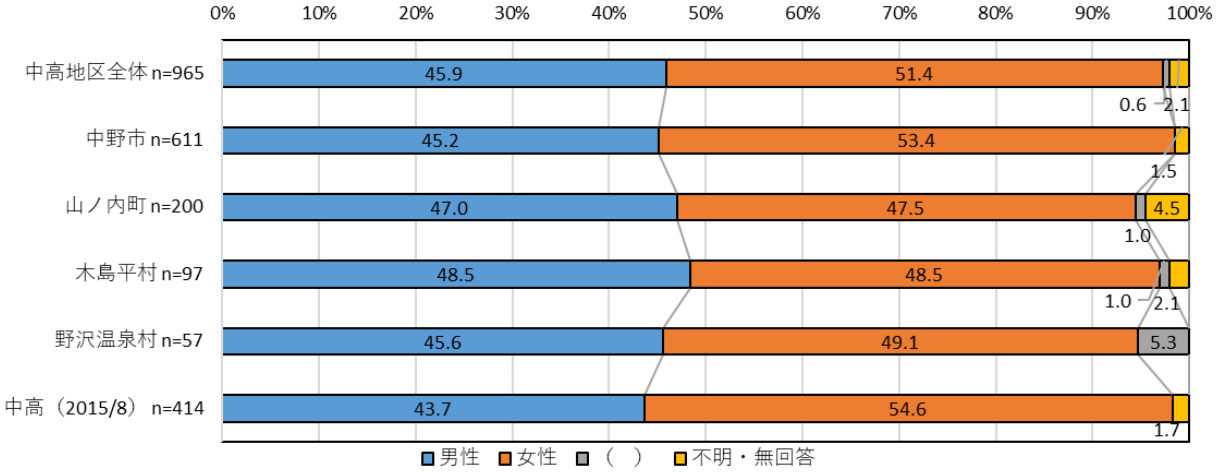
【中高地区全体】

・住所についてみると、「中野市」が 63.3%（611 人）次いで「山ノ内町」が 20.7%（200 人）、「木島平村」が 10.1%（97 人）、「野沢温泉村」が 5.9%（57 人）の構成となっている。

・前回調査と比較すると、いずれの市町村もほぼ同じ割合となっている。

（３）あなたの性別についてお答えください。（○は１つ）

１　男性	２　女性	３　（　　）



【中高地区全体】

・性別についてみると、「女性」が 51.4%（496 人）、「男性」が 45.9%（443 人）となっており、「女性」が「男性」に比べ 5.5 ポイント高くなっている。

・前回調査と比較すると、「女性」が 3.2 ポイント（51.4-54.6）低くなっており、「男性」が 2.2 ポイント（45.9-43.7）高くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「女性」が 53.4%（326 人）、「男性」が 45.2%（276 人）となっており、「女性」が「男性」に比べ 8.2 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「女性」が 47.5%（95 人）、「男性」が 47.0%（94 人）となっており、「女性」が「男性」に比べポ 0.5 イント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「女性」が 48.5%（47 人）、「男性」が 48.5%（47 人）となっており、「女性」と「男性」が同率となっている。

【野沢温泉村】

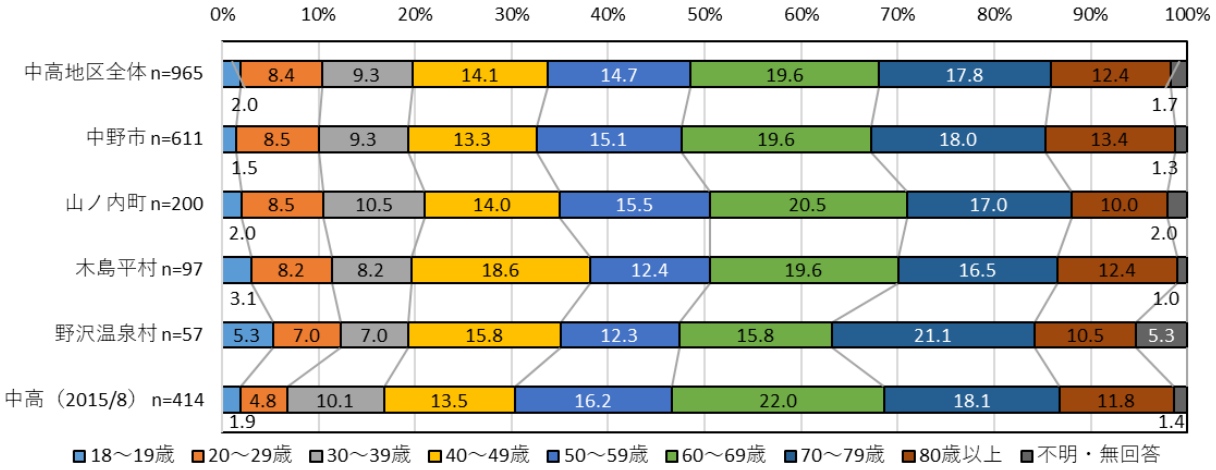
・野沢温泉村においては、「女性」が 49.1%（28 人）、「男性」が 45.6%（26 人）となっており、「女性」が「男性」に比べ 3.5 ポイント高くなっている。

【中高地区比較】

・４市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『野沢温泉村』が「女性」が高く、『木島平村』が「男性」「女性」同率となっており、「女性」が最も多いのは『中野市』で 53.4%（326 人）、次いで『野沢温泉村』で 49.1%（28 人）、『木島平村』で 48.5%（47 人）の順となっている。一方、「男性」が最も高いのは『木島平村』で 48.5%（47 人）、次いで『山ノ内町』で 47.0%（94 人）、『野沢温泉村』で 45.6%（26 人）の順となっている。

（４）あなたの年代についてお答えください。（〇は１つ）令和７年８月１日現在

1	18～19歳	5	50～59歳
2	20～29歳	6	60～69歳
3	30～39歳	7	70～79歳
4	40～49歳	8	80歳以上



【中高地区全体】

・年齢についてみると、「60～69 歳」が 19.6%（189 人）で最も高く、次いで「70～79 歳」が 17.8%（172 人）、「50～59 歳」が 14.7%（142 人）となっている。

・前回調査と比較すると、増加幅が最も大きいのは「20～29 歳」で 3.6 ポイント（8.4-4.8）高くなっており、一方減少幅が最も大きいのは「60～69 歳」で 2.4 ポイント（19.6-22.0）低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「60～69 歳」が 19.6%（120 人）で最も高く、次いで「70～79 歳」が 18.0%（110 人）、「50～59 歳」が 15.1%（92 人）となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「60～69 歳」が 20.5%（41 人）で最も高く、次いで「70～79 歳」が 17.0%（34 人）、「50～59 歳」が 15.5%（31 人）となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「60～69 歳」が 19.6%（19 人）で最も高く、次いで「40～49 歳」が 18.6%（18 人）、「70～79 歳」が 16.5%（16 人）となっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「70～79 歳」が 21.1%（12 人）で最も高く、次いで「40～49 歳」「60～69 歳」が同率で 15.8%（９人）となっている。

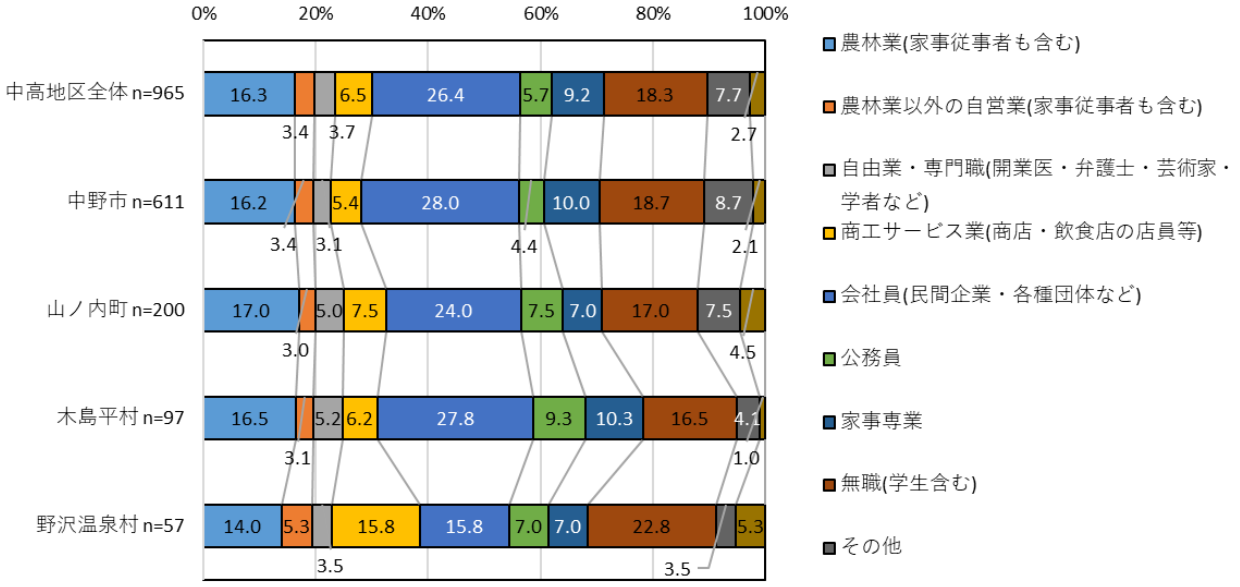
【中高地区比較】

・４市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『木島平村』が「60～69 歳」が、『野沢温泉村』が「70～79 歳」が高くなっており、「60～69 歳」が最も多いのは『山ノ内町』で 20.5%（41 人）、次いで『中野市』『木島平村』が同率で 19.6%（120 人）（19 人）の順となって

いる。また、「20～29 歳」が最も高いのは『中野市』『山ノ内町』が同率で 8.5%（52 人）（17 人）、次いで『木島平村』で 8.2%（８人）の順となっている。

（５）現在、あなたはどのような仕事（主なもの）に就いていますか。（〇は１つ）

1　農林業（家事従事者も含む）
2　農林業以外の自営業（家事従事者も含む）
3　自由業・専門職（開業医・弁護士・芸術家・学者など）
4　商工サービス業（商店・飲食店の店員等）
5　会社員（民間企業、各種団体など）
6　公務員
7　家事専業
8　無職（学生含む）
9　その他（具体的に:　　）



【中高地区全体】
・職業についてみると、「会社員（民間企業、各種団体など）」が 26.4%（255 人）で最も高く、次いで「無職（学生含む）」が 18.3%（177 人）、「農林業（家族従事者も含む）」が 16.3%（157 人）となっている。

【中野市】
・中野市においては、「会社員（民間企業、各種団体など）」が 28.0%（171 人）で最も高く、次いで「無職（学生含む）」が 18.7%（114 人）、「農林業（家族従事者も含む）」が 16.2%（99 人）となっている。

【山ノ内町】
・山ノ内町においては、「会社員（民間企業、各種団体など）」が 24.0%（48 人）で最も高く、次いで「農林業（家族従事者も含む）」「無職（学生含む）」が同率で 17.0%（34 人）となっ

ている。

【木島平村】

・木島平村においては、「会社員（民間企業、各種団体など）」が 27.8%（27 人）で最も高く、次いで「農林業（家族従事者も含む）」「無職（学生含む）」が同率で 16.5%（16 人）となっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「無職（学生含む）」が 22.8%（13 人）で最も高く、次いで「商工サービス業（商店・飲食店の店員等）」「会社員（民間企業、各種団体など）」が同率で 15.8%（９人）となっている。

【中高地区比較】

・４市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『木島平村』が「会社員（民間企業、各種団体など）」、『野沢温泉村』が「無職（学生含む）」が高くなっており、「会社員（民間企業、各種団体など）」が最も高いのは『中野市』で 28.0%（171 人）、次いで『木島平村』で 27.8%（27 人）、『山ノ内町』で 24.0%（48 人）の順となっている。また「無職（学生含む）」が最も高いのは『野沢温泉村』で 22.8%（13 人）、次いで『中野市』で 18.7%（114 人）、『山ノ内町』で 17.0%（34 人）の順となっている。

Ｇ　自由意見

問 28　人権問題や差別に関して、何でも結構ですのでお聞かせください。

人権問題や差別に関しての自由意見は、265 人、27.5%が記入している。

以下では、全体の意見の中から主要なものを項目別に抽出する。

（１）子どもの人権問題

［主な意見］

・人権侵害や一種の差別的な言動は社会に出てからというよりも、高校までの狭いコミュニティの中で行われていることの方が圧倒的に多いのではないかと現在は感じています。非常に難しいことであることは承知していますが、子どもの世界で起きていることを把握して対策していくためには、大人の力が不可欠だと思っているので、市町村として、子どものいじめや人権に対する対策や、今よりも言いやすい環境づくりに力をいれるための取り組みのよびかけを学校の方にしていくことが良いのではないかと思います。（男性 10 代）

・私は、小、中、高、専門学校、そして職場で、常にいじめられてきました。現在、統合失調症の治療中です。いじめの最終的な結末が今の私の状態のような気がします。教師も生徒もみんな見て見ぬふりだった。私のようになる前にもっと何とかしないと、統合失調症やうつ病の人も増えるばかりだと思う。（女性 50 代）

・新聞などでの子どものいじめ問題が最近の悲しい出来事だと思う。現に社会現象にとらえているメディアもあるが、解決の糸口が見いだせないのは悲しいことである。（男性 80 代以上）

（２）女性の人権問題

［主な意見］

・田舎の会社なので、男女で給料に差があるし、女だからこれくらいで良いだろうと、雇い主側が思っている。昔からあたりまえの感覚が現在も変わらずある。会社の掃除は女性社員の仕事。（女性 30 代）

・夫婦別姓、性別に対する役割などに拘る人が日本には多いと感じる。（女性 40 代）

（３）高齢者の人権問題

［主な意見］

・忘れられがちな、高齢者、障害者に対する差別。立派な施設があってもエレベーター等がなければそこへ到着できません。（男性 80 代以上）

（４）障がい者の人権問題

［主な意見］

・障害者差別は今でも日本には多く残っていると思う。生まれながらにして障がいのある人もいるが、事故などで心や体に障がいを持つこともあると思う。だからこそ障がいを持っている人を見て差別的な態度をとってはいけないと思う。自分の身に家族にもし障がい者

がいたら絶対差別的行動はとらないと思う。もう少し自分事として考えてほしいと思う。（男性 20 代）

・私の息子は障がいがあります。息子を産むまで、障がいについての知識は全くなかったのですが、私自身は差別をしたことはありませんでした。息子を産んでから、障がいについて、色々な方から色々な意見を言われて、悲しい思いをしたことがあります。当事者である息子は何とも思っていないと思いますが、そういった差別と感じられる意見は、たくさんの方々に悲しい思いをさせているということを感じていただきたいと思います。（女性 30 代）

・聴覚障害です。仕事で、役職についています。コミュニケーションが上手くできず、孤立してしまい、話し方も聞き方も分からず、さらに孤立しています。（女性 40 代）

（５）外国人の人権問題

［主な意見］

・外国人の待遇については、実際に見聞きする中で不当のない範囲で合理的な区別が必要ではないかと思う部分もある。（男性 20 代）

・外国人によって快適な生活を害されていると日本人が感じなくなれば、差別はなくなると思う。（20 代男性）

・職場にはたくさん外国人実習生の方がいます。皆さん懸命に働いていて、文化にも慣れようと努力してくれています。現在の日本は、排外主義的な風潮が強くなってきていると感じます。その風潮には強く反対すると同時に、自分の中に差別心があることは人間の認知の仕組み上、仕方のないことだとも思っています。それを理解したうえで、皆んながどうしたらやさしい気持ちで生きていけるか、日々考えていくことが大切だろうと考えています。（女性 30 代）

（６）ハンセン病や感染症患者等に関する人権問題

［主な意見］

・コロナが流行した頃に、コロナに感染した人や医療の現場で働く人、県外ナンバーの車などに差別的な発言をする人や態度に表す姿を見て、とても怖くなりました。私の前の職場でもワクチンを打っていない人に嫌な態度をとったり、ワクチンを強制的に打たせようと上司が圧力をかけてくることがありました。本来は任意であるはずで、受けるか受けないかは他人に関係ないのに。同調圧力というのか、人間は非常時など大変なときにも差別的な感情が生まれてしまうことがあるのだなと悲しくなりました。（女性 30 代）

・コロナ禍でひどい差別に遭い、引っ越しを余儀なくされた方がいると聞いて非常に胸が痛んだ。田舎ほど、そのような悪い噂やあからさまな差別意識が牙をむくことがあるように思う。（50 代女性）

（７）ＬＧＢＴＱ等の性的少数者の人権問題

［主な意見］

・ＬＧＢＴに該当することを抵抗なく自由に公言している友人がいますが、それを自然と受け入れる環境ができやすくなっていることを嬉しく思います。（女性 20 代）

・性的マイノリティについては当事者が自由な判断を下せるように同性婚等を取り計らうべきである。異性の婚約のみ認めたところで出生率やその他の人の日常に変化はないと思う。（男性 20 代）

・トイレや風呂などの施設でＬＧＢＴだからと言い犯罪行為を起こす方が少数ではありますがいるので、生物学的に男女は区別するべきです。そもそも本当のＬＧＢＴの方々はそこの区別はしっかりできているはずです。（20 代女性）

（８）インターネット上の人権問題

［主な意見］

・人それぞれの思うことや考えることをインターネット上に書き込むことについて、私はすべて自由だと思いません。思ったり考えたりすることは自由だが、それを口に出したり文字にしてネットに掲げることは自由ではないと思っています。もしその法律があったら、みんな法律を守るために発言を控えるかもしれないと思います。ですが、法律を守るためではなく自分以外の人のことを考えて発言すべきだと思っています。結局ひとりひとりが考え方を改める必要があると感じています。（女性 20 代）

・SNS への書き込み、動画、誹謗中傷簡単に、発信されることが良くない。簡単にはなくならないだろうと思う。（女性 50 代）

・SNS での誹謗中傷により、人は死んでしまうことが切ないです。言葉は狂気になることを行政の方に周知して頂ければと思います。（男性 60 代）

（９）部落差別に関する人権問題

［主な意見］

・気にしているのは昔の人達だけだと思う。今の若い人達はどこが被差別部落だとか出身だとか知らないし興味も無い。（女性 30 代）

・同和問題は聞いたことがないのであることすら知りません。（男性 30 代）

・多様化している現在において、若者の認識の中に差別があるかどうかもわからないし、同和問題については聞いたことがない。（男性 40 代）

・年齢が高い人ほど部落差別の発言が多い気がします。「特別扱いされて待遇が良すぎる」など。本当にそうなのか、どこまで本当なのか、話をした高齢者は研修会に参加されたかわかりませんが、聞かされた私は気分が良くなかったです。（女性 40 代）

・生まれたところで差別をされるのは悲しいことだと思います。（女性 60 代）

・部落差別は、差別の中でも特に人間として最低な差別だと感じる。（男性 60 代）

・部落差別の問題がいまだにあることにびっくりしています。（女性 80 代以上）

（10）話題にしなければなくなっていくという「寝た子を起こすな論」の意見

［主な意見］

・昔から言われている部落差別などを今でも気にしているのは年がかなり上の世代。現代人は今を生きている人が多いと思うので、これから時がたてば言う人が減って気にしない人の方が多くなっていくと思います。（女性 30 代）
・部落差別については、小学校の授業で知りました。授業がなければ部落差別、同和地区がどんなものか知らないので、授業を行わないほうが良いのではないかと思っている。あえてやる必要があるのか疑問に思っています。（男性 40 代）
・人権問題にしろ差別にしろ人間が持っている自己防衛本能つまり、集団的心理や相手とのダウンワード比較などで起こることもある。問題について勉強する事も大事だが逆に同和問題については勉強することにより、そういう地域がある事を知ってしまうことでかえっていつまでもなくならないような気がする。（男性 40 代）
・部落差別について、若い人たちはそこまで詳しく知らないし、古い人間が騒ぎ立てている気がする。現代なんて、部落出身だとしても、特別何も変わらない。（女性 40 代）
・日本全国で、今はなき「部落」の存在をあからさまにし、「部落」を強調することこそが「差別」をなくすことができない最大の要因ではないでしょうか。（女性 60 代）
・今は昔と違って人権差別等については、あまり耳にしなくなった様な気がします。寝た子を起こすような集会等をしなければ自然消滅すると思います。（男性 80 代以上）

（11）多様性を理解しようという意見

［主な意見］

・公正な社会とは、多様性を尊重し、すべての人の尊厳を大切にし、誰一人としてそのアイデンティティによって差別されない社会です。私たち一人ひとりに、不正に立ち向かい、平等を守る責任があります。（男性 20 代）
・さまざまな特性個性を持った方達が増え、自分自身が理解を深めなければいけないなと感じたり、生きづらい世の中になってきたと感じることがある。親世代が正しい知識、理解、を持っていなければ子どもたちはもっと生きづらい世の中で生きていくことになると思うので、少しずつでも差別や人権について新しい心で考えていく必要があると感じます。（女性 20 代）
・小学生で教えてもらう人権問題は、大人になって教えてもらうと小学生の時とは違う感覚になる。多様性の時代になってきているので、柔軟な考え方でものごとを考えたい。今の自分はいろいろ知識不足だなと感じる。（男性 30 代）
・一人一人の違い受け入れて、認め合っていければと思います。でも、自分は他人より勝っているという思いがあると差別はどんなところでも生まれてしまうのではないかと思います。（女性 70 代）

（12）差別・人権問題に対する意見

［主な意見］

・差別は誰かが努力して消える簡単な問題ではありません。ただ、だからと言って、問題解決を進めないと言うのも違います。差別問題を消すではなく、減らす方向で色々なことをしてもらいたいです。（男性 10 代）
・人権問題や差別はなくしたいと思っているが、完全になくすことは本当に難しいことだと思う。それでもいつかはなくなってほしいなと考えることがよくある。（女性 10 代）
・どんな差別も絶対になくならないものだと思います。差別が良いものとは考えませんが明確な線引きは大事な事だと思います。差別ではなく区別です。今日は､区別ですら曖昧になってきている社会のように感じます。（20 代女性）
・差別行為はするべきではないし、なくすべきだと思います。しかし、価値観や多様性が多くの人々に認識されてきたこの社会において、お互い共生していくうえで最低限の区別は必要だと思います。（女性 20 代）
・人権問題や差別そのものは今後もなくならないと思っている。対策を検討すること、考えを改める取り組みをすること。続けることが大切と考える。それは時代に応じ変化し続けるものとも思う。（男性 30 代）
・自分が受ける側になったり、身近に生じてからはじめてちゃんと考えることのように感じます。自分から誰かに相談することにも勇気がいることだと思うので、普段から関わりかたに目を向けることが大切だと思う。障がいを持っている人との関わりが普段からある人にとってはそれが普通のことであるから、差別等の状況にはなりにくいと思う。行動に起こすことには勇気がいることだと思う。（男性 30 代）
・人権思想は時代が進むにつれて内容が高度化していくと思われる。いずれは諸問題が解決に近づいていくことを願う。逆を言えば、いま残っている問題はすぐに解決することはないのだと思う。過渡期と捉えるかどうかはわからないが、大事なことは努力を続けることだ。（男性 40 代）
・完全になくすことは難しいと思います。やはり小さい頃から差別についてよく学んでいくことがいいと思います。（40 代女性）
・「みんなと仲良くしなさい」というのは絶対に無理だと思うが、他人の人権を脅かすような発言、行動は許されるべきでは絶対にない。自分以外のこと（過去のこと）たとえば部落のことなどの差別はとても恥ずべきこと。個人個人がひかれ合うのであればそれが正しいことだと思う。逆に合わない相手がいたとしてその人を陥れる言葉、行動はするべきではなく離れることも方法であり、自分自身が発する言葉は自分自身を作っていくことを知ることも大事なのではないでしょうか。（女性 40 代）
・行政（法律）は常に差別される人間の立場に立って、差別に対して厳しく規制すべきです。自分の言動が差別だと気づいていない人間も大勢いると思う。（男性 70 代）
・差別は差別を言いたてて利益を得る人が少数でもいる限りなくならない。（女性 70 代）

（13）差別や人権問題について正しく教え、または学習していくことの必要性を述べる意見

［主な意見］

・差別等はきちんと理解してないことが原因の大半かなと思うので、正しい知識をつけた上で、考えることが重要だと感じた。（女性 20 代）
・私自身は学校教育でしか差別のことは学ばなかったが、我が子には家庭でも教育していきたいと思う。（女性 20 代）
・差別や人権についての知識を今の若い世代にも浸透させるためにも小・中学生の時に義務教育として学ばせること、地域や自治体、勤務先でもそうした講習会を義務化させることで、将来差別がなくなると感じた。知識が身に付くことで差別が広がるかもしれないといったリスクはあるが、そうした時に周囲や社会が差別に対する厳しい目を持つことが重要になると感じるため、社会全体が差別や人権問題について知識を持ち理解することが必要になってくると思う。（男性 20 代）
・学校で部落差別について教えるべき。今後、なくなったとしても戦争と同じで悲惨な歴史は繰り返してはならない。人間である以上、差別（自分より下の人間がいることの優越感）はなくならないので教育に勝る武器は無し！可哀想なことは伝えないと言う大人がいるが、未来の子どものために、良いことも悪いことも伝えていく必要があるのではないか。（男性 40 代）
・大人も時代に合わせ学びつづけることが必要かと思います。（女性 60 代）
・社会や家庭での教育が重要であると考えます。（男性 70 代）

（14）アンケートの実施そのものに対しての意見

［主な意見］

・特定のジャンルをピックアップして調査しているのかもしれないが、今回の同和問題のように手厚く聞いてくること自体が、「あぁ、マイナスイメージを持っている人が多いのだな」ということを匂わすことになってしまうと思うので、折角アンケートを取るのなら、どのジャンルも同じようなボリュームにすべきではと思う。それこそ同和問題への差別につながる気もするし、それ以外の差別の問題をないがしろにしているように感じてしまいました。（女性 30 代）
・普段生活しているなかで差別、人権問題などなかなか身近では無いことなので、正直考えたことも気にして生きたこともなかったです。しかし今回このような人権や差別などの意識調査を受け、わからないながらも人権問題、差別問題について考える時間をいただいたのはとても貴重でした。（男性 30 代）
・今回の調査で、自分が何に対して差別的な意識が強いのか気付くことができた。また、理解できていない差別があることも知った。無知が一番良くないと思う。知るためにも勉強会や研修会に参加することは大切だと思った。（女性 40 代）
・質問が多い。（男性 50 代）
・難しいアンケートでした。普段から意識する事が大事なことだと思います。（男性 50 代）

2025 年「中高地区人権に係る住民意識調査」結果の考察

近畿大学名誉教授　奥田　均

2025 年「中高地区人権に係る住民意識調査」結果の考察

奥田　均

■調査結果の考察にあたって

2025 年８月に「中高地区人権に係る住民意識調査」が実施された。中高地区においては 2005 年、2015 年にあっても同様の調査が実施されている。10 年間隔で実施されているこうした計画的で継続した人権に係る住民の意識の把握の意義は大きい。得られたデータからはその時点その時点における意識実態の把握にとどまらず、過去の調査データと比較することによって「変化」や「傾向」を捉えることができる。そこにはこれまでの施策、活動の評価や社会の変化、さらには今後の取り組みへの貴重なヒントが示されている。人権部局の行政職員が入れ替わっても、「人権に係る住民意識調査」が堅実に受け継がれている中高地区関係者の努力に敬意を表したい。

ここでの考察にあっても、「変化」や「傾向」を見ておきたい項目においては 2005 年、2015 年のデータを併記することに努めた。「2005 年調査」「2015 年調査」と表記しているのがそれであり、それぞれの調査報告書におけるデータを用いている。

また本調査は 28 の問から構成されている。そのすべての問において得られたデータは別に取り上げられており、まずは全質問に対するこうした調査結果をご覧いただきたい。そのうえで、ここでは次の６項目からなる考察を提示している。

■［考察１］様々な人権課題に関する住民の意識の現状及び経年変化から見えること
■［考察２］住民の意識から見えてくる部落差別の現実
■［考察３］住民は部落差別の現実を正しく認識しているだろうか
■［考察４］差別解消への態度や行動を育むものの仮説検証
■［考察５］「寝た子を起こすな」論の検証
■［考察６］年齢階層別人権意識・公務員の人権法令認知・デジタルディバイド問題への警戒

これらはあくまでも本調査結果に関わる限定された考察テーマであることをあらかじめおことわりしておく。また考察の中にあっては変数間のクロス集計を用いているがいずれも有意検定を済ませている。また［考察４］においては相関係数を算出しているがその有意検定に関しては解説とともに表記している。

なお調査結果のデータではないが、回収率に関して付言しておく。本調査の回収率は 32.17%であった。２００５年調査の回収率が 55.4%、２０１５年のそれは 54.2%であったことに比べると２０ポイント余り低くなっている。近年、社会調査の回収率は低くなる傾向にあるとはいえ同種の調査におけるこの低下は大きい。次に向けた総括が求められている。

■［考察１］様々な人権課題に関する住民の意識の現状及び経年変化から見えること

問６～問 14 は、それぞれの人権問題に関する住民の意識状況を把握する設問である。それぞれの設問はその課題に関わる４つの「意見」を提示して、回答者の考えがどれに当てはまるかを問うている。ここでは、回答において、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせてその「意見」に対する「肯定的グループ」とし、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」をあわせてその「意見」に対する「否定的グループ」とした。

なおここでの考察はそれぞれの設問における４つの「意見」の中から１つあるいは２つを取り上げている。また、2005 年調査および 2015 年調査においても同じ「意見」がある場合は、そのデータもグラフにおいて併記している。

さらに「障がい者」「外国人」「ハンセン病回復者の家族」「HIV 陽性者」「LGBTQ 等の性的少数者」の課題については、問５の「あなたのお子さんが恋愛をし、結婚を考えている相手またはパートナーとして考えている相手が次の人であれば、あなたはどのような態度をとると思いますか（お子さんがいない場合は、いると仮定してお答えください）」の回答結果も合わせて紹介している。

こうしたデータから、それぞれの人権課題に関する住民の意識の実態及び経年変化から見えることをさぐりたい。なお同和問題（部落問題）に関しては［考察 2］［考察 3］で取り上げている。

（１）子どもの人権

図１は、問６（１）「子どもは生活力がないのだから、親の言うことを聞くのは当然である」という考えに対する意見である。いわゆる子どもを一人の人権の主体と見なさずに「意見表明権」を否定する考え方である。これを否定する住民の割合は 42.2%であり、10 年前の 34.3%、20 年前の 23.6%に比べて大きく増加している。

図２は、問６（３）「学校での教育的な体罰は、やむを得ない」という考えに対する意見である。体罰は重大な人権侵害でありいかなる理由があろうと許されるものではない。こうした体罰を否定できている住民の割合は 67.6%であり、10 年前の 42.5%、20 年前の 33.0%に比べて飛躍的に増加している。

図１　「子どもは生活力がないのだから、親の言うことを聞くのは当然である」という考えに対する意見

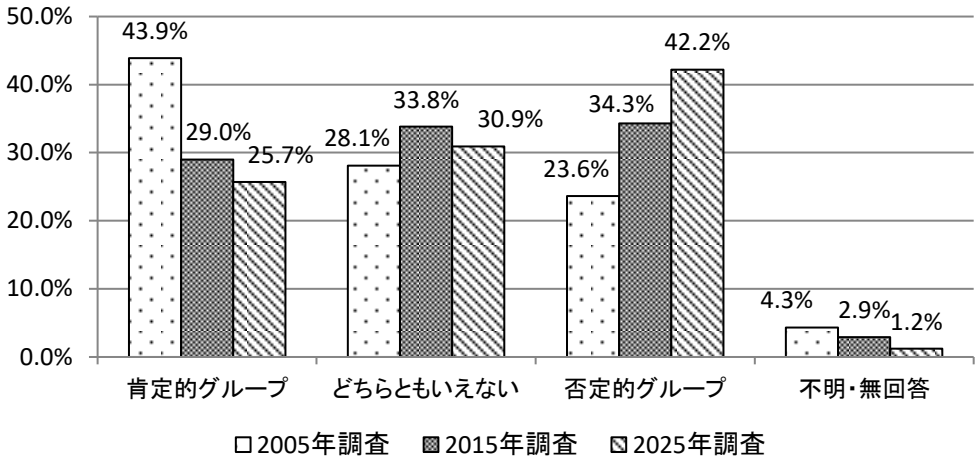
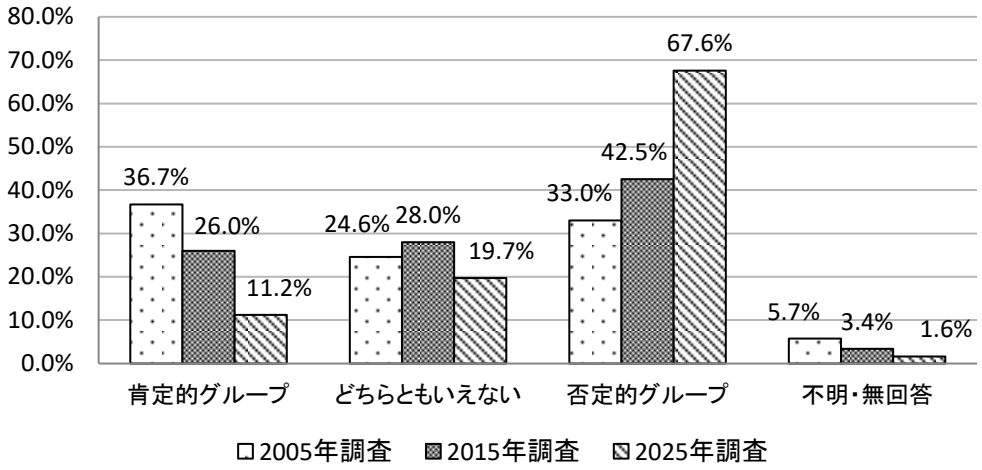


図２　「学校での教育的な体罰は、やむを得ない」という考えに対する意見



（２）女性の人権

図３は、問７（３）「地域の行事などでは、力仕事は男性、接待は女性の方がよい」という考えに対する意見である。これを肯定する意見が 25.3%と前回より激減し 16.5 ポイント低くなっている。逆にこれを否定する意見が 39.8%と急増し、３回の調査で初めて否定する意見が逆転した。いわゆる性別による役割分担論が否定される状況が進行している。

図４は、問７（４）「女性が責任ある役職に就くことには抵抗がある」という考えに対する意見である。男女共同参画社会の実現が強く求められているなかで、こうした意見を否定する住民が調査のたびごとに増加し 81.0%にまで高まっている。

図３　「地域の行事などでは、力仕事は男性、接待は女性の方がよい」という考えに対する意見

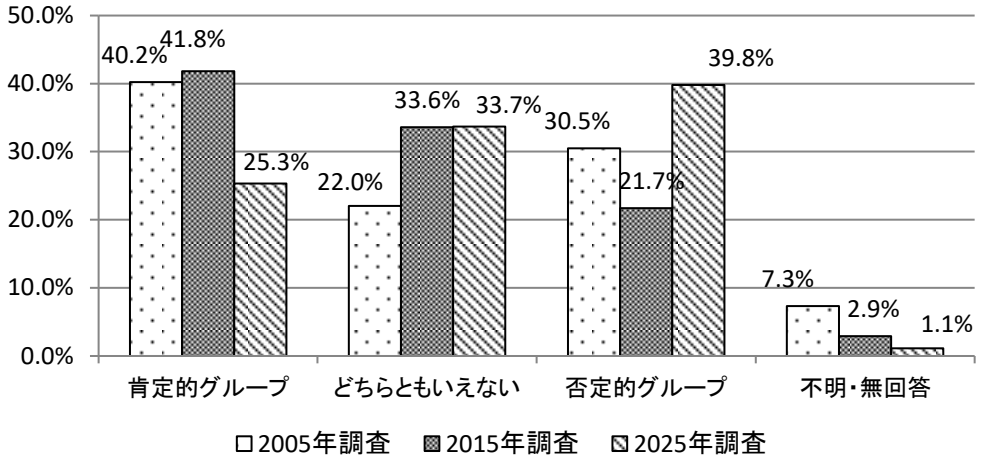
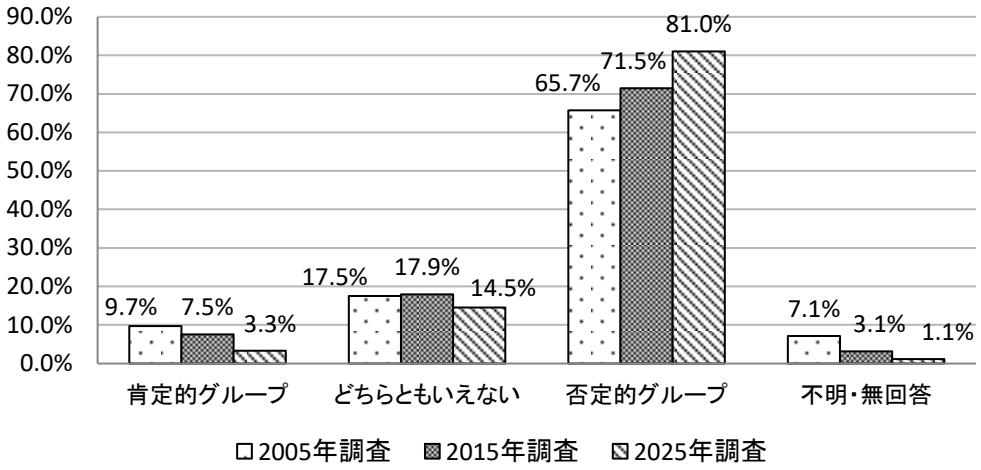


図４　「女性が責任ある役職に就くことには抵抗がある」という考えに対する意見



（３）高齢者の人権

図５は、問８（1）「年老いたら、子どもに従う方がよい」という考えに対する意見である。この意見は高齢者の人権を軽視したものである。これを肯定する人はこの 20 年間で減少傾向にあるもののなお 34.5%存在している。

図６は、問８（３）「一定年齢の高齢者には、年金の給付や医療費などの負担軽減が行われることは、よいことである（2005 年調査では、年金や医療などの無料給付を行うのは当然である）」という考えに対する意見である。10 年前に比べて明確な変化は認められないが、この意見を肯定する住民は 77.2%と否定する住民の 7.4%を圧倒している。高齢者に対する対策を「高齢者の人権保障」の観点からとらえることが求められている。

図５　「年老いたら、子どもに従う方がよい」という考えに対する意見

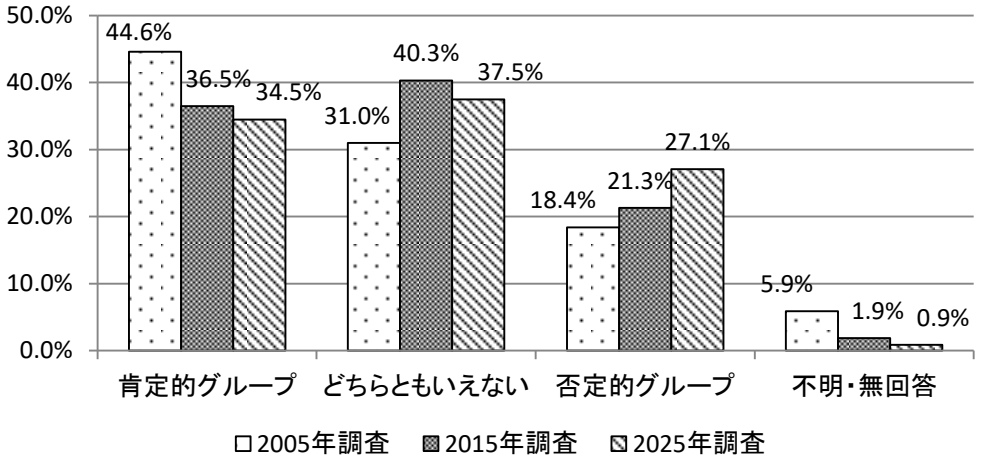
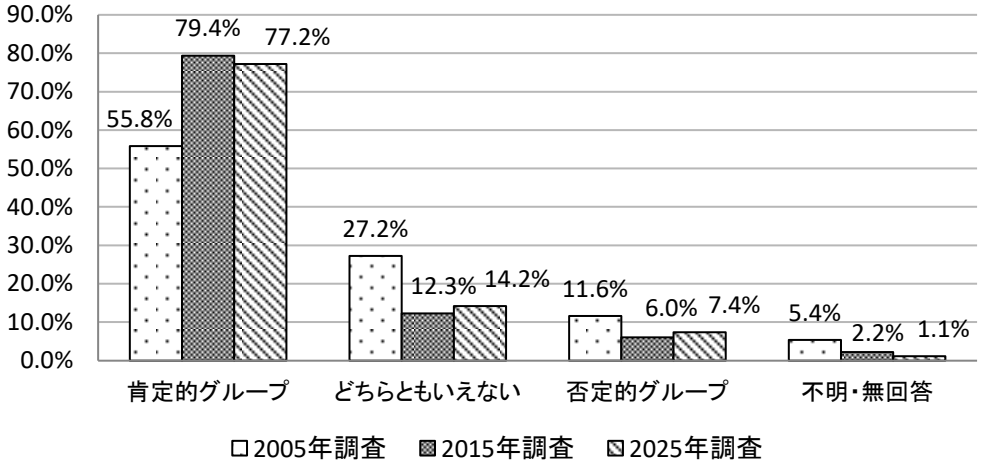


図６　「一定年齢の高齢者には、年金の給付や医療費などの負担軽減が行われることは、よいことである（2005 年調査では、一定年齢の高齢者に年金や医療などの無料給付を行うのは当然である）」という考えに対する意見



（４）障がい者の人権

図７は、問５（１）子どもが障がい者と結婚することになった場合の態度を尋ねている質問への回答結果である。「まったく問題にしない」が 11.1%、「迷いながらも結局は問題にしない」が 51.1%と子どもの意志を尊重するとした住民が合わせて 62.2%であった。これは 2015 年調査の 54.3%より 7.9 ポイント高い。しかし「考え直すように言う」が 8.9%、「迷いながらも結局は考え直すように言う」が 26.6%と、反対する考えの住民が 35.5%を占めている。改善の傾向がみられるとはいえ、障がい者に対する結婚での排除はなお厳しい。

図８は、問９（3）「障がい者が暮らしやすい社会は、誰もが暮らしやすい」という考えに対する意見である。被差別当事者の困りごとや悩みごとは実は住民に広く残されている人権課題の凝縮されたものである。それを「被差別当事者だけの問題」として切り取るのではなく、そこに「だれもが暮らしやすい」地域作りの課題が発信されていると受け止めることは人権問題の理解において重要なポイントである。問９（3）は障がい者問題を通してこのことの理解を尋ねたものである。

この意見を肯定する住民は 65.7%となお高いが減少傾向が見られる。逆にこの意見を否定する住民の割合が 11.1%と、2005 年調査の 2.6 倍、2015 年調査の 1.7 倍へと増加している。差別の解消と市民の人権保障との関わりについての一層の理解推進が提起されている。

図７　子どもが障がい者と結婚することになった場合の態度

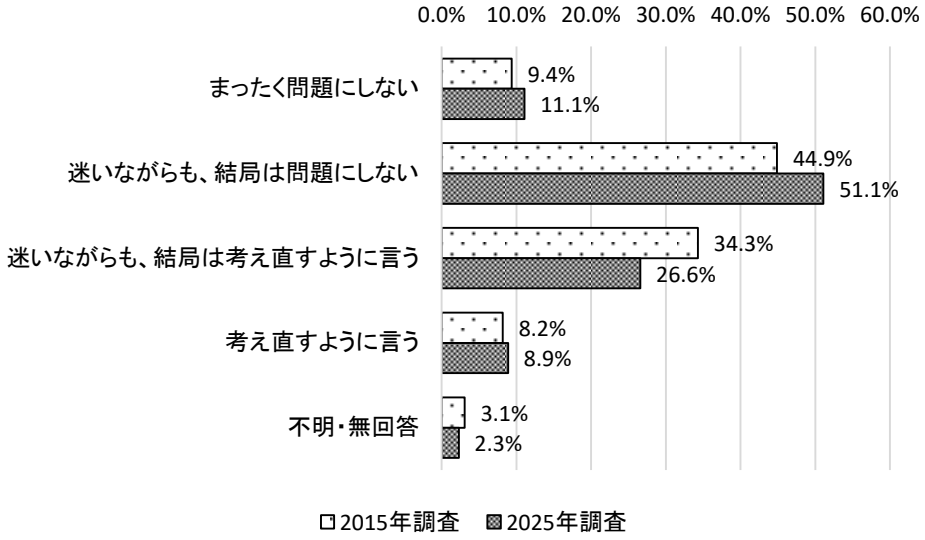
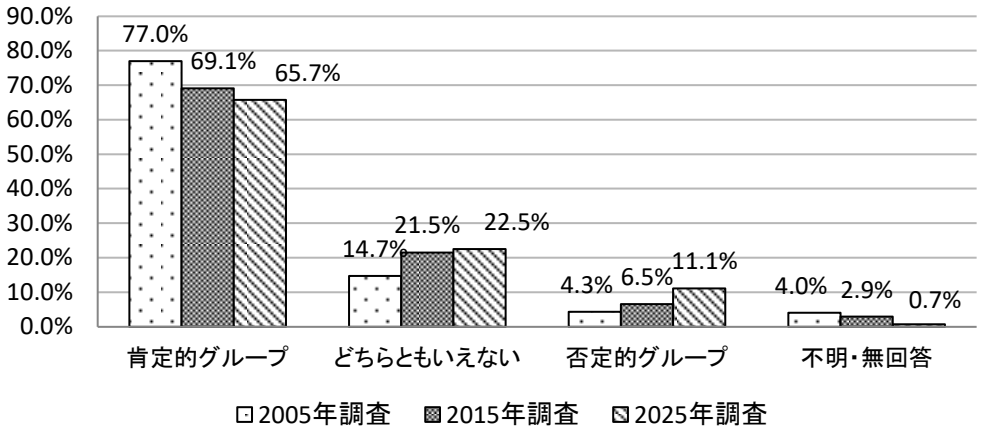


図８　「障がい者が暮らしやすい社会は、誰もが暮らしやすい」という考えに対する意見



（５）外国人の人権

図９は、問５（２）子どもが外国人と結婚することになった場合の態度を尋ねている質問への回答結果である。「まったく問題にしない」が 33.1%、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 46.5%と子どもの意志を尊重するとした住民が 79.6%であった。これは 2015 年調査での 67.2%を 12.4 ポイント上回っている。国際化が進む中で外国人に対する結婚での排除は減少してきている。

図 10 は、問 10（３）「外国人が日本で働くことは、日本人の職を奪うことになり賛成できない」という考えに対する意見である。この意見を否定する住民は 63.8%にのぼり、この 20 年間で大きく増加している。外国人労働力が不可欠な状況が進行していることが住民の意識に反映されていると言えよう。国籍に関わりなく雇用における平等の推進がますます大切になっている。

図９　子どもが外国人と結婚することになった場合の態度

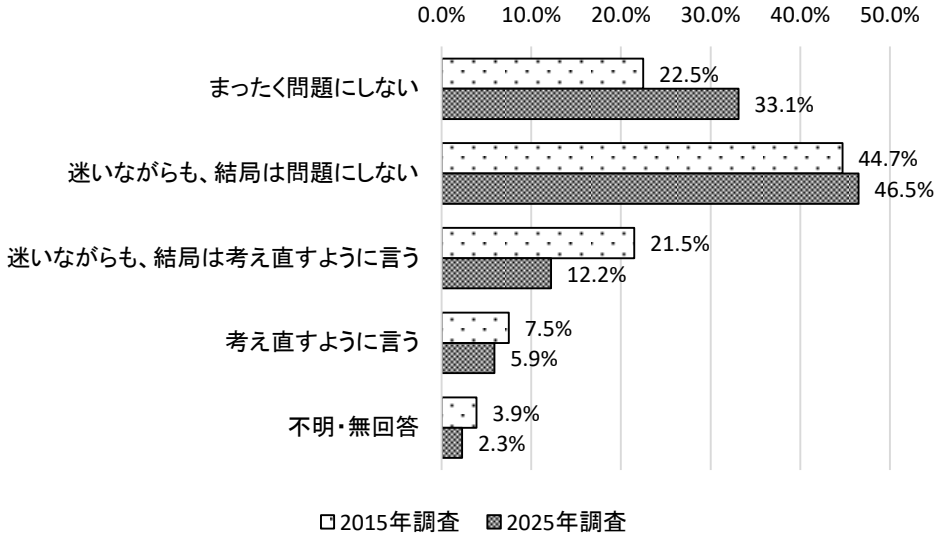
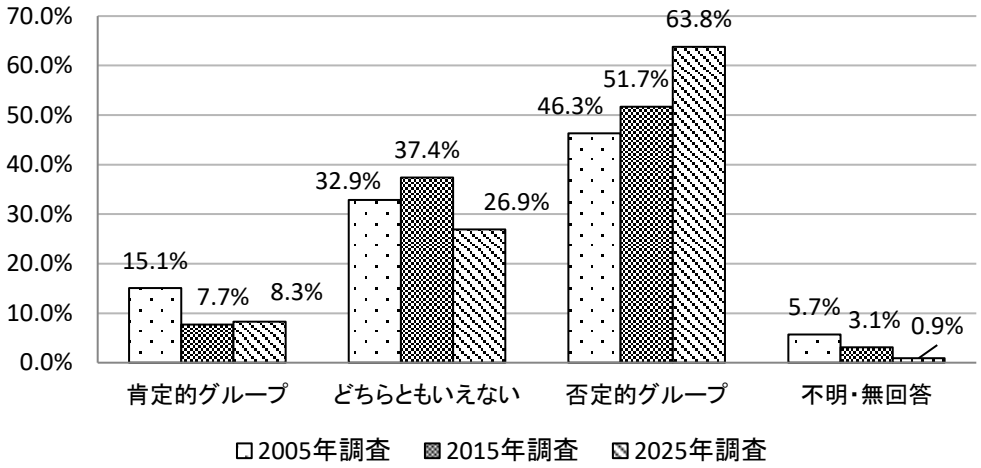


図 10 「外国人が日本で働くことは、日本人の職を奪うことになり賛成できない」という考えに対する意見



（６）ハンセン病回復者やハンセン病感染症患者等の人権

図 11 は、問５（４）子どもがハンセン病回復者の家族と結婚することになった場合の態度を尋ねている質問への回答結果である。「まったく問題にしない」が 28.5%、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 39.8%でハンセン病回復者の家族との結婚を認めるとした人の合計は 68.3%であった。2015 年調査では同じ質問においてこれが 51.4%あったことを踏まえると改善されている。しかしなお 28.3%の人がハンセン病回復者の家族と結婚を反対する状況が示されている。

図 12 は、問 11（2）「ハンセン病回復者の家族が結婚や就職などで不利な扱いを受けることは仕方がない」という考えに対する意見である。「そう思わない」が 44.1%、「どちらかといえばそう思わない」が 29.9%とこうした考え方を否定する住民の合計は 74.0%に上っている。しかしこの意見を肯定したり、どちらともいえないとしている人の合計がなお 24.1%ある。これは約４人に１人でありハンセン病回復者の家族に対する偏見・差別はなお根強いと言える。

図 11　子どもがハンセン病回復者の家族と結婚することになった場合の態度

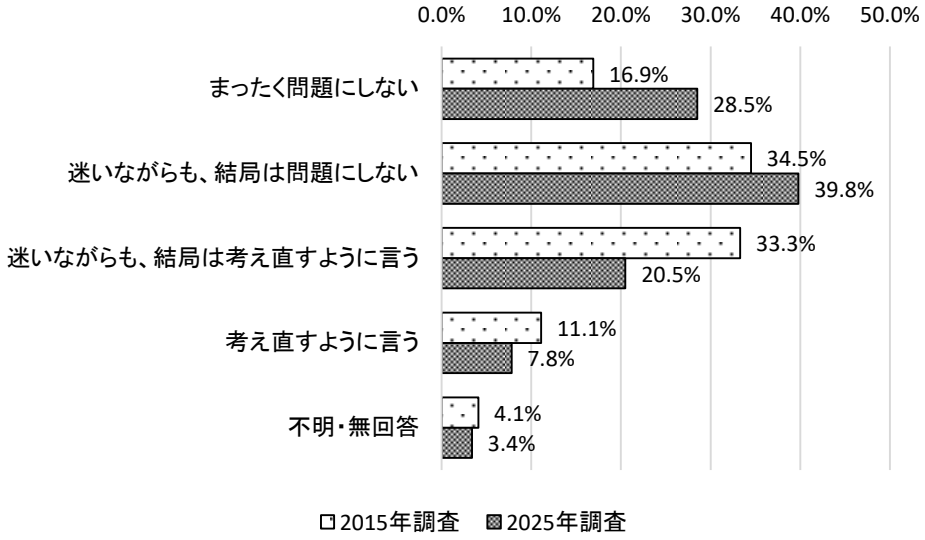
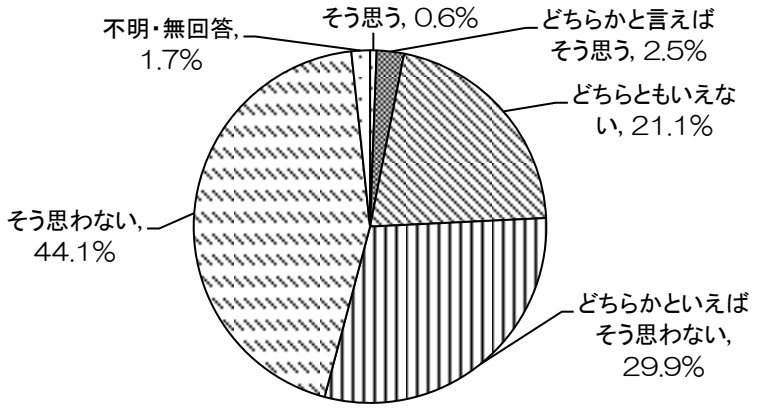


図 12　「ハンセン病回復者の家族が結婚や就職などで不利な扱いを受けることは仕方がない」という考えに対する意見



（7）HIV 陽性者の人権

図 13 は、問 5（5）子どもが HIV 陽性者と結婚することになった場合の態度を尋ねている質問への回答結果である。「考え直すように言う」が 27.7%、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 33.9%と反対の意向を示した住民の合計は 61.6%であった。2015 年調査では同じ質問においてこれが 74.4%あったことを踏まえると改善されている。しかしなおこの問題に関する正しい認識が稀薄であり、HIV 陽性者に対する排除は厳しく存在していると言わざるを得ない。

図 14 は、問 11（3）「友人が HIV に感染していることがわかっても、これまでと同じように付き合っていける」という考えに対する意見である。「そう思う」が 23.8%、「どちらかといえばそう思う」が 27.4%でその合計は 51.2%と約半数にとどまっている。

問 13　子どもが HIV 陽性者と結婚することになった場合の態度

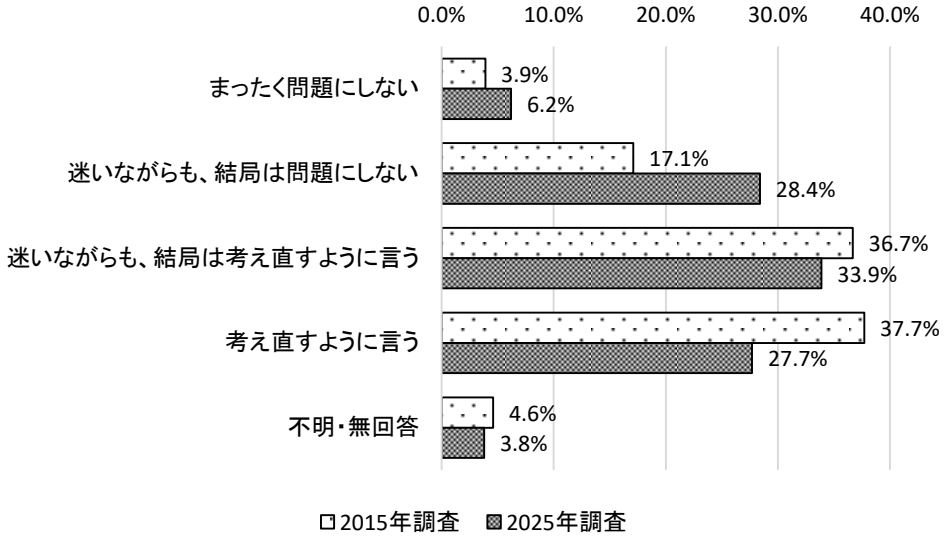
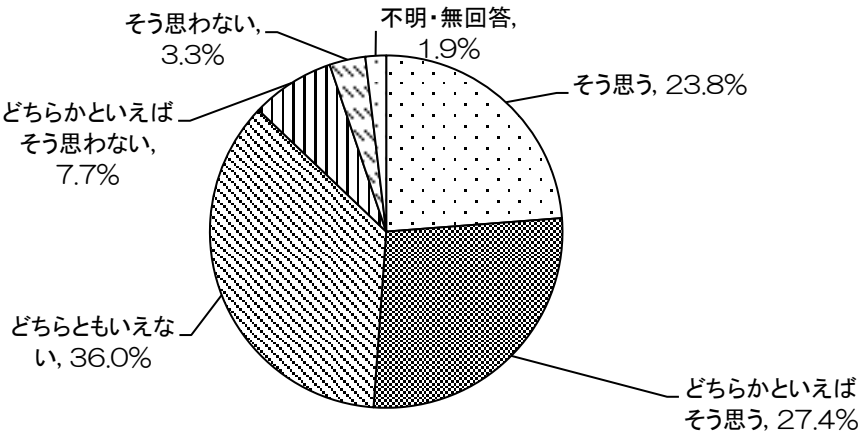


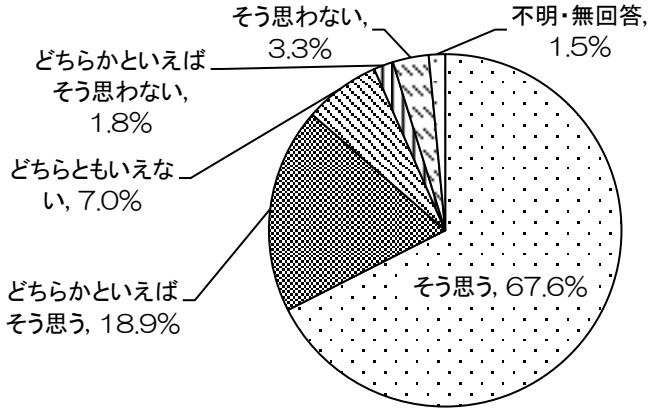
図 14　「友人が HIV に感染していることがわかっても、これまでと同じように付き合っていける」という考えに対する意見



（8）コロナ感染者やこれに関わる医療従事者等の人権

図 15 は、問 11（4）「コロナ感染者やこれに関わる医療従事者等が誹謗中傷されたり嫌がらせを受けたりしたことは差別であり許されない」という考えに対する意見である。「そう思う」が 67.6%、「どちらかといえばそう思う」が 18.9%でその合計は 86.5%と多数を占めている。しかし「そう思わない」と「どちらかといえばそうそう思わない」と「どちらともいえない」の合計が 12.1%と約 8 人に 1 人存在する。コロナパニックは収まったとはいえ、人権の視点からの教訓を改めて共有することが提起されている。

図 15　「コロナ感染者やこれに関わる医療従事者等が誹謗中傷されたり嫌がらせを受けたりしたことは差別であり許されない」という考えに対する意見



（9）LGBTQ 等の性的少数者の人権

図 16 は、問 5（6）子どもが LGBTQ 等の性的少数者と結婚することになった場合の態度を尋ねている質問への回答結果である。「まったく問題にしない」が 16.0%、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 37.1%でその結婚を認める人の合計は 53.1%で半数少々にとどまっている。

図 17 は、問 12（1）「ＬＧＢＴＱ等の性的少数者の入居を拒否するのは大家さんの自由である」という考えに対する意見である。「そう思う」が 17.4%、「どちらかといえばそう思う」が 17.1%で、こうした意見を肯定する住民はあわせて 34.5%に及んでいる。

「婚姻の自由」や「居住権」は全ての人に例外なく保障されなければならない基本的人権である。不十分だとの批判があるものの、2023 年 6 月からは「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律（LGBT 理解増進法）」も施行されているが、この問題に関する住民の理解はまだまだ課題が多いことが示された。

図 16　子どもが LGBTQ 等の性的少数者と結婚することになった場合の態度

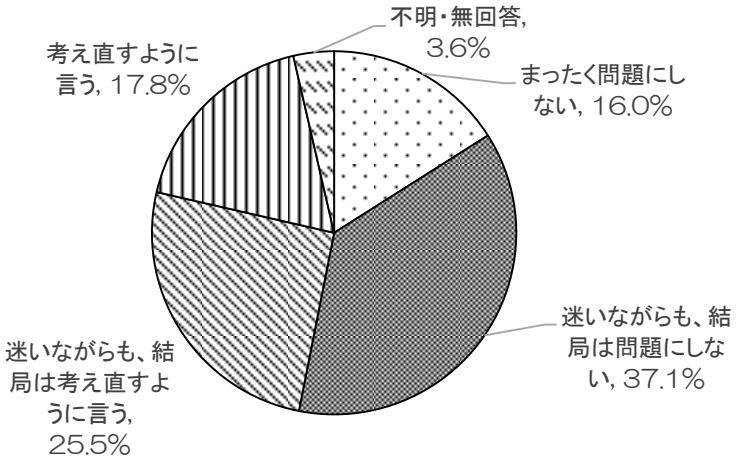
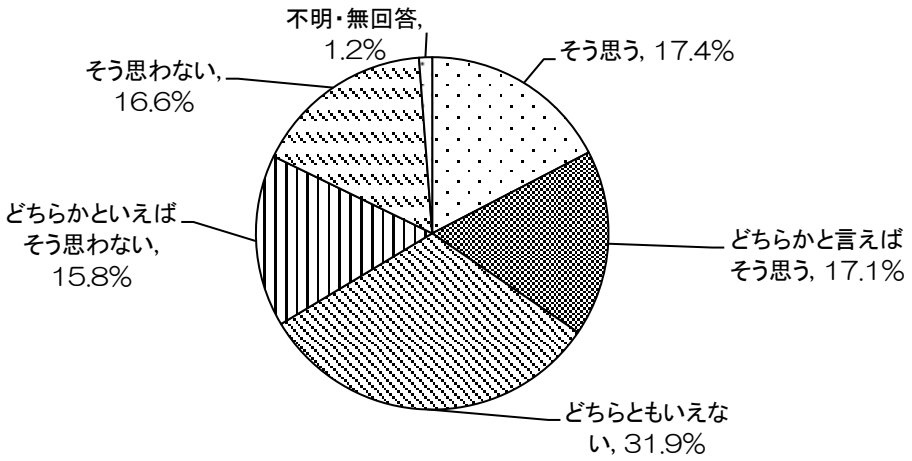


図 17　「ＬＧＢＴＱ等の性的少数者の入居を拒否するのは大家さんの自由である」という考えに対する意見



（10）犯罪被害者やその家族の人権

図 18 は、犯罪被害者やその家族の人権に関する問 13（3）「刑事裁判手続きに被害者の声が十分反映されるようにすべきである」という考えに対する意見である。「そう思う」が 47.0%、「どちらかといえばそう思う」が 33.1%で、こうした意見を肯定する住民は８割を超えている。

図 19 は、問 13（4）「報道、取材や一般人のＳＮＳ等によってプライバシーに関することを公にして、私生活の平穏を犯してはならない」という考えに対する意見である。「そう思う」が 68.6%、「どちらかといえばそう思う」が 19.0%で、こうした意見を肯定する住民は 87.6%に達している。犯罪被害者やその家族の人権に関する理解は高いといえる。

図 18　「刑事裁判手続きに被害者の声が十分反映されるようにすべきである」という考えに対する意見

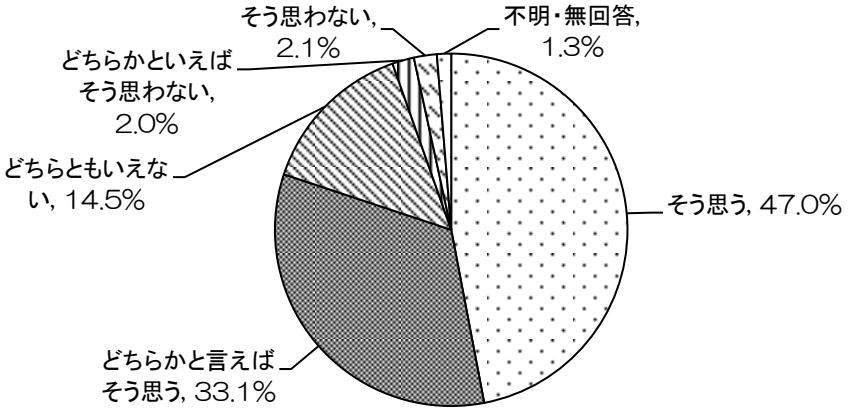
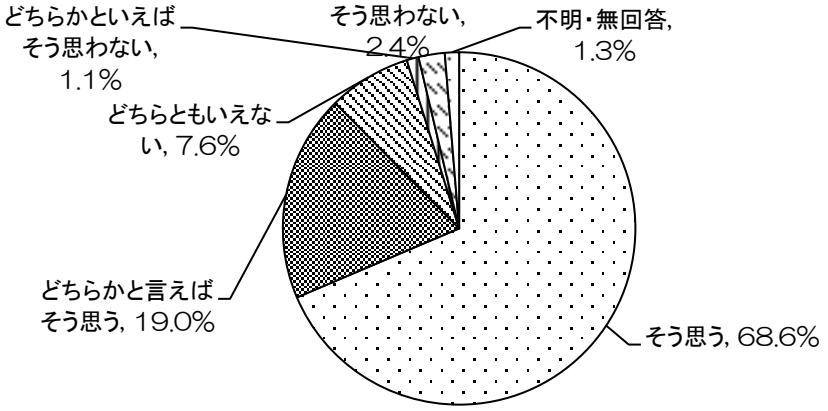


図 19　「報道、取材や一般人のＳＮＳ等によってプライバシーに関することを公にして、私生活の平穏を犯してはならない」という考えに対する意見



（11）インターネット上の人権

表１は、問１４でのインターネット上の人権に関する４つの考えに対する意見を尋ねた結果である。それぞれの意見に対する、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせ肯定的グループの割合は次の通りであった。

「（１）インターネット上の差別的書き込みを行政が把握し、プロバイダーへ情報停止・削除を求めるべきだ」では 78.9%、「（２）ルールやマナーを守ってインターネットを利用するように日頃からの教育・住民啓発が必要である」では 91.3%、「（４）差別をあおるような書き込みを行った人に対しては処罰すべきだ」では 81.6%といずれも圧倒的にこうした意見が支持されている。

行政に対して、インターネット上の人権課題を解決するために、プロバイダーへの削除要請や教育・住民啓発活動の推進、さらには法（条例）規制に関する取り組みが提起されている。なおその際、「（３）表現の自由に関わる問題なので、安易に情報の規制は行うべきではない」という意見を肯定するグループの割合が 25.4%あることにも留意する必要がある。

表１　「インターネット上の人権課題について、どう思いますか」の回答結果

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	不明・無回答
インターネット上の差別的書き込みを行政が把握し、プロバイダーへ情報停止・削除を求めるべきだ	52.3%	26.6%	14.1%	2.0%	3.3%	1.7%
ルールやマナーを守ってインターネットを利用するように日頃からの教育・住民啓発が必要である	66.1%	25.2%	5.2%	0.5%	1.2%	1.8%
表現の自由に関わる問題なので、安易に情報の規制は行うべきではない	10.2%	15.2%	35.2%	19.9%	17.5%	2.0%
差別をあおるような書き込みを行った人に対しては処罰すべきだ	43.9%	37.7%	11.7%	2.5%	2.4%	1.8%

（12）小活

子どもの人権や女性の人権に象徴されているように、20 年前、１０年前と比較して、住民の人権問題に関する意識が全般的に高まっていることが示されている。人権意識の高まりは可視化されにくいものであるが、調査の継続が不可逆的なその変化を明らかにしてくれた。この間の社会の変化が反映されているとともに、地道な教育・啓発の取り組みの結果と言えよう。

しかし、これで十分ではないこともまた調査から提起されている。子どもへの体罰を条件付とはいえ肯定している人が 11.2%存在し、「年老いたら子どもに従う方がよい」という意見もなお 34.5%存在している。障がい者、外国人、ハンセン病回復者の家族との結婚における反対意見はなお根強い。とりわけ HIV 陽性者や LGBTQ 等の人との結婚における反対意見は大変厳しい結果となった。コロナ禍での人権侵害の教訓化の徹底や、インターネット上の人権課題の理解増進も重要である。

調査が明らかにしたこの間の成果と課題を踏まえて、一層の取り組みの推進が求められている。

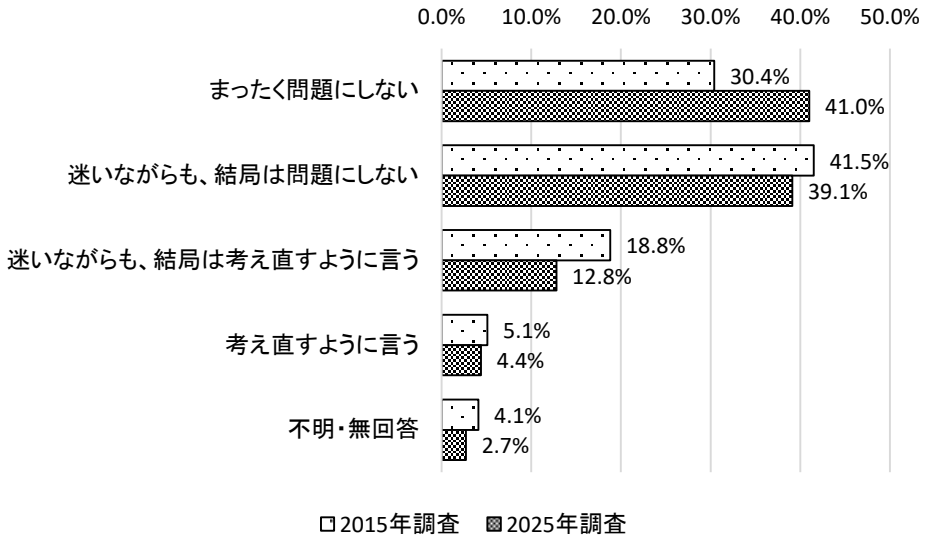
■［考察２］住民の意識から見えてくる部落差別の現実

今日の部落差別の現実について、住民の意識状況からこれを検証する。取り上げるのは（１）結婚差別問題（問５）、（２）部落に対する感情（問 20）、（３）「同和地区はこわい」とのうわさの流布（問 24）、（４）結婚差別の見聞経験（問 25）である。これらの調査結果を通じて今日の部落差別の現実をさぐる。なお必要に応じて過去の調査との比較も行うこととした。

（１）子どもが同和地区出身者と結婚することになった場合の態度

図 20 は、問５（３）子どもが同和地区出身者と結婚することになった場合の態度を尋ねている質問への回答結果である。2015 年調査に比べて「まったく問題にしない」が 30.4%から 41.0%へと 10 ポイント余り伸びている。勇気づけられる結果である。しかしなお「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 12.8%、「考え直すように言う」が 4.4%と同和地区出身者との結婚を反対する住民の割合が合わせて 17.2%となっている。この数値はゼロにならなければならないものであることを考えるとき、更なる取り組みの前進が求められている。

図 20　子どもが同和地区出身者と結婚することになった場合の態度



（２）「被差別部落」という言葉を聞いたときの感情

問 20 は「あなたは、「被差別部落」という言葉を聞いたとき、どのような感情を持ちますか」と尋ね、「上品な」「やさしい」「清潔な」「豊か」「働き者」という肯定的な感情を＜A＞群とし、これらと対をなす否定的感情である「下品な」「こわい」「不潔な」「貧しい」「なまけもの」を＜B＞群として提示している。調査結果は表２の通りであった。なお表２では回答結果を「A に近いグループ」と「B に近いグループ」に統合してその割合を示している。また「不明・無回答」は割愛している。

本来はこれらの項目における回答は「どちらともいえない」となるべきであるが、その割合は５割～7 割程度にとどまっており、「上品なー下品な」「やさしいーこわい」「清潔なー不潔な」「豊かー貧しい」では、強く「B に近いグループ」に偏っていることがわかる。これらの項目における「A に近いグループ」に対する「B に近いグループ」の倍率は、「上品なー下品な」で 8.8 倍、「やさしいーこわい」で 4.8 倍、「清潔なー不潔な」で 4.2 倍、「豊かー貧しい」で 8.0 倍に達している。強烈なマイナスイメージが部落に注がれている。明確な偏見の存在である。なお「働き者ーなまけもの」の項目だけは例外で、逆に「A に近いグループ」が「B に近いグループ」の 3.4 倍となっていることにも注目したい。

表２　「あなたは、「被差別部落」という言葉を聞いたとき、どのような感情を持ちますか」への回答結果（「不明・無回答」は割愛している）

＜A＞	1 非常にAに近い	2 ややAに近い	3 どちらともいえない(わからない)	4 ややBに近い	5 非常にBに近い	＜B＞
上品な	2.7%		64.2%	23.7%		下品な
やさしい	5.0%		61.3%	24.2%		こわい
清潔な	4.1%		68.6%	17.2%		不潔な
豊か	4.3%		51.4%	34.5%		貧しい
働き者	15.0%		71.5%	4.4%		なまけもの

（３）「同和地区はこわい」とのうわさの流布

図 21 は、問 24「あなたは、「同和地区はこわい」というような話を聞いたことがありますか」への回答結果を 2005 調査、2015 年調査と比較したものである。こうしたうわさを聞いたことがあるとしたものは 17.9%で調査ごとにその割合は減少している。しかし減少しているとはいえ、こうしたうわさがなおちまたで流れていることは確かであり、５～６人に１人が聞いている状況は決して楽観できるものではない。この状況が、表２の「やさしいーこわい」のイメージ形成に影響していることが推測される。

表３は、こうした「同和地区はこわい」という話を聞いたことがあると回答した人に、それは誰から聞いたのかを尋ねた結果である。「はっきり覚えていない」の 34.7%を除くと、最も多かったのは「家族」の 14.5%、次いで「近所の人」10.4%、「友人」7.5%、「職場の人」5.2%と続く。「学校の先生」という回答も 4.6%あり、「県や市町村の職員」との回答も 1.2%あった。

図 22 は、「同和地区はこわい」という話を聞いたときどう感じたかを尋ねた結果である。「そのとおりだと思った」が 3.5%、「そういう見方もあると思った」が 21.4%で合わせて 24.9%の人がそれを肯定的に受け入れている。「反発・疑問を感じた」はわずか 7.5%であった。例えばこれが「大阪府民はこわい」との話を聞いたときではこのような結果にはならないはずである。そこに部落に対する偏見の存在が垣間見える。同和地区に対する偏見が生活現場で継承・再生産されていることがうかがえる。

図 21　「あなたは、「同和地区はこわい」というような話を聞いたことがありますか」への回答結果

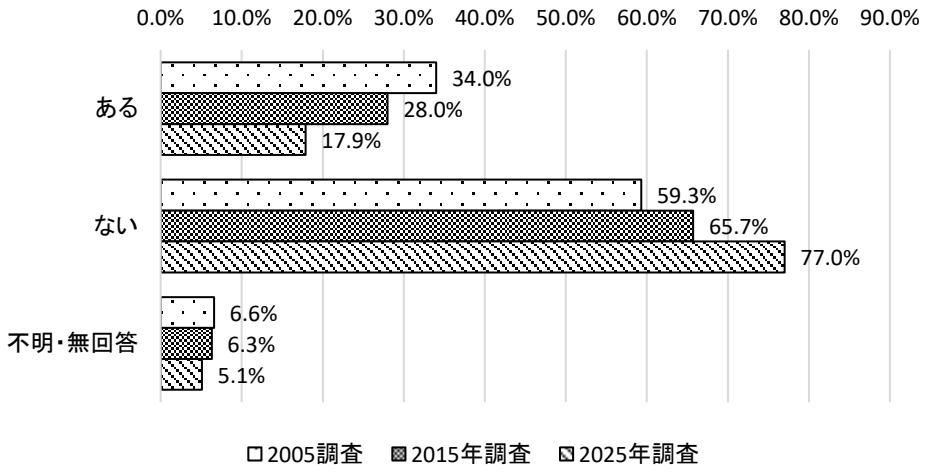
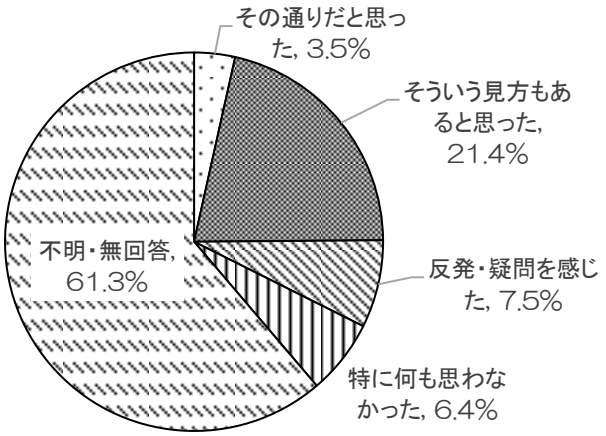


表 3　「同和地区はこわい」というような話を誰から聞いたのか

家族	親戚	近所の人	友人	職場の人	学校の先生	県や市町村の職員	知らない人	はっきり覚えていない	その他	不明・無回答
14.5%	4.6%	10.4%	7.5%	5.2%	4.6%	1.2%	2.9%	34.7%	5.8%	11.0%

図 22　「同和地区はこわい」というような話を聞いたときどう感じたか



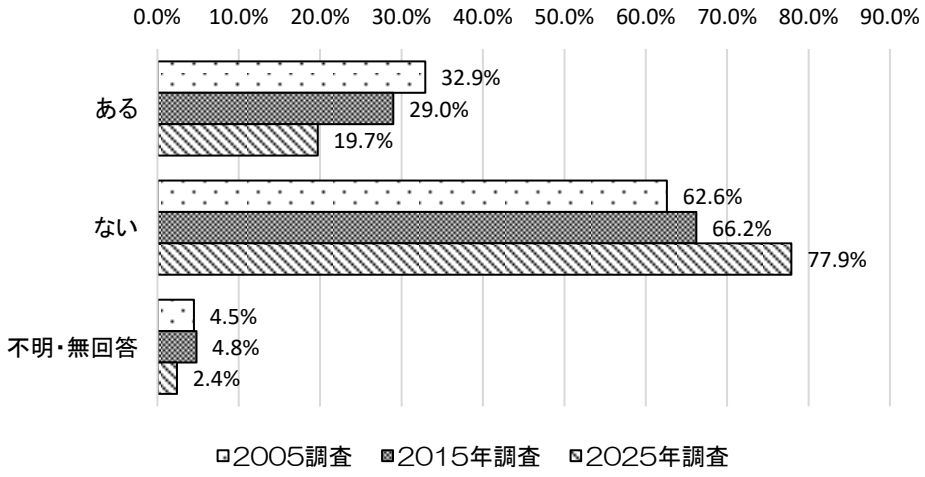
（4）同和地区の人との結婚でもめたり、反対にあったりしたことの見聞経験

図 23 は、問 25「あなた自身あるいはあなたの親戚や友人で、同和地区の人との結婚に関して、もめたり、反対にあったりしたことを聞いたことがありますか」の回答結果である。「ある」は 19.7%で 2005 調査、2015 年調査に比べてあきからに減少している。

しかし 19.7%という数値は決して小さなものではない。5 人に 1 人が同和地区の人に対する結

婚差別を身近に見聞している。結婚差別がなお日常的になされていることがうかがえるとともに、そうしたことが身近で生じていることの周囲への影響が危惧される。

図 23　同和地区の人との結婚でもめたり、反対にあったりしたことの見聞経験



（5）小活

10 年、20 年のスパンから見ると住民の意識から見えてくる部落差別の現実は改善されてきている。まずはこの間の取り組みの成果を確認したい。しかし目標は部落差別の解消であることから見れば、まだまだ差別の実態は厳しいと言わざるを得ない。

子どもが同和地区出身者と結婚することになった場合に「考え直すように言う」住民が減少したとはいえ 17.2%存在し、同和地区の人との結婚差別に関する見聞も 19.7%の人があるとしている。部落に対するマイナス感情も明らかに強い。「同和地区はこわい」とのうわさも生活のそこかしこで未だに流布しており、それを明確に否定できている状況には程遠い現状がある。

部落差別解消への歩みが進んでいることは確かである。しかし道半ばである。粘り強い取り組みでさらなる前進を期待したい。

■［考察３］住民は部落差別の現実を正しく認識しているだろうか

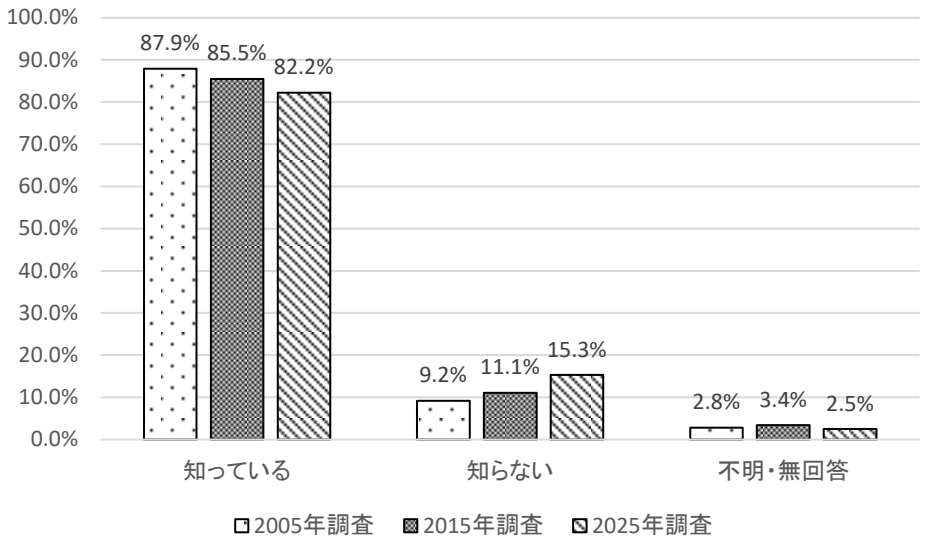
部落差別の正しい現実認識は、部落差別解消を目指す取り組みの前提でありスタートラインである。ここでは部落差別の現実がはたして住民に正しく認識されているのかどうかを検証する。

（1）部落差別の存在認知

図 24 は、問 19「あなたは、日本の社会に「被差別部落」「同和地区」あるいは「部落」と呼ばれ、差別を受けている地区があることや差別を受けている住民がいることを知っていますか」への回答結果を 2005 年調査、2015 年調査と比較したものである。

「知っている」とした人が 82.2%と圧倒的に多いが、経年変化を見ると少しずつ減少していることがわかる。逆に「知らない」と答えた人が 15.3%となっている。

図 24　「あなたは、日本の社会に「被差別部落」「同和地区」あるいは「部落」と呼ばれ、差別を受けている地区があることや差別を受けている住民がいることを知っていますか」への回答結果



（２）住民の部落差別の現実認識

表４は、問 22「あなたは現在、部落差別（同和問題）に関して、次にみられるような人権侵害や問題などがあると思いますか」の回答結果である。設問に例示されている（１）～（６）に提示されている部落および部落出身者に対する人権侵害の問題はいずれも現に存在している部落差別の現実である。にもかかわらず、こうした現実が「あると思う」と「どちらかといえばあると思う」を合計しても２割から３割台にとどまっている。逆に「無いと思う」と「どちらかといえば無いと思う」の合計は（１）～（４）で過半数を超えている。（５）と（６）でも４割を超えている。愕然とする結果であった。

（６）の「インターネット上に同和地区と呼ばれる地域の所在地リストや動画・写真などが掲載されること」に至っては裁判にまでなっており、こうした「情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じていること」（部落差別解消推進法第一条）が 2016 年 12 月の部落差別解消推進法の制定にも深く関わっている重大な事態である。この問題ですら「あると思う」の合計は 34.0%にすぎず、「ないと思う」の合計の方が 41.8%と上回っている。

部落差別の現実が厳然と存在しているにもかかわらず、住民に正しく認識されていない状況を調査の結果は示している。重く受け止めなければならない。

表４　「あなたは現在、部落差別（同和問題）に関して、次にみられるような人権侵害や問題などがあると思いますか」への回答結果

	1 あると思う	2 どちらかといえばあると思う	あると思うの合計	3 どちらかといえばないと思う	4 ないと思う	ないと思うの合計	5 わからない	6 不明・無回答
（1） 就職のときや職場で不利な扱いを受けること	9.5%	17.1%	26.6%	24.5%	28.2%	52.7%	18.4%	2.3%
（2） 地域の活動や地域での付き合いで嫌がらせを受けること	7.8%	18.9%	26.7%	25.0%	30.7%	55.7%	15.2%	2.5%
（3） 身元調査をされること	8.0%	20.1%	28.1%	24.5%	25.5%	50.0%	19.3%	2.7%
（4） 行政機関や不動産取引業者に「どこが同和地区なのか」と問い合わせること	6.8%	15.5%	22.3%	23.7%	32.0%	55.7%	19.4%	2.5%
（5） インターネット上に誹謗中傷等が掲載されること	12.1%	22.3%	34.4%	21.1%	21.0%	42.1%	20.5%	2.9%
（6） インターネット上に同和地区と呼ばれる地域の所在地リストや動画・写真などが掲載されること	13.0%	21.0%	34.0%	19.7%	22.1%	41.8%	21.2%	2.9%

（３）小活

部落差別の現実が存在するにもかかわらず、それが住民に正しく認識されていなければ差別はあたかもないことのように扱われる。そこからは取り組みの必要性などは語られない。それどころか「いつまでやっているのか」「そろそろ取り組みを終了してもいいのではないか」といった意見さえ出かねない。

差別の現実認識は取り組みの一切の前提であることを考えるとき、今回の調査結果で示された住民の「部落差別の現実認識」の誤りは放置できないものである。

■［考察４］差別解消への態度や行動を育むものの仮説検証

（１）仮説の設定

差別は人間が創り出したものである。人間が創り出した差別は、人間の取り組みによって必ず解消することができる。1965 年に出された同和対策審議会答申にあっても「同和問題もまた、すべての社会事象がそうであるように、人間社会の歴史的発展の一定の段階において発生し、成長し、消滅する歴史的現象にほかならない」「いかなる時代が来ようとどのように社会が変化しようと、同和問題が解決することは永久にありえないと考えるのは妥当ではない」と記されている。

では差別解消に向かう人間の取り組みはどのような事柄に影響を受けて形成されているのであろうか。本調査のデータを用いてこの問に迫っていきたい。

本調査において、部落差別解消への態度や行動を確かめているものとしてあるのが、問５（３）

の「子どもが同和地区出身者と結婚することになった場合の態度」に関する質問と、問 21「学校や職場、日常生活の中で、誰かが「同和地区」の人に対する差別的な発言をしたとき、あなたはどのような対応をとりますか。またはとると思いますか」である。ではこれら質問への回答結果は何によって異なった結果が導かれているのだろうか。ここでは差別解消への態度や行動を育むものの探索として、次のような 2 つの仮説を設定してその検証を行う。

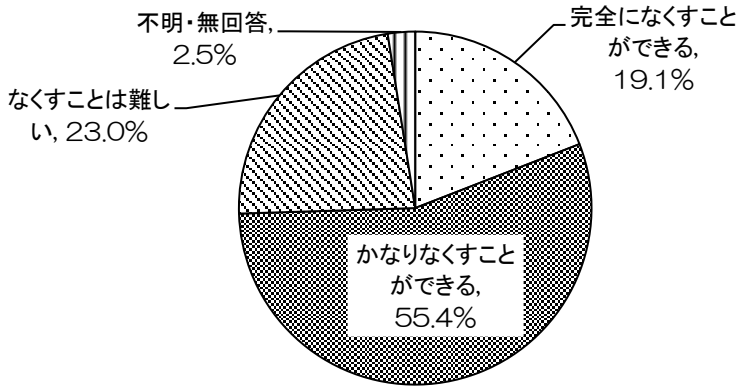
（2）[仮説１]の検証

[仮説１]「部落差別は解消される」との展望があってこそ初めて部落差別解消の取り組みへの建設的は姿勢や態度が生まれる。努力して取り組んでも部落差別を無くすことは難しいという認識からは「どうせ取り組んでも仕方がない」との消極的な姿勢や態度になりかねない。

本調査では、「部落差別は解消される」との展望については問 23「部落差別は将来なくすことができると思いますか」としてたずねている。これと部落差別解消への態度や行動を図るものとして取り上げた問５（３）および問 21 の回答結果との関わりを見る。

まずは、問 23「部落差別は将来なくすことができると思いますか」の回答結果を見ておきたい。図 25 がそれで、「完全になくすことができる」が 19.1%、「かなりなくすことができる」が 55.4%、「なくすことは難しい」が 23.0%であった。

図 25　「部落差別は将来なくすことができると思いますか」の回答結果



では、この部落差別解消への展望の違いが「部落差別解消の取り組みへの姿勢や態度」にどのような違いを生じさせているのか、問５（３）「子どもが同和地区出身者と結婚することになった場合の態度」の回答結果とのクロス集計が表５である。「まったく問題にしない」と明確に結婚差別を否定する態度を見ると、部落差別を「完全になくすことができる」人の場合は 65.3%に達している。「かなりなくすことができる」とした人の場合でも 41.0%であるが、「なくすことは難しい」人にあっては 27.4%にとどまっている。

次に部落差別解消への展望の違い別に見た問 21「学校や職場、日常生活の中で、誰かが「同和地区」の人に対する差別的な発言をしたとき、あなたはどのような対応をとりますか。またはとると思いますか」の回答結果とのクロス集計が表６である。差別を黙認したり同調することなく、

「差別的な発言であることを伝え、話し合う（と思う）」と差別解消への態度をとるとした人は、部落差別を「完全になくすことができる」人の場合は 49.4%、「かなりなくすことができる」とした人の場合は 40.9%であったが、「なくすことは難しい」人においては 30.4%と明らかに少ない。

「部落差別は解消される」との展望を獲得することが、部落差別解消への姿勢や態度に結びついていることがわかる。

表５　部落差別解消への展望別にみた「子どもが同和地区出身者と結婚することになった場合の態度」

	まったく問題にしない	迷いながらも、結局は問題にしない	迷いながらも、結局は考え直すように言う	考え直すように言う
完全になくすことができる	65.3%	26.1%	6.8%	1.7%
かなりなくすことができる	41.0%	42.7%	12.5%	3.8%
なくすことは難しい	27.4%	45.1%	20.0%	7.4%

表６　部落差別解消への展望別にみた「誰かが「同和地区」の人に対する差別的な発言をしたとき」の態度

	差別的な発言であることを伝え、話し合う（と思う）	気づかなかったふりをする（と思う）	表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう（と思う）	その他
完全になくすことができる	49.4%	37.5%	1.2%	11.9%
かなりなくすことができる	40.9%	49.8%	2.7%	6.6%
なくすことは難しい	30.4%	58.9%	5.1%	5.6%

（３）［仮設２］の検証

［仮説２］「部落差別は解消される」との展望は、現代社会が差別をなくそうとする方向に進んでいるのか、逆にこうした方向には進んでいないと受け止めるのかという「人権に関する社会動向認識」が影響を与えている。現代社会が差別をなくし人権尊重を重視する方向に進んでいると受け止めている人ほど部落差別解消の展望は強く、逆に社会は差別解消、人権尊重に逆行していると感じている人にあっては部落差別解消の展望は弱い。

本調査において「人権に関する社会動向認識」を確かめているのは問４である。ここではＡ、Ｂ二人の意見を提示し、どちらに近いを問う中で回答者の「人権に関する社会動向認識」を確かめている。

問４　差別について、A、B二人の意見が次のように分かれました。あなたは次のAとBのどちらの意見に近いですか。

Aの意見：今日では差別は許されない状況にあり、差別をする人がやがて孤立してしまう。

Bの意見：世間ではまだまだ差別が残っており、差別をなくそうとする人が孤立してしまう。

［仮説２］は、「A の意見」の人ほど「部落差別は解消される」との展望は強く、「B の意見」の人ほどその展望は弱いということになる。そこで問４の回答結果の違い別に見た部落差別解消への展望を確かめた。それが表７である。

「A の意見に賛成」である場合、部落差別を「完全になくすことができる」人の場合は 34.5%で明らかに高い。「B の意見に賛成」や「どちらかといえばそう B の意見に賛成」「わからない」の場合は、「なくすことは難しい」人の割合がいずれも 25%を超えている。「人権に関する社会動向認識」が「部落差別は解消される」との展望に影響を与えていることがわかる。

なおここでは両変数の相関係数を提示しておく。用いているのはスピアマンの順位相関係数である。その結果は 1%水準で有意であり相関係数は 0.120 であった。明確に「人権に関する社会動向認識」が「部落差別は解消される」との展望に関わっていることが確認された。なおスピアマンの順位相関係数については別に記している通りである。

表７　A の意見、B の意見に対する考え別に見た部落差別解消への展望

	完全になくすことができる	かなりなくすことができる	なくすことは難しい
Aの意見に賛成である	34.5%	50.0%	15.5%
どちらかといえばAの意見に賛成である	19.8%	62.5%	17.7%
わからない	18.7%	55.9%	25.4%
どちらかといえばBの意見に賛成である	16.8%	57.0%	26.2%
Bの意見に賛成である	18.8%	53.6%	27.5%

相関

			nq4（問４）	q23q23（問23）
Spearmanのロー	nq4	相関係数	1.000	.120**
		有意確率（両側）		0.003
		度数	612	605
	q23q23	相関係数	.120**	1.000
		有意確率（両側）	0.003	
		度数	605	941

**. 相関係数は 1% 水準で有意（両側）です。

ところでこの「人権に関する社会動向認識」であるが、表８のとおり 2005 年調査および 2015 年調査の結果と比較すると「A の意見に賛成である」としている人の割合が低下している。今回の調査では、「今日では差別は許されない状況にあり、差別をする人がやがて孤立してしまう」という A の意見に「賛成」が 6.1%にとどまり、「どちらかといえば賛成」を合わせた合計においても 26.3%にとどまっている。近年の外国人に対する差別的・排外主義的な出来事やこれを煽る動き、インターネット上での部落差別の助長、SNS を通じた個人攻撃や差別的デマの拡散などが深刻化している。にもかかわらず、これに毅然と対抗し、有効な対処を講じきれていない国や自治体の状況を肌身に感じていることの結果でないかと推測される。こうした中で「わからない」とした人の割合が増加し、B の意見に「賛成」が 7.2%と初めて A の意見を上回った。留意する必要がある。

表８　人権に関する社会動向認識の経年変化

	Aの意見に賛成である	どちらかといえばAの意見に賛成である	わからない	どちらかといえばBの意見に賛成である	Bの意見に賛成である	不明・無回答
2005年調査	12.1%	20.6%	25.8%	26.7%	9.0%	5.9%
2015年調査	10.1%	19.6%	28.7%	28.0%	10.1%	3.4%
2025年調査	6.1%	20.2%	33.9%	29.9%	7.2%	2.7%

＜スピアマンの順位相関係数＞

相関係数とは、2 つの変数の関わりを検証するものである。数字の符号（プラス・マイナス）は関わりの方向を示しており、一方の変数の番号が大きくなる（小さくなる）ほど、他も大きくなる（小さくなる）場合、符号はプラスとなり正の相関と呼ぶ。逆に、一方が大きくなるほど他方が小さくなる場合、符号はマイナスになり府の相関と呼ぶ。

例えば、自動車の走行距離とタイヤの回転数は、走行距離が増えるほど回転数も増えるからプラスの相関がある。逆に、走行距離とガソリンの残量は、走行距離が増えるほど残量は経るからマイナスの相関がある。

相関係数の数字の絶対値の大きさは、相関の強さを示している。数字の右に書かれた「＊」や「＊＊」は、この相関係数が統計的な意味を持つものであるかどうかを示している。「＊＊」の場合は 1%水準で有意である（100 回同じ調査を行えば 99 回が同じ結果になる）ことを、また「＊」の場合は 5%水準で有意である（100 回同じ調査を行えば 95 回が同じ結果になる）ことを示している。これが付いていない場合は、統計的な意味は持つとは言い難いと判断される。

なおここで用いている相関係数はスピアマンの順位相関係数である。スピアマンの相関係数とは、数量そのものではなく、内容のレベルに順位を与えてそれに番号を付けることによって両変数の相関関係を見るものである。

（4）小活

「部落差別は解消される」との展望が部落差別解消の取り組みへの建設的な姿勢や態度に関わっている。そしてこの「部落差別は解消される」との展望は、「人権に関する社会動向認識」に影響を受けている。

人権に関する社会の取り組みは着実に前進している。これまでは人権の課題だとして社会の共通認識にされていなかった問題（例えばセクシャルマイノリティの問題や様々なハラスメントの問題など）が今日では重要な人権課題として捉えられている。また差別解消三法をはじめとする人権擁護に関する法令の整備も進んできた。こうした「人権に関する社会動向」を正しく伝えることの重要性を再確認したい。同時に「差別は解消される」という展望の共有をはかる取り組みの課題についてさらに探求することが求められている。

■［考察５］「寝た子を起こすな」論の検証

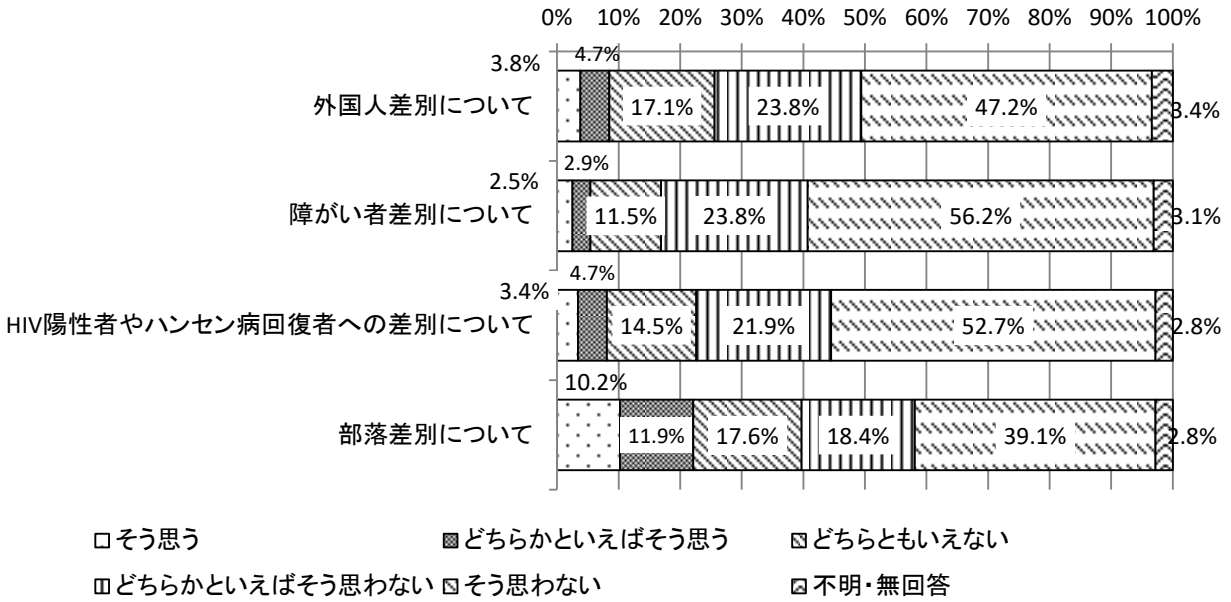
「寝た子を起こすな論」の克服は今日なお大きな課題である。同和対策審議会答申（1965 年）においても、「『寝た子を起こすな』式の考えで、同和問題はこのまま放置しておけば社会進歩にともないいつとはなく解消すると主張することにも同意できない」（第１部同和問題の認識）とこれをきっぱりと否定した。「そっとしておけば差別は自然になくなっていく」というこの主張は取り組みの展開を否定し、差別解消の前に立ちはだかる壁となる。たとえそれが「部落問題を解決しよう」という善意に立脚した誤解であってとしても、結果として差別の温存につながるものである。改めて本調査の結果から「寝た子を起こすな」論の実態を検証したい。

（1）「寝た子を起こすな」論に関する住民の実態

図 26 は、問１で質問している人権課題別に見た「寝た子を起こすな」論への考えである。「外国人差別は、そっとしておけば自然になくなる」については「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が 8.5%、障がい者差別については合計が 5.4%、HIV 陽性者やハンセン病回復者に対する差別については合計が 8.1%、部落差別については合計が 22.1%であった。いずれの人権課題においてもなお「寝た子を起こすな」論を支持している人が一定割合存在しているが、部落問題にあっては２割以上の住民が支持しており突出している。

外国人差別、障がい者差別、HIV 陽性者やハンセン病回復者差別は他者との明確な「属人的区別」が存在する。それによって差別の対象とすることはもちろん許されるものではない。一方部落差別については他者との明確な「属人的区別」は存在しない。こうした部落差別の特異性が「寝た子を起こすな」論の支持率を高めている背景に存在していることが推測される。

図 26　人権課題別の「寝た子を起こすな」論への考え



（2）「寝た子」は起こされている、しかも間違って起こされている

表９は、問 19-１で尋ねている同和問題を知ったきっかけ（認知経路）である。最も多かったのが「学校の授業で」の 59.6%であったが、次が「家族から」の 31.0%であった。こうした認知経路を私的な情報源と公的な情報源に分類すると、「家族から」以外にも「近所の人から」が 8.2%、「職場の人から」が 5.9%など、私的な情報源が大きな割合を占めていることがわかる。

つまり「寝た子を起こすな」論の主張通り、学校の授業や行政による啓発活動などを止めたところで、部落問題に関する情報が社会から無くなっていくわけではないことがわかる。「寝た子」は日常の市民生活の中で起こされているのである。

しかも私的な情報源にあっては、図 21 で見たとおり「同和地区の人はこわい」などというううわさがまだまだ残されており、表２で示したとおり、強いマイナスイメージが支配的である。インターネットの世界で差別的な情報があふれていることも周知のとおりである。だとすれば、学校での教育や住民啓発を行わずにそっとしておくということは、正しい部落問題に関する情報の蛇口が閉まるだけで、結果として、世間に漂う間違った部落問題情報に染まってしまうことを調査の結果は教えている。

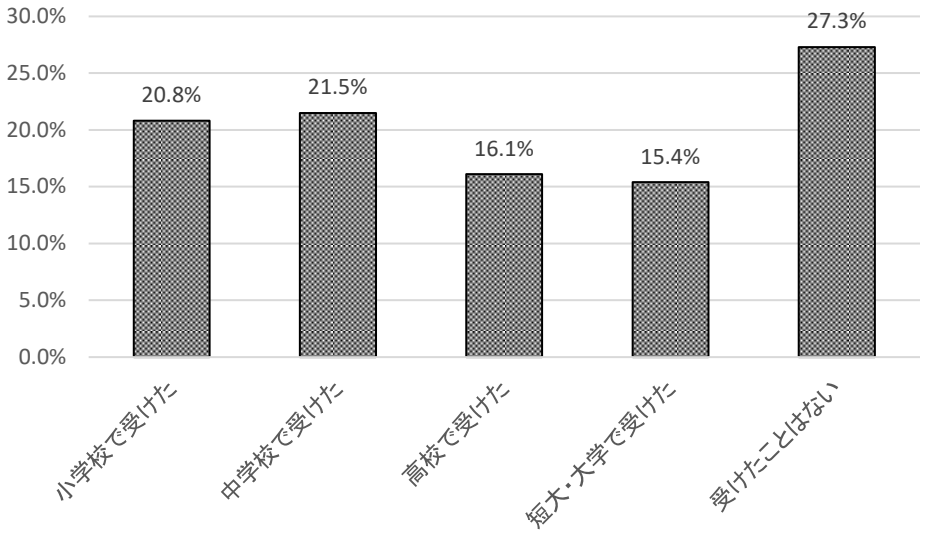
表９　同和問題を知ったきっかけ（複数回答可）

私的な情報源					公的な情報源				その他	
家族から	親戚の人から	近所の人から	職場の人から	学校の友人から	学校の授業で	テレビ・ラジオ・新聞・本などで	同和問題の集会や研修会で	県や市町村の広報紙や冊子で	はっきり覚えていない	その他
31.0%	5.2%	8.2%	5.9%	4.5%	59.6%	16.5%	19.3%	5.9%	7.4%	1.6%

（３）同和問題（部落問題）の学習経験と「寝た子を起こすな」論に対する考え

図 27 は、問 17 で尋ねている同和問題（部落問題）の学習経験の有無と「寝た子を起こすな」論への支持（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）の割合を見たものである。「小学校で受けた」場合の支持率は 20.8%、中学校の場合は 21.5%、高校の場合は 16.1%、短大・大学の場合は 15.4%であったのに対して、「受けたことはない」人の場合は 27.3%と明らかに高い。学習経験のない人ほど「寝た子を起こすな」論への支持率が高いことがわかる。

図 27　同和問題（部落問題）の学習経験の有無と「寝た子を起こすな」論への支持の割合

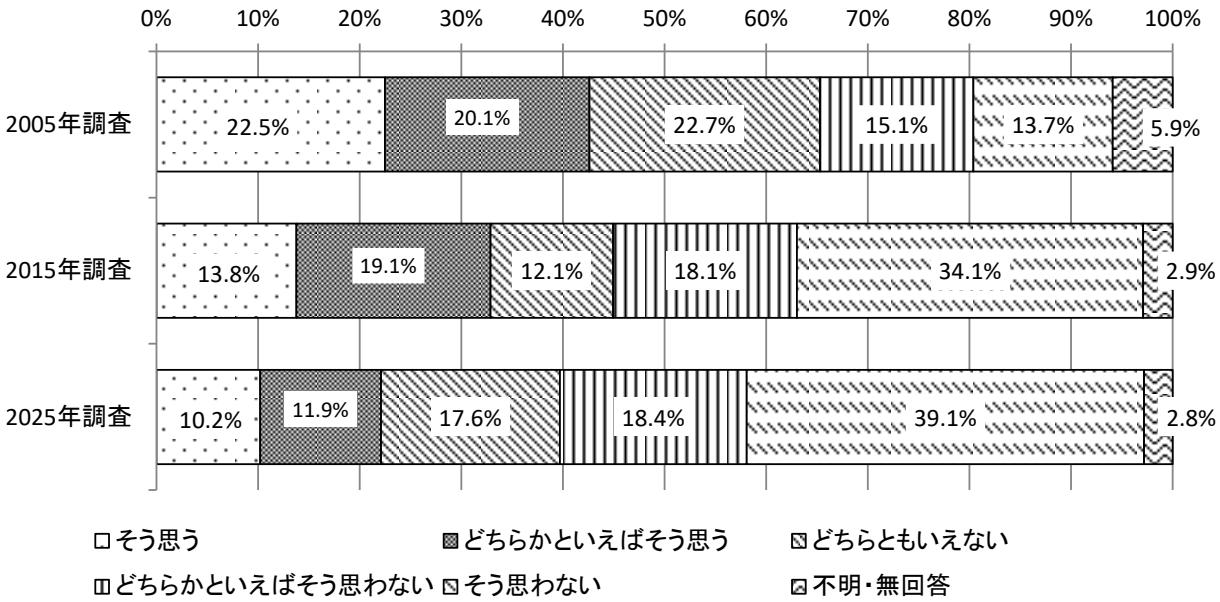


（４）「寝た子を起こすな」論への支持率の変化

図 28 は、「寝た子を起こすな」論への考え方の経年変化を示したものである。2005 年調査での部落問題に関する「寝た子を起こすな」論への支持（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は 42.6%、2015 年調査では 32.9%であったの対して、今回の調査では 22.1%と明らかに減少している。なお 5 人に 1 人以上がこの考え方に賛成している状況は看過できないとはいえ、この変化は高く評価したい。同和問題（部落問題）学習の蓄積を見る思いがする。

なお正確を期すために記しておくと、2005 年調査での「寝た子を起こすな」論に関する設問は、「同和地区のことや差別があることを口に出さないで、そっとしておけば、自然に差別はなくなる」という意見に対して、「非常に重要」「やや重要」「わからない」「あまり重要でない」「重要でない」の選択肢が提示されている。また 2015 年調査での「寝た子を起こすな」論に関する設問は、2025 年調査と同じ質問文であるが、選択肢が「この意見に賛成である」「どちらかと言えば賛成である」「わからない」「どちらかと言えば反対である」「この意見に反対である」となっている。データに大きな影響を及ぼすほどの差異ではないと判断して経年変化を見ている。

図 28　「寝た子を起こすな」論への考え方の経年変化



（4）小活

「寝た子」は起こされている、しかも取り組まなければ間違って起こされるという「寝た子を起こすな」論の誤りが改めて明らかになった。ただし部落問題における「寝た子を起こすな」論への支持は明確に減少してきている。この間の取り組みの成果である。しかしこの考え方の間違いや取り組みに与える悪影響を考えるとき、なお５人に１人以上がこの考え方に賛成している状況を放置してはならない。なお外国人差別、障がい者差別、HIV 陽性者やハンセン病回復者差別においても「寝た子を起こすな」論が存在していることに留意する必要がある。

■［考察６］年齢階層別人権意識・公務員の人権法令認知・デジタルディバイド問題への警戒

考察の最後に、年齢階層別人権意識・公務員の人権法令認知・デジタルディバイド問題に関わる調査結果を分析したい。

（1）年齢階層によって人権意識のレベルは異なっているだろうか

若い人ほど人権意識は高く高齢者は低いと言われてきた。それとは逆に、近年は若年層の人権意識の低下が指摘されている。果たして中高地区住民における人権意識は年齢階層によって影響を受けているのだろうか。

表 10 は、年齢階層別に見た人権意識レベルの分布である。これを見る限り人権意識が年齢階層によって異なっているとは言い難い。念のため、年齢階層と人権意識レベルとのスピアマンの順位相関係数をとってみたが、そこには有意な関係は認められなかった。つまり両者は相関していないことが示された。中高地区住民の実態を見る限り「若い人ほど人権意識は高く高齢者は低い」あるいは「近年は若年層の人権意識が低下している」との言説は当てはまらない。人権意識の高低は年

齢という自然の差異とは関係がないと言える。

表 10　年齢階層別に見た人権意識得点の分布

	人権意識得点高い	人権意識得点中位	人権意識得点低い
18～19歳	44.4%	33.3%	22.2%
20～29歳	33.8%	30.0%	36.3%
30～39歳	28.9%	28.9%	42.2%
40～49歳	32.8%	27.6%	39.6%
50～59歳	29.1%	31.9%	39.0%
60～69歳	36.1%	32.8%	31.1%
70～79歳	32.3%	31.1%	36.6%
80歳以上	29.6%	31.5%	38.9%

なおここでの人権意識レベルは、問２「あなたは、「差別」というものについて、どのようなお考えをお持ちですか。次の（１）～（10）のすべてについて、あなたのお考えに一番近い番号に○をしてください。（それぞれに○は１つ）」の回答結果を用いている。

このうち（１）（３）（５）（７）（９）（10）は正しい人権意識を述べているものなので、「そう思う」に５点、「どちらかといえばそう思う」に４点、「どちらともいえない」に３点、「どちらかといえばそう思わない」に２点、「そう思わない」に１点を配点した。逆に（２）（４）（６）（８）は人権意識として評価できないものであるため、「そう思う」に１点～「そう思わない」に５点を配点した。これらの人権意識得点を合計し、その合計得点人数をほぼ３等分して、「19 点～34 点」を「人権意識得点低い」、「35 点～38 点」を「人権意識得点中位」、「39 点～50 点」を「人権意識得点高い」としている。ちなみに（１）～（１０）の提示されている考え方は次の通りである。

（１）差別は人間として最も恥ずべき行為の一つである
（２）差別は世の中に必要なこともある
（３）あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある
（４）差別の原因は、差別される人の側に問題がある
（５）差別は法律で禁止する必要がある
（６）どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理である
（７）差別される人の話をきちんと聴く必要がある
（８）思いやりややさしさを持てば、差別問題は解決できる
（９）差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である
（10）差別の原因は、差別をする人の側に問題がある

（2）公務員の人権法令認知をチェックする

表 11 は、問 27（5）において仕事を「公務員」とした人を対象に、問 3 で尋ねている各種人権に関する法令のうち、「（1）あなたの住んでいる市町村の人権擁護条例」、「（10）障害者差別解消法」、「（11）ヘイトスピーチ解消法」「（12）部落差別解消推進法」の認知状況を取り上げたものである。またそれぞれにおいて、住民全体の認知状況を表示している。

「あなたの住んでいる市町村の人権擁護条例」においては、「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」の割合は公務員が 12.7%に対して住民全体では 6.2%であった。公務員の認知率は住民全体の 2.0 倍高い。また「障害者差別解消法」にあっても公務員の認知率は 25.5%と住民全体の 11.9%の 2.1 倍高くなっている。とはいえ公務員のこの認知状況は低すぎるといわざるを得ない。さらに「ヘイトスピーチ解消法」及び「部落差別解消推進法」にあっては住民全体の認知状況と変わらないことが示されている。

逆に公務員における「知らなかった」の割合が、「あなたの住んでいる市町村の人権擁護条例」で 40.0%、「障害者差別解消法」で 23.6%、「ヘイトスピーチ解消法」で 30.9%、「部落差別解消推進法」で 20.0%もあった。「知らなかった」の割合がいずれにおいても住民全体より低いとはいえ、自分の地元の人権擁護条例や差別解消三法を「知らない」公務員がこれほど存在することは看過できない実態と言えよう。

言うまでもなく公務員は住民の人権を擁護する責務を負う者であり、差別解消の先頭に立って取り組むとともに、市民の人権意識の高揚に努めることが求められている。それは決して人権関係部局だけの課題ではなく、行政のすべての部局・分野において求められるものである。こうした状況の速やかな改善が求められる。

なお参考までに中高地区各市町村の人権擁護条例における行政の責務の条文を掲載しておく。

●中野市におけるあらゆる差別撤廃及び人権擁護に関する条例

（市の責務）

第２条 市は、前条の目的を達成するため、必要な施策を積極的に推進するとともに、行政の全ての分野で市民の人権意識の高揚に努めるものとする。

●山ノ内町差別撤廃と人権擁護に関する条例

（町の責務）

第２条　町は、前条の目的を達成するため、必要な施策を積極的に推進するとともに、行政のすべての分野で町民の人権意識の高揚に努めなければならない。

●木島平村人権擁護に関する条例

（村の責務）

第２条　村は、前条の目的を達成するため、必要な施策を積極的に推進するとともに、行政のすべての分野で村民の人権意識の高揚に努めなければならない。

●野沢温泉村差別撤廃・人権擁護に関する条例

（村の責務）

第２条 村は、前条の目的を達成するため、必要な施策を積極的に推進するとともに、行政のすべての分野で村民の人権意識の高揚に努めるものとする。

表 11　公務員の人の地元の人権擁護条例及び「差別解消三法」の認知状況

		どんな内容か知っている・内容を見たことがある	内容は知らないが、名称は聞いたことがある	知らなかった
あなたの住んでいる市町村の人権擁護条例	住民全体	6.2%	40.3%	52.1%
	公務員	12.7%	47.3%	40.0%
障害者差別解消法	住民全体	11.9%	45.7%	40.5%
	公務員	25.5%	50.9%	23.6%
ヘイトスピーチ解消法	住民全体	7.7%	40.5%	49.7%
	公務員	7.3%	61.8%	30.9%
部落差別解消推進法	住民全体	14.1%	53.5%	30.8%
	公務員	14.5%	65.5%	20.0%

（3）デジタルディバイド問題への警戒

デジタルディバイド問題が提起されて久しい。デジタルディバイド問題とは、高度情報化社会が進む中でインターネットやパソコンなどの情報通信手段を利用できる人とできない人、使いこなせる人と使いこなせない人の間に生じる情報格差問題である。これによって経済的、社会的な格差が導かれるが、とりわけ年齢の高い人、学歴の低い人、所得の低い人、障がい者などの階層がより多くの社会的不利益を被る状況が生じていることが指摘されている。

部落問題では、差別の結果教育を受ける権利が十分には保障されないもとで、多くの地区住民に非識字の状況を生じさせてきた。こうした結果が、文字情報化社会においては生活や人生の全ての分野における不利益を強いてきたことは周知のとおりである。それが今、高度情報化社会において同質の人権課題がネット社会の下で広く進行していることが危惧される。

本調査ではデジタルディバイド問題をストレートに把握するデータは収集されていないが、表 12 に示した年齢階層別の「問 27（1）あなたが日常に利用する主なメディアはどれですか」の調査結果は、この問題の存在を強く類推させている。

日常に利用する主なメディアが「インターネット（パソコン・スマートフォン）」とした人は 60 歳代以降大きく低下しており、70 歳代では 38.4%、80 歳以上では 17.5%であった。中高地区のいずれの市町村においても 65 歳以上の老年人口が 4 割前後の高い状況が生まれていることを踏まえれば、デジタルディバイド問題を人権の視点からしっかりとらえた対応が求められている。

なお、逆に「新聞」「書籍、雑誌」といった紙媒体の利用が年齢階層が若くなるほど低下傾向にある。啓発の取り組みにおいてこうした状況を踏まえた対応が必要と言えよう。

表 12　年齢階層別にみた「問 27（1）あなたが日常に利用する主なメディアはどれですか」（複数回答可）の調査結果

	新聞	書籍、雑誌	テレビ	ラジオ	インターネット（パソコン・スマートフォン）	その他
18～19歳	5.3%	10.5%	57.9%	15.8%	89.5%	5.3%
20～29歳	18.5%	8.6%	58.0%	12.3%	93.8%	0.0%
30～39歳	13.3%	15.6%	71.1%	16.7%	97.8%	0.0%
40～49歳	32.4%	21.3%	75.0%	19.1%	94.9%	0.0%
50～59歳	50.7%	21.8%	83.1%	29.6%	83.8%	0.7%
60～69歳	74.1%	24.9%	87.8%	35.4%	69.8%	0.0%
70～79歳	82.0%	26.7%	91.3%	27.3%	38.4%	0.7%
80歳以上	86.7%	30.0%	86.7%	30.0%	17.5%	1.7%

調査票

中高地区人権に係る住民意識調査

2025 年　8月
中野市
山ノ内町
木島平村
野沢温泉村

■調査へのご協力のお願い

1　この調査は、今後の人権教育・啓発施策を推進するうえで基礎資料として活用するため、人権問題についての意識やお考えをお聞きするもので、**中高地区４市町村が協力して実施**するものです。

2　この調査票は、４市町村の住民の中から、**無作為に約 3,000 名の方々（18 歳以上）を選び**、送付させていただいておりますことから、ご病気等によりご回答いただけない方にも届いてしまう場合がございますので、その際はご容赦くださいますようお願いします。

3　**無記名**でお答えいただきますので、どなたのお答えかは、わからないようになっています。あなた自身にご迷惑をかけることは一切ありません。また、**上記目的以外に使用することはありません。**

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力をお願いします。

■ご記入上の注意

1　**あて名のご本人**が、お答えになってください（ただし、外国人の方等で日本語の読み書きが困難な場合、ご家族等の協力で本人がお答えください）。

2　ご回答は、黒のボールペンか鉛筆で、**設問の指示（「○は１つ」、「それぞれに○は１つ」、「○はいくつでも」、「問○へお進みください」など）**にしたがって、選択回答もしくは記述回答してください。

※ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）にお入れになり、**2025 年９月 22 日(月)必着で返送してください。**

☆インターネットによる回答も可能です。詳しくは裏表紙をご覧ください。

＜お問い合わせ先＞

この調査票に関するご質問などは、下記までご連絡ください。

○中野市	人権・男女共同参画課	担当　西野	TEL　0269-26-2287（直）
○山ノ内町	人権政策室	担当　堀内	TEL　0269-38-0373（直）
○木島平村	人権推進室	担当　宮﨑	TEL　0269-82-2041（直）
○野沢温泉村	人権対策室	担当　片桐	TEL　0269-85-3112（直）

A　人権や差別についての考え方・知識についてお尋ねします。

問1　次のような意見があります。あなたはどう思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に、例にならって○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 そう思わない
例：法律で禁止すれば、自然に差別はなくなる	1	2	(3)	4	5
(1) 外国人差別は、そっとしておけば自然になくなる	1	2	3	4	5
(2) 障がい者差別は、そっとしておけば自然になくなる	1	2	3	4	5
(3) HIV陽性者やハンセン病回復者(及びその家族)に対する差別は、そっとしておけば自然になくなる	1	2	3	4	5
(4) 部落差別は、そっとしておけば自然になくなる	1	2	3	4	5

問2　あなたは、「差別」というものについて、どのようなお考えをお持ちですか。次の(1)～(10)のすべてについて、あなたのお考えに一番近い番号に○をしてください。
(それぞれに○は１つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 そう思わない
(1) 差別は人間として最も恥ずべき行為の一つである	1	2	3	4	5
(2) 差別は世の中に必要なこともある	1	2	3	4	5
(3) あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある	1	2	3	4	5
(4) 差別の原因は、差別される人の側に問題がある	1	2	3	4	5
(5) 差別は法律で禁止する必要がある	1	2	3	4	5
(6) どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理である	1	2	3	4	5
(7) 差別される人の話をきちんと聴く必要がある	1	2	3	4	5
(8) 思いやりややさしさを持てば、差別問題は解決できる	1	2	3	4	5
(9) 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である	1	2	3	4	5
(10) 差別の原因は、差別をする人の側に問題がある	1	2	3	4	5

問3　あなたは、次の人権に関する法令や宣言等があることをどの程度ご存知ですか。次の(1)～(14)のすべてについて、該当する番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 どんな内容か知っている・内容を見たことがある	2 内容は知らないが、名称は聞いたことがある	3 知らなかった
(1) あなたの住んでいる市町村の人権擁護条例	1	2	3
(2) 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律	1	2	3
(3) 個人情報保護法	1	2	3
(4) 同和対策審議会答申	1	2	3
(5) 世界人権宣言	1	2	3
(6) いじめ防止対策推進法	1	2	3
(7) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)	1	2	3
(8) LGBT理解増進法	1	2	3
(9) アイヌ施策推進法	1	2	3
(10) 障害者差別解消法	1	2	3
(11) ヘイトスピーチ解消法	1	2	3
(12) 部落差別解消推進法	1	2	3
(13) 高齢者の虐待防止法	1	2	3
(14) ハンセン病問題基本法	1	2	3

問4　差別について、A、B二人の意見が次のように分かれました。

Aの意見:今日では差別は許されない状況にあり、差別をする人がやがて孤立してしまう。
Bの意見:世間ではまだまだ差別が残っており、差別をなくそうとする人が孤立してしまう。

あなたは次のAとBのどちらの意見に近いですか。(○は1つ)

1　Aの意見に賛成である
2　どちらかといえばAの意見に賛成である
3　わからない
4　どちらかといえばBの意見に賛成である
5　Bの意見に賛成である

B　人権問題に対する様々な課題についてお尋ねします。

問5　あなたのお子さんが恋愛をし、結婚を考えている相手またはパートナーとして考えている相手が次の人であれば、あなたはどのような態度をとると思いますか。次の(1)～(6)のすべてについて、あてはまる番号に○をしてください(お子さんがいない場合は、いると仮定してお答えください)。(それぞれに○は1つ)

	1 まったく問題にしない	2 迷いながらも、結局は問題にしない	3 迷いながらも、結局は考え直すように言う	4 考え直すように言う
(1) 障がい者	1	2	3	4
(2) 外国人	1	2	3	4
(3) 同和地区出身者	1	2	3	4
(4) ハンセン病回復者の家族	1	2	3	4
(5) HIV陽性者	1	2	3	4
(6) LGBTQ等の性的少数者	1	2	3	4

問6　あなたは、子どもの人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 そう思わない
(1) 子どもは生活力がないのだから、親の言うことを聞くのは当然である	1	2	3	4	5
(2) 親がしつけのため、子どもへ体罰をすることはやむを得ない	1	2	3	4	5
(3) 学校での教育的な体罰は、やむを得ない	1	2	3	4	5
(4) 犯罪を犯した少年は、成人と同じように処遇すべきだ	1	2	3	4	5

問7　あなたは女性の人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 そう思わない
(1) 夫婦で別々の姓を名乗りたい人は、名乗ることができるようにした方がよい	1	2	3	4	5
(2) 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方は今もある	1	2	3	4	5
(3) 地域の行事などでは、力仕事は男性、接待は女性の方がよい	1	2	3	4	5
(4) 女性が責任ある役職に就くことには抵抗がある	1	2	3	4	5

問8　あなたは、高齢者の人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 そう思わない
(1) 年老いたら、子どもに従う方がよい	1	2	3	4	5
(2) 高齢者が孤独死する社会を作っているのは、私たちの問題である	1	2	3	4	5
(3) 一定年齢の高齢者には、年金の給付や医療費などの負担軽減が行われることは、よいことである	1	2	3	4	5
(4) 特殊詐欺で多額のお金をだまされ送金等したとしても、本人が悪い	1	2	3	4	5

問9　あなたは、障がい者の人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 そう思わない
(1) 障がい者が利用しやすくなるように、すべての公共の建物を改造すべきだ	1	2	3	4	5
(2) 障がい者を雇用する義務を果たしていない会社には、厳しい罰則を与えるべきだ	1	2	3	4	5
(3) 障がい者が暮らしやすい社会は、誰もが暮らしやすい	1	2	3	4	5
(4) 自分が住んでいる近くに新しく障がい者の施設ができることは反対だ	1	2	3	4	5

問 10　あなたは、外国人の人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 そう思わない
(1) 定住外国人は、もっと日本の文化にとけ込む努力をするべきだ	1	2	3	4	5
(2) 外国人は、仕事をするうえで、待遇が悪くても仕方がない	1	2	3	4	5
(3) 外国人が日本で働くことは、日本人の職を奪うことになり賛成できない	1	2	3	4	5
(4) 外国人にアパートを貸さない家主がいることは残念なことだ	1	2	3	4	5

問 11　あなたは、ハンセン病や感染症患者等に関する人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 そう思わない
(1) ハンセン病回復者が社会復帰できなくても仕方がない	1	2	3	4	5
(2) ハンセン病回復者の家族が結婚や就職などで不利な扱いを受けることは仕方がない	1	2	3	4	5
(3) 友人がHIVに感染していることがわかっても、これまでと同じように付き合っていける	1	2	3	4	5
(4) コロナ感染者やこれに関わる医療従事者等が誹謗中傷されたり嫌がらせを受けたりしたことは差別であり許されない	1	2	3	4	5

問 12　あなたは、LGBTQ※等の性的少数者の人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。
(それぞれに○は1つ)

		1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 そう思わない
(1)	LGBTQ等の性的少数者の入居を拒否するのは大家さんの自由である	1	2	3	4	5
(2)	友人がLGBTQ等の性的少数者とわかってもこれまでと同じように付き合っていける	1	2	3	4	5
(3)	LGBTQ等の性的少数者が就職で不利な取扱いをされるのは仕方がない	1	2	3	4	5
(4)	同性の婚姻を法的に認めるべきである	1	2	3	4	5

※ LGBTQ：女性同性愛者(レズビアン)、男性同性愛者(ゲイ)、異性も同性も好きになる人(バイセクシャル)、生物学的な性と性自認が異なる人(トランスジェンダー)、性自認や性的指向が明確でない人(クエスチョニング)の略

問 13　あなたは、犯罪被害者やその家族の人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。
(それぞれに○は1つ)

		1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 そう思わない
(1)	犯罪行為によって生じる経済的負担をできる限り軽減するための措置が取られるべきである	1	2	3	4	5
(2)	事件に関して興味本位でうわさ話をするのはやむを得ない	1	2	3	4	5
(3)	刑事裁判手続きに被害者の声が十分反映されるようにすべきである	1	2	3	4	5
(4)	報道、取材や一般人のSNS等によってプライバシーに関することを公にして、私生活の平穏を犯してはならない	1	2	3	4	5

問 14　あなたは、インターネット上の人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 そう思わない
(1) インターネット上の差別的書き込みを行政が把握し、プロバイダーへ情報停止・削除を求めるべきだ	1	2	3	4	5
(2) ルールやマナーを守ってインターネットを利用するように日頃からの教育・住民啓発が必要である	1	2	3	4	5
(3) 表現の自由に関わる問題なので、安易に情報の規制は行うべきではない	1	2	3	4	5
(4) 差別をあおるような書き込みを行った人に対しては処罰すべきだ	1	2	3	4	5

C　人権問題や差別への対応についてお尋ねします。

問 15　もし、あなた自身やあなたの家族が人権を侵害されることがあったとき、あなたはまずどのような対応をしますか。(○は1つ)

1　相手に抗議する　→　問16へお進みください
2　身近な人に相談する　→　問15-1へお進みください
3　相談しないで我慢する　→　問16へお進みください

問 15 で「2　身近な人に相談する」を選ばれた方にお尋ねします。

問 15-1　どのような人に相談しますか。(○はいくつでも)

1　家族
2　友人・知人
3　教師
4　人権問題に詳しい人
5　弁護士
6　NPOや市民団体等
7　法務局や人権擁護委員
8　各地区の役員(区長・民生委員など)
9　市町村の窓口
10　警察
11　その他(具体的に:　　)

すべての方にお尋ねします。

問 16　あなたの知り合いの中で、差別問題の解消や人権問題の擁護を熱心に行っている人はいますか。(○は1つ)

1　いる　→　問16-1へお進みください　　2　いない　→　問17へお進みください

問 16 で「1　いる」を選ばれた方にお尋ねします。

問 16-1　その差別問題の解消や人権問題の擁護を熱心に行っている人は誰ですか。
（○はいくつでも）

1　家族	5　職場の人
2　親戚	6　学校の先生
3　近所の人	7　県や市町村の職員
4　友人	8　その他（具体的に:　　）

D　同和問題（部落問題）に関する学習経験についてお尋ねします。

すべての方にお尋ねします。

問 17　あなたは、学校で同和問題（部落問題）についての学習を受けましたか。（○はいくつでも）

1　小学校で受けた
2　中学校で受けた
3　高校で受けた
4　短大・大学で受けた
　→ 問17-1へお進みください

5　受けたことはない
　→ 問18へお進みください

問 17-1　そうした学習を受けたことについて、どう感じていますか。（○は1つ）

1　学習を受けてよかったと思っている
2　学習を受けたことはよいが、内容を改善すべきだと思っている
3　受けない方がよかったと思っている
4　わからない
5　その他（具体的に:　　）

すべての方にお尋ねします。

問 18　あなたは、地域や職場での同和問題についての学習や研修に参加したことはありますか。
（○はいくつでも）

1　市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した
2　職場の研修に参加した
3　地域（地区）懇談会に参加した
4　毎年8月に開催される、中高地区4市町村合同の「部落解放・人権政策確立要求中高地区総決起大会」に参加した
5　その他（　　）
　→ 問18-1へお進みください

6　参加したことはない
　→ 問18-2へお進みください

問 18 で「1」から「5」を選ばれた方にお尋ねします。

問 18-1　参加して最も印象に残っている研修会はどのような内容でしたか。（○は1つ）

1　市町村及び地域で人権問題に携わる人の話
2　学校の先生の話
3　被差別当事者（同和地区住民）の話
4　DVD、映画など
5　グループになって話し合ったこと
6　いろいろな住民が意見発表すること
7　その他（具体的に:　　）

問 18 で「6　参加したことはない」を選ばれた方にお尋ねします。

問 18-2　どのような研修会であれば参加できますか。（○はいくつでも）

1　夜間に開催される研修会
2　日曜日や祝日に開催される研修会
3　内容が魅力的な研修会
4　自宅や職場の近くで開催される研修会
5　その他（具体的に:　　）

E　同和問題（部落問題）の認知や意識についてお尋ねします。

すべての方にお尋ねします。

問 19　あなたは、日本の社会に「被差別部落」「同和地区」あるいは「部落」と呼ばれ、差別を受けている地区があることや差別を受けている住民がいることを知っていますか。（○は1つ）

1　知っている　→　問19-1へお進みください　　2　知らない　→　問20へお進みください

問 19 で「1　知っている」を選ばれた方にお尋ねします。

問 19-1　あなたが同和問題について、初めて知ったきっかけは何ですか。（○はいくつでも）

1　家族から聞いた
2　親戚の人から聞いた
3　近所の人から聞いた
4　職場の人から聞いた
5　学校の友人から聞いた
6　学校の授業で聞いた
7　テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った
8　同和問題の集会や研修会で知った
9　県や市町村の広報紙や冊子で知った
10　はっきり覚えていない
11　その他（具体的に:　　）

すべての方にお尋ねします。

問 20　あなたは、「被差別部落」という言葉を聞いたとき、どのような感情を持ちますか。次の（1）～（5）について、あなたの感情に一番近い番号に○をしてください。
（それぞれに○は1つ）

＜A＞	1 非常にAに近い	2 ややAに近い	3 どちらともいえない（わからない）	4 ややBに近い	5 非常にBに近い	＜B＞
（1）　上品な	1	2	3	4	5	下品な
（2）　やさしい	1	2	3	4	5	こわい
（3）　清潔な	1	2	3	4	5	不潔な
（4）　豊か	1	2	3	4	5	貧しい
（5）　働き者	1	2	3	4	5	なまけもの

問 21　学校や職場、日常生活の中で、誰かが「同和地区」の人に対する差別的な発言をしたとき、あなたはどのような対応をとりますか。またはとると思いますか。（○は 1 つ）

1　差別的な発言であることを伝え、話し合う（と思う）
2　気づかなかったふりをする（と思う）
3　表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう（と思う）
4　その他（具体的に:　　）

問 22　あなたは現在、部落差別（同和問題）に関して、次にみられるような人権侵害や問題などがあると思いますか。次の（1）～（6）のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。（それぞれに○は1つ）

	1 あると思う	2 どちらかといえばあると思う	3 どちらかといえばないと思う	4 ないと思う	5 わからない
（1）　就職のときや職場で不利な扱いを受けること	1	2	3	4	5
（2）　地域の活動や地域での付き合いで嫌がらせを受けること	1	2	3	4	5
（3）　身元調査をされること	1	2	3	4	5
（4）　行政機関や不動産取引業者に「どこが同和地区なのか」と問い合わせること	1	2	3	4	5
（5）　インターネット上に誹謗中傷等が掲載されること	1	2	3	4	5
（6）　インターネット上に同和地区と呼ばれる地域の所在地リストや動画・写真などが掲載されること	1	2	3	4	5

問 23　部落差別は将来なくすことができると思いますか。（○は1つ）

1　完全になくすことができる
2　かなりなくすことができる
3　なくすことは難しい

問 24　あなたは、「同和地区はこわい」というような話を聞いたことがありますか。（○は1つ）

1　ある　→　問24-1、24-2、24-3へお進みください　　2　ない　→　問25へお進みください

問 24 で「1　ある」を選ばれた方にお尋ねします。

問 24-1　こわいという話を誰から聞きましたか。（○は1つ）

1　家族
2　親戚
3　近所の人
4　友人
5　職場の人
6　学校の先生
7　県や市町村の職員
8　知らない人
9　はっきり覚えていない
10　その他（具体的に:　　）

問 24-2　その話を聞いたときどう感じましたか。（○は1つ）

1　そのとおりだと思った
2　そういう見方もあると思った
3　反発・疑問を感じた
4　特に何も思わなかった

問 24-3　それは、どんな内容でしたか。（自由記載）

すべての方にお尋ねします。

問 25　あなた自身あるいはあなたの親戚や友人で、同和地区の人との結婚に関して、もめたり、反対にあったりしたことを聞いたことがありますか。（○は1つ）

1　ある　　2　ない

問 26　あなたは、同和地区の人との付き合いはありますか。（○は1つ）

1　ある　→　問26-1へお進みください
2　ない　　問27へお進みください
3　わからない

問 26 で「1　ある」を選ばれた方にお尋ねします。

問 26-1　それは、どの程度のお付き合いでしょうか。（○はいくつでも）

1　近所付き合いをしている
2　自治会、婦人会などのメンバーとして付き合っている
3　福祉や教育のことなどでの地域の取組を一緒にしている
4　同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある
5　民謡や踊り、囲碁、将棋、料理など、趣味の会や講習会などで一緒に習っている
6　盆踊りやまつり、スポーツなどを一緒にしている
7　学校時代から付き合っている友人である
8　その他（具体的に:　　）

F　あなた自身のことについてお尋ねします。

すべての方にお尋ねします。

問 27　あなた自身のことについて、次の（1）～（5）のすべてにお答えください。

（1）　あなたが日常に利用する主なメディアはどれですか。（○はいくつでも）

1　新聞　　2　書籍、雑誌　　3　テレビ　　4　ラジオ
5　インターネット（パソコン・スマートフォン）　　6　その他（　　）

（2）　あなたがお住まいの市町村はどれですか。（○は1つ）

1　中野市　　2　山ノ内町　　3　木島平村　　4　野沢温泉村

（3）　あなたの性別についてお答えください。（○は1つ）

1　男性　　2　女性　　3　（　　）

（4）　あなたの年代についてお答えください。（○は1つ）　令和7年8月1日現在

1　18～19歳　　5　50～59歳
2　20～29歳　　6　60～69歳
3　30～39歳　　7　70～79歳
4　40～49歳　　8　80歳以上

（5）　現在、あなたはどのような仕事（主なもの）に就いていますか。（○は1つ）

1　農林業（家事従事者も含む）
2　農林業以外の自営業（家事従事者も含む）
3　自由業・専門職（開業医・弁護士・芸術家・学者など）
4　商工サービス業（商店・飲食店の店員等）
5　会社員（民間企業、各種団体など）
6　公務員
7　家事専業
8　無職（学生含む）
9　その他（具体的に:　　）

G 自由意見

問 28 人権問題や差別に関して、何でも結構ですのでお聞かせください。

以上で調査は終わりです。ご協力いただきありがとうございました。